

平成 29 年度
仕事と育児の両立に関する実態把握のための
調査研究事業
報告書
労働者アンケート調査結果

平成 30 年 1 月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

◆目次◆

I. 調査概要	1
1. 背景と目的	1
2. 実施概要	1
II. 労働者調査実施概要	3
1. 調査目的	3
2. 主な調査テーマ	4
3. 調査対象	5
4. 調査実施方法	5
5. 実施時期	5
III. 労働者調査 基本集計結果	6
1. 回答者属性	6
2. 現在の仕事や職場の状況	10
3. 末子の妊娠・出産時の状況	29
4. 末子妊娠・出産時の仕事の状況	33
5. 末子の出産・育児を目的とした休暇・休業の取得	39
6. 家事や育児の実態	104
7. 仕事と育児や家庭の両立の状況	118
8. キャリアの形成	130
IV. 労働者調査 テーマ別集計結果	146
1. 男性の育児を目的とした休暇・休業取得の実態	146
2. 男性の育児を目的とした休暇・休業取得の要因	152
3. 男性の育児を目的とした休暇・休業取得の影響	163
4. 男性の育児参加の要因	170
5. 男性の育児参加の影響	180
<参考資料>労働者アンケート調査票	参 1

I. 調査概要

1. 背景と目的

人口減少社会が到来する中で、男女ともに労働者が仕事と育児を両立し、安心して働き続けることができる環境を整備することは、ますます重要な政策課題となっている。

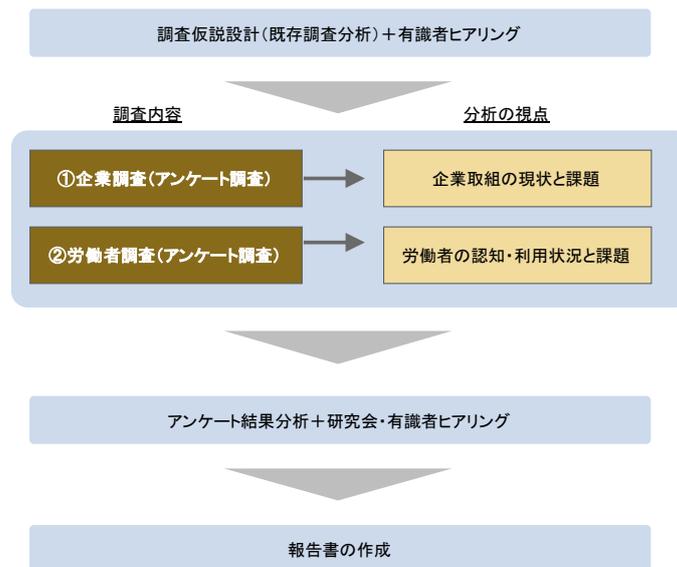
2020年までに男性の育児休業取得率13%という目標を掲げている中で、男性の育児休業取得率は依然として低調であり、先の改正育児・介護休業法案の国会審議においても、男性の育児休業を推進する必要性が再三にわたり指摘されたところである。このため、男女労働者の両立の実態、特に男性が育児休業を取得しない理由や男性のための両立支援制度について、改めてその実態を把握した上で、ニーズや問題点を認識する必要がある。

これを踏まえ、労働者、特に男性労働者の育児への関わり方について、そのニーズや実態等を把握するとともに、仕事と育児の両立に関する現状及び課題等について、調査、分析を行い、仕事と育児を両立しやすい環境整備を進めるための更なる方策等の検討に役立てることを目的とする。

2. 実施概要

(1) 実施内容・方法

調査の流れは、下記の通りである。主たる調査は、企業（人事担当）と労働者（子育て層）を対象としたアンケート調査である。このアンケート調査に先立って、既存調査結果の分析を基にした仮説設計及び有識者ヒアリングによる仮説確認を経て、アンケート調査の設計を行った。また、アンケート調査結果の分析において、有識者ヒアリングにより分析視点の確認を行い、これらの結果を踏まえ、調査報告書及び結果概要を作成した。



(2) 有識者ヒアリング実施方法

ヒアリングを実施した有識者は、以下2名である。(敬称略)

佐藤 博樹 中央大学大学院 戦略経営研究科 教授

池田 心豪 独立行政法人労働政策研究・研修機構 働き方と雇用環境部門 主任研究員

ヒアリングは、調査票作成に係る意見収集を目的に1回、調査データの分析に係る意見収集を目的として1回実施した。ヒアリングの実施日は、下表の通りである。ヒアリングは、各有識者に個別に行った。

ヒアリング	ヒアリング事項	実施日
第1回	<ul style="list-style-type: none"> 本調査研究のテーマ、調査方法について 企業調査及び労働者調査の調査票について 	平成29年月8日30日、31日
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 企業調査・労働者調査の結果及び今後の集計・分析について 	平成29年12月14日、15日

Ⅱ. 労働者調査実施概要

1. 調査目的

主に、以下の7点を明らかにすることを目的に調査を実施した。

- 1) 育児休業やその他出産・育児を目的とした休暇・休業の利用状況
 - ・ 育児休業やその他出産・育児を目的とした休暇・休業の取得実態、休暇・休業を取得しなかった理由 等
 - ・ 育児休業やその他出産・育児を目的とした休暇・休業の取得に対する職場の理解、育児休業取得促進のために職場で行われていた取組
 - ・ 育児休業やその他出産・育児を目的とした休暇・休業の取得による仕事内容や評価への影響
 - ・ 育児休業やその他出産・育児を目的とした休暇・休業の取得が仕事や育児参加に与える影響
- 2) 仕事を休まずに仕事と育児を両立するための柔軟な働き方のニーズ
 - ・ 両立支援制度の利用実態、両立支援制度を利用しない理由 等
 - ・ 柔軟な働き方や効率的な仕事をするための工夫や取組、男性の仕事と育児の両立を促すために職場で行われている取組
 - ・ 仕事と育児を両立するために望む働き方や取組及び制度
 - ・ 在宅勤務の利用経験
 - ・ ライフイベントに即した働き方の希望
- 3) 家庭や育児への参加の実態
 - ・ 家庭や育児における役割分担意識、家事・育児への参加意欲 等（末子出生前・現在）
 - ・ 育児参加をしない理由
 - ・ 子どもの年齢及び性別別にみた父母の役割に対する考え方
 - ・ 実際に行っている家事や育児の実態（夫婦の役割分担、家事・子育て時間）等
- 4) 男性の育児参加がもたらす影響
 - ・ 女性からみた男性の育児参加の影響 等
 - ・ 第2子以上の出生意欲への影響
 - ・ 夫婦のワーク・ライフ・バランス満足度
 - ・ 男性にとっての育児参加の意義

2. 主な調査テーマ

<p>(1) 回答者属性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別 ・ 年齢 ・ 居住地域 ・ 配偶関係 ・ 子どもの人数 ・ 末子年齢、末子の性別 ・ 年収（自分・配偶者・世帯）
<p>(2) 現在の仕事の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の就業形態（自分・配偶者） ・ 勤務先の従業員規模、業種、職種、役職、勤続年数／等 ・ 1週間の実労働時間（自分・配偶者） ・ 月当たりのお休みの日数、深夜の時間帯の勤務の状況、日曜日の出勤状況／等
<p>(3) 末子妊娠・出産時の仕事と家庭の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末子妊娠判明時の就業形態 ・ 末子妊娠判明時から現在までの就労継続状況 ・ 末子の出生を機に当時の仕事をやめた理由 ・ 妻が妊娠中の夫の休暇の取得状況 ・ 里帰り出産の有無／等
<p>(4) 育児休業やその他出産・育児を目的とした休暇・休業の利用状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児休業や出産・育児を目的とした休暇・休業の取得状況、取得期間、取得時期 ・ 休暇・休業を取得したきっかけ ・ 休暇・休業期間の希望合致度 ・ 育児休業中に行ったこと ・ 育児休業を取得しなかった理由 ・ 職場における出産・育児を目的とした休暇・休業の取得の状況 ・ 育児休業取得のために職場で行われている取組、会社からの働きかけ 等 ・ 育児休業やその他出産・育児を目的とした休暇・休業前後の自身の働き方の変化、働き方への影響、その後の育児への影響
<p>(5) 仕事を休まずに仕事と育児を両立するための働き方のニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両立支援制度の利用実態 ・ 19時までに帰宅する頻度、有給休暇の消化率／等 ・ 効率的な仕事をするために自身が行っている仕事の工夫 ・ 柔軟な働き方のニーズ、柔軟な働き方をするための取組み ・ ライフイベントに即した希望する働き方／等
<p>(6) 家庭や育児への参加の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や育児における役割分担意識、家事・育児への参加意欲、仕事と育児の優先度 等（末子出生前・現在） ・ 子どもの年齢及び性別別にみた父母の役割に対する考え方 ・ 実際に行っている家事や育児、家事や育児の時間（本人・配偶者） 等

(7) 男性の育児参加がもたらす影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の育児参加の程度による妻の子育て負担感の違い／等 ・ 男性の育児参加による女性のキャリアへの影響／等 ・ 夫婦間のコミュニケーションと男性の育児参加、夫婦のコミュニケーションと女性のキャリアへの影響／等 ・ 第2子以上の出生意欲への影響、私生活の満足感／等 ・ 男性の育児参加によるライフプランの変化／等
--------------------	--

3. 調査対象

以下条件で割りつけた計 3,000 人よりアンケートを回収した。

区分	条件	調査対象数	最終回収 サンプル数
男性・正社員	年齢：20 歳～49 歳 雇用形態：正社員・職員	2,000	2,062
女性・正社員	*無期契約社員・職員を含む *業種は公務員、農林水産業を除く 末子の年齢：満 1 歳以上満 3 歳未満		
計		3,000	3,094

4. 調査実施方法

WEB 上でのモニター調査

5. 実施時期

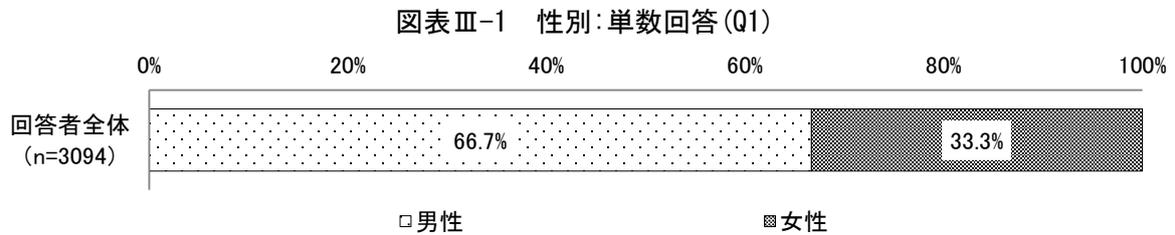
平成 29 年 9 月 27 日（水）～9 月 30 日（土）

Ⅲ. 労働者調査 基本集計結果

1. 回答者属性

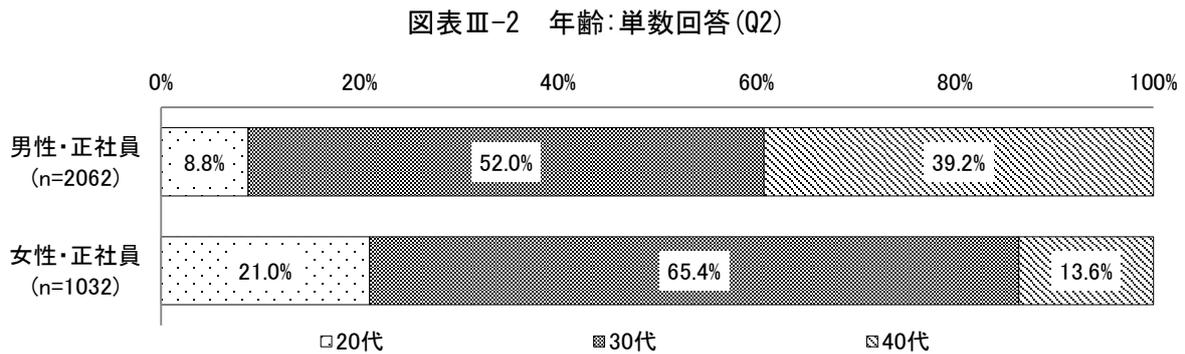
(1) 性別

回答者の性別の構成は以下のとおりである。



(2) 年齢

回答者の年齢構成は以下のとおりである。



(3) 居住地

回答者の居住地の分布は以下のとおりである。

図表Ⅲ-3 居住地（モニター調査の登録情報より）

	合計	都道府県						
		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
男性・正社員	2062	80	10	15	36	9	18	23
	100.0	3.9	0.5	0.7	1.7	0.4	0.9	1.1
女性・正社員	1032	41	5	6	20	9	15	20
	100.0	4.0	0.5	0.6	1.9	0.9	1.5	1.9

	合計	都道府県						
		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
男性・正社員	2062	34	35	28	131	101	255	187
	100.0	1.6	1.7	1.4	6.4	4.9	12.4	9.1
女性・正社員	1032	17	15	12	57	39	144	68
	100.0	1.6	1.5	1.2	5.5	3.8	14.0	6.6

	合計	都道府県						
		新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
男性・正社員	2062	40	11	9	10	7	31	35
	100.0	1.9	0.5	0.4	0.5	0.3	1.5	1.7
女性・正社員	1032	23	14	12	14	5	10	10
	100.0	2.2	1.4	1.2	1.4	0.5	1.0	1.0

	合計	都道府県						
		静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
男性・正社員	2062	56	161	23	34	42	169	106
	100.0	2.7	7.8	1.1	1.6	2.0	8.2	5.1
女性・正社員	1032	25	70	10	14	18	71	45
	100.0	2.4	6.8	1.0	1.4	1.7	6.9	4.4

	合計	都道府県						
		奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
男性・正社員	2062	26	13	4	8	35	52	19
	100.0	1.3	0.6	0.2	0.4	1.7	2.5	0.9
女性・正社員	1032	5	8	6	4	24	29	12
	100.0	0.5	0.8	0.6	0.4	2.3	2.8	1.2

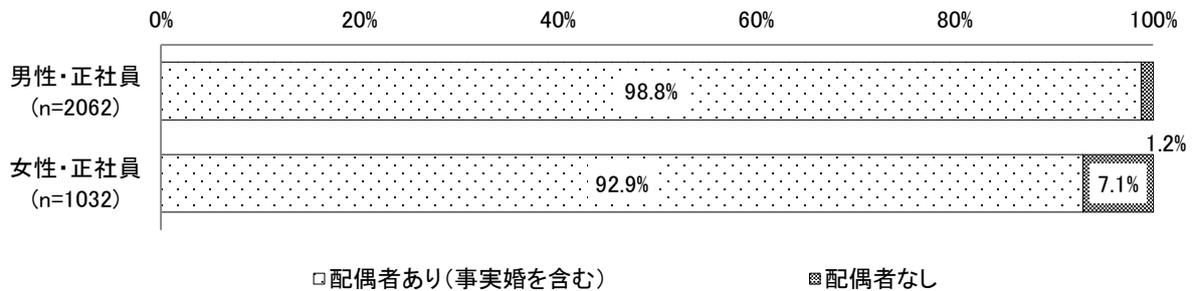
	合計	都道府県						
		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
男性・正社員	2062	6	11	14	2	82	7	10
	100.0	0.3	0.5	0.7	0.1	4.0	0.3	0.5
女性・正社員	1032	4	8	7	6	39	8	11
	100.0	0.4	0.8	0.7	0.6	3.8	0.8	1.1

	合計	都道府県				
		熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
男性・正社員	2062	18	19	11	16	13
	100.0	0.9	0.9	0.5	0.8	0.6
女性・正社員	1032	13	6	10	8	15
	100.0	1.3	0.6	1.0	0.8	1.5

(4) 配偶者の有無

配偶者の有無を見ると、「配偶者あり（事実婚を含む）」の割合が「男性・正社員」は98.8%、「女性・正社員」は92.9%となっている。

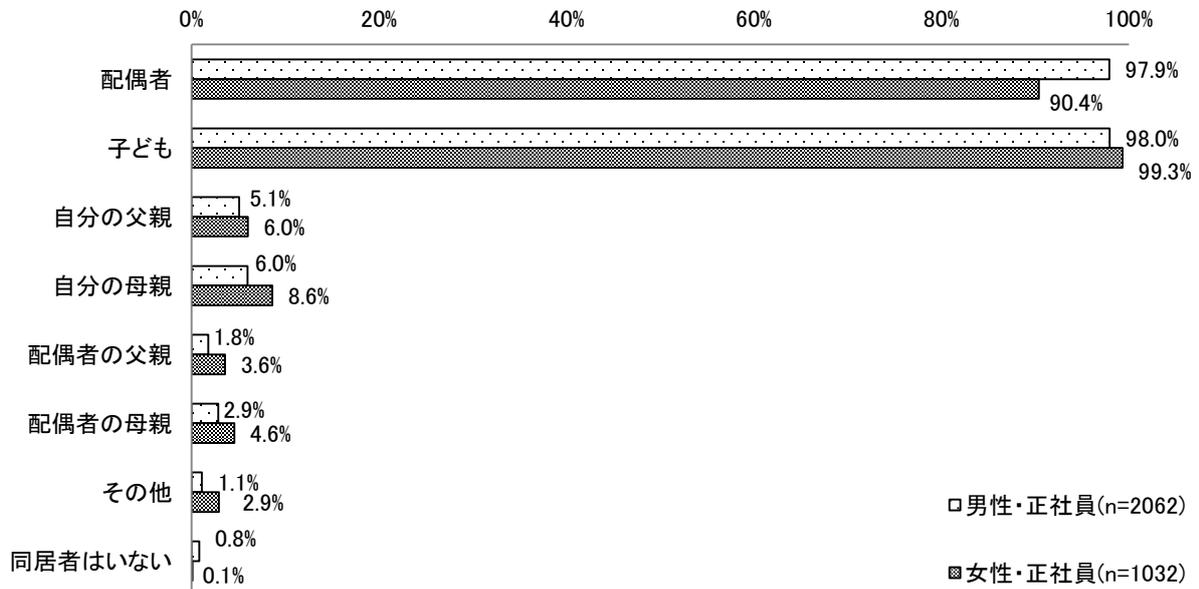
図表Ⅲ-4 配偶者の有無：単数回答(Q8)



(5) 同居者

同居者を見ると、「配偶者」の割合が「男性・正社員」は97.9%、「女性・正社員」は90.4%となっている。「子ども」の割合は、「男性・正社員」で98.0%、「女性・正社員」で99.3%となっている。

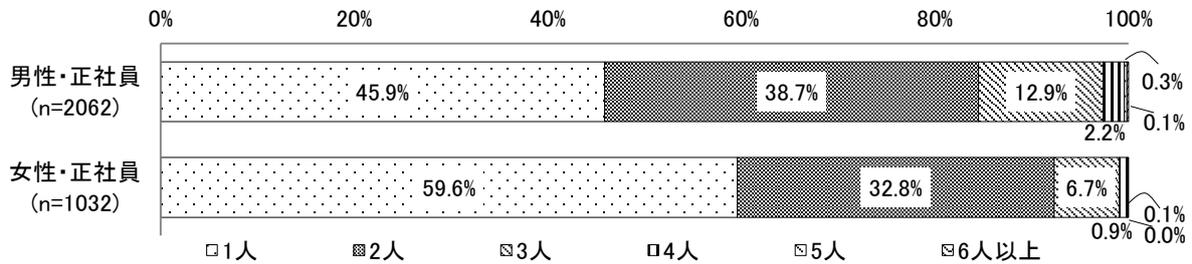
図表Ⅲ-5 同居者：複数回答(Q9)



(6) 子の人数

子の人数をみると、「男性・正社員」「女性・正社員」のいずれも「1人」が4～6割程度、「2人」が3～4割程度を占めている。

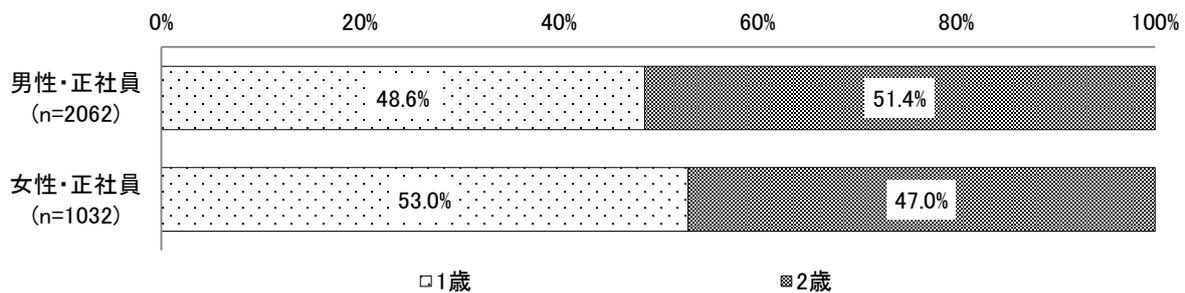
図表Ⅲ-6 子の人数:単数回答(Q3)



(7) 末子の年齢

末子の年齢をみると、「男性・正社員」「女性・正社員」のいずれも「1歳」と「2歳」が5割程度となっている。

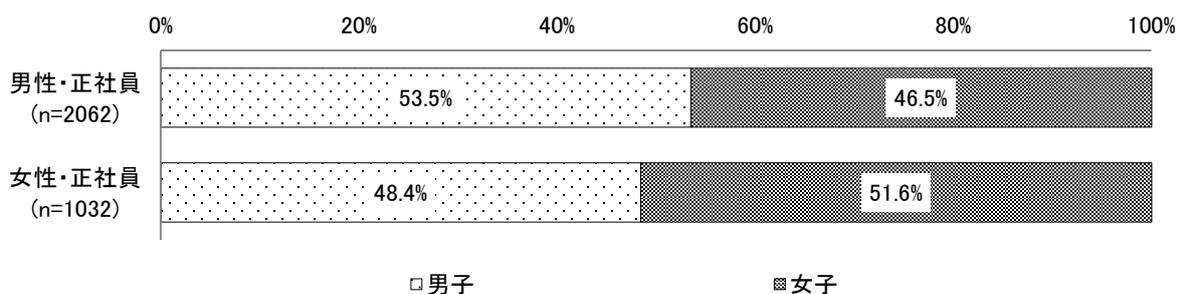
図表Ⅲ-7 末子の年齢:単数回答(Q4)



(8) 末子の性別

末子の年齢をみると、「男性・正社員」「女性・正社員」のいずれも「男子」と「女子」が5割程度となっている。

図表Ⅲ-8 末子の性別:回答(Q11)



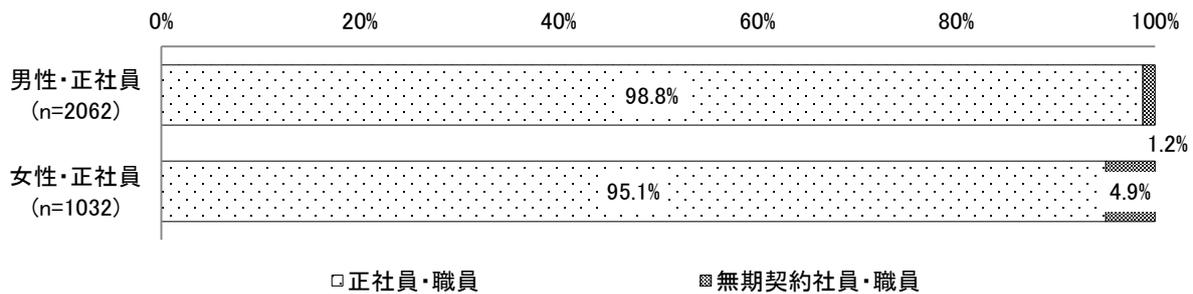
2. 現在の仕事や職場の状況

(1) 就業状況

① 就業状況（本人）

就業状況を見ると、「男性・正社員」では「正社員・職員」が98.8%、「無期契約社員・職員」1.2%となっている。「女性・正社員」では95.1%が「正社員・職員」、4.9%が「無期契約社員・職員」となっている。

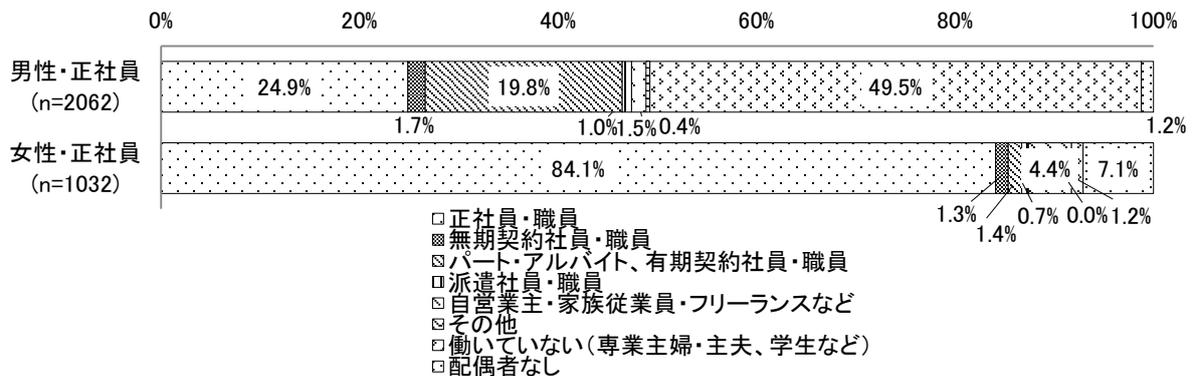
図表Ⅲ-9 就業状況（本人）：単数回答(Q5_1)



② 就業状況（配偶者）

配偶者の就業状況を見ると、「男性・正社員」では、49.5%が「働いていない」、24.9%が「正社員・職員」となっている。「女性・正社員」では、84.1%が「正社員・職員」となっている。

図表Ⅲ-10 就業状況（配偶者）：回答(Q5_2)

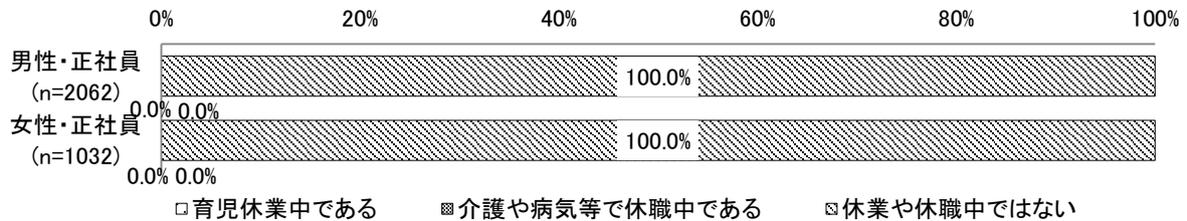


(2) 休業や休職状況

① 休業や休職の状況（本人）

調査対象要件とした通り、男女ともに休業や休職の状況について「休業や休職中ではない」が100%となっている。

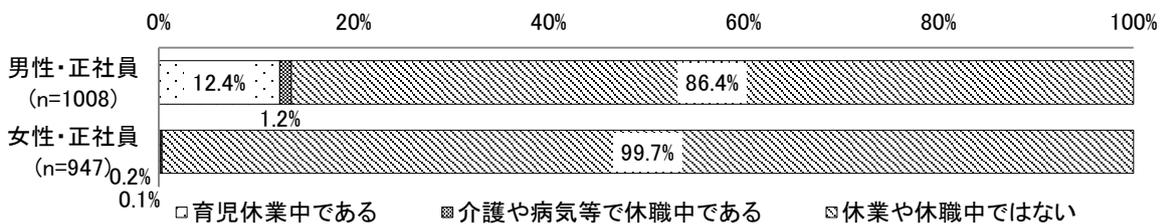
図表Ⅲ-11 休業や休職の状況（本人）：単数回答(Q6_1)



② 休業や休職の状況（配偶者）

配偶者の休業や休職の状況を見ると、「男性・正社員」の12.4%が配偶者が「育児休業中である」となっている。「女性・正社員」では配偶者が、育児や介護等のために休業や休暇中である割合は合わせて0.3%となっている。

図表Ⅲ-12 休業や休職の状況（配偶者）：単純回答(Q6_2)



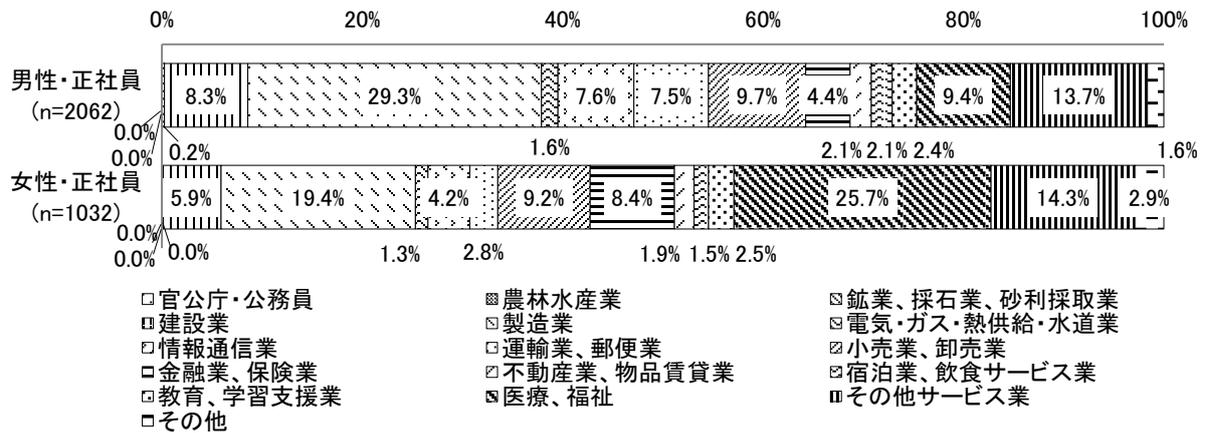
注) Q5_2にて、配偶者が働いている回答者を集計対象とする。

(3) 業種

① 業種（本人）

本人の勤務先の業種をみると、「男性・正社員」は「製造業」(29.3%)、「その他サービス業」(13.7%)、「女性・正社員」は「医療・福祉」(25.7%)、「製造業」(19.4%)の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-13 業種（本人）：単数回答(Q7_1)



<数値表>

	n	官公庁・公務員	農林水産業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業
男性・正社員	2062	0.0	0.0	0.2	8.3	29.3	1.6	7.6	7.5
女性・正社員	1032	0.0	0.0	0.0	5.9	19.4	1.3	4.2	2.8

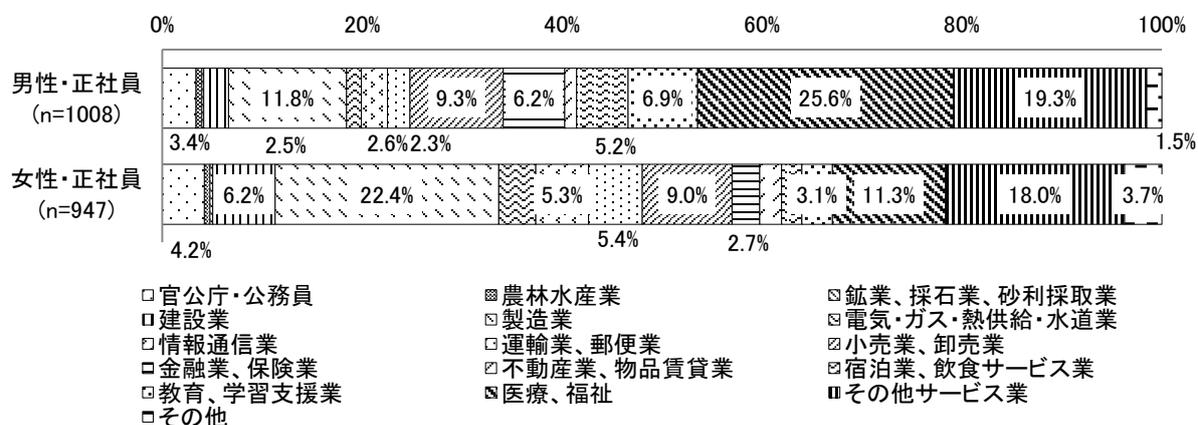
	n	小売業、卸売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	宿泊業、飲食サービス業	教育、学習支援業	医療、福祉	その他サービス業	その他
男性・正社員	2062	9.7	4.4	2.1	2.1	2.4	9.4	13.7	1.6
女性・正社員	1032	9.2	8.4	1.9	1.5	2.5	25.7	14.3	2.9

注) 業種のうち、「官公庁・公務員」および「農林水産業」は調査対象から除かれているため、0.0%となっている。

② 業種（配偶者）

配偶者の勤務先の業種をみると、「男性・正社員」は「医療、福祉」（25.6%）、「その他サービス業」（19.3%）「女性・正社員」は「製造業」（22.4%）、「その他サービス」（18.0%）の割合が高くなっている。

図表Ⅲ-14 業種（配偶者）：単数回答(Q7_2)



<数値表>

	n	官公庁・公務員	農林水産業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業
男性・正社員	1008	3.4	0.6	0.2	2.5	11.8	1.5	2.6	2.3
女性・正社員	947	4.2	0.5	0.3	6.2	22.4	3.7	5.3	5.4

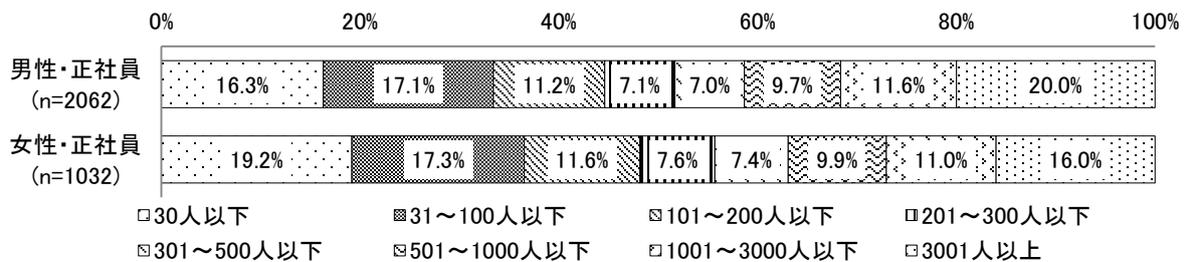
	n	小売業、卸売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	宿泊業、飲食サービス業	教育、学習支援業	医療、福祉	その他サービス業	その他
男性・正社員	1008	9.3	6.2	1.2	5.2	6.9	25.6	19.3	1.5
女性・正社員	947	9.0	2.7	2.2	2.0	3.1	11.3	18.0	3.7

注) Q5_2にて、配偶者が働いているとした回答者を集計対象とする。

(4) 従業員規模

現在勤めている企業の従業員規模をみると、「男性・正社員」は「3001人以上」が20.0%でもっとも高くなっている。「女性・正社員」は「30人以下」が19.2%でもっとも高くなっている。従業員数が301人以上の大企業の割合は、「男性・正社員」で48.3%、「女性・正社員」で44.3%となっている。

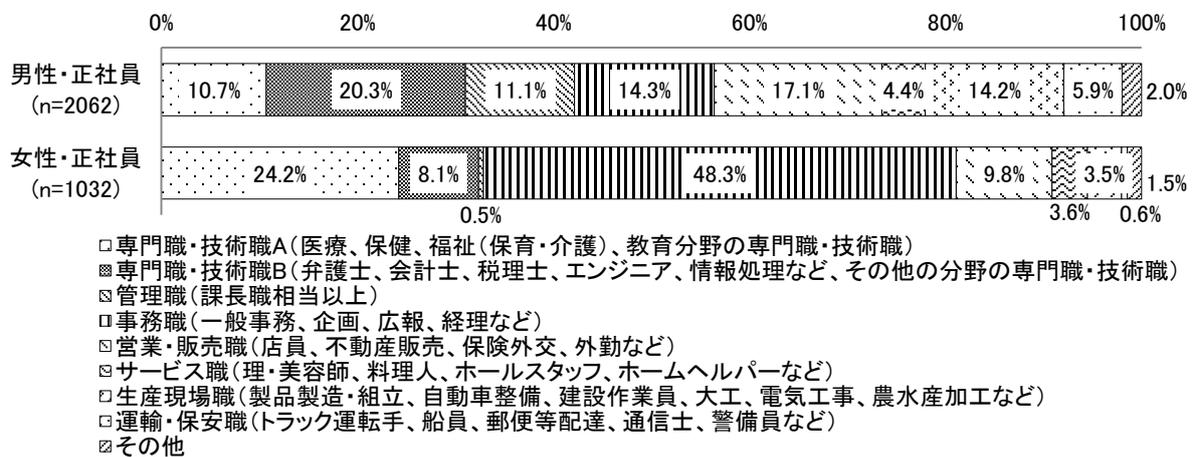
図表Ⅲ-15 従業員規模：単数回答(Q13)



(5) 職種

職種をみると、「男性・正社員」は「専門職・技術職B（弁護士、会計士、税理士、エンジニア、情報処理など、その他の分野）」が20.3%、「営業・販売職」が17.1%を占めている。「女性・正社員」は「事務職」が48.3%、「専門職・技術職A（医療、保健、福祉（保育・介護）、教育分野）」が24.2%を占めている。

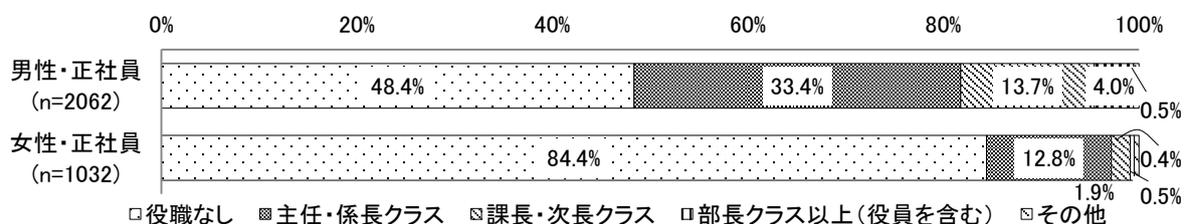
図表Ⅲ-16 職種：単数回答(Q14)



(6) 役職

役職をみると、「男性・正社員」は「役職なし」が48.4%、「主任・係長クラス」が33.4%を占めている。「女性・正社員」は「役職なし」が84.4%、「主任・係長クラス」が12.8%を占めている。

図表Ⅲ-17 役職：単数回答(Q15)

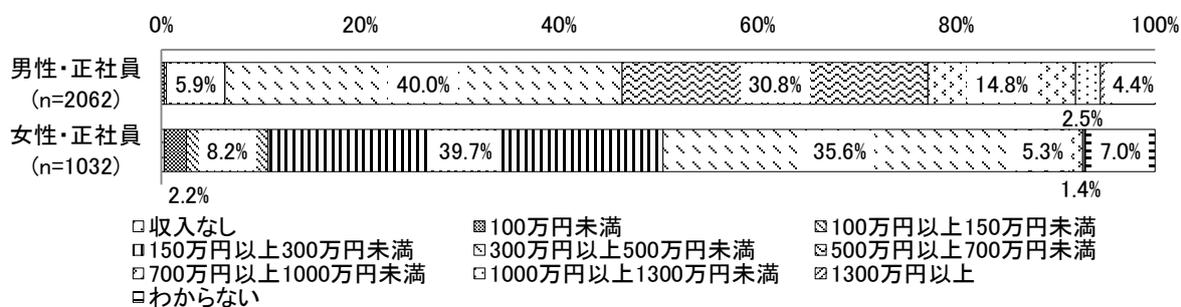


(7) 年収

① 年収（本人）

本人の年収をみると、「男性・正社員」は「300万円以上500万円未満」が40.0%でもっとも高くなっている。「女性・正社員」は「150万円以上300万円未満」が39.7%でもっとも高くなっている。年収が300万円以上の割合は「男性・正社員」で89.2%、「女性・正社員」で40.6%となっている。

図表Ⅲ-18 年収（本人）：単数回答(Q12_1)



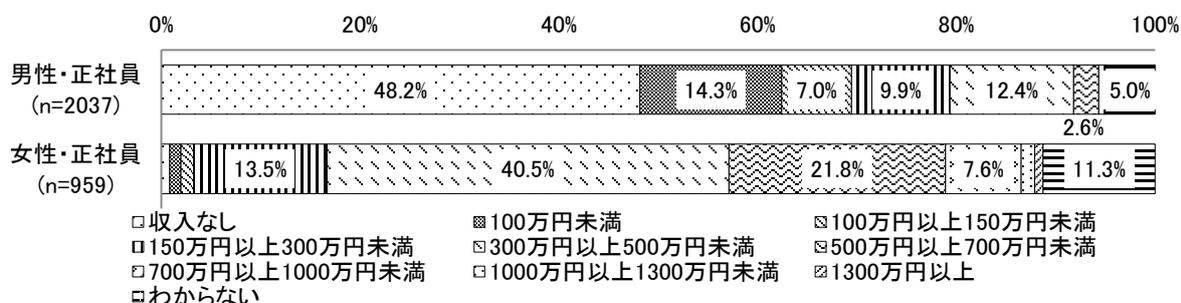
<数値表>

	n	収入なし	100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上300万円未満	300万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上1000万円未満	1000万円以上1300万円未満	1300万円以上	わからない
男性・正社員	2062	0.0	0.3	0.2	5.9	40.0	30.8	14.8	2.5	1.1	4.4
女性・正社員	1032	0.3	2.2	8.2	39.7	35.6	5.3	1.4	0.2	0.1	7.0

② 年収（配偶者）

配偶者の年収をみると、「男性・正社員」は「収入なし」が48.2%、「100万円未満」が14.3%となっている。「女性・正社員」は「300万円以上500万円未満」が40.5%、「500万円以上700万円未満」が21.8%となっている。

図表Ⅲ-19 年収（配偶者）：単数回答(Q12_2)



<数値表>

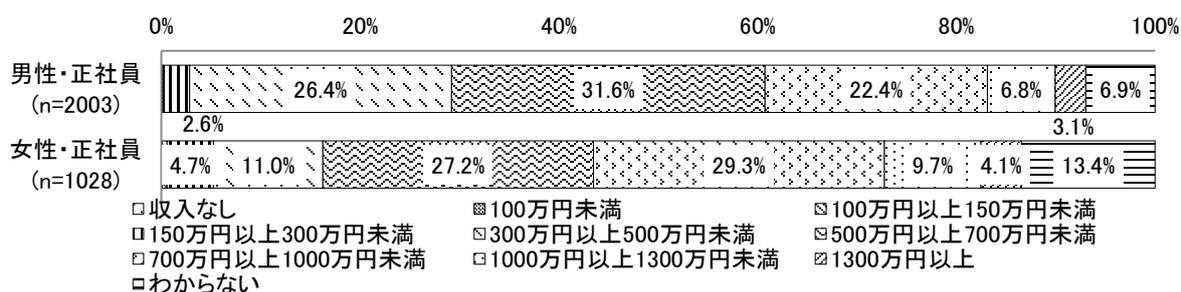
	n	収入なし	100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上300万円未満	300万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上1000万円未満	1000万円以上1300万円未満	1300万円以上	わからない
男性・正社員	2037	48.2	14.3	7.0	9.9	12.4	2.6	0.5	0.1	0.0	5.0
女性・正社員	959	0.8	1.1	1.3	13.5	40.5	21.8	7.6	1.4	0.8	11.3

注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

③ 年収（世帯）

世帯の年収をみると、「男性・正社員」は「500万円以上700万円未満」が31.6%、「300万円以上500万円未満」が26.4%となっている。「女性・正社員」は「700万円以上1000万円未満」が29.3%、「500万円以上700万円未満」が27.2%となっている。

図表Ⅲ-20 年収（世帯）：単数回答(Q12_3)



<数値表>

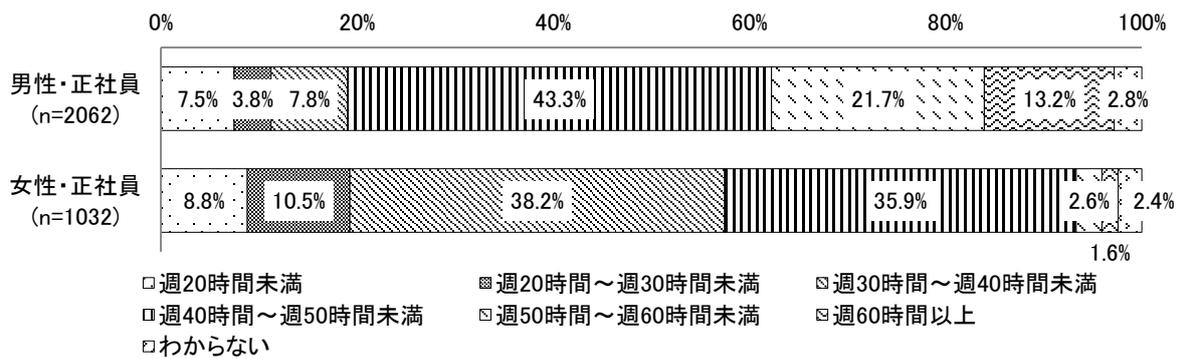
	n	収入なし	100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上300万円未満	300万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上1000万円未満	1000万円以上1300万円未満	1300万円以上	わからない
男性・正社員	2003	0.0	0.1	0.0	2.6	26.4	31.6	22.4	6.8	3.1	6.9
女性・正社員	1028	0.0	0.1	0.5	4.7	11.0	27.2	29.3	9.7	4.1	13.4

(8) 現在の1週間あたりの実労働時間

① 現在の1週間あたりの実労働時間（本人）

本人の1週間あたりの労働時間をみると、「男性・正社員」は「週40時間～週50時間未満」が43.3%、「週50時間～週60時間未満」が21.7%となっている。「女性・正社員」は「週30時間～週40時間未満」が38.2%、「週40時間～週50時間未満」が35.9%となっている。

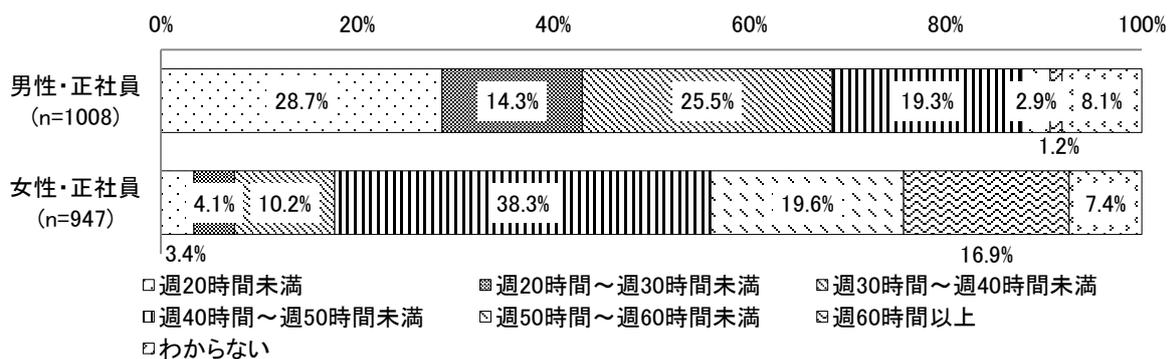
図表Ⅲ-21 現在の1週間あたりの労働時間：単数回答(Q16_1)



② 現在の1週間あたりの実労働時間（配偶者）

配偶者が働いている人について、1週間あたりの労働時間をみると、「男性・正社員」の配偶者は、「週20時間未満」が28.7%、「週30時間～週40時間未満」が25.5%となっている。「女性・正社員」の配偶者は、「週40時間～週50時間未満」が38.3%、「週50時間～週60時間未満」が19.6%となっている。

図表Ⅲ-22 現在の1週間あたりの実労働時間（配偶者）：単数回答(Q16_2)



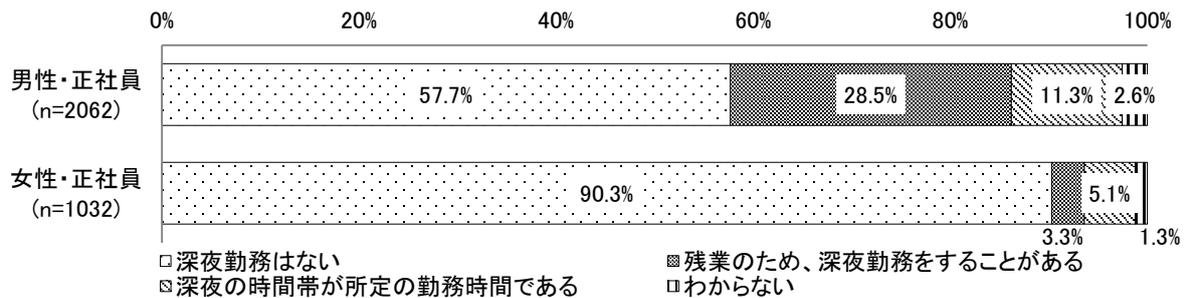
注) Q5_2にて、配偶者が働いているとした回答者を集計対象とする。

(9) 深夜の時間帯の勤務状況

① 深夜の時間帯の勤務状況（本人）

本人の深夜の時間帯の勤務状況をみると、「男性・正社員」は「深夜勤務はない」が57.7%、「残業のため、深夜勤務をすることがある」が28.5%となっている。「女性・正社員」は「深夜勤務はない」が90.3%、「深夜の時間帯が所定の勤務時間である」が5.1%となっている。

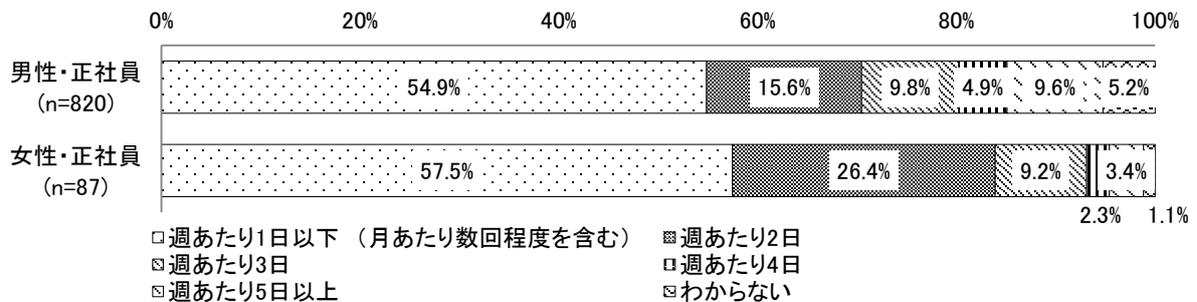
図表Ⅲ-23 深夜の時間帯の勤務状況（本人）：単数回答(Q18_1)



② 深夜の時間帯の勤務頻度（本人）

深夜の時間帯に勤務することがある人について、深夜の時間帯の勤務頻度をみると、「男性・正社員」は「週あたり1日以下」が54.9%、「週あたり2日」が15.6%となっている。「女性・正社員」は「週あたり1日以下」が57.5%、「週あたり2日」が26.4%となっている。

図表Ⅲ-24 深夜の時間帯の勤務頻度（本人）：単数回答(Q19_1)

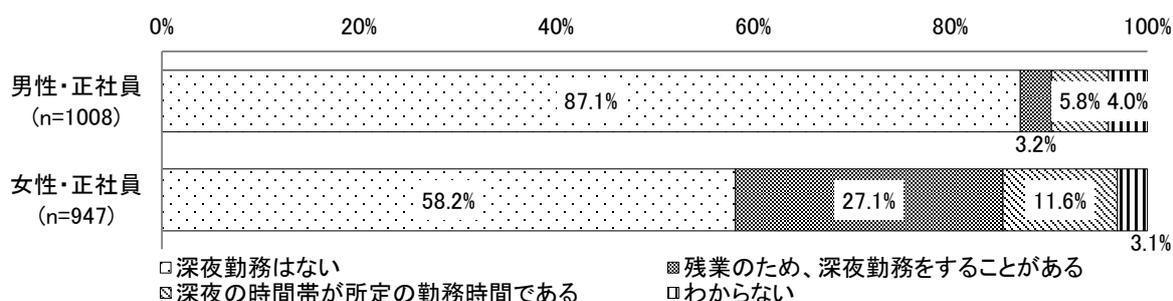


注) Q18_1にて、深夜勤務があったとした回答者を集計対象とする。

③ 深夜の時間帯の勤務状況（配偶者）

配偶者がいる人について、深夜の時間帯の勤務状況をみると、「男性・正社員」の配偶者は「深夜勤務はない」が87.1%、「深夜の時間帯が所定の勤務時間である」が5.8%となっている。「女性・正社員」の配偶者は「深夜勤務はない」が58.2%、「残業のため、深夜勤務をすることがある」が27.1%となっている。

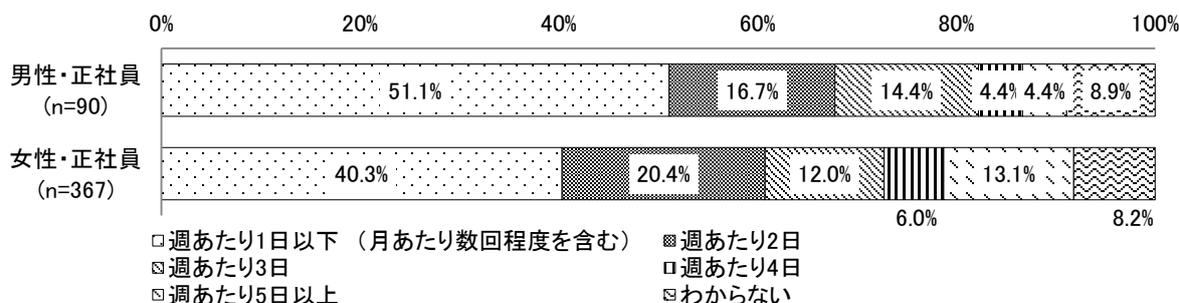
図表Ⅲ-25 深夜の時間帯の勤務状況（配偶者）：単数回答(Q18_2)



④ 深夜の時間帯の勤務頻度（配偶者）

深夜の時間帯に勤務することがある配偶者について、深夜の時間帯の勤務頻度をみると、「男性・正社員」の配偶者は「週あたり1日以下」が51.1%、「週あたり2日」が16.7%となっている。「女性・正社員」の配偶者は「週あたり1日以下」が40.3%、「週あたり2日」が20.4%となっている。

図表Ⅲ-26 深夜の時間帯の勤務頻度（配偶者）：単数回答(Q19_2)



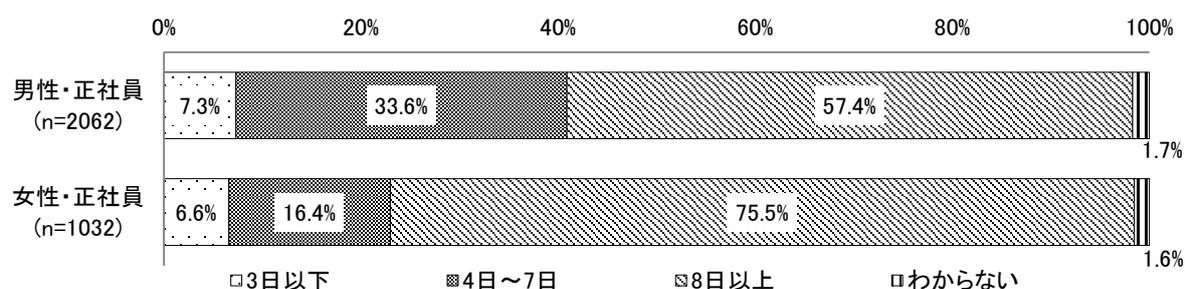
注) Q18_2にて、配偶者に深夜勤務があると回答した回答者を集計対象とする。

(10) 月あたりの休みの日数

① 月あたりの休みの日数（本人）

本人の月あたりの休みの日数をみると、「男性・正社員」は「8日以上」が57.4%、「4日～7日」が33.6%となっている。「女性・正社員」は「8日以上」が75.5%、「4日～7日」が16.4%となっている。

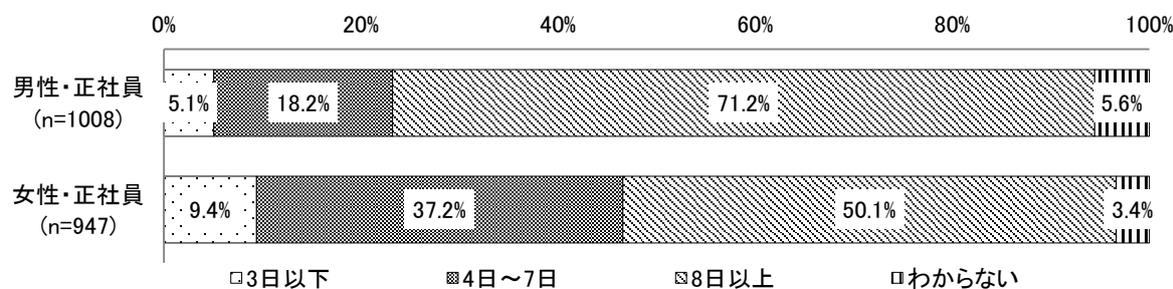
図表Ⅲ-27 月あたりの休みの日数（本人）：単数回答(Q20_1)



② 月あたりの休みの日数（配偶者）

配偶者の月あたりの休みの日数をみると、「男性・正社員」は「8日以上」が71.2%、「4日～7日」が18.2%となっている。「女性・正社員」は「8日以上」が50.1%、「4日～7日」が37.2%となっている。

図表Ⅲ-28 月あたりの休みの日数（配偶者）：単数回答(Q20_2)



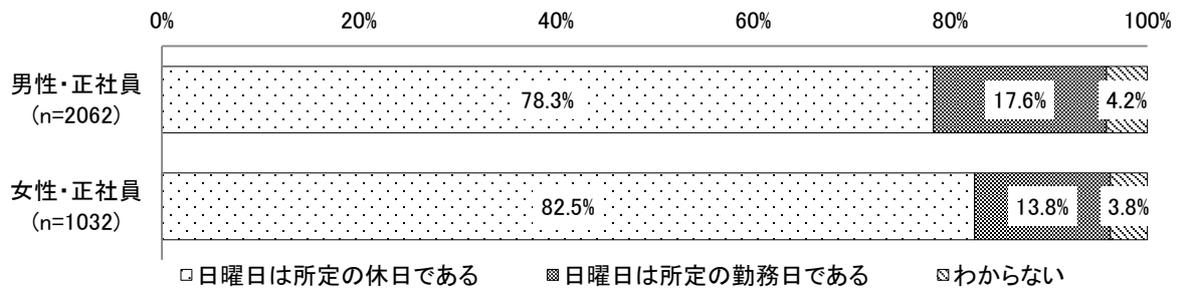
注) Q5_2にて、配偶者が働いているとした回答者を集計対象とする。

(11) 日曜日の勤務状況

① 日曜日の勤務状況（本人）

本人の日曜日の勤務状況をみると、「日曜日は所定の勤務日である」と回答した割合は、「男性・正社員」で17.6%、「女性・正社員」で13.8%となっている。

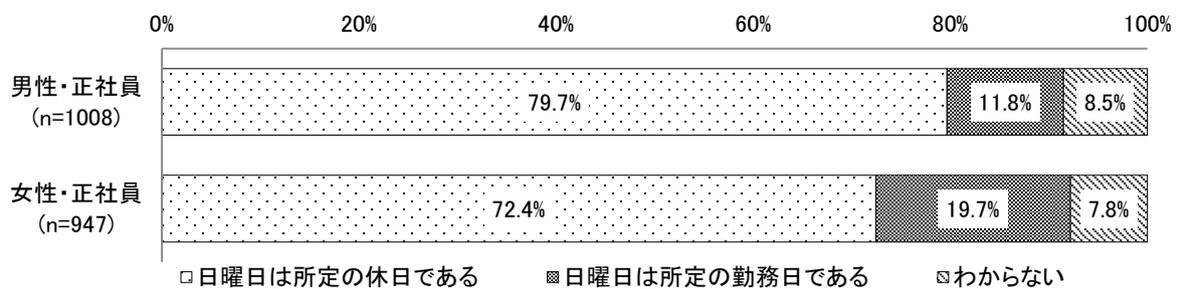
図表Ⅲ-29 日曜日の勤務状況（本人）：単数回答(Q21_1)



② 日曜日の勤務状況（配偶者）

本人の日曜日の勤務状況をみると、「日曜日は所定の勤務日である」と回答した割合は、「男性・正社員」で11.8%、「女性・正社員」で19.7%となっている。

図表Ⅲ-30 日曜日の勤務状況（配偶者）：単数回答(Q21_2)



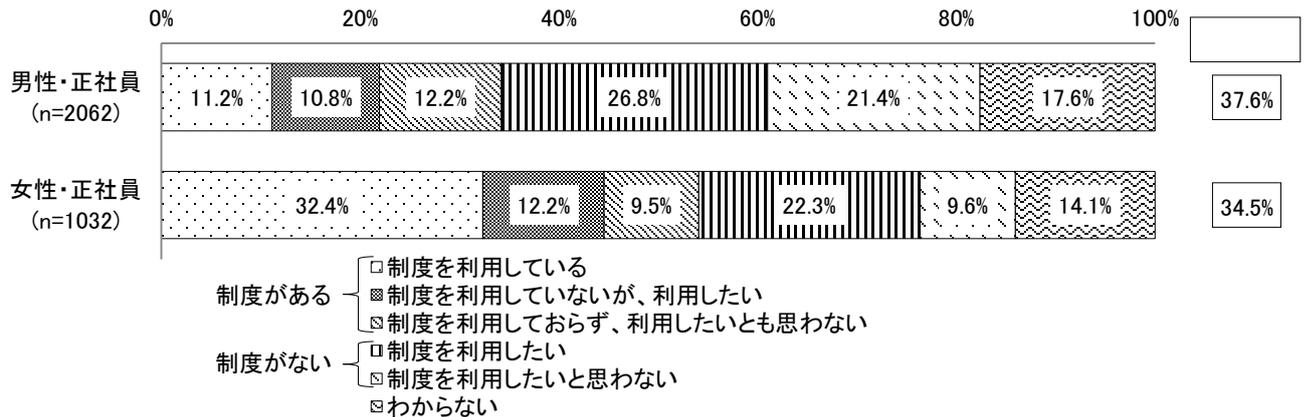
注) Q5_2にて、配偶者が働いているとした回答者を集計対象とする。

(12) 柔軟な働き方を可能にする制度の利用状況

① 始業時刻・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ

柔軟な働き方を可能にする制度について、始業時刻・終業時刻の繰り上げ・繰り下げを利用している割合は、「男性・正社員」で11.2%、「女性・正社員」で32.4%となっている。制度の有無に関わらず、利用希望のある割合は、「男性・正社員」で37.6%、「女性・正社員」で34.5%となっている。

図表Ⅲ-31 始業時刻・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度の利用状況:単数回答(Q17_1)

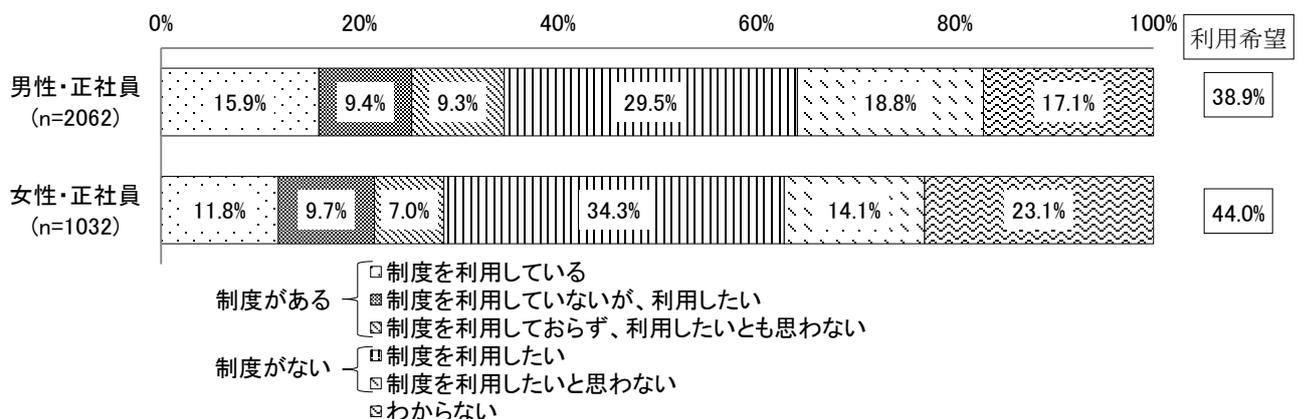


注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用していないが利用したい」「制度がないが制度を利用したい」の合計。

② フレックスタイム制・裁量労働制

柔軟な働き方を可能にする制度について、フレックスタイム制・裁量労働制を利用している割合は、「男性・正社員」で15.9%、「女性・正社員」で11.8%となっている。制度の有無に関わらず、利用希望のある割合は、「男性・正社員」で38.9%、「女性・正社員」で43.0%となっている。

図表Ⅲ-32 フレックスタイム制・裁量労働制の利用状況:単数回答(Q17_2)

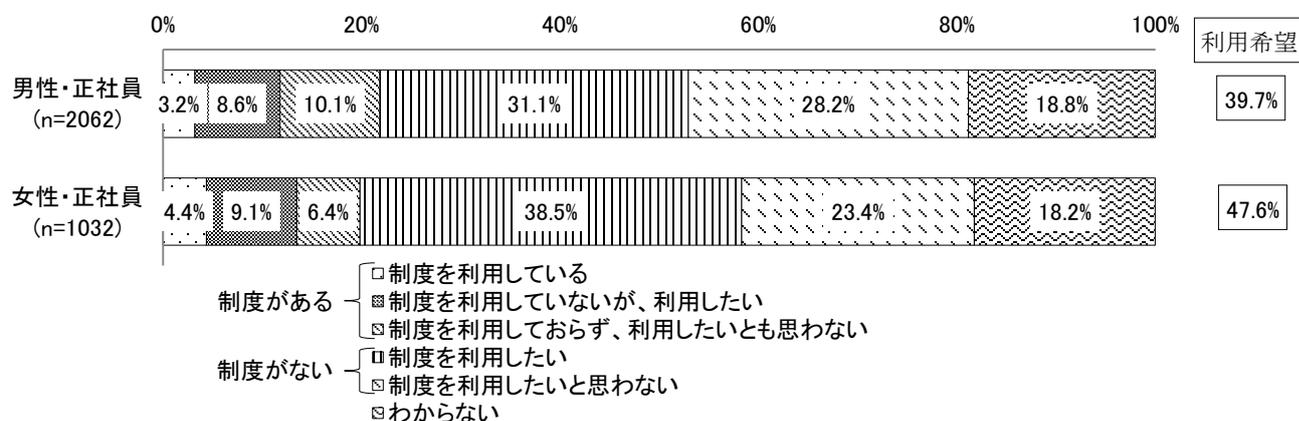


注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用していないが利用したい」「制度がないが制度を利用したい」の合計。

③ 在宅勤務制度

柔軟な働き方を可能にする制度について、在宅勤務制度を利用している割合は、「男性・正社員」で3.2%、「女性・正社員」で4.4%となっている。制度の有無に関わらず、利用希望のある割合は、「男性・正社員」で39.7%、「女性・正社員」で47.6%となっている。

図表Ⅲ-33 在宅勤務制度の利用状況:単数回答(Q17_3)



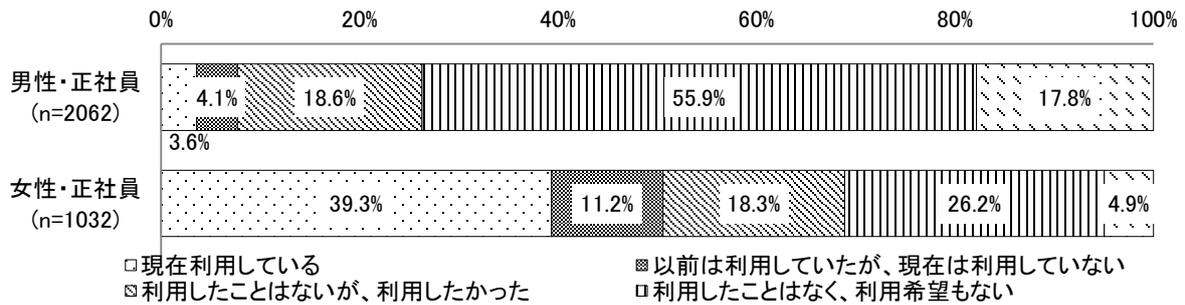
注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用していないが利用したい」「制度がないが制度を利用したい」の合計。

(13) 両立支援制度の利用状況

① 短時間勤務制度の利用状況

両立支援制度の利用状況について、短時間勤務制度を「現在利用している」という割合は、「男性・正社員」で3.6%、「女性・正社員」が39.3%となっている。短時間勤務制度を「以前は利用していたが、現在は利用していない」という割合は、「男性・正社員」で4.1%、「女性・正社員」で11.2%となっている。

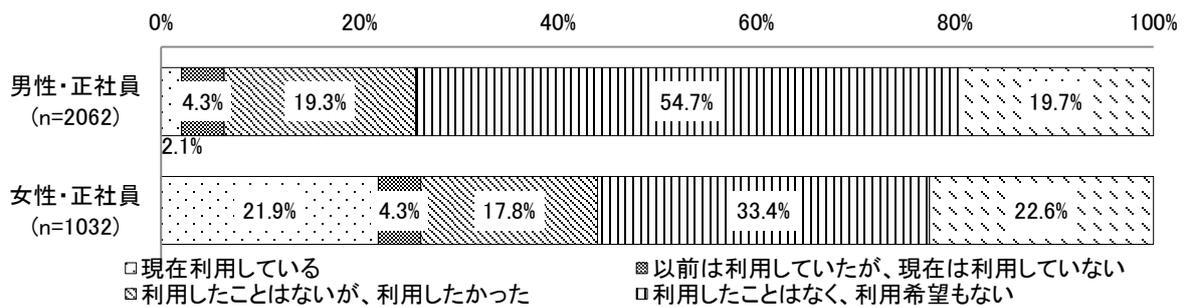
図表Ⅲ-34 短時間勤務制度の利用状況：回答(Q53_1)



② 所定外労働の免除の利用状況

両立支援制度の利用状況について、所定外労働の免除を「現在利用している」という割合は、「男性・正社員」で2.1%、「女性・正社員」が21.9%となっている。所定外労働の免除を「以前は利用していたが、現在は利用していない」という割合は、「男性・正社員」で4.3%、「女性・正社員」で4.3%となっている。

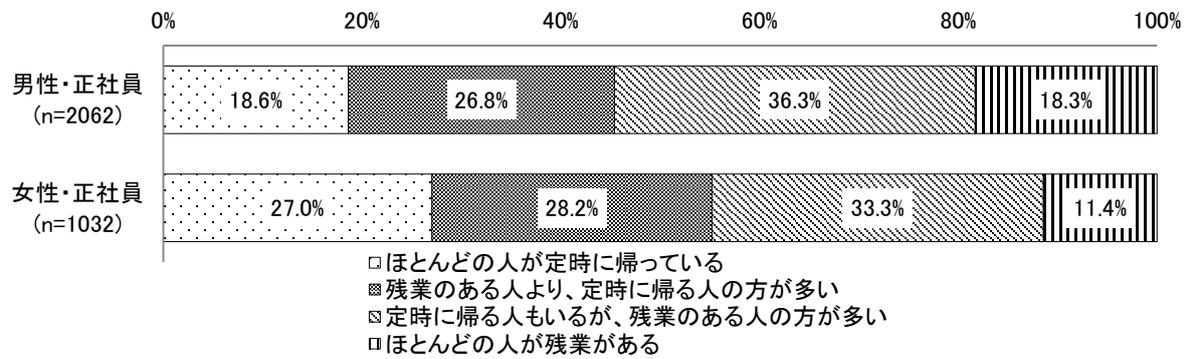
図表Ⅲ-35 所定外労働の免除の利用状況：回答(Q53_2)



(14) 職場の同僚の残業の程度

職場の同僚の残業の程度をみると、男女ともに「定時に帰る人もいるが、残業のある人の方が多い」の割合がもっとも高く（36.3%、33.3%）、次いで「残業のある人より、定時に帰る人の方が多い」の割合が高い（26.8%、28.2%）。

図表Ⅲ-36 職場の同僚の残業の程度：回答(Q22)

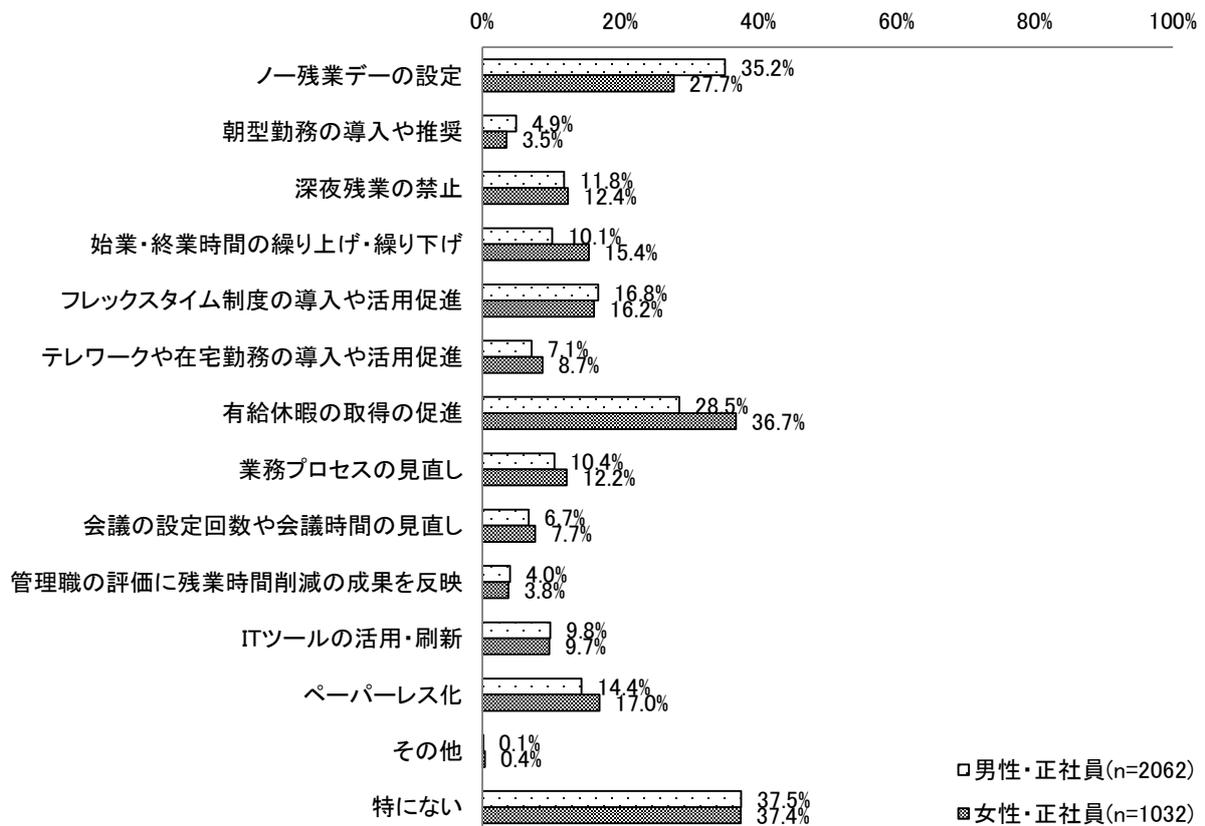


(15) 会社や職場の働き方改革の取り組み

① 会社や職場で行われている働き方改革の取り組み

会社や職場で行われている働き方改革の取り組みをみると、「男性・正社員」では、「特にない」の割合がもっとも高く（37.5%）、次いで「ノー残業デーの設定」（35.2%）、「有給休暇の取得の促進」（28.5%）となっている。「女性・正社員」では、「特にない」の割合がもっとも高く（37.4%）、次いで、「有給休暇の取得の促進」（36.7%）、「ノー残業デーの設定」（27.7%）となっている。

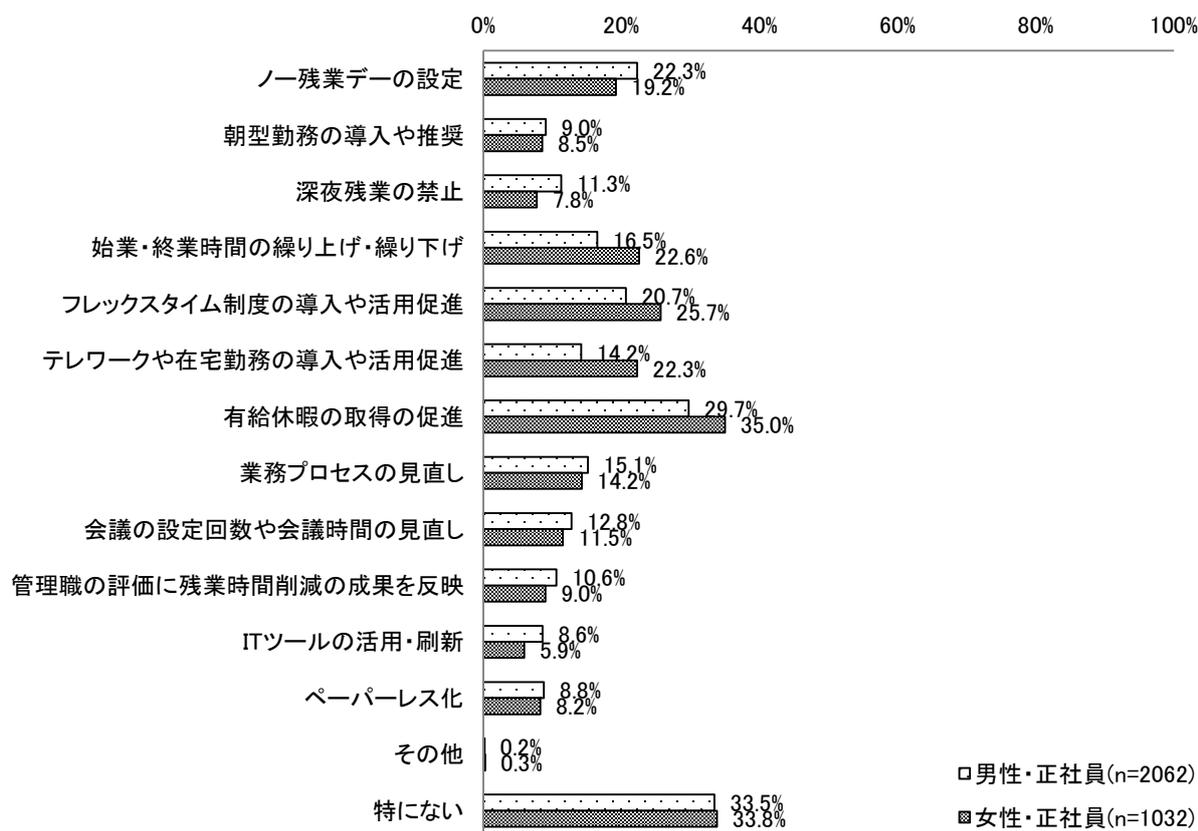
図表Ⅲ-37 会社や職場で行われている働き方改革の取り組み：複数回答(Q54_1)



② 会社や職場に望む働き方改革の取り組み

会社や職場に望む働き方改革の取り組みをみると、「男性・正社員」では、「特にない」の割合がもっとも高く（33.5%）、次いで「有給休暇の取得の促進」（29.7%）、「ノー残業デーの設定」（22.3%）となっている。「女性・正社員」では、「有給休暇の取得の促進」の割合がもっとも高く（35.0%）、次いで、「特にない」（33.8%）、「フレックスタイム制度の導入や活用促進」（25.7%）となっている。

図表Ⅲ-38 会社や職場に望む働き方改革の取り組み：複数回答（Q54_2）



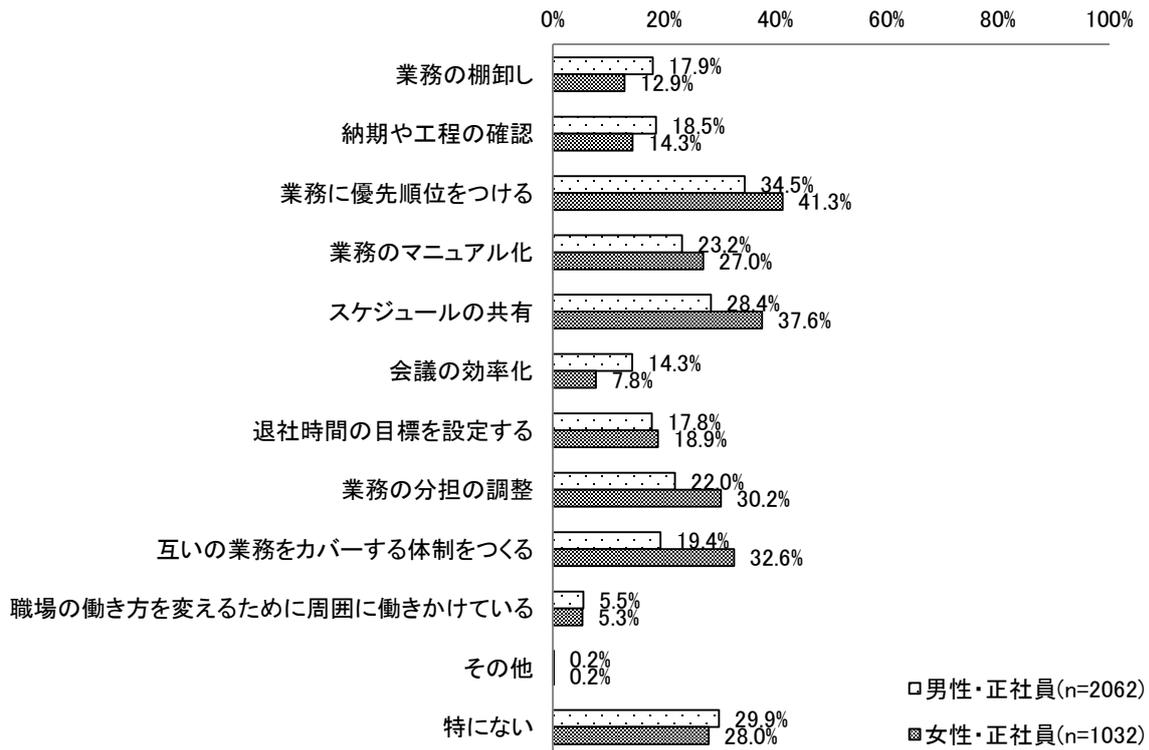
注) 望む取り組み（Q54_2）は実際に取り組み（Q54_1）が行われているか否かに関わらず聴取した。

(16) 効率的な仕事をするために行っている工夫

効率的な仕事をするために行っている工夫をみると、「男性・正社員」では、「業務に優先順位をつける」の割合がもっとも高く（34.5%）、次いで「スケジュールの共有」（28.4%）、「業務のマニュアル化」（23.2%）、「業務の分担の調整」（22.0%）となっている。

「女性・正社員」では、「業務に優先順位をつける」の割合がもっとも高く（41.3%）、「スケジュールの共有」（37.6%）、「互いの業務をカバーする体制をつくる」（32.6%）、「業務の分担の調整」（30.2%）となっている。

図表Ⅲ-39 効率的な仕事をするために行っている工夫：複数回答（Q55）



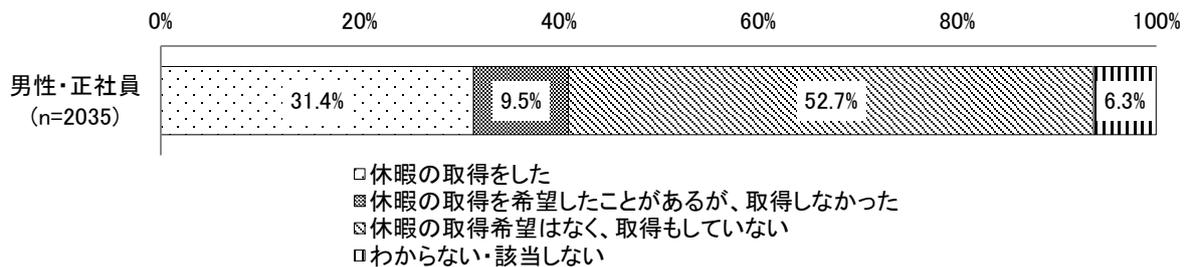
3. 末子の妊娠・出産時の状況

(1) 女性（妻）が末子妊娠中の男性（夫）の休暇の取得状況

① 女性（妻）が末子妊娠中の男性（夫）の休暇の取得状況（男性）

配偶者が末子を妊娠している時に、男性が休暇を取得したかどうかをみると、「休暇の取得をした」が31.4%、「休暇の取得を希望したことがあるが、取得しなかった」が9.5%、「休暇の取得希望はなく、取得もしていない」が52.7%を占めている。

図表Ⅲ-40 末子妊娠中の夫の休暇の取得有無と休暇の取得希望（男性回答者本人の取得有無および取得希望）：単数回答(Q23)

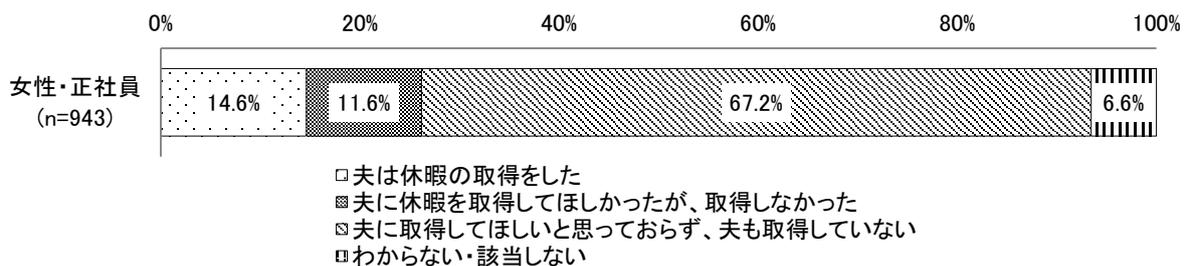


注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 女性（妻）が末子妊娠中の男性（夫）の休暇の取得状況（女性）

女性が妊娠中のときに、配偶者である男性（夫）が休暇を取得したかどうかをみると、「夫は休暇を取得した」が14.6%、「夫に休暇を取得してほしいだったが、取得しなかった」が11.6%、「夫に取得してほしいと思っておらず、夫も取得していない」が67.2%を占めている。

図表Ⅲ-41 末子妊娠中の夫の休暇の取得有無と夫に対する休暇の取得の希望の有無（女性回答者の配偶者の取得有無および配偶者に対する取得希望）：単数回答(Q23)



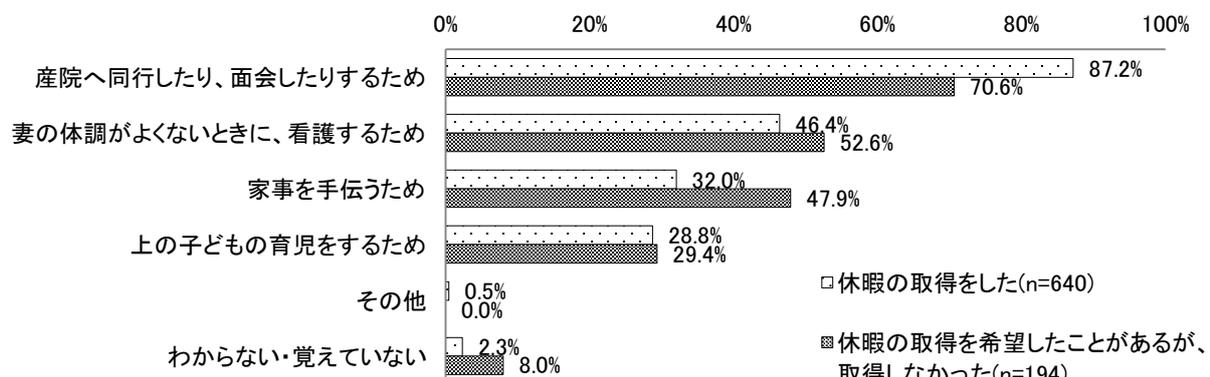
注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(2) 女性（妻）が末子妊娠中の男性（夫）の休暇の取得の理由

① 女性（妻）の末子妊娠中に男性回答者が休暇を取得した理由および取得を希望した理由

女性（妻）の末子妊娠中に、男性回答者が休暇を取得した理由をみると、「産院へ同行したり、面会したりするため」の割合が最も高く（87.2%）、次いで「妻の体調がよくないときに看護するため」（46.4%）となっている。また、女性（妻）の妊娠中に、男性回答者が休暇を取得しなかったものの、取得希望があった場合の希望理由をみると、「産院へ同行したり、面会したりするため」（70.6%）、「妻の体調がよくないときに、看護するため」（52.6%）となっている。

図表Ⅲ-42 妻の末子妊娠中に男性回答者が休暇を取得した理由および取得を希望した理由：複数回答（Q23×Q24）

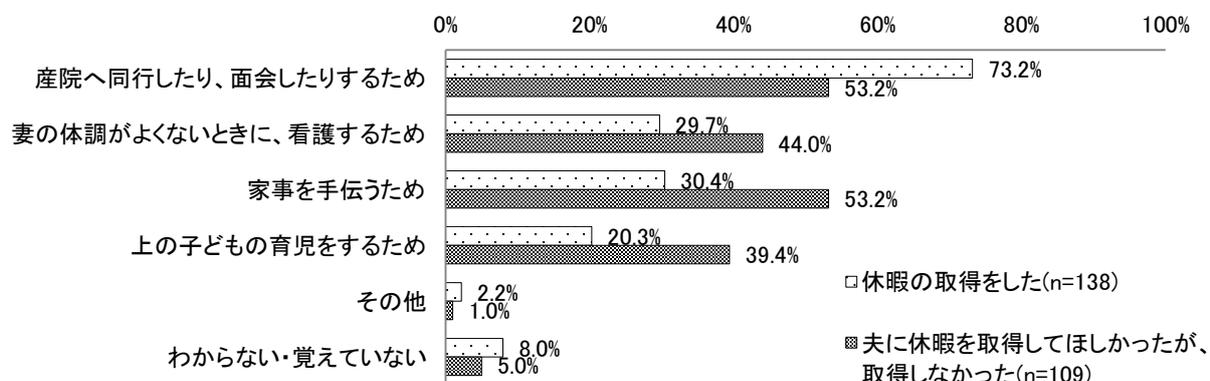


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 女性回答者が末子妊娠中に配偶者が休暇を取得した理由および女性回答者が配偶者に取得してほしい理由

女性回答者が妊娠中に、配偶者である男性（夫）が休暇を取得した理由をみると、「産院へ同行したり、面会したりするため」の割合が最も高く（73.2%）、次いで「家事を手伝うため」（30.4%）となっている。また、女性回答者が妊娠中に、配偶者である男性（夫）が取得をしなかったが、夫に取得をしてほしい理由をみると「産院へ同行したり、面会したりするため」（53.2%）、「家事を手伝うため」（53.2%）となっている。

図表Ⅲ-43 末子妊娠中に女性回答者の配偶者が休暇を取得した理由および女性回答者が配偶者に取得してほしい理由：複数回答（Q23×Q24）



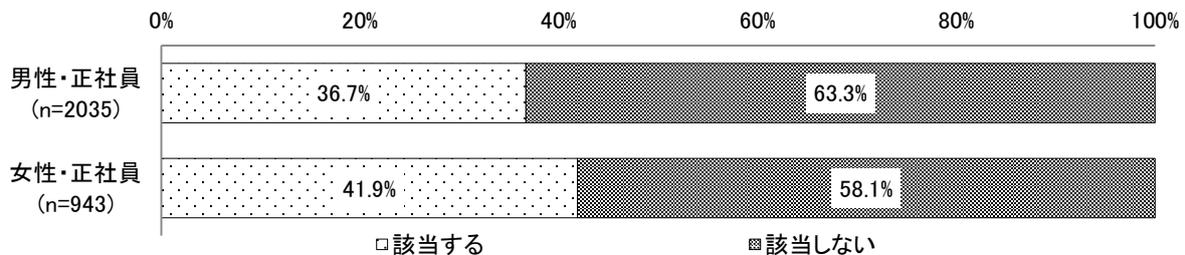
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(3) 末子の出産時の状況

① 里帰り出産

末子の出産時の状況として、里帰り出産に該当する割合は、「男性・正社員」で36.7%、「女性・正社員」で41.9%となっている。

図表Ⅲ-44 里帰り出産の有無：単数回答(Q25_1)

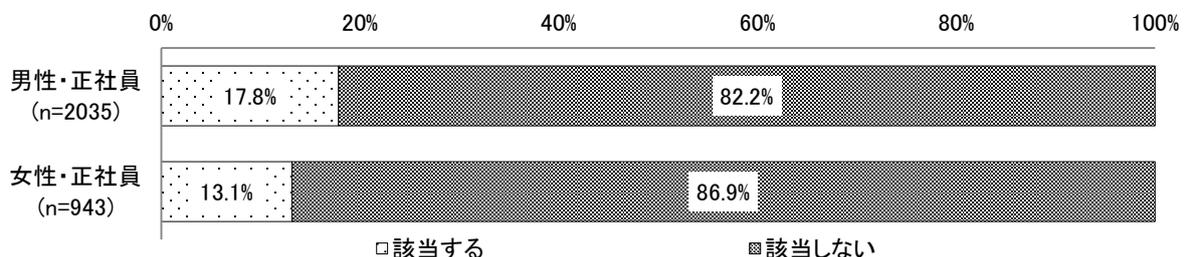


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) 男性回答者には、配偶者が里帰り出産をしたか否かを聴取した。

② 里帰り出産への夫の同行

末子の出産時の状況として、里帰り出産に夫が同行した割合は、「男性・正社員」で17.8%、「女性・正社員」で13.1%となっている。

図表Ⅲ-45 里帰り出産への夫の同行の有無：単数回答(Q25_2)

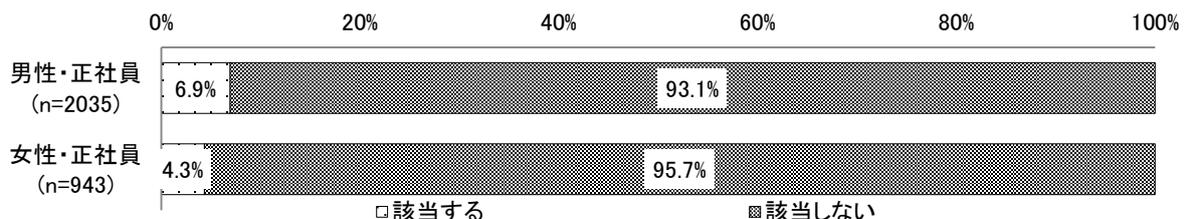


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 自宅出産

末子の出産時の状況として、自宅出産に該当する割合は、「男性・正社員」で6.9%、「女性・正社員」で4.3%となっている。

図表Ⅲ-46 自宅出産の有無：単数回答(Q25_3)

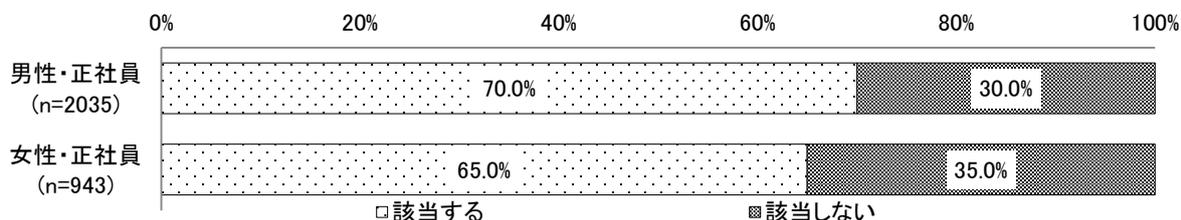


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 夫の出産の立ち会い

末子の出産時の状況として、夫が出産に立ち会った割合は、「男性・正社員」で70.0%、「女性・正社員」で65.0%となっている。

図表Ⅲ-47 夫の出産の立ち会い有無:単数回答(Q25_4)

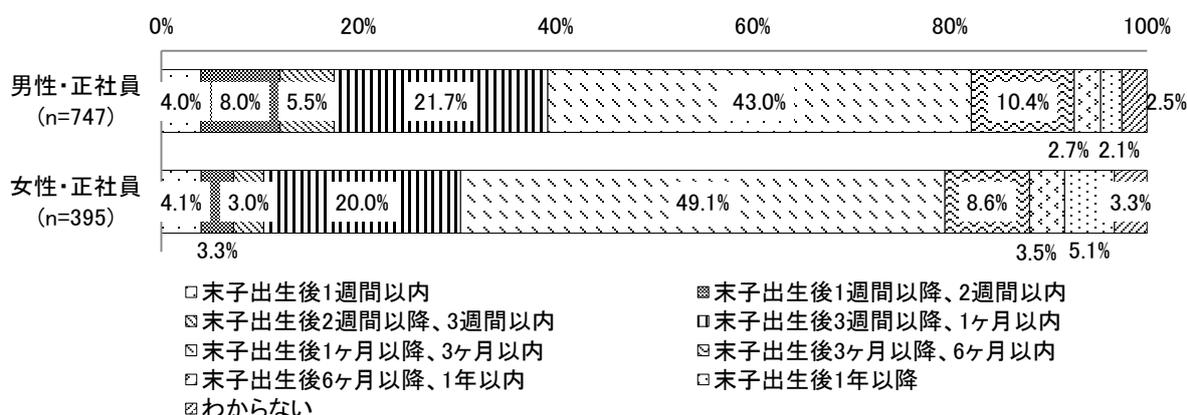


注) 就業形態(「男性・正社員」「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

(4) 里帰り出産からふだんの生活にもどるまでの期間

里帰り出産をした人について、妻がふだんの生活にもどるまでの期間をみると、男女ともに「末子出生後1ヶ月以降、3ヶ月以内」の割合がもっとも高く(43.0%、49.1%)、次いで「末子出生後3週間以降、1ヶ月以内」の割合が高い(21.7%、20.0%)。

図表Ⅲ-48 里帰り出産からふだんの生活にもどるまでの期間:単数回答(Q26)



注) 就業形態(「男性・正社員」「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

4. 末子妊娠・出産時の仕事の状況

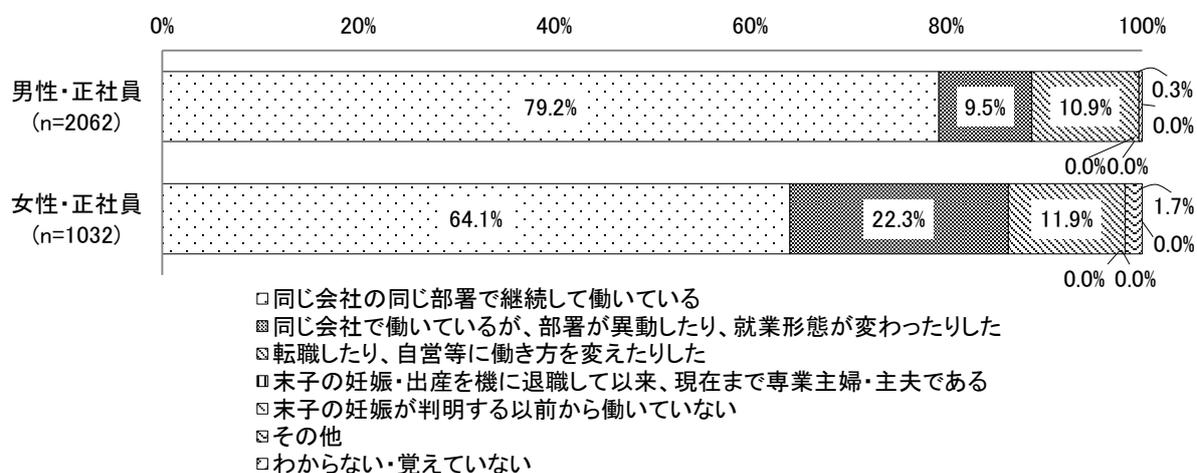
(1) 末子妊娠・出産時から現在までの就業継続状況

① 末子妊娠・出産時から現在までの就業継続状況（本人）

本人の末子の妊娠・出産時から現在までの就業継続状況をみると、「男性・正社員」では「同じ会社の同じ部署で継続して働いている」が79.2%、「同じ会社で働いているが、部署が異動したり、就業形態が変わったりした」が9.5%、「転職したり、自営等に働き方を変えたりした」が10.9%となっている。

「女性・正社員」では、「同じ会社の同じ部署で継続して働いている」が64.1%、「同じ会社で働いているが、部署が異動したり、就業形態が変わったりした」が22.3%、「転職したり、自営等に働き方を変えたりした」が11.9%となっている。

図表Ⅲ-49 末子妊娠・出産時から現在までの就業継続状況（本人）：単数回答(Q27_1)



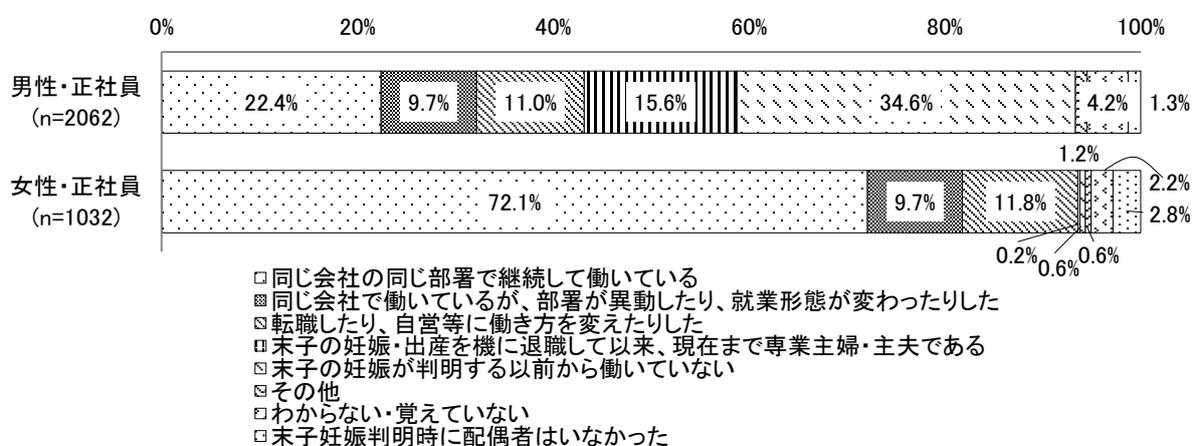
注) 調査回答者は、調査時点において「正社員・職員」または「無期契約社員・職員」である者である。そのため「末子の妊娠・出産を機に退職して以来、現在まで専業主婦・主夫である」「末子の妊娠が判明する以前から働いていない」は0.0%となっている。

② 末子妊娠・出産時から現在までの就業継続状況（配偶者）

配偶者の末子の妊娠・出産時から現在までの就業継続状況をみると、「男性・正社員」では「同じ会社の同じ部署で継続して働いている」が22.4%、「同じ会社で働いているが、部署が異動したり、就業形態が変わったりした」が9.7%、「転職したり、自営等に働き方を変えたりした」が11.0%となっている。また、「末子の妊娠・出産を機に退職して以来、現在まで専業主婦・主夫である」が15.6%、「末子の妊娠が判明する以前から働いていない」が34.6%となっている。

「女性・正社員」では、「同じ会社の同じ部署で継続して働いている」が72.1%、「同じ会社で働いているが、部署が異動したり、就業形態が変わったりした」が9.7%、「転職したり、自営等に働き方を変えたりした」が11.8%となっている。

図表Ⅲ-50 末子妊娠・出産時から現在までの就業継続状況（配偶者）：単数回答(Q27_2)

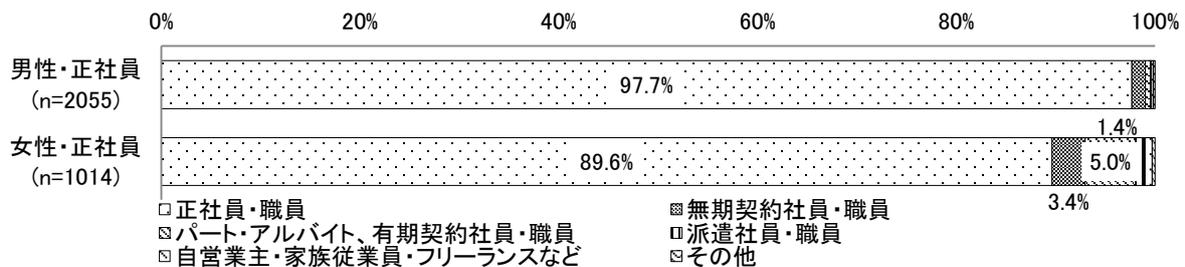


(2) 末子妊娠判明当時の就業形態

① 末子妊娠判明当時の就業形態（本人）

末子妊娠判明当時の本人の就業形態をみると、「男性・正社員」の97.7%、「女性・正社員」の89.6%が「正社員・職員」となっている。また、「男性・正社員」の1.4%、「女性・正社員」の3.4%が「無期契約社員・職員」となっている。

図表Ⅲ-51 末子妊娠判明当時の就業形態（本人）：単数回答(Q28_1)



<数値表>

	n	正社員・職員	無期契約社員・職員	パート・アルバイト、有期契約社員・職員	派遣社員・職員	自営業主・家族従業員・フリーランスなど	その他
男性・正社員	2055	97.7	1.4	0.5	0.1	0.2	0.1
女性・正社員	1014	89.6	3.4	5.0	1.0	0.7	0.3

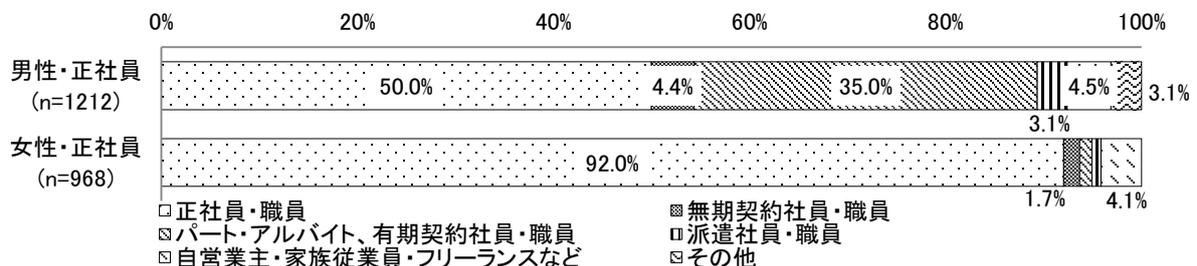
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) Q27_1にて、末子妊娠判明時に働いていたとした回答者を集計対象とする。

② 末子妊娠判明当時の就業形態（配偶者）

末子妊娠判明ときに配偶者が働いていた人について、配偶者の就業形態をみると、「男性・正社員」では、「正社員・職員」が50.0%、「無期契約社員・職員」が4.4%、「パート・アルバイト、有期契約社員・職員」が35.0%となっている。「女性・正社員」では、「正社員・職員」が92.0%となっている。

図表Ⅲ-52 末子妊娠判明当時の就業形態（配偶者）：単数回答(Q28_2)



<数値表>

	n	正社員・職員	無期契約社員・職員	パート・アルバイト、有期契約社員・職員	派遣社員・職員	自営業主・家族従業員・フリーランスなど	その他
男性・正社員	1212	50.0	4.4	35.0	3.1	4.5	3.1
女性・正社員	968	92.0	1.7	1.2	0.9	4.1	0.0

注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

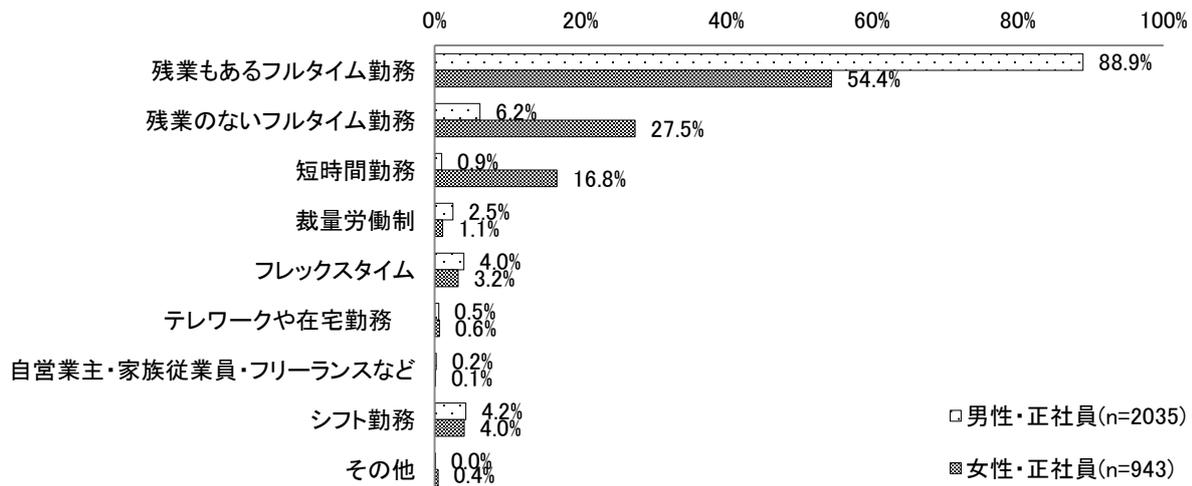
注) Q27_2にて、配偶者が末子妊娠判明時に働いていたとした回答者を集計対象とする。

(3) 末子妊娠判明当時の働き方

① 末子妊娠判明当時の働き方（本人）

末子妊娠判明当時の本人の働き方をみると、「男性・正社員」は「残業もあるフルタイム勤務」が 88.9%となっている。「女性・正社員」は「残業もあるフルタイム勤務」が 54.4%、「残業のないフルタイム勤務」が 27.5%、「短時間勤務」が 16.8%となっている。

図表Ⅲ-53 末子妊娠判明当時の働き方（本人）：複数回答(Q29_1)

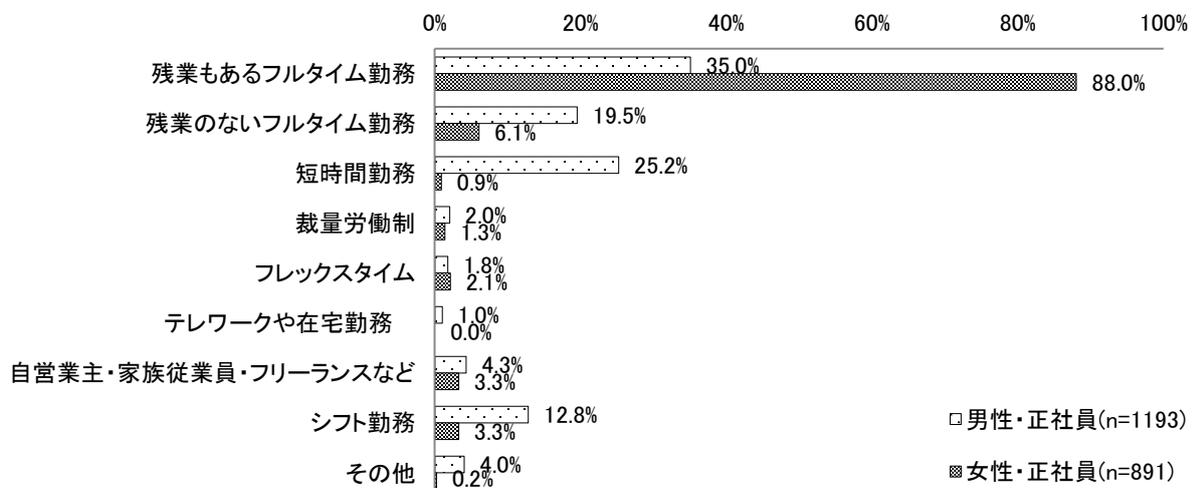


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 末子妊娠判明当時の働き方（配偶者）

末子妊娠判明当時の配偶者の働き方をみると、「男性・正社員」は「残業もあるフルタイム勤務」が 35.0%、「短時間勤務」が 25.2%、「残業のないフルタイム勤務」が 19.5%となっている。「女性・正社員」は「残業もあるフルタイム勤務」が 88.0%となっている。

図表Ⅲ-54 末子妊娠判明当時の働き方（配偶者）：複数回答(Q29_2)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

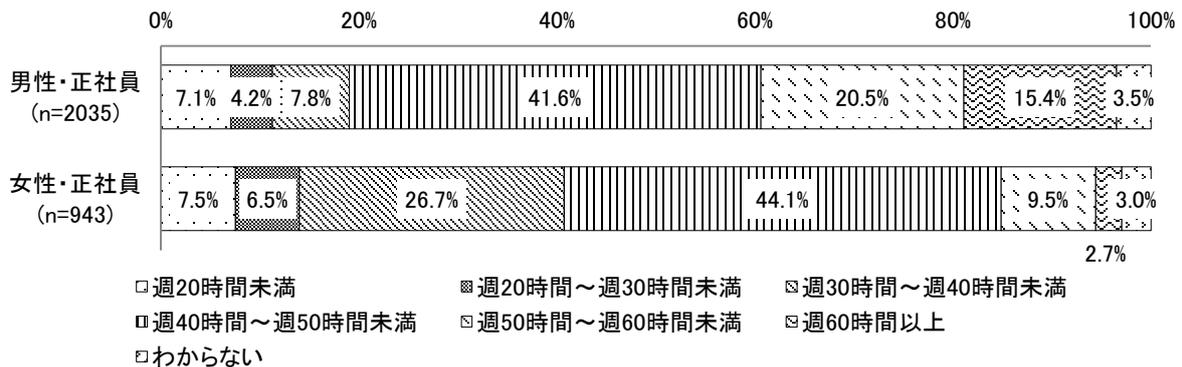
注) Q27_2にて、配偶者が末子妊娠判明時に働いていたとした回答者を集計対象とする。

(4) 末子妊娠判明時の1週間あたりの労働時間

① 末子妊娠判明時の1週間あたりの労働時間（本人）

末子妊娠判明当時の本人の1週間あたりの労働時間をみると、「男性・正社員」は「週40時間～週50時間未満」がもっとも高く（41.6%）、次いで「週50時間～週60時間未満」が高い（20.5%）。「女性・正社員」は「週40時間～週50時間未満」がもっとも高く（44.1%）、次いで「週30時間～週40時間未満」が高い（26.7%）。

図表Ⅲ-55 末子妊娠判明時の1週間あたりの労働時間（本人）：単数回答(Q30_1)

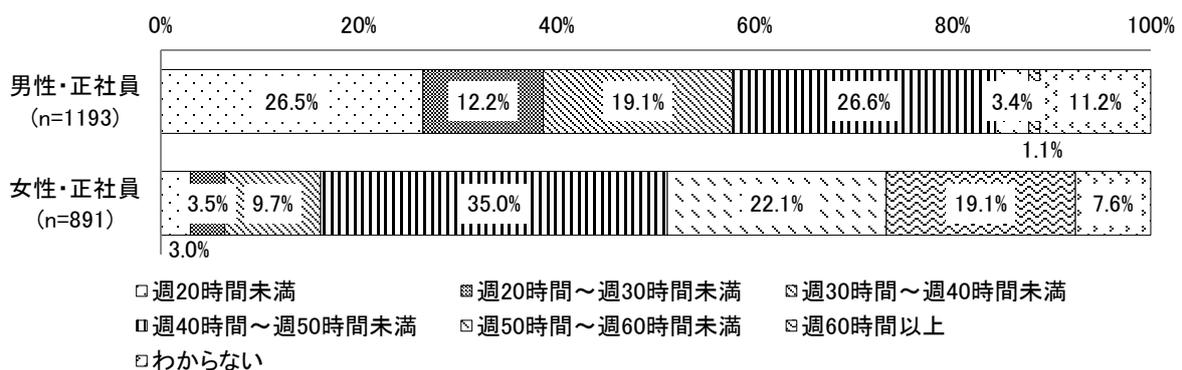


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 末子妊娠判明時の1週間あたりの労働時間（配偶者）

末子妊娠判明当時の配偶者の1週間あたりの労働時間をみると、「男性・正社員」は「週40時間～週50時間未満」がもっとも高く（26.6%）、次いで「週20時間未満」が高い（26.5%）。「女性・正社員」は「週40時間～週50時間未満」がもっとも高く（35.0%）、次いで「週50時間～週60時間未満」が高い（22.1%）。

図表Ⅲ-56 末子妊娠判明時の1週間あたりの労働時間（配偶者）：単数回答(Q30_2)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

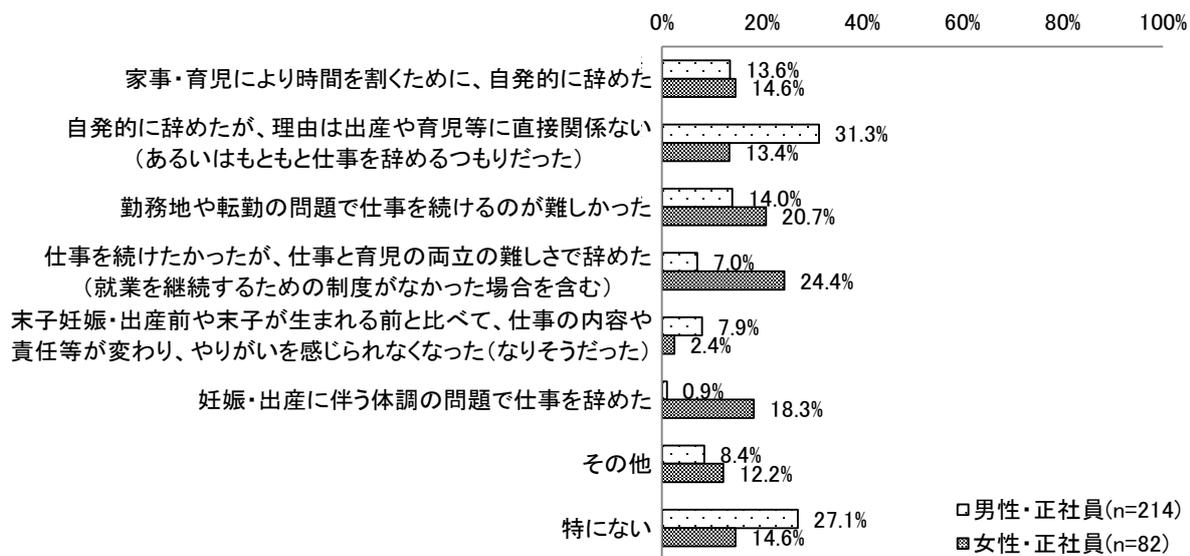
注) Q27_2にて、配偶者が末子妊娠判明時に働いていたとした回答者を集計対象とする。

(5) 末子妊娠判明当時の仕事を辞めた理由

末子妊娠当時の仕事を辞めた人について（転職含む）、その仕事を辞めた理由をみると、「男性・正社員」は「自発的に辞めたが、理由は出産や育児等に直接関係ない」の割合がもっとも高く（31.3%）、次いで「特にない」（27.1%）、「勤務地や転勤の問題で仕事を続けるのが難しかった」（14.0%）となっている。

「女性・正社員」は、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた」の割合がもっとも高く（24.4%）、次いで「勤務地や転勤の問題で仕事を続けるのが難しかった」（20.7%）、「妊娠・出産に伴う体調の問題で仕事を辞めた」（18.3%）となっている。

図表Ⅲ-57 末子妊娠判明当時の仕事を辞めた理由：複数回答(Q32)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) Q27_1にて、末子妊娠判明当時の仕事を辞めた（転職を含む）とした回答者を集計対象とする。

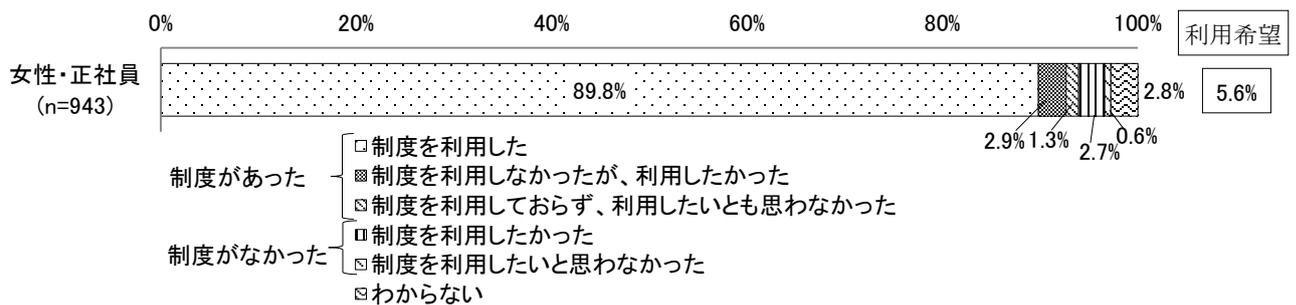
5. 末子の出産・育児を目的とした休暇・休業の取得

(1) 出産・育児を目的とした休暇・休業の取得有無および取得の希望（本人）

① 産後休業制度（本人）

本人の産後休業制度の取得有無をみると、「制度を利用した」という割合は「女性・正社員」で89.8%となっている。制度の有無に関わらず、利用の希望があった割合は「女性・正社員」で5.6%となっている。

図表Ⅲ-58 産後休業制度（本人）：単数回答(Q33_1)



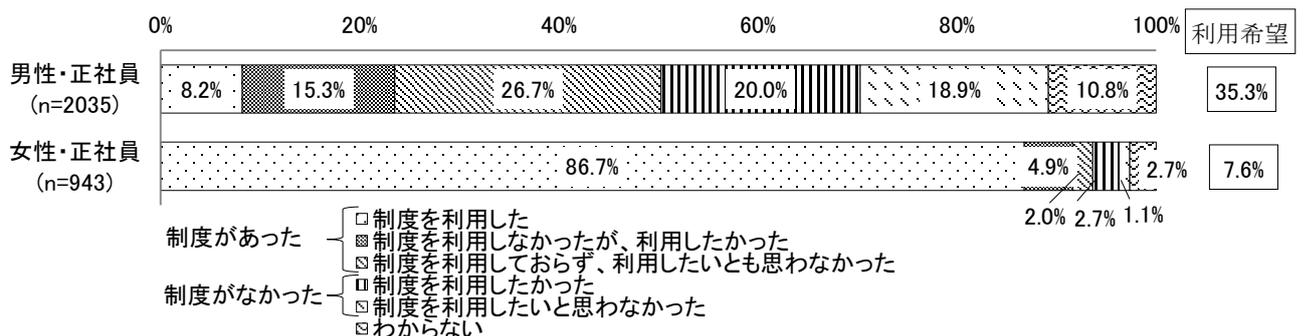
注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用していないが利用したい」「制度がないが制度を利用したい」の合計。

② 育児休業制度（本人）

本人の育児休業制度の取得有無をみると、「制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で8.2%、「女性・正社員」で86.7%となっている。制度の有無に関わらず、利用の希望があった割合は、「男性・正社員」で35.3%、「女性・正社員」で7.6%となっている。

図表Ⅲ-59 育児休業制度（本人）：単数回答(Q33_2)



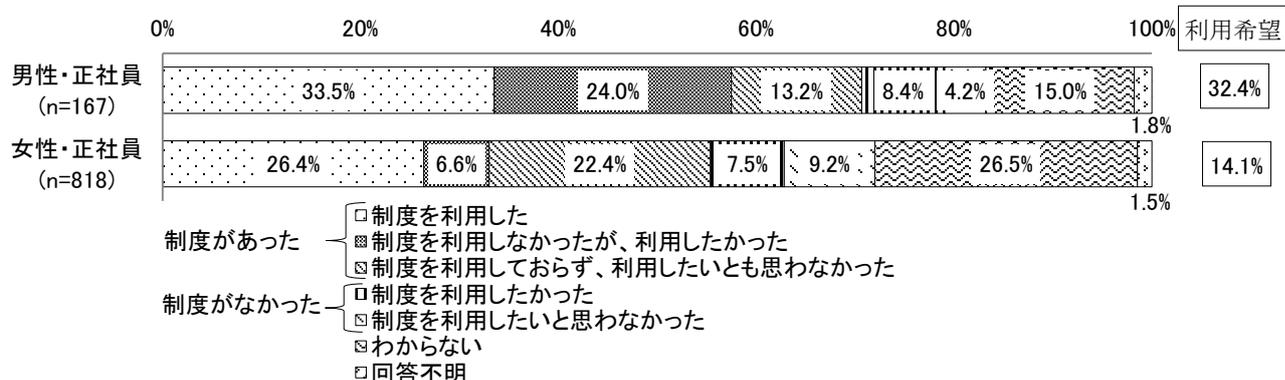
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用していないが利用したい」「制度がないが制度を利用したい」の合計。

③ 育児休業制度（再取得）（本人）

育児休業制度を取得した人について、末子の育児のために育児休業制度を2回目以上取得したかどうかをみると、「制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で33.5%、「女性・正社員」で26.4%となっている。制度の有無に関わらず、利用の希望があった割合は、「男性・正社員」で32.4%、「女性・正社員」で14.1%となっている。

図表Ⅲ-60 育児休業制度（再取得）（本人）：単数回答(Q33_3)



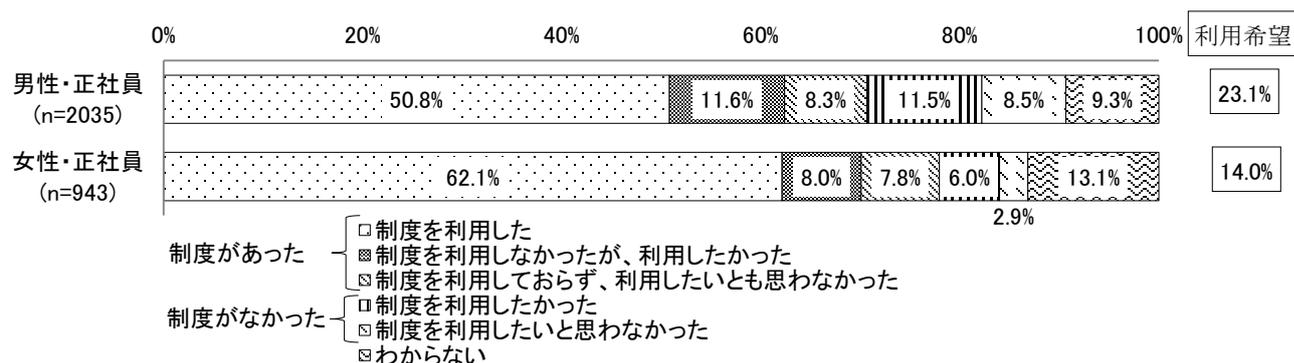
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用しなかったが利用したかった」「制度がなかったが制度を利用したかった」の合計。

④ 年次有給休暇制度（本人）

本人の年次有給休暇制度の取得有無をみると、「制度を利用した」割合は「男性・正社員」で50.8%、「女性・正社員」で62.1%となっている。制度の有無に関わらず、利用の希望があった割合は、「男性・正社員」で23.1%、「女性・正社員」で14.0%となっている。

図表Ⅲ-61 年次有給休暇制度（本人）：単数回答(Q33_4)



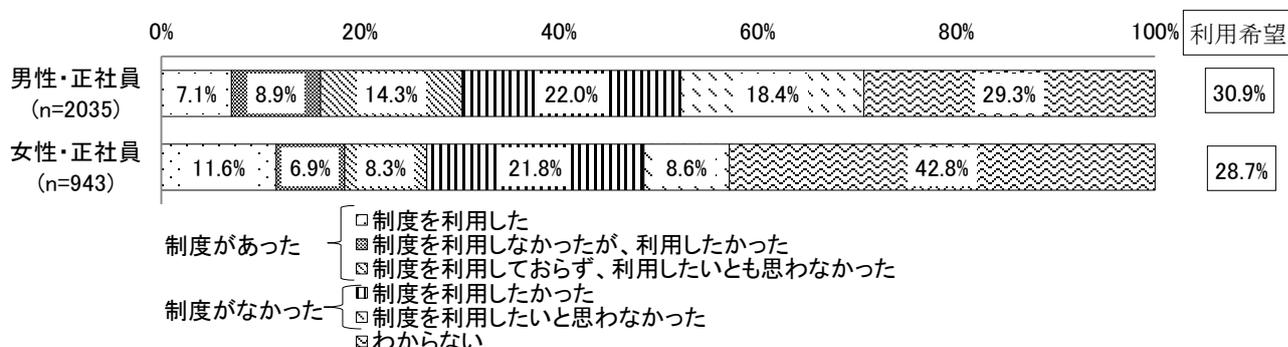
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用しなかったが利用したかった」「制度がなかったが制度を利用したかった」の合計。

⑤ 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（本人）

本人の失効年次有給休暇の積み立て等の制度の取得有無をみると、「制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で7.1%、「女性・正社員」で11.6%となっている。制度の有無に関わらず、利用の希望があった割合は、「男性・正社員」で30.9%、「女性・正社員」で28.7%となっている。

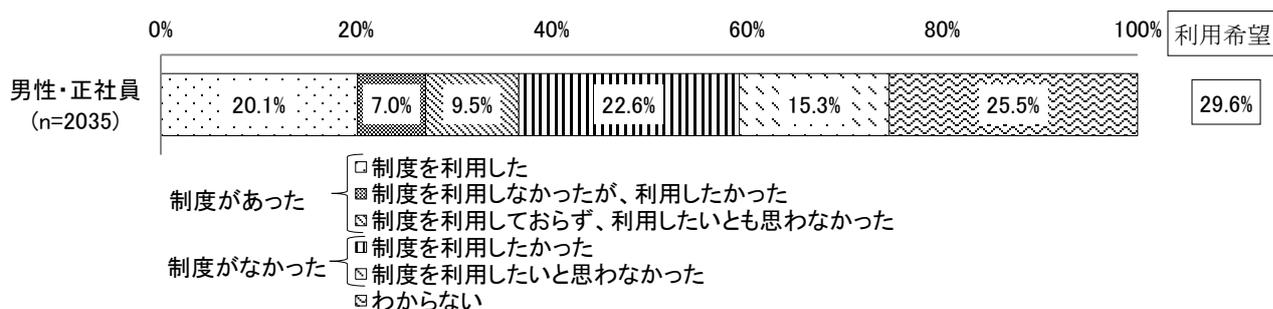
図表Ⅲ-62 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（本人）：単数回答(Q33_5)



⑥ 配偶者出産休暇制度（本人）

本人の配偶者出産休暇制度の取得有無をみると、「男性・正社員」の20.1%が「制度を利用した」となっている。制度の有無に関わらず、利用の希望があった割合は、「男性・正社員」の29.6%となっている。

図表Ⅲ-63 配偶者出産休暇制度（本人）：単数回答(Q33_6)

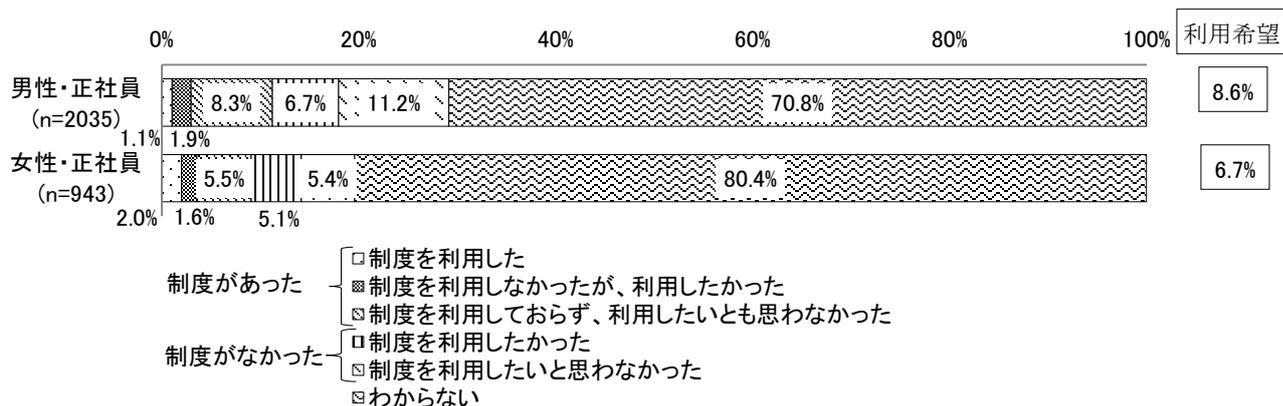


⑦ その他の制度

本人のその他の制度の取得有無をみると、「制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で1.1%、「女性・正社員」で2.0%となっている。制度を利用しなかったが、利用の希望があった割合は、「男性・正社員」で8.6%、「女性・正社員」で6.7%となっている。

その他の制度の内容として、「通院休暇」「マタニティ休暇」「リフレッシュ休暇」「看護休暇」「傷病休暇」などの回答がみられた。

図表Ⅲ-64 その他の制度：単数回答(Q33_7)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「利用希望」は、「制度があり、制度を利用しなかったが利用したかった」「制度がなかったが制度を利用したかった」の合計。

⑧ 休暇・休業の取得状況（男性）

「男性・正社員」の休暇・休業の取得状況をみると、「育児休業を取得」が8.2%、「育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得」が68.0%、「いずれの休暇・休業も非取得」が23.8%となっている。

図表Ⅲ-65 休暇・休業の取得状況（男性）：Q33・Q44



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「Q33. 出産・育児を目的とした休暇・休業の取得有無および取得の希望」において、いずれの制度についても利用していないと回答する一方、「Q44. 夫の休暇・休業取得のタイミング」において、いずれかのタイミングで休暇・休業を取得した、という回答者を「利用制度不明だが休暇・休業の取得がある」とみなし、これらの回答者を「いずれの休暇・休業も非取得」ではなく、「育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得」に含めている。

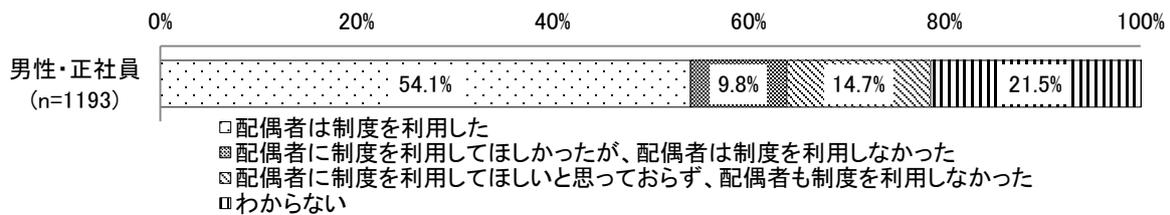
注) 平成29年仕事と育児の両立支援に関わる総合的研究会（第6回）に提出した「平成29年度仕事と育児の両立に関する実態把握のための調査研究事業_労働者調査結果（速報）」では、本図表と類似の数値をもとにクロス集計を行ったが、速報ではQ33のみをもとにクロス軸を作成していた。

(2) 配偶者の休暇・休業の取得有無および配偶者に対する取得希望

① 産後休業制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）

配偶者の産後休業制度の取得有無をみると、「配偶者は制度を利用した」という割合は「男性・正社員」の54.1%となっている。「配偶者に制度を利用してほしかったが、配偶者は制度を利用しなかった」割合は、「男性・正社員」の9.8%となっている。

図表Ⅲ-66 産後休業制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）：単数回答(Q34_1)

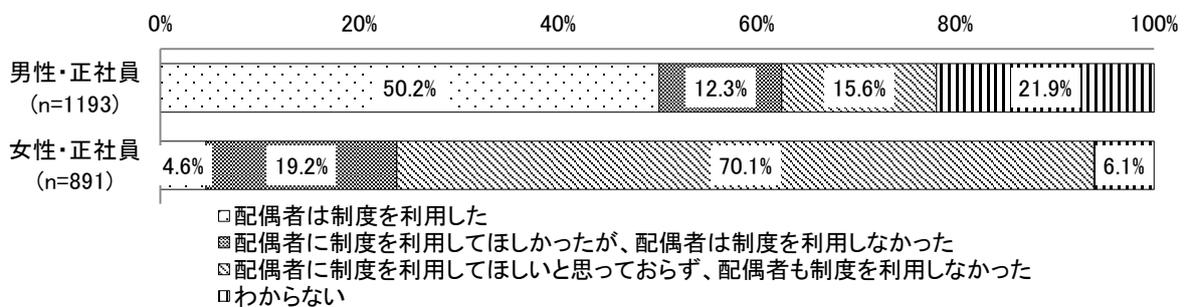


注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 育児休業制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）

配偶者の育児休業制度の取得有無をみると、「配偶者は制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で50.2%、「女性・正社員」で4.6%となっている。「配偶者に制度を利用してほしかったが、配偶者は制度を利用しなかった」割合は、「男性・正社員」で12.3%、「女性・正社員」で19.2%となっている。

図表Ⅲ-67 育児休業制度（配偶者の取得と配偶者への取得希望）：単数回答(Q34_2)

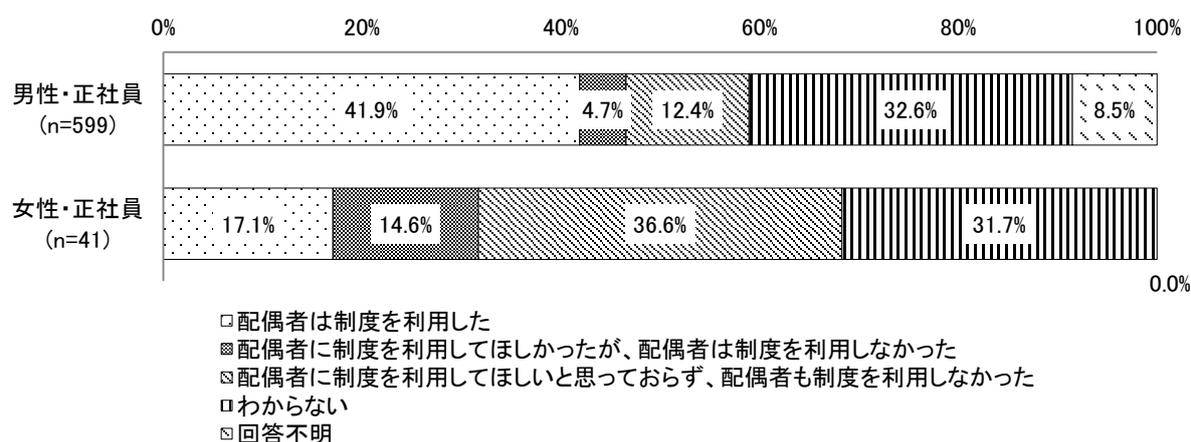


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 育児休業制度（再取得）（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）

育児休業を取得した配偶者について、末子の育児のために育児休業を2回以上取得したかどうかをみると、「配偶者は制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で41.9%、「女性・正社員」で17.1%となっている。「配偶者に制度を利用してほしかったが、配偶者は制度を利用しなかった」割合は、「男性・正社員」で4.7%、「女性・正社員」で14.6%となっている。

図表Ⅲ-68 育児休業制度（再取得）（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）：単数回答(Q34_3)

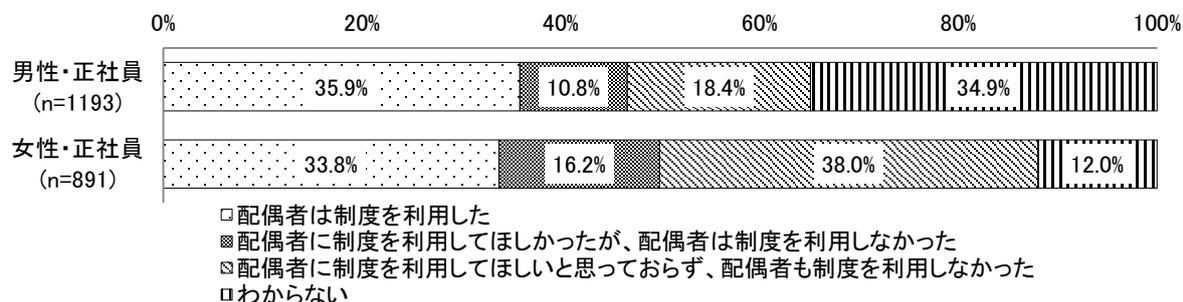


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 年次有給休暇制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）

配偶者の年次有給休暇制度の取得有無をみると、「配偶者は制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で35.9%、「女性・正社員」で33.8%となっている。「配偶者に制度を利用してほしかったが、配偶者は制度を利用しなかった」割合は、「男性・正社員」で10.8%、「女性・正社員」で16.2%となっている。

図表Ⅲ-69 年次有給休暇制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）：単数回答(Q34_4)

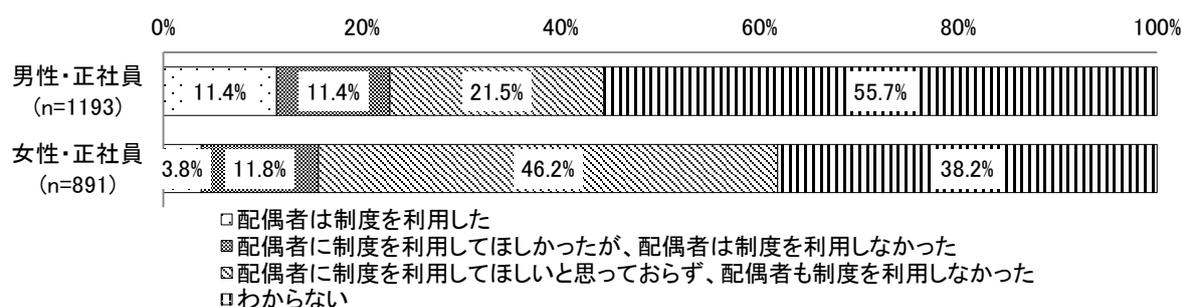


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑤ 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）

配偶者の失効年次有給休暇の積み立て等の制度の取得有無をみると、「配偶者は制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で11.4%、「女性・正社員」で3.8%となっている。「配偶者に制度を利用してほしかったが、配偶者は制度を利用しなかった」割合は、「男性・正社員」で11.4%、「女性・正社員」で11.8%となっている。

図表Ⅲ-70 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）：
単数回答 (Q34_5)

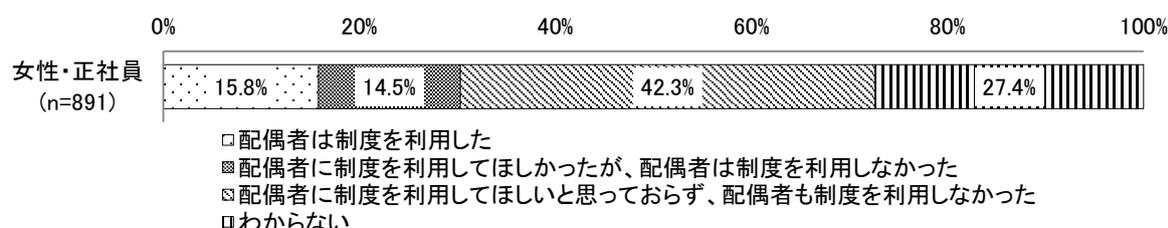


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑥ 配偶者出産休暇制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）

「女性・正社員」について、配偶者の配偶者出産休暇制度の取得有無をみると、「配偶者は制度を利用した」という割合は15.8%となっている。「配偶者に制度を利用してほしかったが、配偶者は制度を利用しなかった」割合は14.5%となっている。

図表Ⅲ-71 配偶者出産休暇制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）：単数回答 (Q34_6)

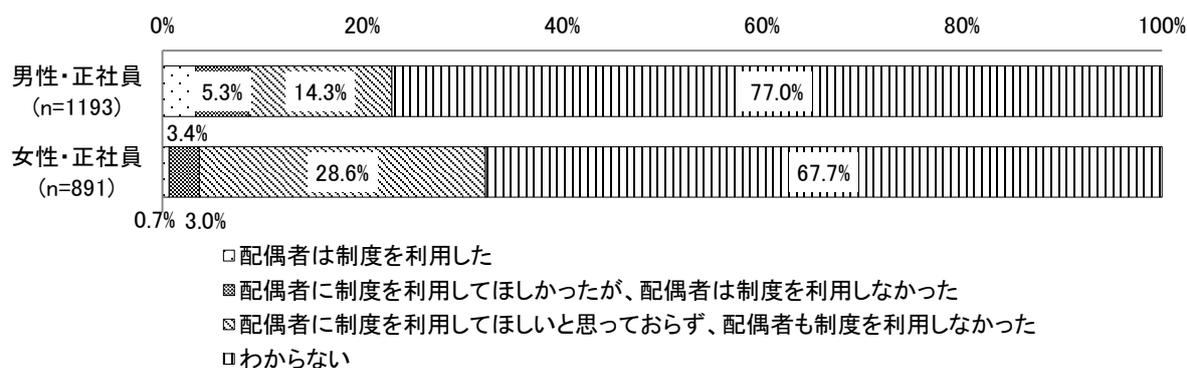


注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑦ その他の制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）

配偶者のその他の制度の取得有無をみると、「配偶者は制度を利用した」という割合は「男性・正社員」で3.4%、「女性・正社員」で0.7%となっている。「配偶者に制度を利用してほしかったが、配偶者は制度を利用しなかった」割合は、「男性・正社員」で5.3%、「女性・正社員」で3.0%となっている。

図表Ⅲ-72 その他の制度（配偶者の取得有無と配偶者への取得希望）：単数回答(Q34_7)

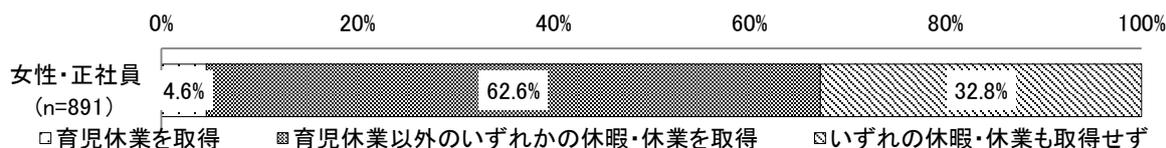


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑧ 配偶者の休暇・休業の取得状況（女性）

「女性・正社員」の配偶者の休暇・休業の取得状況をみると、「育児休業を取得」が4.6%、「育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得」が62.6%、「いずれの休暇・休業も非取得」が32.8%となっている。

図表Ⅲ-73 配偶者の休暇・休業の取得状況（女性）：Q34・Q44



注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「Q34. 配偶者の休暇・休業の取得有無および配偶者に対する取得希望」において、配偶者はいずれの制度についても利用していないと回答する一方で、「Q44. 夫の休暇・休業取得のタイミング」において、配偶者はいずれかのタイミングで休暇・休業を取得した、という回答者を「配偶者は、利用制度不明だが休暇・休業の取得がある」とみなし、これらの回答者を「いずれの休暇・休業も非取得」ではなく、「育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得」に含めている。

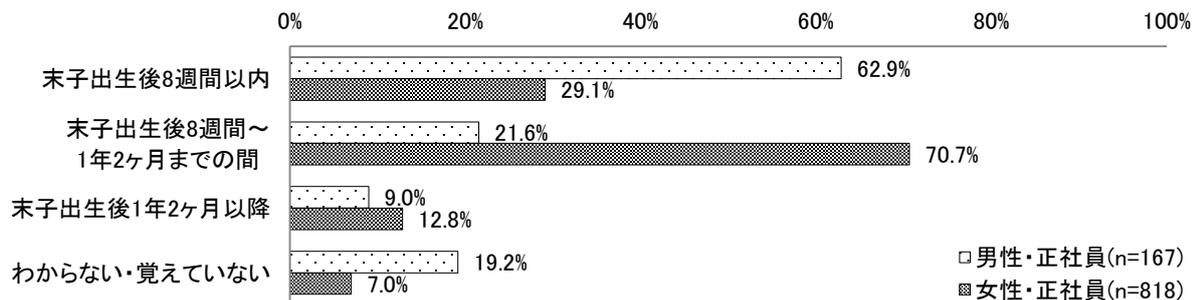
(3) 休暇・休業の取得時期（本人）

① 育児休業制度の取得時期（本人）

育児休業制度を取得した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が62.9%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が21.6%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が9.0%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が29.1%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が70.7%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が12.8%となっている。

図表Ⅲ-74 育児休業制度の取得時期（本人）：複数回答(Q35_1_2)



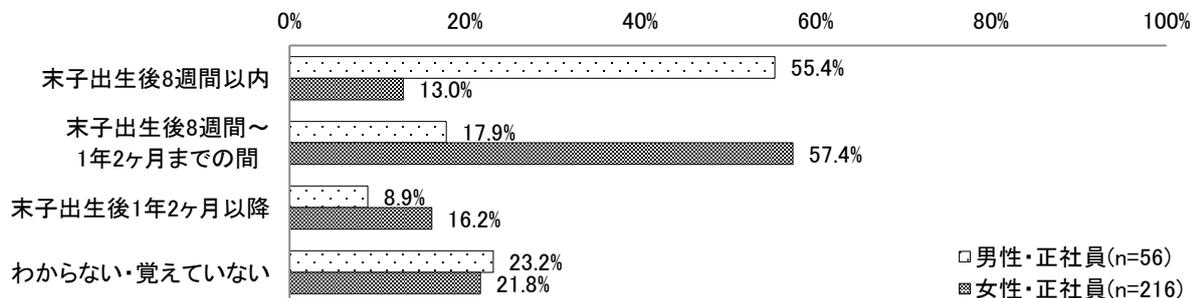
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 育児休業制度（再取得）

末子の育児のために育児休業制度を2回以上利用した人について、育児休業制度の2回目以降の取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が55.4%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が17.9%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が8.9%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が13.0%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が57.4%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が16.2%となっている。

図表Ⅲ-75 育児休業制度（再取得）（本人）：複数回答(Q35_1_3)



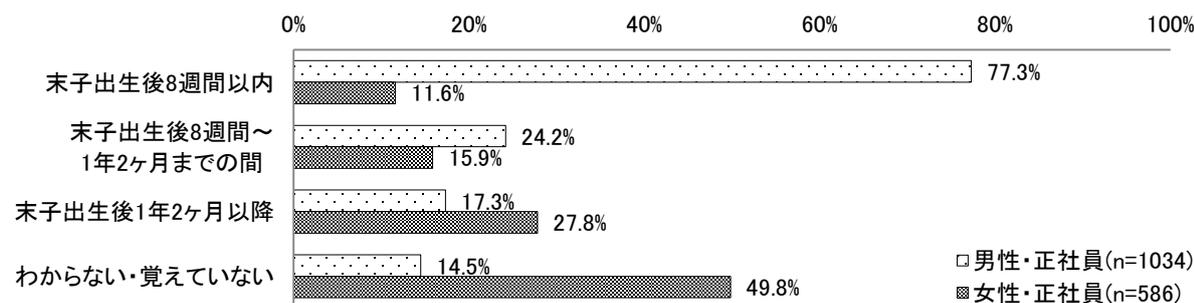
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 年次有給休暇制度（本人）

年次有給休暇制度を利用した人について、年次有給休暇の取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が77.3%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が24.2%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が17.3%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が11.6%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が15.9%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が27.8%となっている。

図表Ⅲ-76 年次有給休暇制度（本人）：複数回答(Q35_1_4)



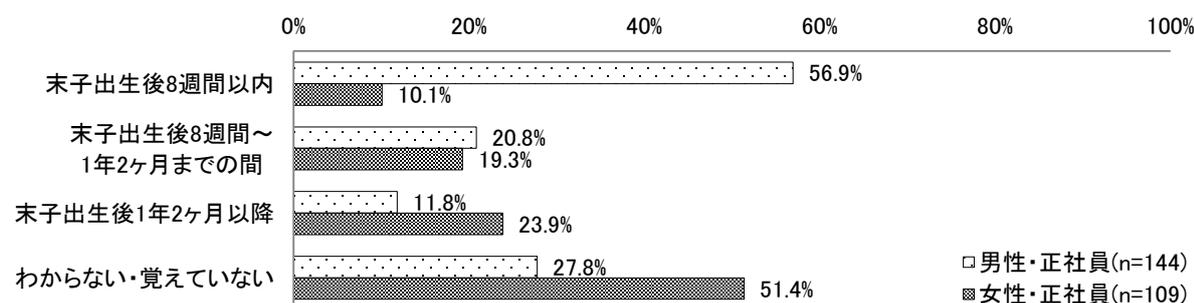
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（本人）

失効年次有給休暇の積み立て等の制度を利用した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が56.9%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が20.8%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が11.8%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が10.1%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が19.3%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が23.9%となっている。

図表Ⅲ-77 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（本人）：複数回答(Q35_1_5)

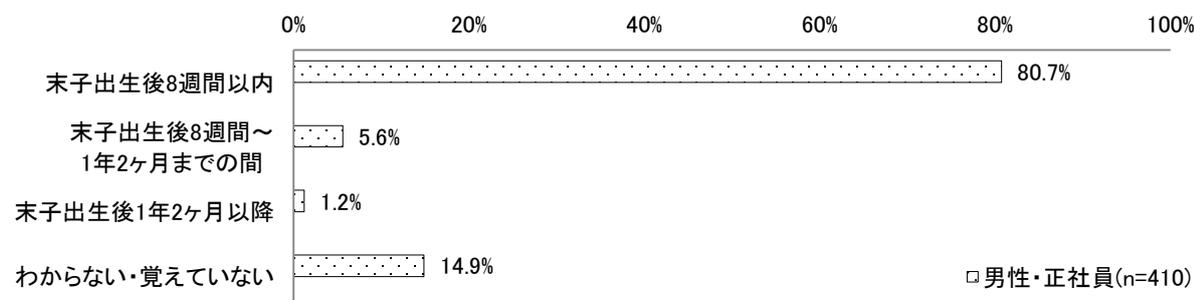


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑤ 配偶者出産休暇制度（本人）

配偶者出産休暇制度を利用した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」で、「末子出生後8週間以内」が80.7%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が5.6%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が1.2%となっている。

図表Ⅲ-78 配偶者出産休暇制度（本人）：複数回答(Q35_1_6)



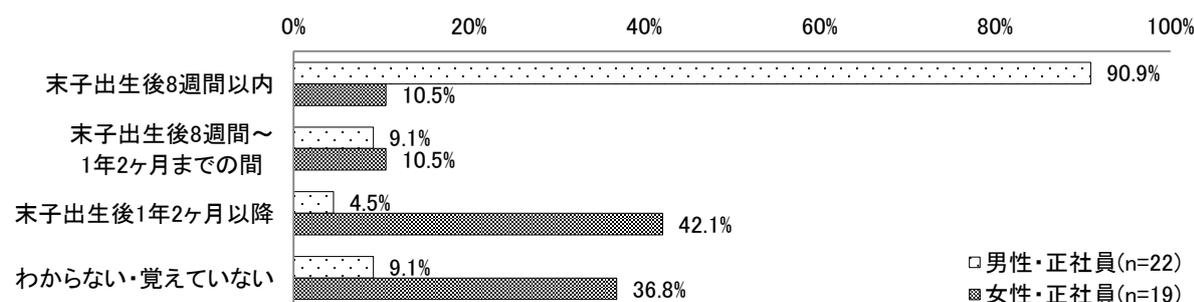
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑥ その他の制度（本人）

その他の制度を利用した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が90.9%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が9.1%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が4.5%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が10.5%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が10.5%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が42.1%となっている。

図表Ⅲ-79 その他の制度（本人）：複数回答(Q35_1_7)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

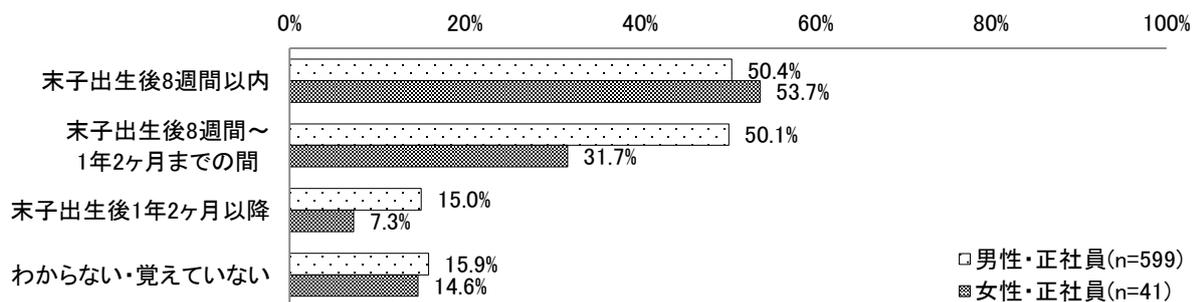
(4) 休暇・休業の取得時期（配偶者）

① 育児休業制度（配偶者）

配偶者が育児休業制度を利用した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が50.4%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が50.1%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が15.0%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が53.7%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が31.7%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が7.3%となっている。

図表Ⅲ-80 育児休業制度（配偶者）：複数回答(Q35_2_2)



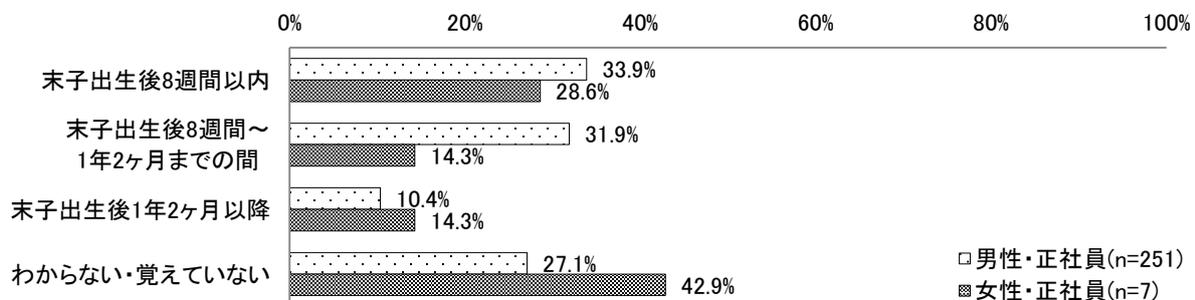
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 育児休業制度（再取得）（配偶者）

配偶者が末子の育児のために育児休業制度を2回以上利用した人について、育児休業制度の2回目以降の取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が33.9%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が31.9%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が10.4%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が28.6%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が14.3%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が14.3%となっている。

図表Ⅲ-81 育児休業制度（再取得）（配偶者）：複数回答(Q35_2_3)



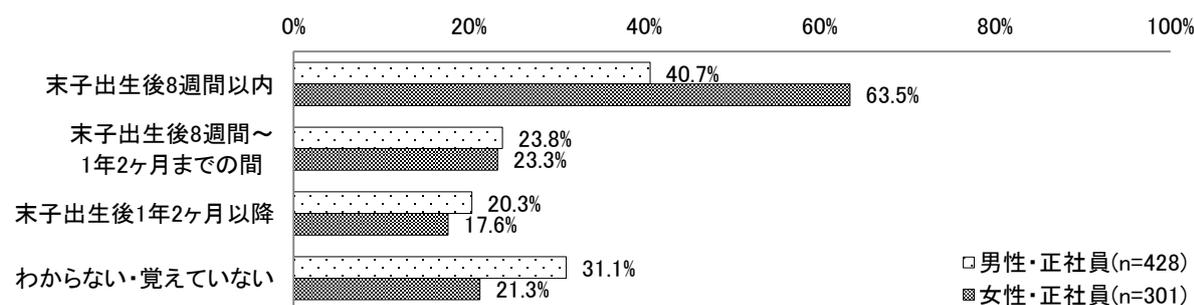
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 年次有給休暇制度（配偶者）

配偶者が年次有給休暇制度を利用した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が40.7%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が23.8%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が20.3%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が63.5%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が23.3%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が17.6%となっている。

図表Ⅲ-82 年次有給休暇制度（配偶者）：複数回答(Q35_2_4)



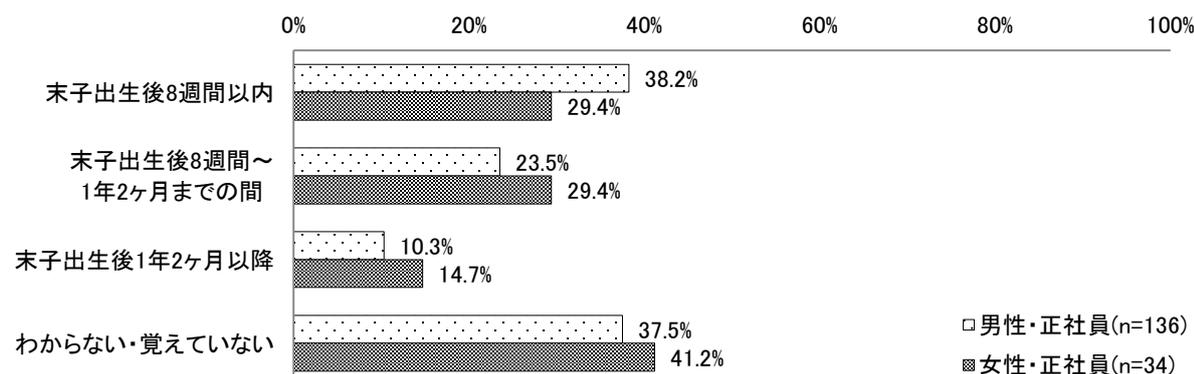
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（配偶者）

配偶者が失効年次有給休暇の積み立て等の制度を利用した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が38.2%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が23.5%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が10.3%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が29.4%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が29.4%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が14.7%となっている。

図表Ⅲ-83 失効年次有給休暇の積み立て等の制度（配偶者）：複数回答(Q35_2_5)

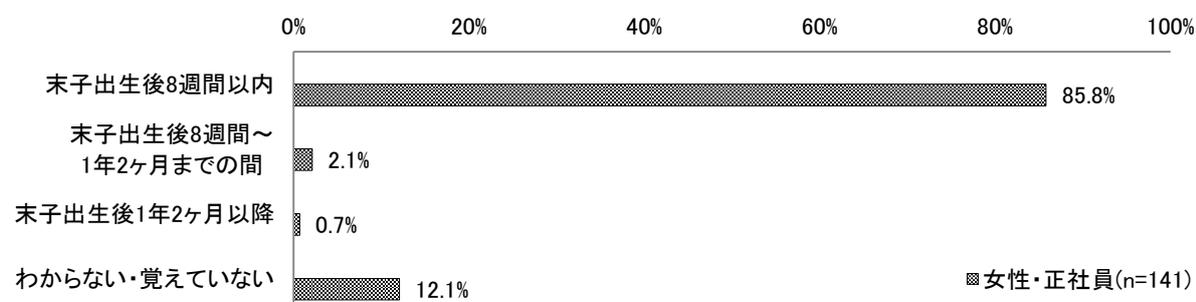


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑤ 配偶者出産休暇制度（配偶者）

配偶者が配偶者出産休暇制度を利用した人について、その取得時期をみると、「女性・正社員」で「末子出生後8週間以内」が85.8%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が2.1%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が0.7%となっている。

図表Ⅲ-84 配偶者出産休暇制度（配偶者）：複数回答(Q35_2_6)



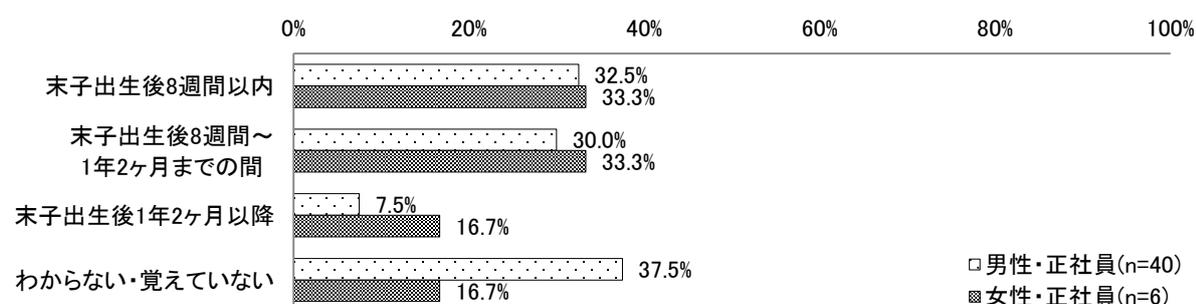
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑥ その他の制度（配偶者）

配偶者がその他の制度を利用した人について、その取得時期をみると、「男性・正社員」では「末子出生後8週間以内」が32.5%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が30.0%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が7.5%となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内」が33.3%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間」が33.3%、「末子出生後1年2ヶ月以降」が16.7%となっている。

図表Ⅲ-85 その他の制度（配偶者）：複数回答(Q35_2_7)



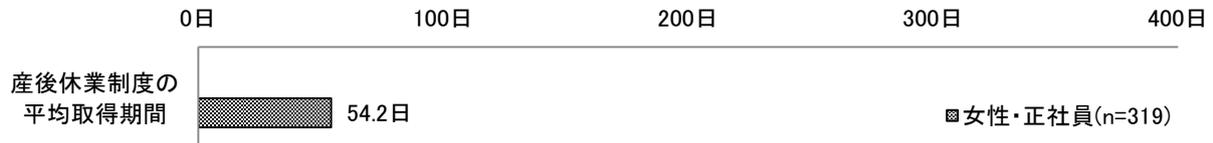
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(5) 制度別、休暇・休業の取得期間（本人）

① 産後休業制度の取得期間（本人）

産後休業制度を利用した人について、平均取得期間をみると、「女性・正社員」で54.2日となっている。

図表Ⅲ-86 産後休業制度の取得者あたり平均取得期間（本人）：数量回答(Q36_1_1)



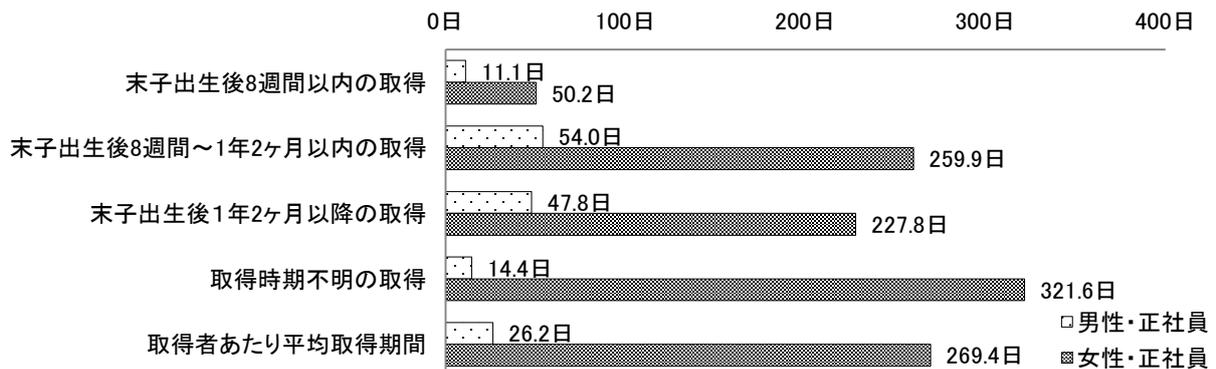
注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 育児休業制度の取得期間（本人）

育児休業制度を利用した人について、平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が11.1日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が54.0日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が47.8日となっている。「男性・正社員」のうち、育児休業制度を利用した人全体における、育児休業制度の平均取得期間は26.2日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が50.2日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が259.9日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が227.8日となっている。「女性・正社員」のうち、育児休業制度を利用した人全体における、育児休業制度の平均取得期間は269.4日となっている。

図表Ⅲ-87 育児休業制度の取得者あたり平均取得期間（本人）：数量回答(Q36_1_2)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	69	26	11	15	111
女性・正社員	15	242	46	25	305

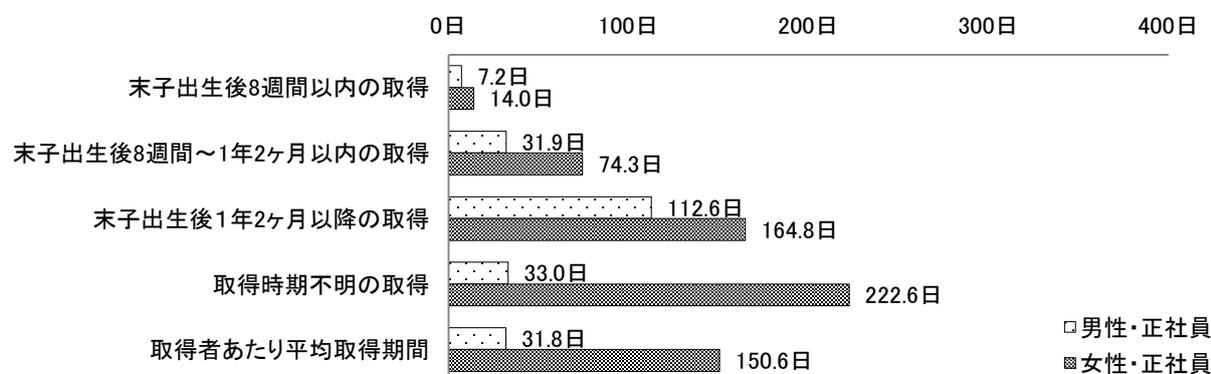
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 育児休業制度（再取得）の取得期間（本人）

末子の育児のために育児休業制度を2回以上利用した人について、2回目以降の育児休業の平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が7.2日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が31.9日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が112.6日となっている。「男性・正社員」のうち、2回目以降の育児休業制度を利用した人全体における、2回目以降の育児休業制度の平均取得期間は31.8日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が14.0日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が74.3日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が164.8日となっている。「女性・正社員」のうち、2回目以降の育児休業制度を利用した人全体における、2回目以降の育児休業制度の平均取得期間は150.6日となっている。

図表Ⅲ-88 育児休業制度（再取得）の取得期間（本人）：数量回答(Q36_1_3)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後8週間以内	末子出生後8週以降、1年2ヶ月以内	末子出生後1年2ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	16	7	4	5	30
女性・正社員	1	15	14	15	45

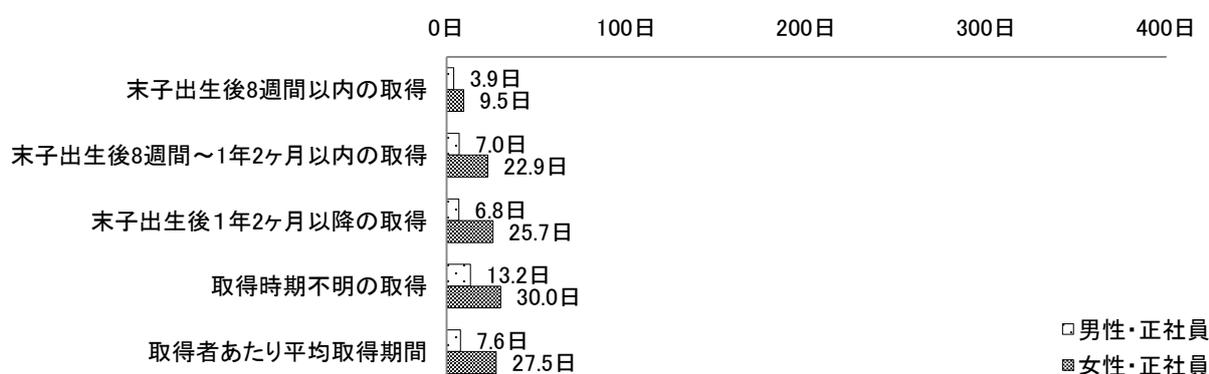
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 年次有給休暇制度の取得期間（本人）

年次有給休暇制度を利用した人について、平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が3.9日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が7.0日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が6.8日となっている。「男性・正社員」のうち、年次有給休暇制度を利用した人全体における、年次有給休暇制度の平均取得期間は7.6日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が9.5日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が22.9日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が25.7日となっている。「女性・正社員」のうち、年次有給休暇制度を利用した人全体における、年次有給休暇制度の平均取得期間は27.5日となっている。

図表Ⅲ-89 年次有給休暇制度の取得期間（本人）：数量回答(Q36_1_4)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	752	226	159	120	945
女性・正社員	12	29	62	108	204

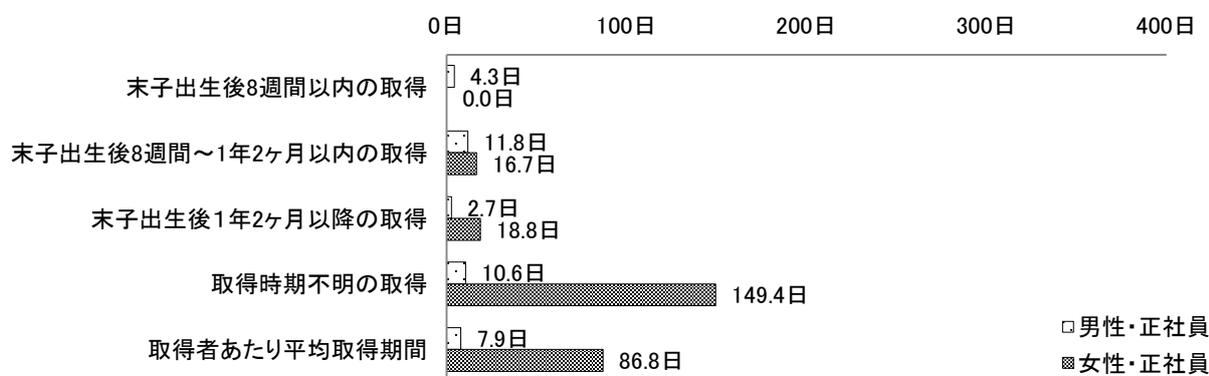
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑤ 失効年次有給休暇の積み立て等の制度の取得期間（本人）

失効年次有給休暇の積み立て等の制度を利用した人について、平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が4.3日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が11.8日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が2.7日となっている。「男性・正社員」のうち、年次有給休暇制度を利用した人全体における、年次有給休暇制度の平均取得期間は7.9日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が0日（集計対象となる回答者なし）、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が16.7日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が18.8日となっている。「女性・正社員」のうち、年次有給休暇制度を利用した人全体における、年次有給休暇制度の平均取得期間は86.8日となっている。

図表Ⅲ-90 失効年次有給休暇の積み立て等の制度の取得期間（本人）：数量回答(Q36_1_5)



<集計対象サンプル数>

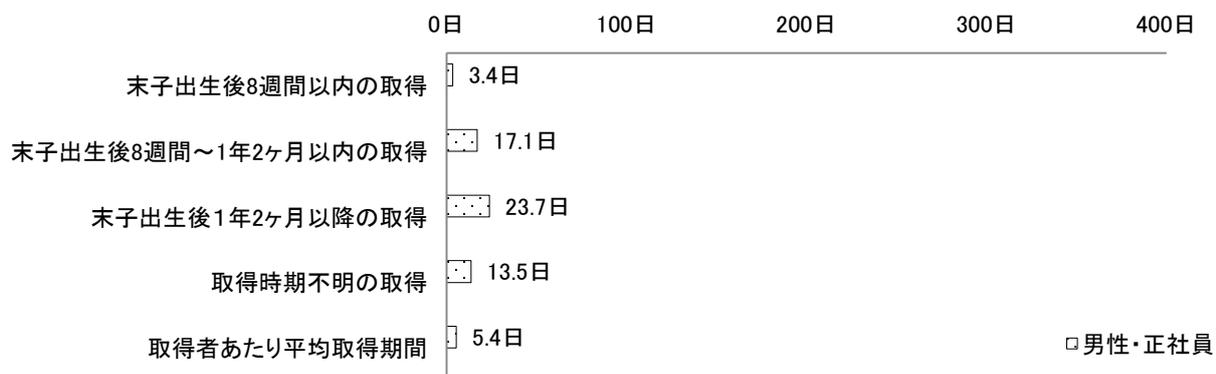
	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	64	23	15	30	114
女性・正社員	0	4	6	11	21

注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑥ 配偶者出産休暇制度の取得期間（本人）

配偶者出産休暇制度を利用した人について、平均取得期間をみると、「男性・正社員」で、「末子出生後8週間以内の取得」が3.4日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が17.1日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が23.7日となっている。「男性・正社員」のうち、配偶者出産休暇制度を利用した人全体における、配偶者出産休暇制度の平均取得期間は5.4日となっている。

図表Ⅲ-91 配偶者出産休暇制度の取得期間（本人）：数量回答(Q36_1_6)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	298	14	4	40	350
女性・正社員	-	-	-	-	-

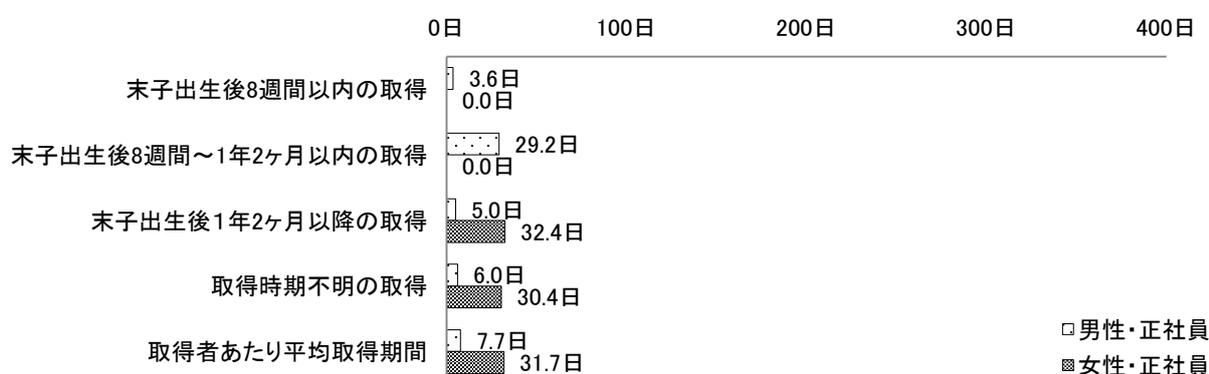
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑦ その他の制度の取得期間（本人）

その他の制度を利用した人について、平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が3.6日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が29.2日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が5.0日となっている。「男性・正社員」のうち、その他の制度を利用した人全体における、その他の制度の平均取得期間は7.7日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が0日（集計対象となる回答者なし）、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が0日（集計対象となる回答者なし）、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が32.4日となっている。「女性・正社員」のうち、その他の制度を利用した人全体における、その他の制度の平均取得期間は31.7日となっている。

図表Ⅲ-92 その他の制度の取得期間（本人）：数量回答(Q36_1_7)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	15	2	1	1	16
女性・正社員	0	0	2	1	3

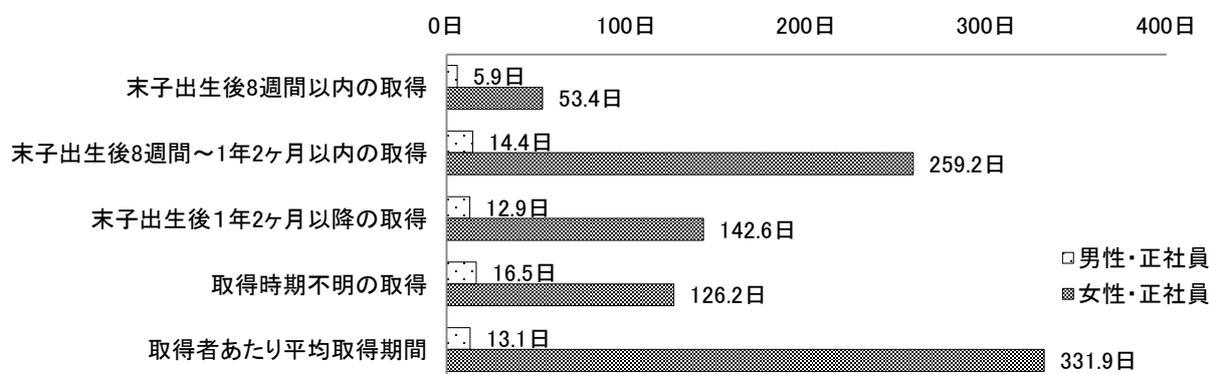
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑧ 全ての制度を合わせた取得期間の平均（本人）

末子の出産・育児のためにいずれかの休暇・休業制度を利用した人について、平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が5.9日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が14.4日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が12.9日となっている。「男性・正社員」のうち、いずれかの休暇・休業制度を利用した人全体における、平均取得期間は13.1日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が53.4日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が259.2日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が142.6日となっている。「女性・正社員」のうち、いずれかの休暇・休業制度を利用した人全体における、平均取得期間は331.9日となっている。

図表Ⅲ-93 全ての制度を合わせた取得期間の平均（本人）：数量回答(Q36_1)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後8週間以内	末子出生後8週以降、1年2ヶ月以内	末子出生後1年2ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	868	249	171	172	1046
女性・正社員	322	245	102	129	334

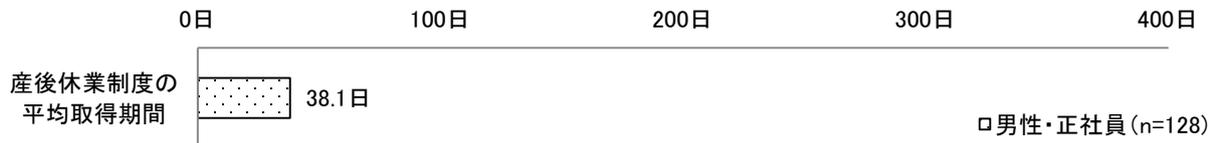
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(6) 制度別、休暇・休業の取得期間（配偶者）

① 産後休業制度の取得期間（配偶者）

配偶者が産後休業制度を利用した人について、配偶者の平均取得期間をみると、「男性・正社員」で38.1日となっている。

図表Ⅲ-94 産後休業制度の取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2_1)



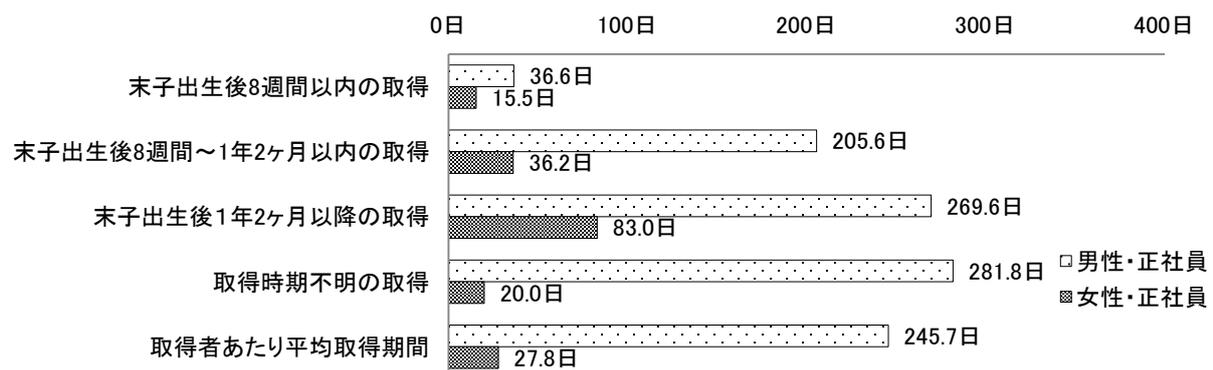
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 育児休業制度の取得期間（配偶者）

配偶者が育児休業制度を利用した人について、配偶者の平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が36.6日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が205.6日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が269.6日となっている。「男性・正社員」のうち、配偶者が育児休業制度を利用した人全体における、配偶者が利用した育児休業制度の平均取得期間は245.7日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が15.5日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が36.2日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が83.0日となっている。「女性・正社員」のうち、配偶者が育児休業制度を利用した人全体における、配偶者が利用した育児休業制度の平均取得期間は27.8日となっている。

図表Ⅲ-95 育児休業制度の取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2_2)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後8週間以内	末子出生後8週以降、1年2ヶ月以内	末子出生後1年2ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	27	55	23	32	112
女性・正社員	16	8	2	1	26

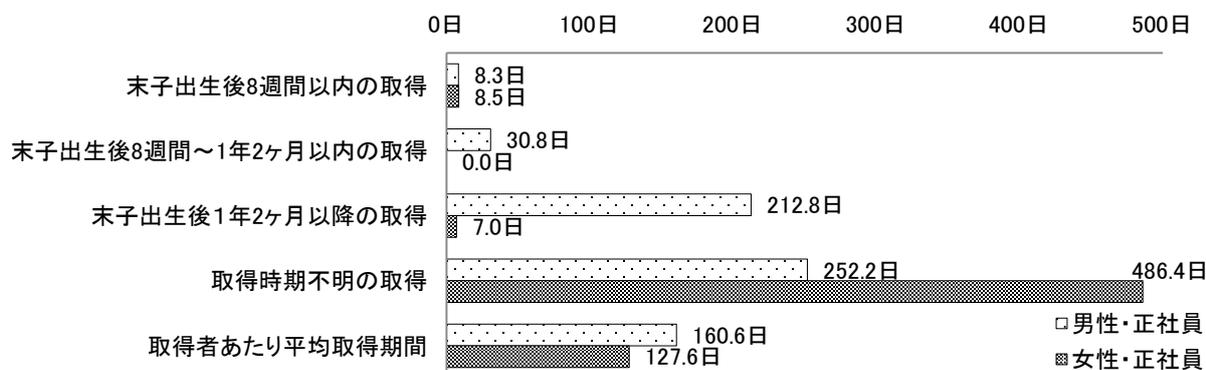
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 育児休業制度（再取得）の取得期間（配偶者）

配偶者が末子の育児のために育児休業制度を2回以上利用した人について、配偶者の2回目以降の育児休業制度の平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が8.3日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が30.8日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が212.8日となっている。「男性・正社員」のうち、配偶者が2回目以降の育児休業制度を利用した人全体における、配偶者が利用した2回目以降の育児休業制度の平均取得期間は160.6日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が8.5日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が0.0日（集計対象となる回答者なし）、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が7.0日となっている。「女性・正社員」のうち、配偶者が2回目以降の育児休業制度を利用した人全体における、配偶者が利用した2回目以降の育児休業制度の平均取得期間は127.6日となっている。

図表Ⅲ-96 育児休業制度（再取得）の取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2_3)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	3	10	6	14	35
女性・正社員	2	0	1	1	4

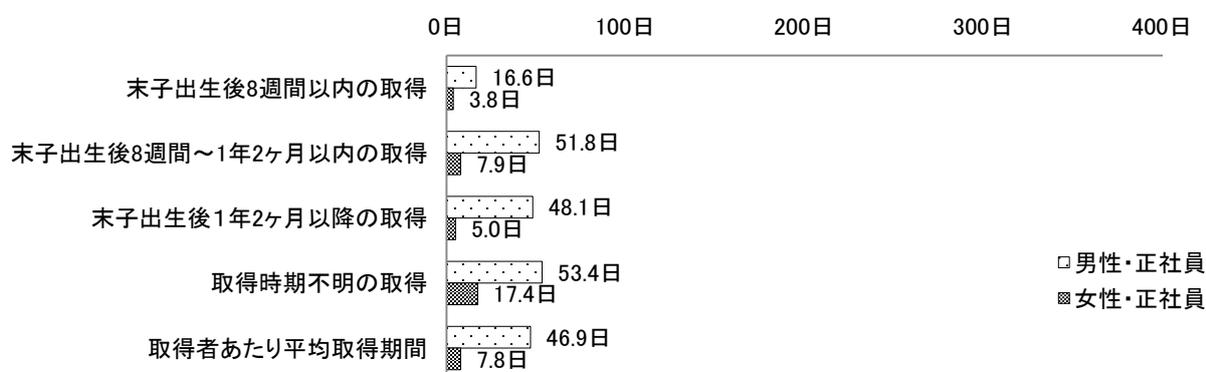
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 年次有給休暇制度の取得期間（配偶者）

配偶者が年次有給休暇制度を利用した人について、配偶者の平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が16.6日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が51.8日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が48.1日となっている。「男性・正社員」のうち、配偶者が年次有給休暇制度を利用した人全体における、配偶者が利用した年次有給休暇制度の平均取得期間は46.9日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が3.8日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が7.9日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が5.0日となっている。「女性・正社員」のうち、配偶者が年次有給休暇制度を利用した人全体における、配偶者が利用した年次有給休暇制度の平均取得期間は7.8日となっている。

図表Ⅲ-97 年次有給休暇制度の取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2_4)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	38	24	20	33	98
女性・正社員	173	56	41	37	248

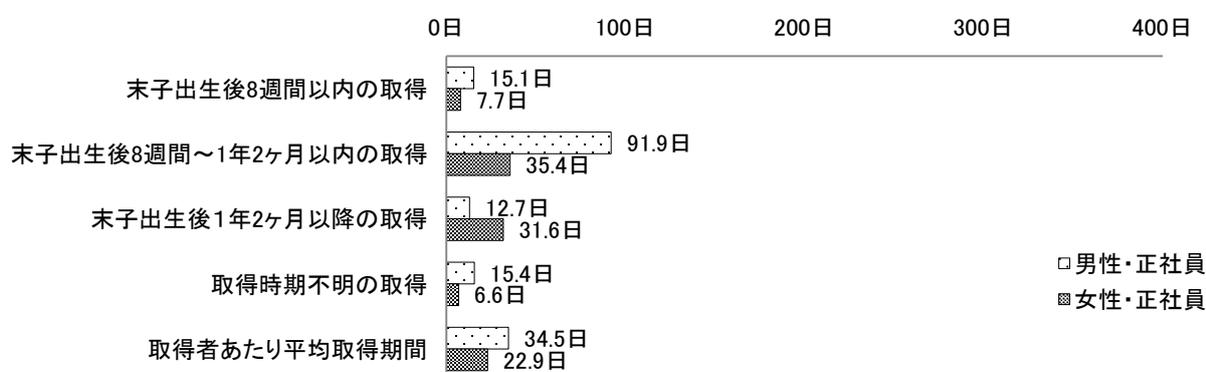
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑤ 失効年次有給休暇の積み立て等の制度の取得期間（配偶者）

配偶者が失効年次有給休暇の積み立て等の制度を利用した人について、配偶者の平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が15.1日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が91.9日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が12.7日となっている。「男性・正社員」のうち、配偶者が失効年次有給休暇の積み立て等の制度を利用した人全体における、配偶者が利用した失効年次有給休暇の積み立て等の制度の平均取得期間は34.5日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が7.7日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が35.4日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が31.6日となっている。「女性・正社員」のうち、配偶者が失効年次有給休暇の積み立て等の制度を利用した人全体における、配偶者が利用した失効年次有給休暇の積み立て等の制度の平均取得期間は22.9日となっている。

図表Ⅲ-98 失効年次有給休暇の積み立て等の制度の取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2_5)



<集計対象サンプル数>

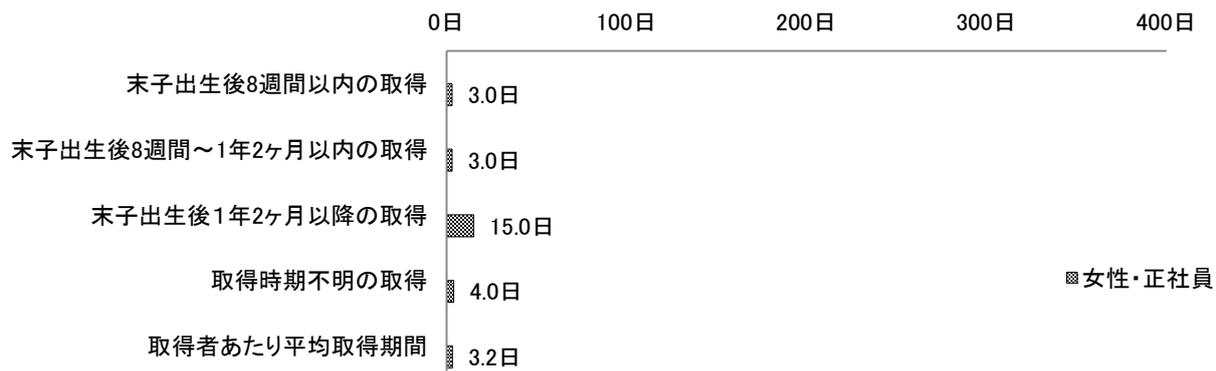
	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	9	5	5	11	24
女性・正社員	6	8	3	5	20

注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑥ 配偶者出産休暇制度の取得期間（配偶者）

配偶者が配偶者出産休暇制度を利用した人について、配偶者の平均取得期間をみると、「女性・正社員」で、「末子出生後8週間以内の取得」が3.0日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が3.0日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が15.0日となっている。「女性・正社員」のうち、配偶者が配偶者出産休暇制度を利用した人全体における、配偶者が利用した配偶者出産休暇制度の平均取得期間は3.2日となっている。

図表Ⅲ-99 配偶者出産休暇制度の取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2_6)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	-	-	-	-	-
女性・正社員	106	2	1	6	114

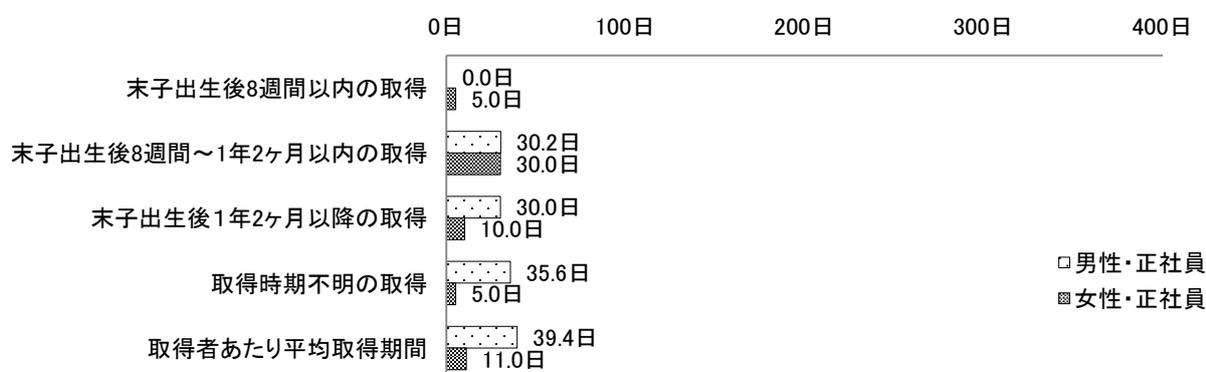
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑦ その他の制度の取得期間（配偶者）

配偶者がその他の制度を利用した人について、配偶者の平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が0日（集計対象となる回答者なし）、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が30.2日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が30.0日となっている。「男性・正社員」のうち、配偶者がその他の制度を利用した人全体における、配偶者が利用したその他の制度の平均取得期間は39.4日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が5.0日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が30.0日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が10.0日となっている。「女性・正社員」のうち、配偶者がその他の制度を利用した人全体における、配偶者が利用したその他の制度の平均取得期間は11.0日となっている。

図表Ⅲ-100 その他の制度の取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2_7)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後8週間以内	末子出生後8週以降、1年2ヶ月以内	末子出生後1年2ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	0	2	1	3	5
女性・正社員	2	1	1	1	5

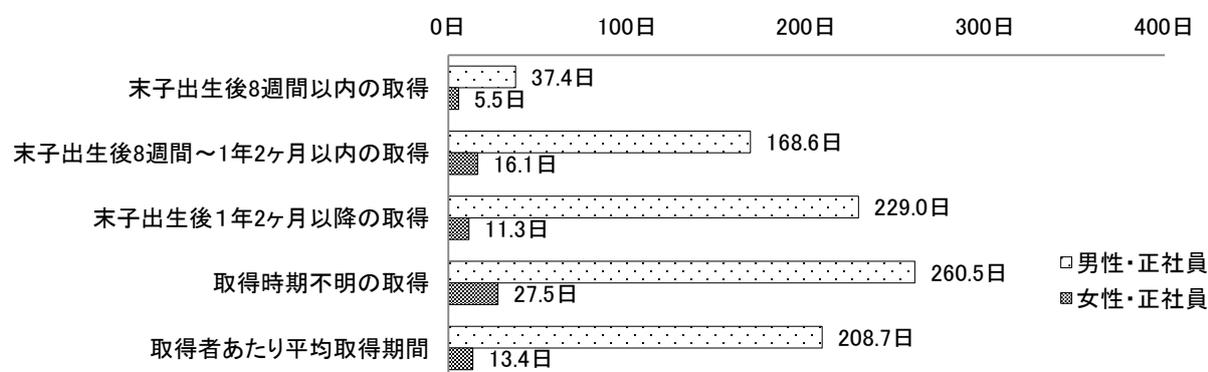
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

⑧ 全ての制度を合わせた取得期間の平均（配偶者）

末子の出産・育児のために、配偶者がいずれかの休暇・休業制度を利用した人について、配偶者の平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が37.4日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」が168.6日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が229.0日となっている。「男性・正社員」のうち、配偶者がいずれかの休暇・休業制度を利用した人全体における、配偶者の平均取得期間は208.7日となっている。

「女性・正社員」では、「末子出生後8週間以内の取得」が5.5日、「末子出生後8週間～1年2ヶ月までの取得」が16.1日、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」が11.3日となっている。「女性・正社員」のうち、配偶者がいずれかの休暇・休業制度を利用した人全体における、配偶者の平均取得期間は13.4日となっている。

図表Ⅲ-101 全ての制度を合わせた取得期間の平均（本人）：数量回答(Q36_2)



<集計対象サンプル数>

	末子出生後 8 週間以内	末子出生後 8 週以降、1 年 2 ヶ月以内	末子出生後 1 年 2 ヶ月以降	取得時期不明	取得者あたり平均取得期間
男性・正社員	133	49	32	56	159
女性・正社員	237	65	44	44	302

注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(7) 時期別、休暇・休業の取得期間（本人）

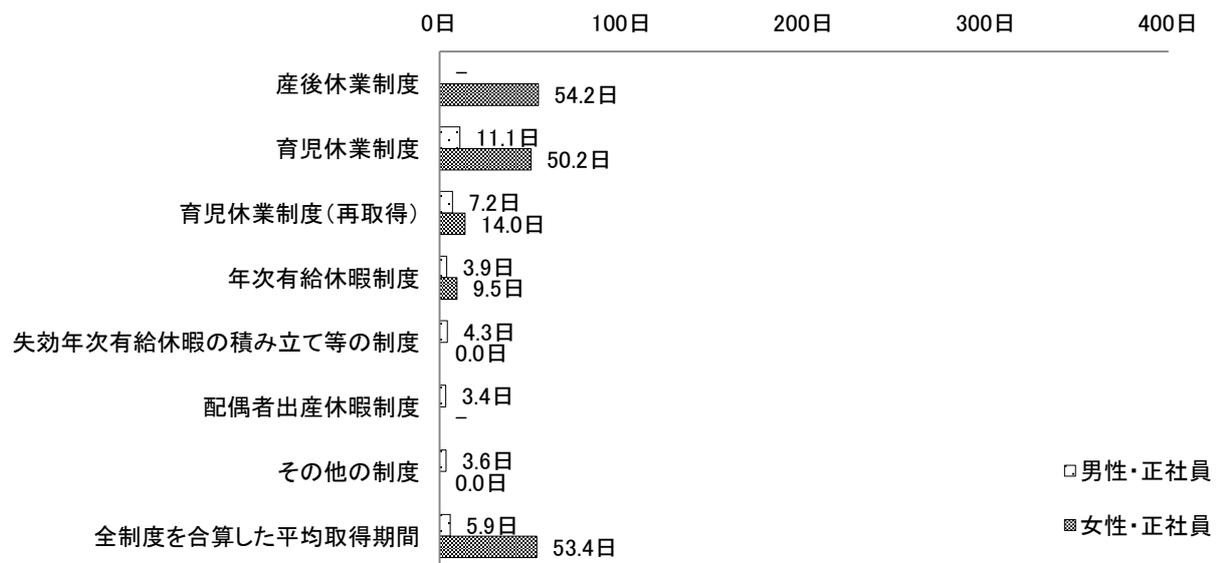
末子の育児のために利用した休暇・休業制度について、末子出生後の時期ごとに利用された制度の取得期間の集計を行った。掲載された数値は、(5) 制度別、休暇・休業の取得期間（本人）にて示した数値と同じである。

① 末子出生後 8 週間以内に取得した制度の平均取得期間（本人）

末子出生後 8 週間以内に本人が取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「育児休業制度」が 11.1 日、「育児休業（再取得）」が 7.2 日、「年次有給休暇制度」が 3.9 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 4.3 日、「配偶者出産休暇制度」が 3.4 日となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 5.9 日となっている。

「女性・正社員」では、「産後休業制度」が 54.2 日、「育児休業制度」が 50.2 日、「育児休業（再取得）」が 14.0 日、「年次有給休暇制度」が 9.5 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 0 日（集計対象となる回答者なし）となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 53.4 日となっている。

図表Ⅲ-102 末子出生後 8 週間以内に取得した制度の平均取得期間（本人）：数量回答(Q36_1)



<集計対象サンプル数>

	産後休業	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	-	69	16	752	64	298	15	868
女性・正社員	319	15	1	12	0	-	0	322

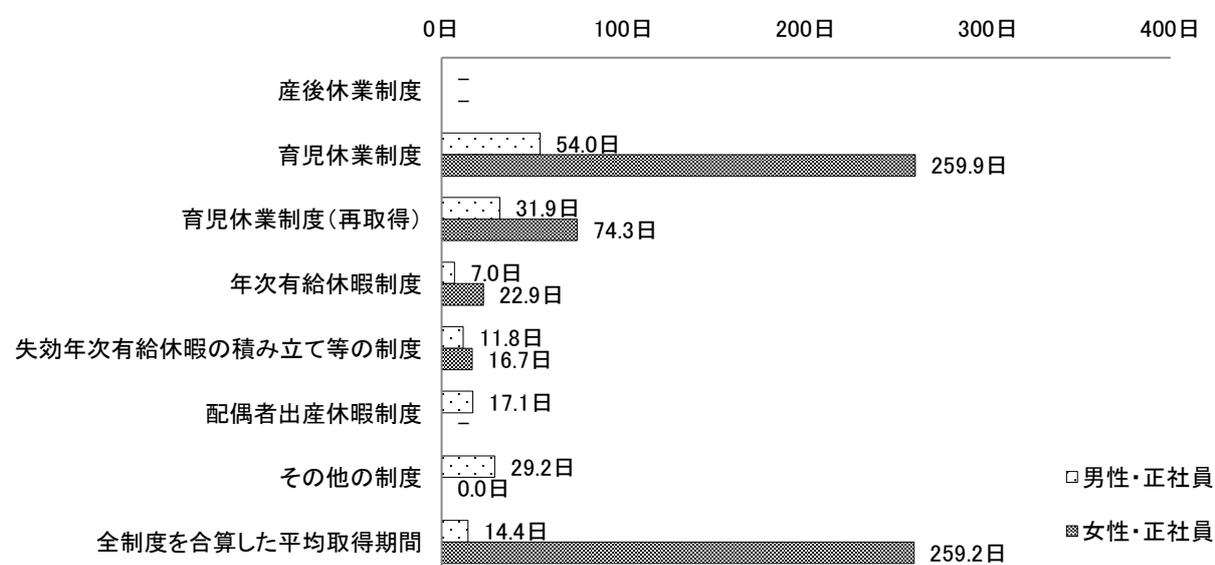
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内に取得した制度の平均取得期間（本人）

末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内に本人が取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「育児休業制度」が 54.0 日、「育児休業（再取得）」が 31.9 日、「年次有給休暇制度」が 7.0 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 11.8 日、「配偶者出産休暇制度」が 17.1 日となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 14.4 日となっている。

「女性・正社員」では、「育児休業制度」が 259.9 日、「育児休業（再取得）」が 74.3 日、「年次有給休暇制度」が 22.9 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 16.7 日となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 259.2 日となっている。

図表Ⅲ-103 末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内に取得した制度の平均取得期間（本人）：数量回答(Q36_1)



<集計対象サンプル数>

	産後休業制度	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	-	26	7	226	23	14	2	249
女性・正社員	-	242	15	29	4	-	0	245

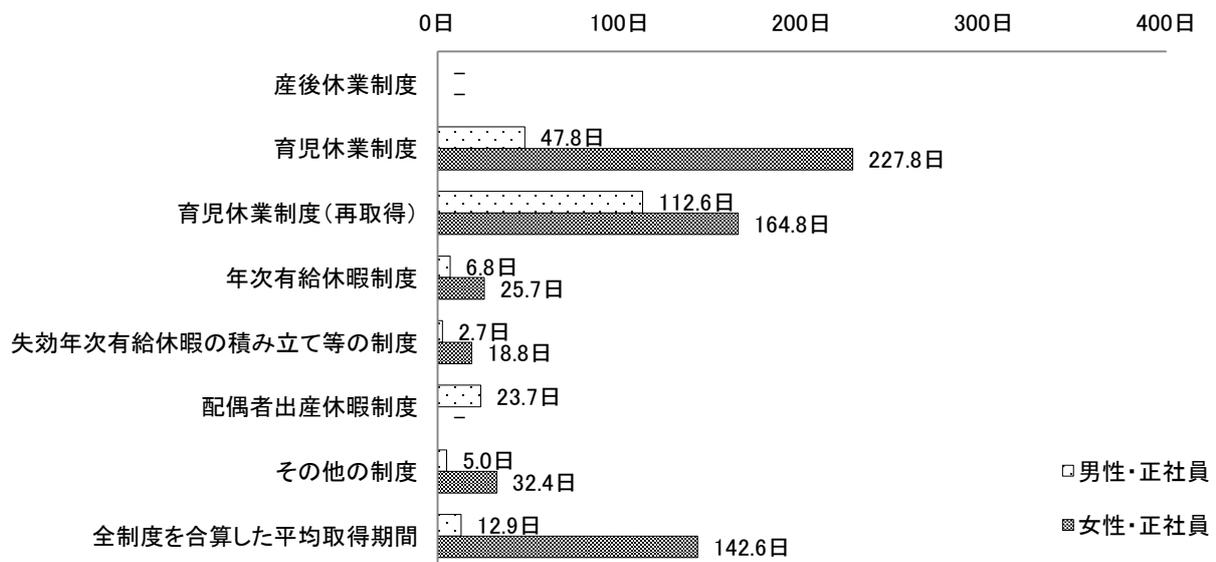
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 末子出生後 1 年 2 ヶ月以降に取得した制度の平均取得期間（本人）

末子出生後 1 年 2 ヶ月以降に本人が取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「育児休業制度」が 47.8 日、「育児休業（再取得）」が 112.6 日、「年次有給休暇制度」が 6.8 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 2.7 日、「配偶者出産休暇制度」が 23.7 日となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 12.9 日となっている。

「女性・正社員」では、「育児休業制度」が 227.8 日、「育児休業（再取得）」が 164.8 日、「年次有給休暇制度」が 25.7 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 18.8 日となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 142.6 日となっている。

図表Ⅲ-104 末子出生後 1 年 2 ヶ月以降に取得した制度の平均取得期間（本人）：数量回答(Q36_1)



<集計対象サンプル数>

	産後休業制度	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産休暇制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	-	11	4	159	15	4	1	171
女性・正社員	-	46	14	62	6	-	2	102

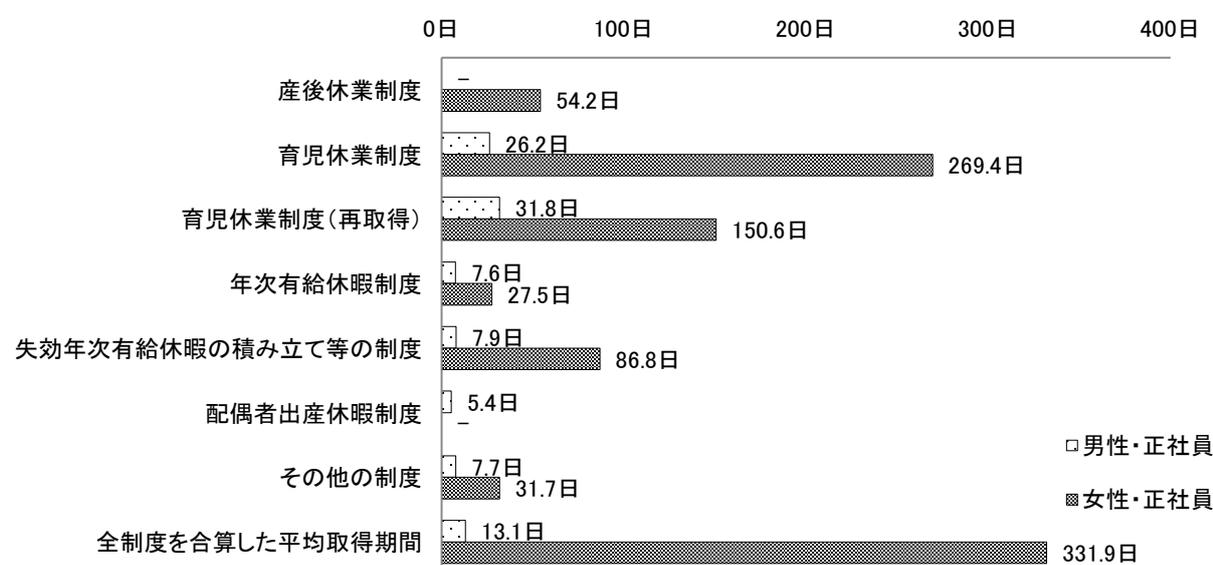
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 全時期通じて取得した制度の平均取得期間（本人）

末子出生後の全時期を通じて取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「育児休業制度」が26.2日、「育児休業（再取得）」が31.8日、「年次有給休暇制度」が7.6日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が7.9日、「配偶者出産休暇制度」が5.4日となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は13.1日となっている。

「女性・正社員」では、「産後休業制度」が54.2日「育児休業制度」が269.4日、「育児休業（再取得）」が150.6日、「年次有給休暇制度」が27.5日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が86.8日となっている。いずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は331.9日となっている。

図表Ⅲ-105 全時期通じて取得した制度の平均取得期間（本人）：数量回答(Q36_1)



<集計対象サンプル数>

	産後休業	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	-	111	30	945	114	350	16	1046
女性・正社員	319	305	45	204	21	-	3	334

注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

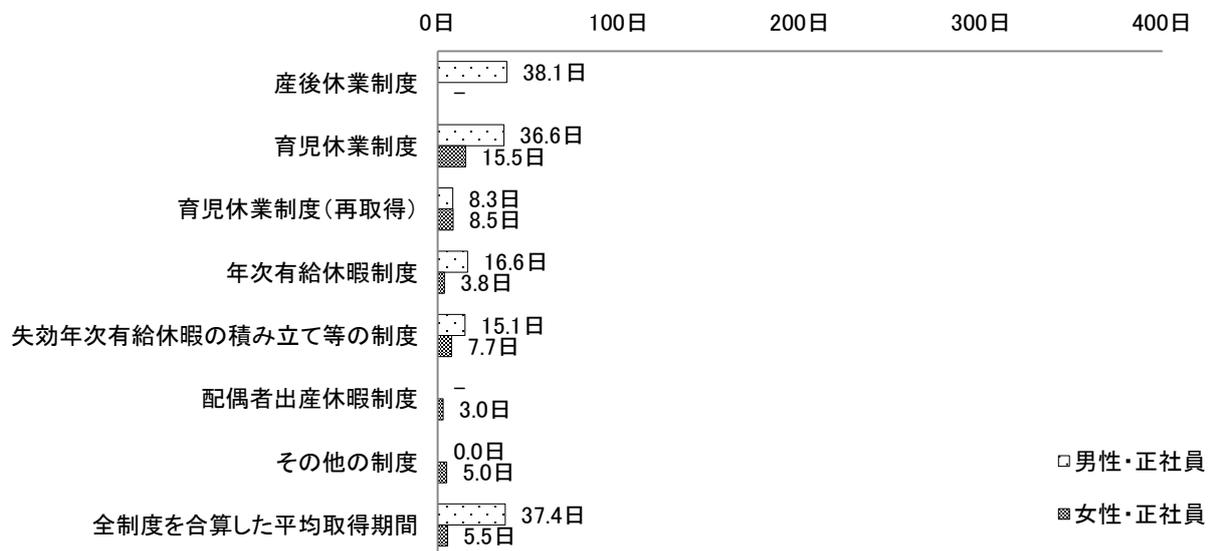
(8) 時期別、休暇・休業の取得期間（配偶者）

① 末子出生後 8 週間以内に取得した制度の平均取得期間（配偶者）

末子出生後 8 週間以内に配偶者が取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「産後休業制度」が 38.1 日、「育児休業制度」が 36.6 日、「育児休業（再取得）」が 8.3 日、「年次有給休暇制度」が 16.6 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 15.1 日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 37.4 日となっている。

「女性・正社員」では、「育児休業制度」が 15.5 日、「育児休業（再取得）」が 8.5 日、「年次有給休暇制度」が 3.8 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 7.7 日、「配偶者出産休暇制度」が 3.0 日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 5.5 日となっている。

図表Ⅲ-106 末子出生後 8 週間以内に取得した制度の平均取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2)



<集計対象サンプル数>

	産後休業	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	128	27	3	38	9	-	0	133
女性・正社員	-	16	2	173	6	106	2	237

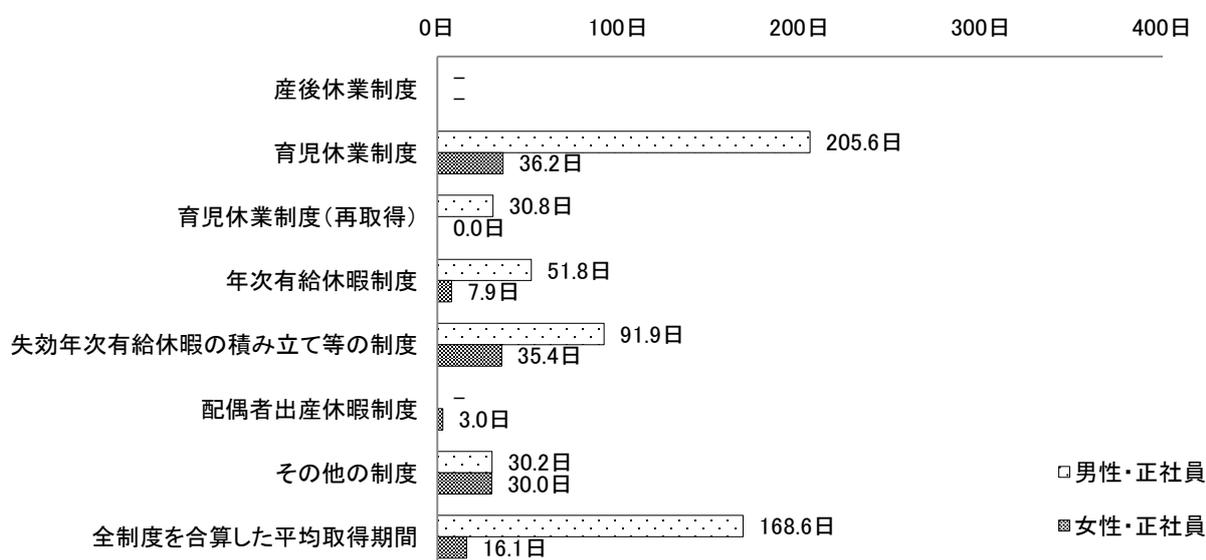
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内に取得した制度の平均取得期間（配偶者）

末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内に配偶者が取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「育児休業制度」が 205.6 日、「育児休業（再取得）」が 30.8 日、「年次有給休暇制度」が 51.8 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 91.9 日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 168.6 日となっている。

「女性・正社員」では、「育児休業制度」が 36.2 日、「育児休業（再取得）」が 0 日（集計対象になる回答者なし）、「年次有給休暇制度」が 7.9 日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が 35.4 日、「配偶者出産休暇制度」が 3.0 日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は 16.1 日となっている。

図表Ⅲ-107 末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内に取得した制度の平均取得期間（配偶者）：数量回答 (Q36_2)



<集計対象サンプル数>

	産後休業	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	-	55	10	24	5	-	2	49
女性・正社員	-	8	0	56	8	2	1	65

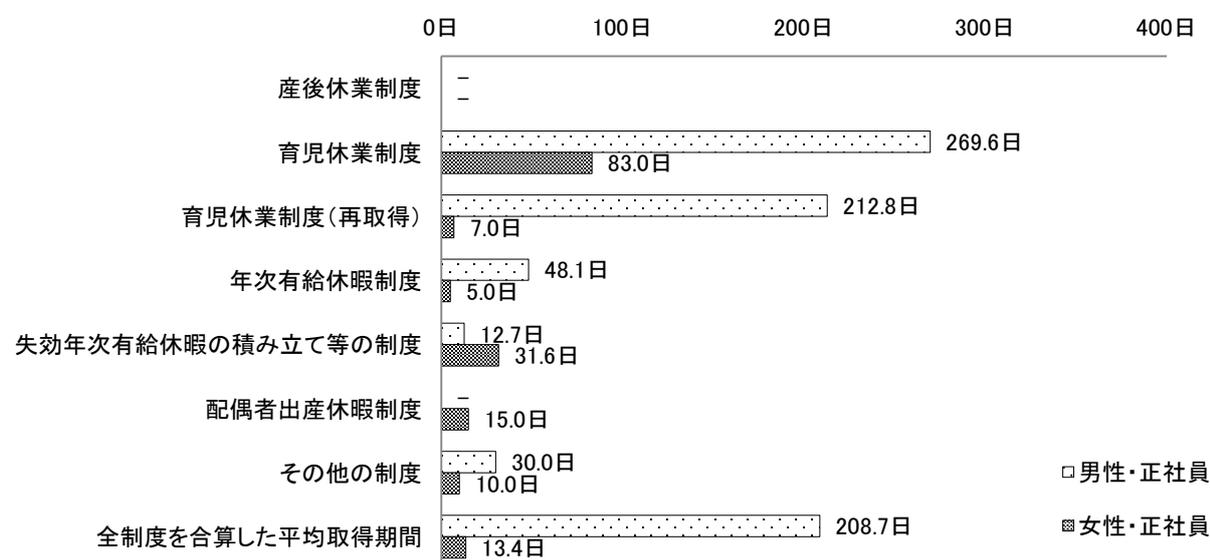
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

③ 末子出生後1年2ヶ月以降に取得した制度の平均取得期間（配偶者）

末子出生後1年2ヶ月以降に配偶者が取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「育児休業制度」が269.6日、「育児休業（再取得）」が212.8日、「年次有給休暇制度」が48.1日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が12.7日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は208.7日となっている。

「女性・正社員」では、「育児休業制度」が83.0日、「育児休業（再取得）」が7.0日、「年次有給休暇制度」が5.0日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が31.6日、「配偶者出産休暇制度」が15.0日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は11.3日となっている。

図表Ⅲ-108 末子出生後1年2ヶ月以降に取得した制度の平均取得期間（配偶者）：数量回答 (Q36_2)



<集計対象サンプル数>

	産後休業	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産休暇制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	-	23	6	20	5	-	1	32
女性・正社員	-	2	1	41	3	1	1	44

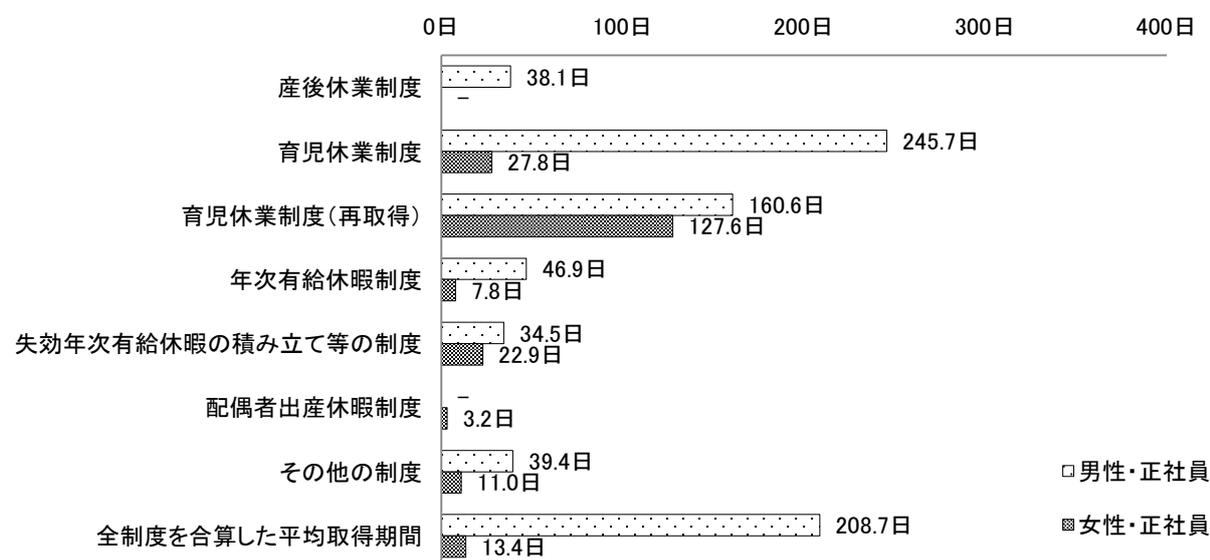
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

④ 全時期を通じて取得した制度の平均取得期間（配偶者）

末子出生後の全時期を通じて配偶者が取得した平均取得期間をみると、「男性・正社員」では、「産後休業制度」が38.1日、「育児休業制度」が245.7日、「育児休業（再取得）」が160.6日、「年次有給休暇制度」が46.9日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が34.5日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は208.7日となっている。

「女性・正社員」では、「育児休業制度」が27.8日、「育児休業（再取得）」が127.6日、「年次有給休暇制度」が7.8日、「失効年次有給休暇の積み立て等の制度」が22.9日、「配偶者出産休暇制度」が3.2日となっている。配偶者がいずれかの制度を利用した人全体の、平均取得期間は13.4日となっている。

図表Ⅲ-109 全時期を通じて取得した制度の平均取得期間（配偶者）：数量回答(Q36_2)



<集計対象サンプル数>

	産後休業	育児休業制度	育児休業制度(再取得)	年次有給休暇制度	失効年次有給休暇の積み立て等の制度	配偶者出産休暇制度	その他の制度	全制度を合算した平均取得期間
男性・正社員	128	112	32	98	24	-	5	159
女性・正社員	-	26	4	248	20	114	5	302

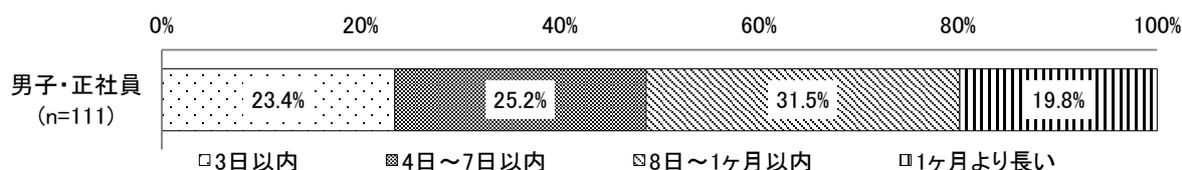
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(9) 休暇・休業の取得期間の分布（本人）

① 育児休業制度の取得期間の分布（本人）

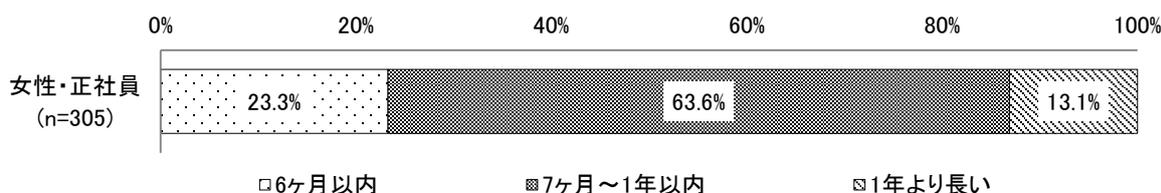
育児休業を取得した人について、本人の育児休業の取得期間の分布をみると、「男性・正社員」では、「8日～1ヶ月以内」の割合がもっとも高く（31.5%）、次いで「4日～7日以内」（25.2%）となっている。「女性・正社員」では、「7ヶ月～1年以内」の割合がもっとも高く（63.6%）、次いで「6ヶ月以内」（23.3%）となっている。

図表Ⅲ-110 育児休業制度の取得期間（再取得分を含む）の分布（本人;男性）：数量回答(Q36_1)



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-111 育児休業制度の取得期間の分布（再取得分を含む）（本人;女性）：数量回答(Q36_1)

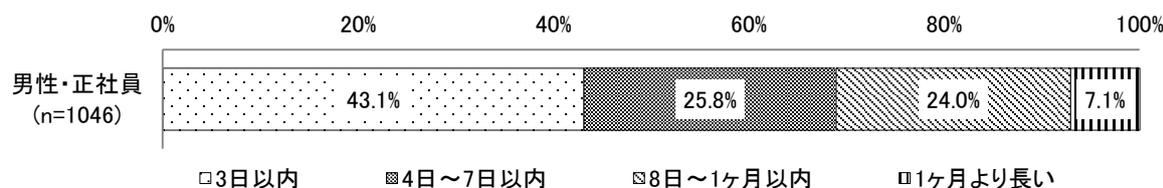


注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 全休暇・休業制度の合計の取得期間（本人）

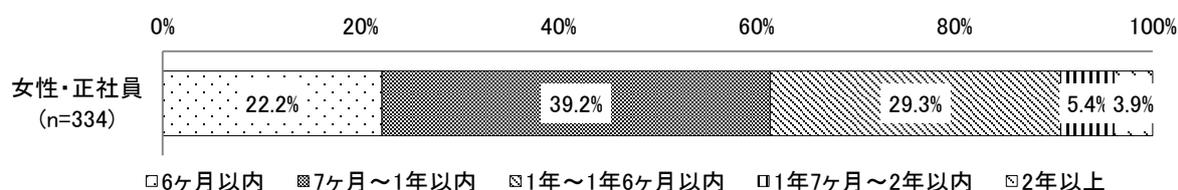
いずれかの休暇・休業を取得した人について、全ての制度を合わせた本人の休暇・休業の取得期間をみると、「男性・正社員」では、「3日以内」の割合がもっとも高く（43.1%）、次いで「4～7日」（25.8%）となっている。「女性・正社員」では、「7ヶ月～1年以内」の割合がもっとも高く（39.2%）、次いで「1年～1年6ヶ月以内」（29.3%）となっている。

図表Ⅲ-112 全休暇・休業制度の合計の取得期間（本人;男性）：数量回答(Q36_1)



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-113 全休暇・休業制度の合計の取得期間（本人;女性）：数量回答(Q36_1)



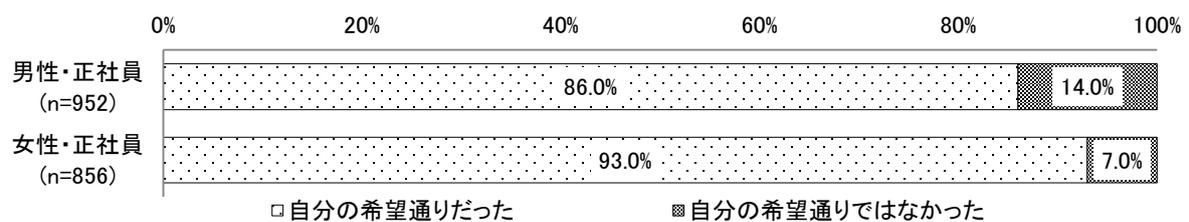
注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(10) 取得した休暇・休業期間の希望の合致度

① 本人が取得した休暇・休業期間の希望合致度

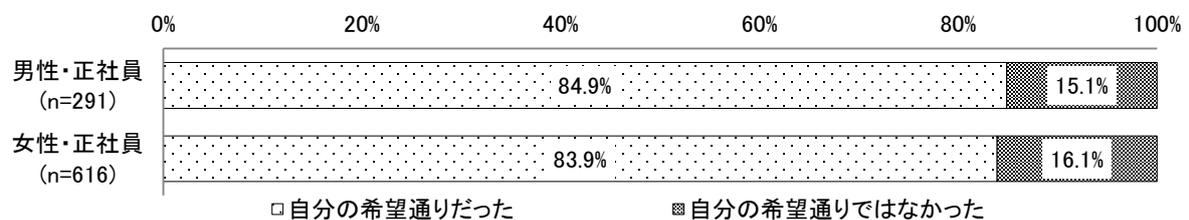
いずれかの休暇・休業制度を利用した人について、取得した休暇・休業期間が希望通りだったかをみると、「男性・正社員」では、どの時期においても「自分の希望通りではなかった」が14～15%となっている。「女性・正社員」では、「自分の希望通りではなかった」とする割合が「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」でもっとも高く、17.3%となっている。

図表Ⅲ-114 本人が取得した休暇・休業期間の希望合致度（末子出生後8週間以内の取得）：単数回答(Q37_1_1)



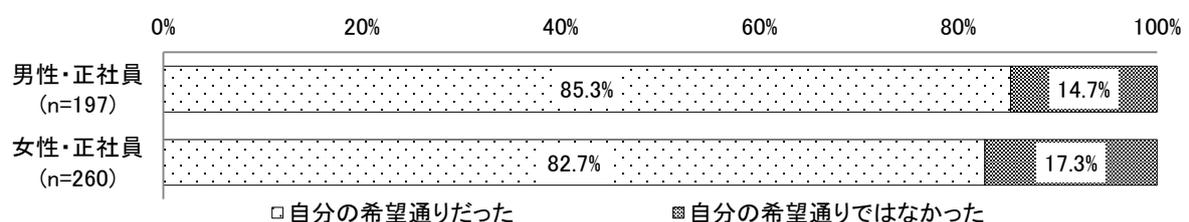
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-115 本人が取得した休暇・休業期間の希望合致度（末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得）：単数回答(Q37_1_2)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-116 本人が取得した休暇・休業期間の希望合致度（末子出生後1年2ヶ月以降の取得）：単数回答(Q37_1_3)

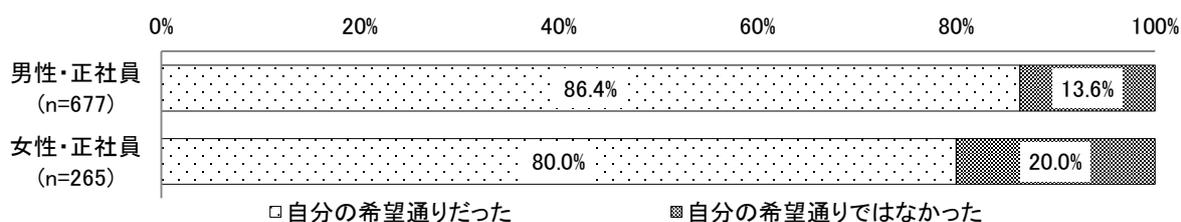


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 配偶者が取得した休暇・休業期間に対する回答者本人の希望合致度

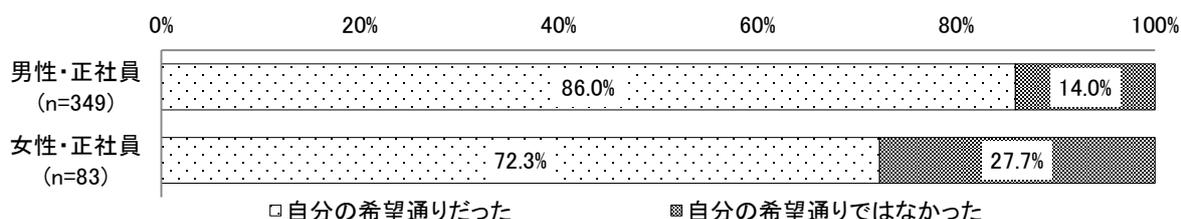
配偶者がいずれかの休暇・休業制度を利用した人について、配偶者が取得した休暇・休業期間が回答者の希望通りだったかをみると、「男性・正社員」では「自分の希望通りではなかった」が「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」でもっとも高く、14.0%となっている。「女性・正社員」では、「自分の希望通りではなかった」とする割合が「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」でもっとも高く、28.1%となっている。

図表Ⅲ-117 配偶者が取得した休暇・休業期間に対する回答者本人の希望合致度（末子出生後8週間以内の取得）：単数回答(Q37_2_1)



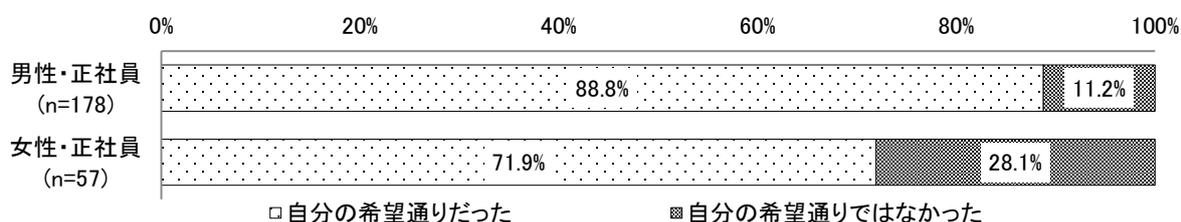
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-118 配偶者が取得した休暇・休業期間に対する回答者本人の希望合致度（末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得）：単数回答(Q37_2_2)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-119 配偶者が取得した休暇・休業期間に対する回答者本人の希望合致度（末子出生後1年2ヶ月以降の取得）：単数回答(Q37_2_3)



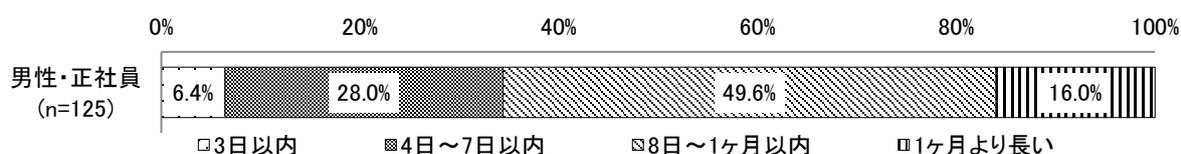
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(11) 取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間

① 取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間(男性)

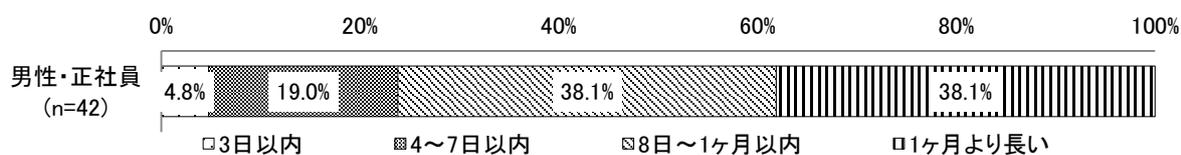
取得した休暇・休業期間が自分の希望通りではなかった男性回答者について、希望していた休暇・休業期間をみると、それぞれ、「末子出生後 8 週間以内の取得」では「8 日～1 ヶ月以内」が 49.6%、「末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内の取得」では「8 日～1 ヶ月以内」「1 ヶ月より長い」が 38.1%、「末子出生後 1 年 2 ヶ月以降の取得」では「1 ヶ月より長い」が 36.0%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-120 取得者のうち、取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間（男性；末子出生後 8 週間以内の取得）：単数回答(Q38_1_1)



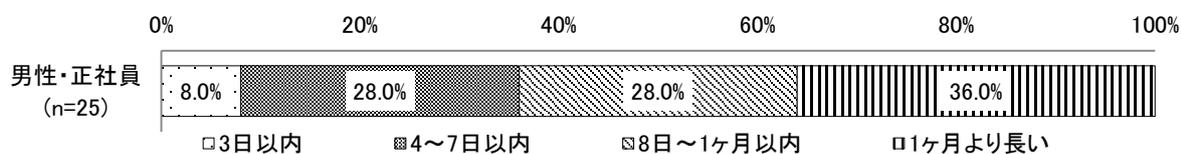
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-121 取得者のうち、取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間（男性；末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内の取得）：単数回答(Q38_1_2)



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-122 取得者のうち、取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間（男性；末子出生後 1 年 2 ヶ月以降の取得）：単数回答(Q38_1_3)

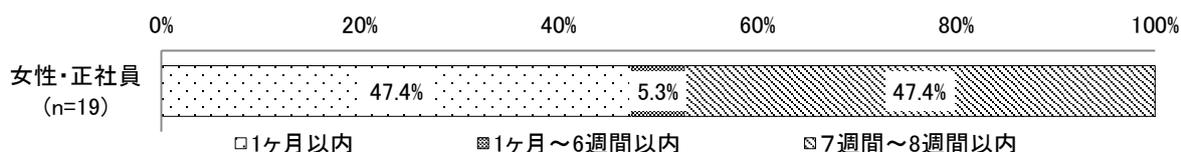


注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間(女性)

取得した休暇・休業期間が自分の希望通りではなかった女性回答者について、希望していた休暇・休業期間をみると、それぞれ、「末子出生後8週間以内の取得」では「1ヶ月以内」「7週間～8週間」が47.4%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」では「9ヶ月～1年以内」が64.3%、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」では「3ヶ月以内」が55.2%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-123 取得者のうち、取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後8週間以内の取得):単数回答(Q38_1_1)



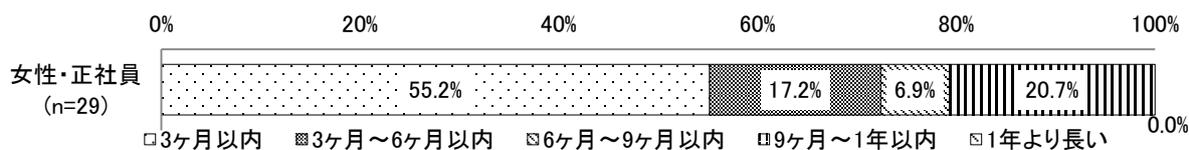
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-124 取得者のうち、取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得):単数回答(Q38_1_2)



注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-125 取得者のうち、取得期間が希望通りではなかった回答者が希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後1年2ヶ月以降の取得):単数回答(Q38_1_3)



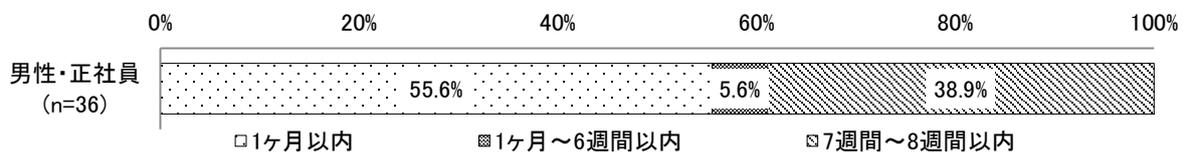
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

(12) 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間

① 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(男性)

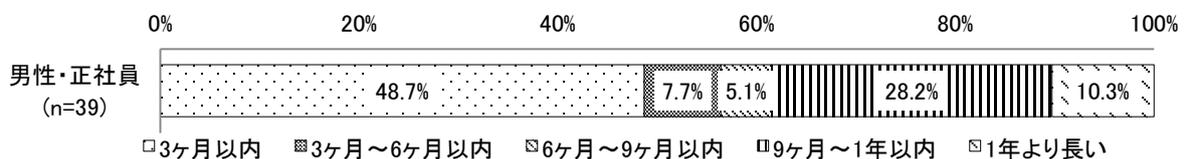
配偶者が取得した休暇・休業期間が自分の希望通りではなかった男性回答者について、配偶者に希望していた休暇・休業期間をみると、それぞれ、「末子出生後 8 週間以内の取得」では「1 ヶ月以内」が 55.6%、「末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内の取得」では「3 ヶ月以内」が 48.7%、「末子出生後 1 年 2 ヶ月以降の取得」では「3 ヶ月以内」が 70.6%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-126 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(男性;末子出生後 8 週間以内の取得):数量回答(Q38_1_1)



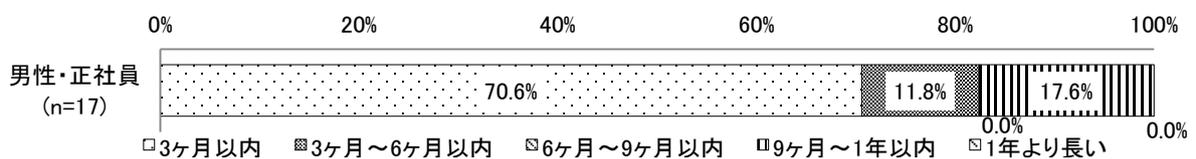
注) 就業形態(「男性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-127 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(男性;末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内の取得):数量回答(Q38_1_2)



注) 就業形態(「男性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-128 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(男性;末子出生後 1 年 2 ヶ月以降の取得):数量回答(Q38_1_3)

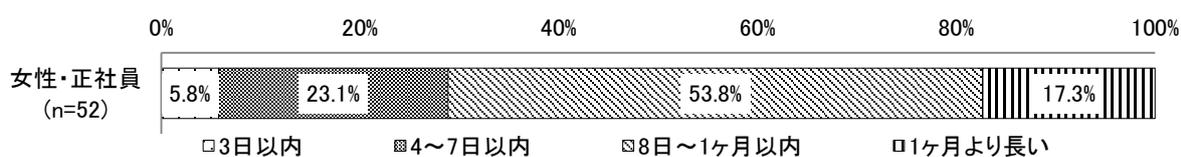


注) 就業形態(「男性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

② 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性)

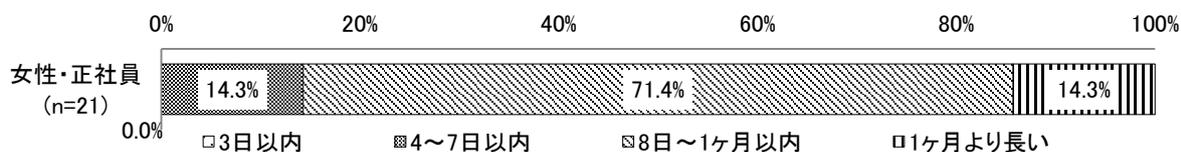
配偶者が取得した休暇・休業期間が自分の希望通りではなかった女性回答者について、配偶者に希望していた休暇・休業期間をみると、それぞれ、「末子出生後 8 週間以内の取得」では「8 日～1 ヶ月以内」が 53.8%、「末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内の取得」では「8 日～1 ヶ月以内」が 71.4%、「末子出生後 1 年 2 ヶ月以降の取得」では「1 週間以内」「8 日～1 ヶ月以内」が 46.2% ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-129 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性:末子出生後 8 週間以内の取得):数量回答(Q38_1_1)



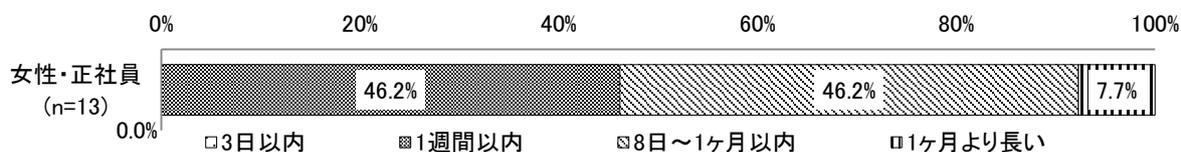
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-130 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性:末子出生後 8 週間～1 年 2 ヶ月以内の取得):数量回答(Q38_1_2)



注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-131 配偶者の取得期間が回答者本人にとって希望通りではなかった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性:末子出生後 1 年 2 ヶ月以降の取得):数量回答(Q38_1_3)



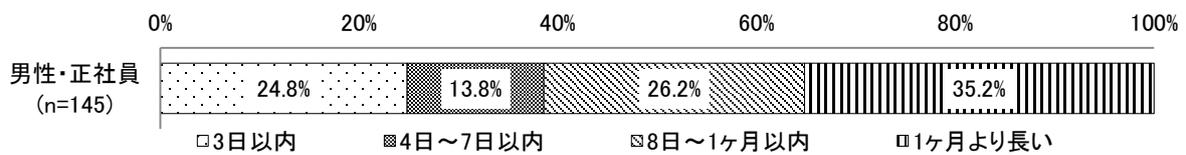
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

(13) 非取得者層が希望していた休暇・休業期間

① 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(男性)

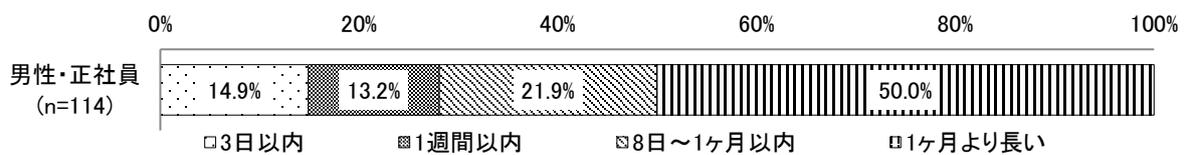
休暇・休業を取得しなかったが、いずれかの休暇・休業の取得を希望していた男性回答者について、希望していた取得期間をみると、それぞれ、「末子出生後8週間以内の取得」では「1ヶ月より長い」が35.2%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」では「1ヶ月より長い」が50.0%、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」では「1ヶ月より長い」が47.2%、「全時期合計」では「1ヶ月より長い」が52.1%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-132 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(男性;末子出生後8週間以内の取得):数量回答(Q38_1_1)



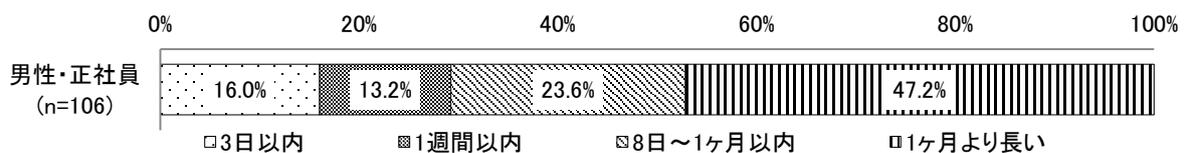
注) 就業形態(「男性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-133 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(男性;末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得):数量回答(Q38_1_2)



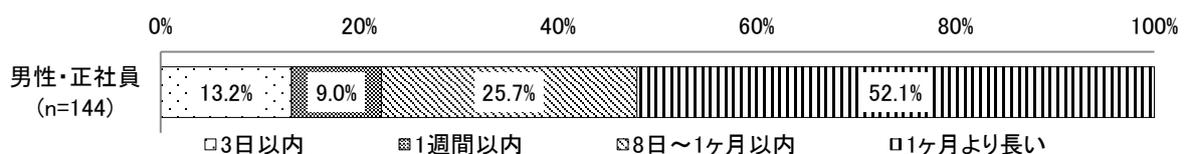
注) 就業形態(「男性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-134 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(男性;末子出生後1年2ヶ月以降の取得):数量回答(Q38_1_3)



注) 就業形態(「男性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

表Ⅲ-135 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(男性;全時期合計):数量回答(Q38_1)

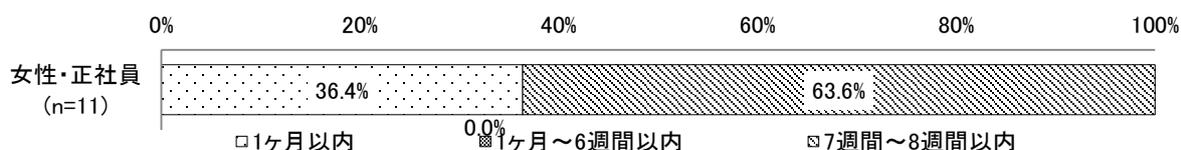


注) 就業形態(「男性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

② 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(女性)

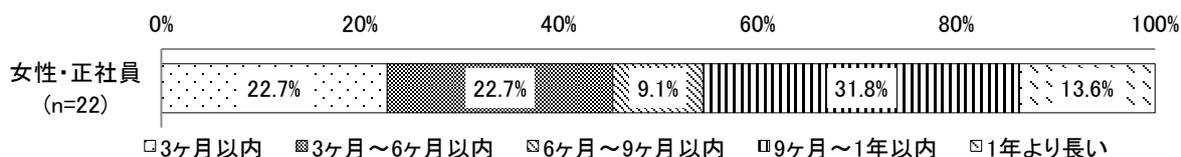
休暇・休業を取得しなかったが、いずれかの休暇・休業の取得を希望していた女性回答者について、希望していた取得期間をみると、それぞれ、「末子出生後8週間以内の取得」では「7週間～8週間以内」が63.6%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」では「9ヶ月～1年以内」が31.8%、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」では「3ヶ月以内」が33.3%、「全時期合計」では「6ヶ月～1年以内」が31.0%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-136 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後8週間以内の取得):数量回答(Q38_1_1)



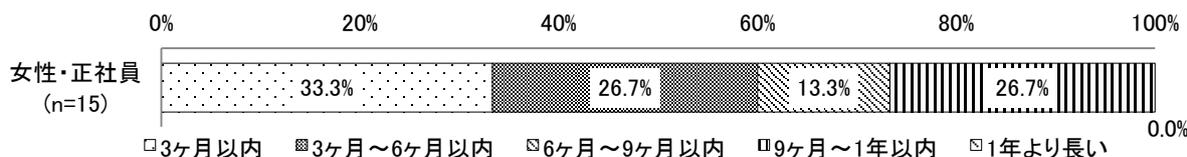
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-137 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得):数量回答(Q38_1_2)



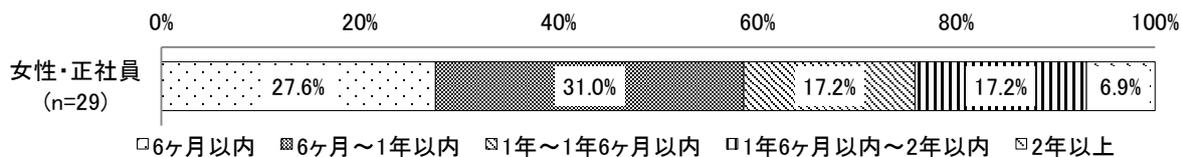
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-138 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後1年2ヶ月以降の取得):数量回答(Q38_1_3)



注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-139 非取得者層が希望していた休暇・休業期間(女性;全時期合計):数量回答(Q38_1_3)



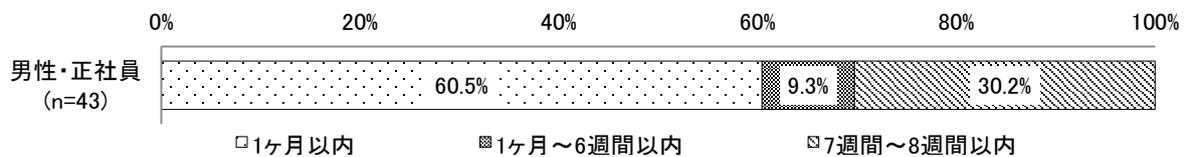
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

(14) 配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間

① 配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(男性)

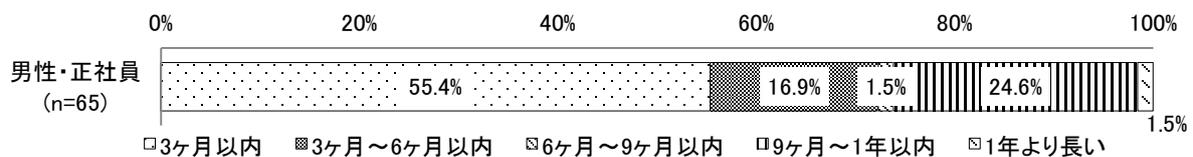
配偶者が休暇・休業を取得しなかったが、配偶者に取得を希望していた男性回答者について、配偶者に希望していた取得期間をみると、それぞれ、「末子出生後8週間以内の取得」では「1ヶ月以内」が60.5%、「末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得」では「3ヶ月以内」が55.4%、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」では「3ヶ月以内」が60.7%、「全時期合計」では「6ヶ月以内」が52.9%とともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-140 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間（男性；末子出生後8週間以内の取得）：数量回答(Q38_1_1)



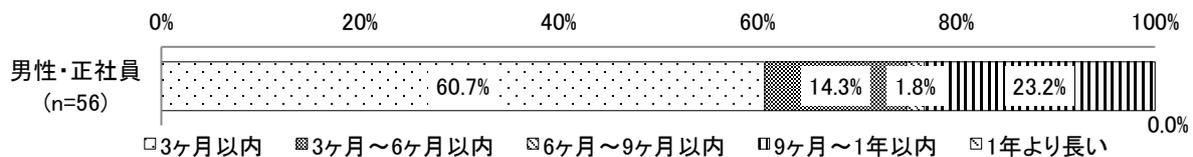
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-141 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間（男性；末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得）：数量回答(Q38_1_2)



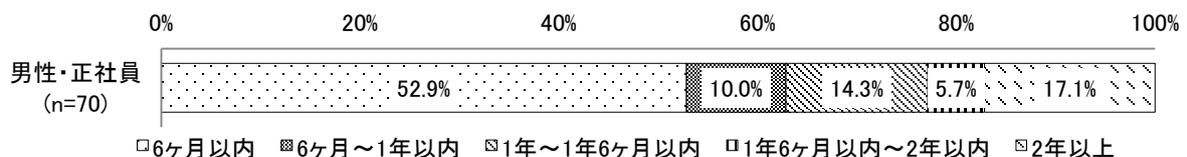
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-142 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間（男性；末子出生後1年2ヶ月以降の取得）：数量回答(Q38_1_3)



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-143 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間（男性；全時期合計）：数量回答(Q38_1)

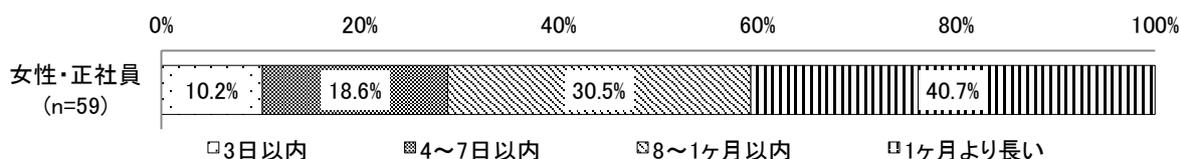


注注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性)

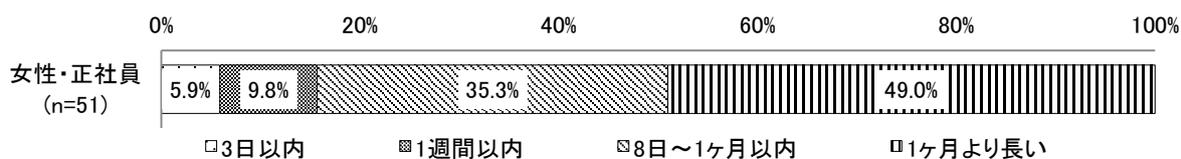
配偶者が休暇・休業を取得しなかったが、配偶者に取得を希望していた女性回答者について、配偶者に希望していた取得期間をみると、それぞれ、「末子出生後8週間以内の取得」では「1ヶ月より長い」が40.7%、「末子出生後8週間～1歳2ヶ月以内の取得」では「1ヶ月より長い」が49.0%、「末子出生後1年2ヶ月以降の取得」では「8日～1ヶ月以内」「1ヶ月以内」が39.1%、「全時期合計」では「1ヶ月より長い」が90.9%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-144 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後8週間以内の取得):単数回答(Q38_1_1)



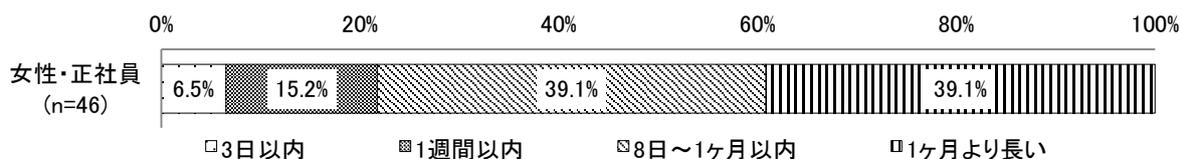
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-145 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得):単数回答(Q38_1_2)



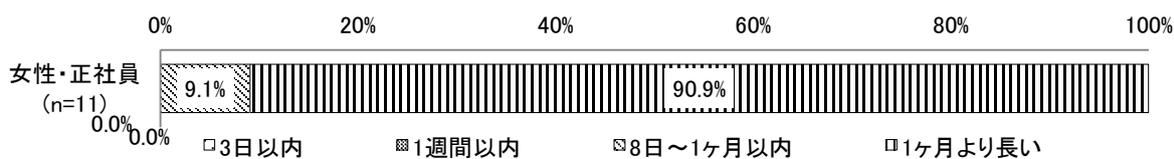
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-146 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性;末子出生後1年2ヶ月以降の取得):単数回答(Q38_1_3)



注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

図表Ⅲ-147 非取得の配偶者に対して取得希望のあった回答者が、配偶者に希望していた休暇・休業期間(女性;全時期):単数回答(Q38_1)



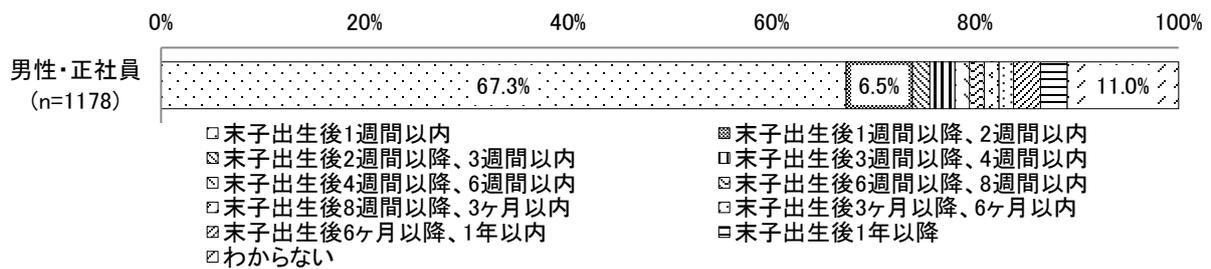
注) 就業形態(「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。

(15) 最も長く連続で取得した休暇・休業（男性）

① 最も長く連続で取得した休暇・休業の開始時期（男性）

いずれかの休暇・休業を取得した男性回答者について、最も長く連続で取得した休暇・休業の開始時期をみると、「末子出生後1週間以内」がもっとも高く（67.3%）、次いで「わからない」が11.0%、「末子出生後1週間以降、2週間以内」が6.5%となっている。

図表Ⅲ-148 最も長く連続で取得した休暇・休業の開始時期（男性）：単数回答(Q39)



<数値表>

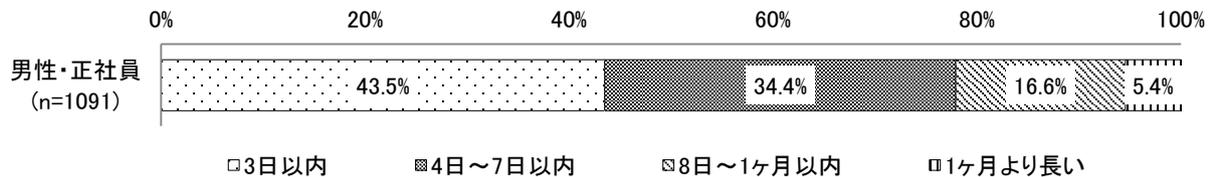
	n	末子出生後1週間以内	末子出生後1週間以降、2週間以内	末子出生後2週間以降、3週間以内	末子出生後3週間以降、4週間以内	末子出生後4週間以降、6週間以内	末子出生後6週間以降、8週間以内	末子出生後8週間以降、3ヶ月以内	末子出生後3ヶ月以降、6ヶ月以内	末子出生後6ヶ月以降、1年以内	末子出生後1年以内	わからない
男性・正社員	1178	67.3%	6.5%	1.7%	2.5%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	2.6%	2.6%	11.0%

注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 最も長く連続で取得した休暇・休業期間（男性）

いずれかの休暇・休業を取得した男性回答者について、最も長く連続で取得した休暇・休業の開始時期をみると、「3日以内」が43.5%と最も高く、次いで「4日～7日以内」が34.4%、「8日～1ヶ月以内」が16.6%、「1ヶ月より長い」が5.4%となっている。

図表Ⅲ-149 男性が最も長く連続で取得した休暇・休業期間：単数回答(Q40)



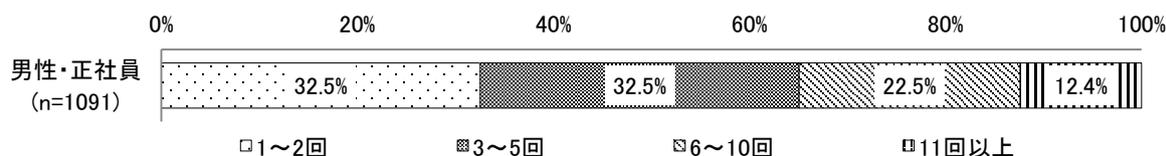
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(16) 休暇・休業の取得回数（男性）

① 末子出生後1年2ヶ月までに取得した休暇・休業の回数（男性）

いずれかの休暇・休業を取得した男性回答者について、末子出生後1年2ヶ月までに取得した休暇・休業の回数をみると、「1～2回以内」「3～5回以内」が32.5%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-150 末子出生後1年2ヶ月になるまでに取得した休暇・休業の回数（男性）：数量回答 (Q41_1)

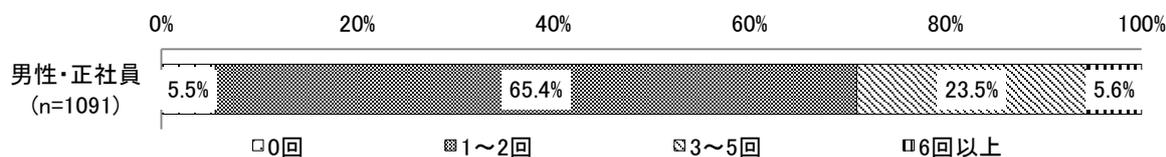


注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q33にて、いずれかの休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

② 末子出生後8週間以内に男性が取得した休暇・休業の回数

いずれかの休暇・休業を取得した男性回答者について、末子出生後8週間以内に取得した休暇・休業の回数をみると、「1～2回以内」が65.4%ともっとも高く、次いで「3～5回」が23.5%となっている。

図表Ⅲ-151 末子出生後8週間以内に取得した休暇・休業の回数（男性）：数量回答 (Q41_2)



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q33にて、いずれかの休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

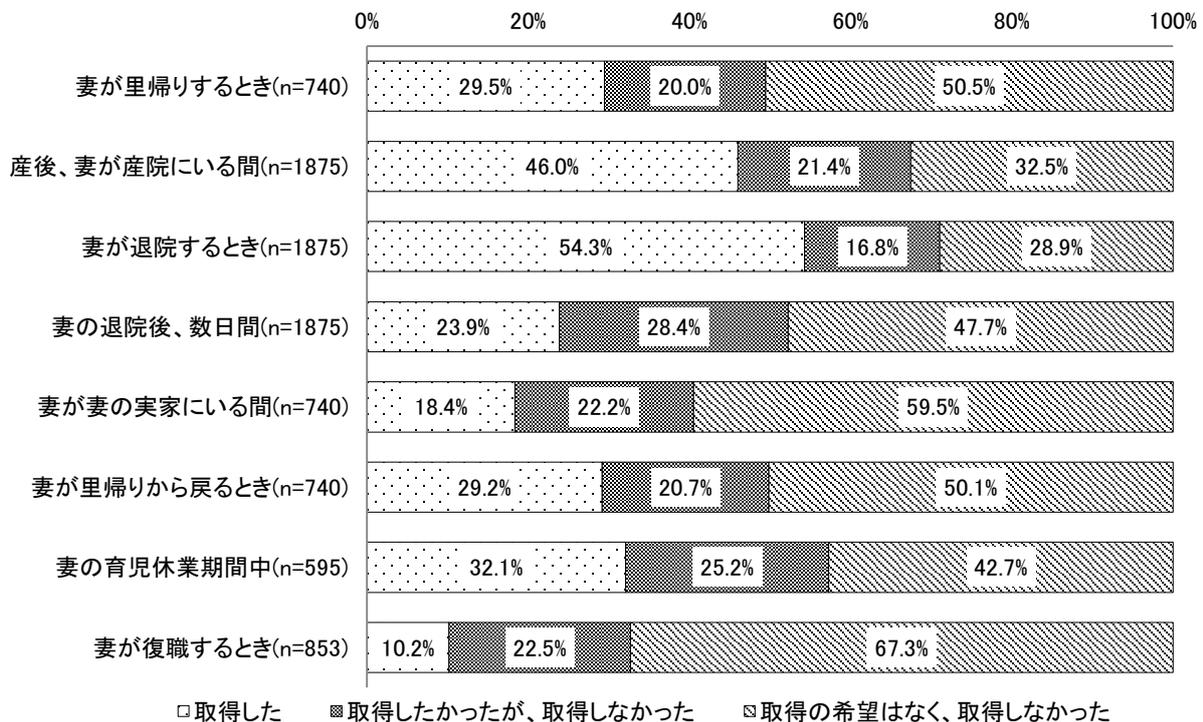
(17) 夫の休暇・休業取得のタイミング

① 夫の休暇・休業取得のタイミング（男性回答者本人の休暇・休業の取得状況）

末子の出産後の様々なタイミングにおいて夫が休暇・休業を取得したかどうかについて、「男性・正社員」の取得状況をみると、「取得した」という割合は、「妻が退院するとき」で 54.3%ともっとも高く、次いで「産後、妻が産院にいる間」で 46.0%となっている。「妻の育児休業期間中」に「取得した」は、32.1%、「妻が復職するとき」に「取得した」は 10.2%となっている。

「取得しなかったが、取得しなかった」の割合をみると、「妻の退院後、数日間」が 28.4%と最も高く、次いで「妻の育児休業期間中」が 25.2%となっている。

図表Ⅲ-152 タイミング別、男性回答者本人の休暇・休業の取得状況：単数回答(Q44_1~8)



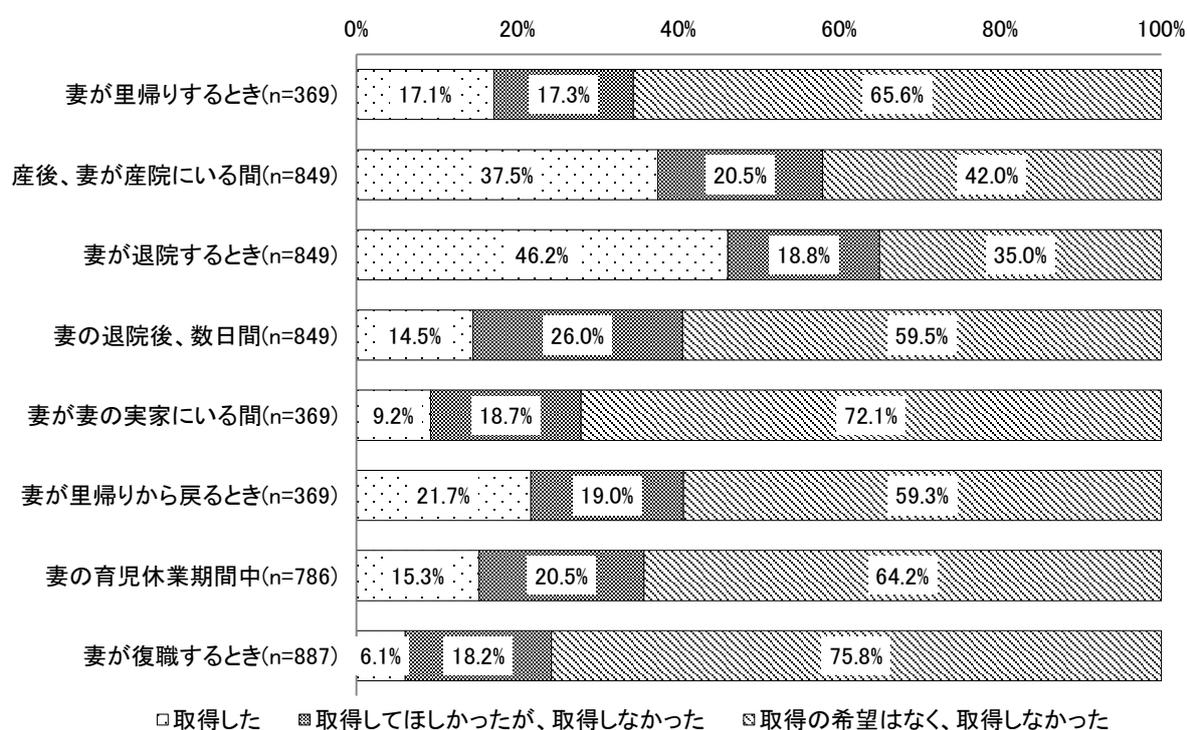
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
 注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。
 注) 「妻が里帰りするとき」「妻が妻の実家にいるとき」「妻が里帰りから戻るとき」は、Q25_1にて、里帰りに該当するとした回答者を集計対象とする。
 注) 「産後、妻が産院にいる間」「妻が退院するとき」「妻の退院後、数日間」は、Q25_3にて、自宅出産に該当しないとした回答者を集計対象とする。
 注) 「妻の育児休業期間中」は、Q34_2にて、配偶者が育児休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。
 注) 「妻が復職するとき」は、Q42にて、妻がすでに復職しているとした回答者を集計対象とする。

② タイミング別、女性回答者の配偶者の取得状況および配偶者に対する取得希望

末子の出産後の様々なタイミングにおいて夫が休暇・休業を取得したかどうかについて、「女性・正社員」の配偶者の取得状況をみると、「取得した」という割合は、「妻が退院するとき」で46.2%と最も高く、次いで「産後、妻が産院にいる間」で37.5%となっている。「妻の育児休業期間中」に「取得した」は、15.3%、「妻が復職するとき」に「取得した」は6.1%となっている。

女性回答者が配偶者に対して「取得してほしいかったが、取得しなかった」の割合をみると、「妻の退院後、数日間」が26.0%と最も高く、次いで「妻が産院にいる間」「妻の育児休業期間中」が20.5%となっている。

図表Ⅲ-153 タイミング別、女性回答者の配偶者の取得状況および配偶者に対する取得希望：単数回答(Q44_1~_8)



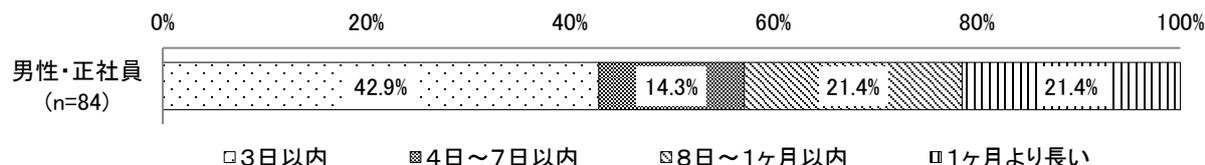
- 注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
- 注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。
- 注) 「妻が里帰りするとき」および「妻が妻の実家にいるとき」「妻が里帰りから戻るとき」は、Q25_1にて里帰りに該当するとした回答者を集計対象とする。
- 注) 「産後、妻が産院にいる間」「妻が退院するとき」「妻の退院後、数日間」は、Q25_3にて、自宅出産に該当しないとした回答者を集計対象とする。
- 注) 「妻の育児休業期間中」は、Q33_2にて、本人が育児休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

(18) 妻の復職時の夫の休暇・休業の取得期間

① 妻の復職時に夫が取得した実際の休暇・休業期間（男性回答者本人が取得した期間）

妻が復職するときに、休暇・休業を取得した男性回答者について、取得した休暇・休業期間をみると、「3日以内」が42.9%ともっとも高く、次いで、「8日～1ヶ月以内」「1ヶ月より長い」が21.4%となっている。

図表Ⅲ-154 妻の復職時に夫が取得した実際の休暇・休業期間（男性回答者本人が取得した期間）：
数量回答(Q45_2)



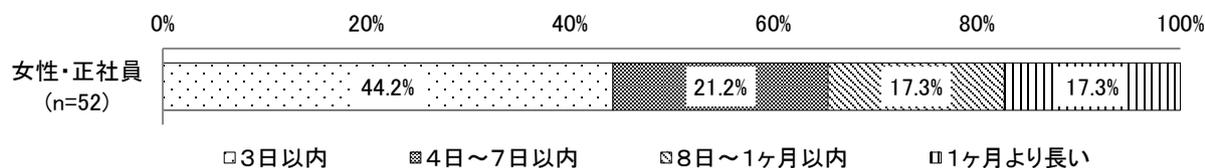
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) Q44_8にて、妻の復職時に休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

② 妻の復職時に夫が取得した実際の休暇・休業期間（女性回答者の配偶者が取得した期間）

妻が復職するときに、休暇・休業を取得した女性回答者の配偶者について、取得した休暇・休業期間をみると、「3日以内」が44.2%ともっとも高く、次いで、「4日～7日以内」が21.2%となっている。

図表Ⅲ-155 妻の復職時に夫が取得した実際の休暇・休業期間（女性回答者の配偶者が取得した期間）：
数量回答(Q45_2)



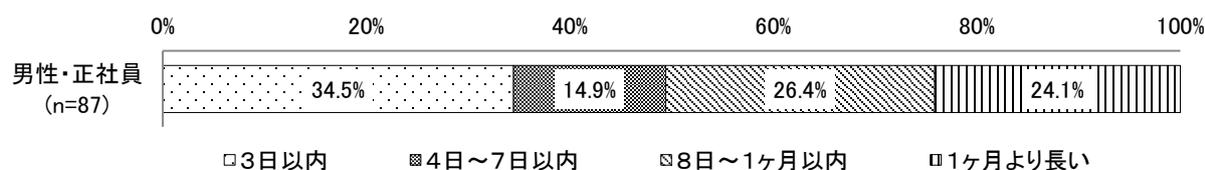
注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) Q44_8にて、妻の復職時に配偶者が休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

③ 妻の復職時に夫が取得した休暇・休業について、夫が希望していた休暇・休業期間（男性回答者本人の希望）

妻が復職するときに、休暇・休業を取得した男性回答者について、希望していた休暇・休業期間をみると、「3日以内」が34.5%ともっとも高く、次いで、「8日～1ヶ月以内」が26.4%となっている。

図表Ⅲ-156 妻の復職時に夫が取得した休暇・休業について、夫が希望していた休暇・休業期間：数量回答(Q45_2)

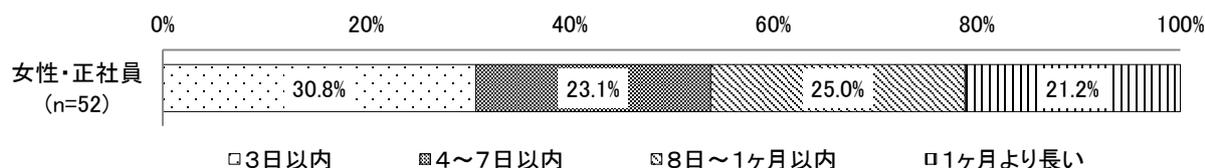


注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q44_8にて、妻の復職時に休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

④ 妻の復職時に夫が取得した休暇・休業を取得について、妻が夫に希望していた休暇・休業期間（女性回答者の配偶者への希望）

妻が復職するときに、配偶者が休暇・休業を取得した女性回答者について、配偶者に希望していた休暇・休業期間をみると、「3日以内」が30.8%ともっとも高く、次いで、「8日～1ヶ月以内」が25.0%となっている。

図表Ⅲ-157 妻の復職時に夫が取得した休暇・休業を取得について、妻が夫に希望していた休暇・休業期間：数量回答(Q45_2)

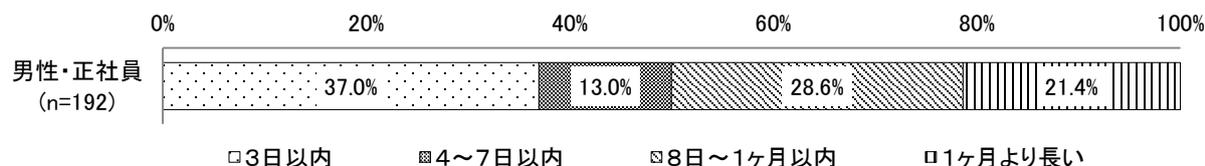


注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q44_8にて、妻の復職時に配偶者が休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

⑤ 妻の復職時に休暇・休業の取得を希望していたが、取得しなかった夫が、妻の復職時に希望していた休暇・休業期間（男性回答者本人の希望）

妻が復職するときに、休暇・休業を取得しなかったが、取得を希望していた男性回答者について、希望していた休暇・休業期間をみると、「3日以内」が37.0%ともっとも高く、次いで、「8日～1ヶ月以内」が28.6%となっている。

図表Ⅲ-158 妻の復職時に休暇・休業の取得を希望していたが、取得しなかった夫が、妻の復職時に希望していた休暇・休業期間：数量回答(Q45_2)

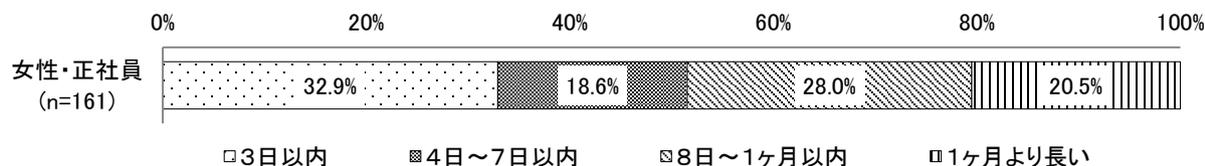


注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
 注) Q44_8にて、妻の復職時に休暇・休業の取得を取得したが、取得しなかったとした回答者を集計対象とする。

⑥ 妻の復職時に、夫に休暇・休業の取得を希望していたが、夫が取得しなかった妻の、妻の復職時に希望していた休暇・休業期間（女性回答者の配偶者への希望）

妻が復職するときに、配偶者が休暇・休業を取得しなかったが、配偶者に取得を希望していた女性回答者について、希望していた休暇・休業期間をみると、「3日以内」が32.9%ともっとも高く、次いで、「8日～1ヶ月以内」が28.0%となっている。

図表Ⅲ-159 妻の復職時に、夫に休暇・休業の取得を希望していたが、夫が取得しなかった妻の、妻の復職時に希望していた休暇・休業期間：数量回答(Q45_2)

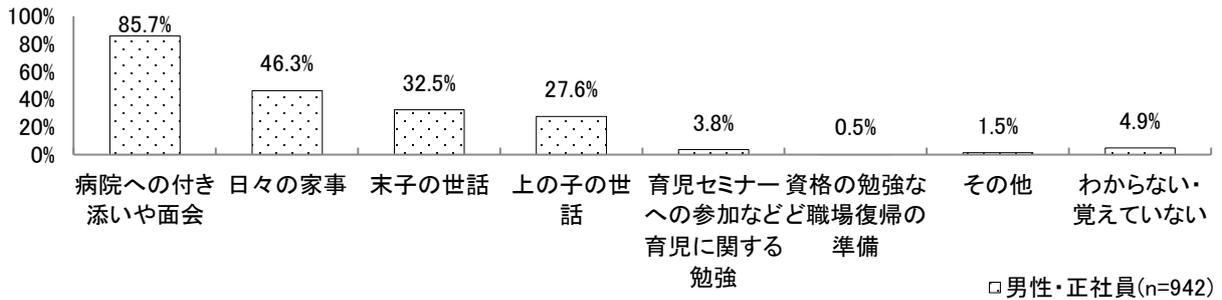


注) 就業形態（「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
 注) Q44_8にて、妻の復職時に配偶者に休暇・休業の取得を取得してほしかったが、配偶者は取得しなかったとした回答者を集計対象とする。

(19) 取得時期別、休暇・休業中に行ったこと（男性）

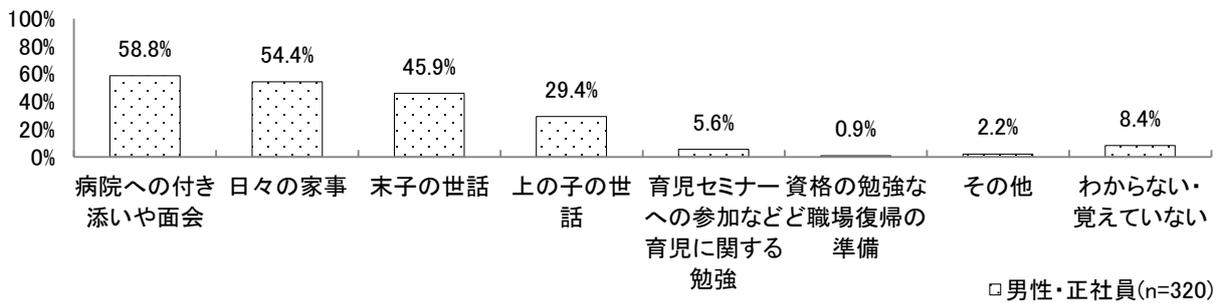
休暇・休業を取得した男性について、休暇・休業中に行ったことをみると、「末子出生後8週間以内の休暇・休業中」「末子出生後8週間～1歳2ヶ月以内の休暇・休業中」では「病院への付き添いや面会」の割合がもっとも高くなっている（それぞれ85.7%、58.8%）。「妻が復職した時期の休暇・休業中」では、「日々の家事」が60.7%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-160 取得した休暇・休業中に行ったこと（男性；末子出生後8週間以内の休暇・休業中）：複数回答(Q46_1)



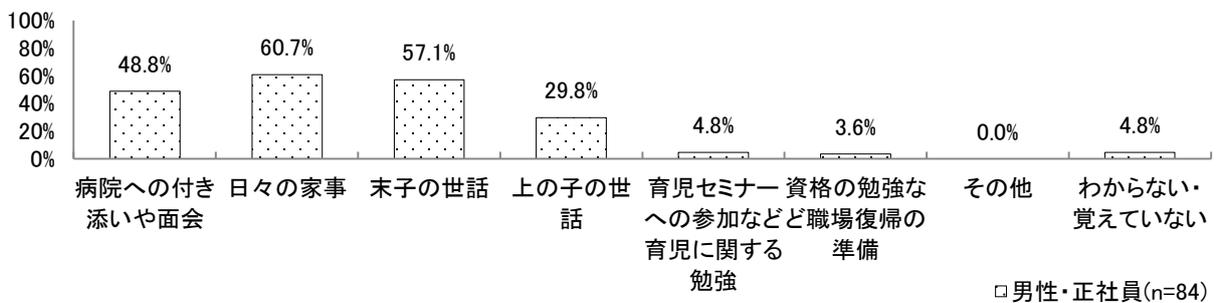
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q35にて、末子出生後8週間以内にいずれかの休暇・休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

図表Ⅲ-161 取得した休暇・休業中に行ったこと（男性；末子出生後8週間以降1年2ヶ月までの休暇・休業中）：複数回答(Q46_2)



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q35にて、末子出生後8週間～末子出生後1年2ヶ月以内にいずれかの休暇・休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

図表Ⅲ-162 取得した休暇・休業中に行ったこと（男性；妻が復職した時期の休暇・休業中）：複数回答(Q46_3)



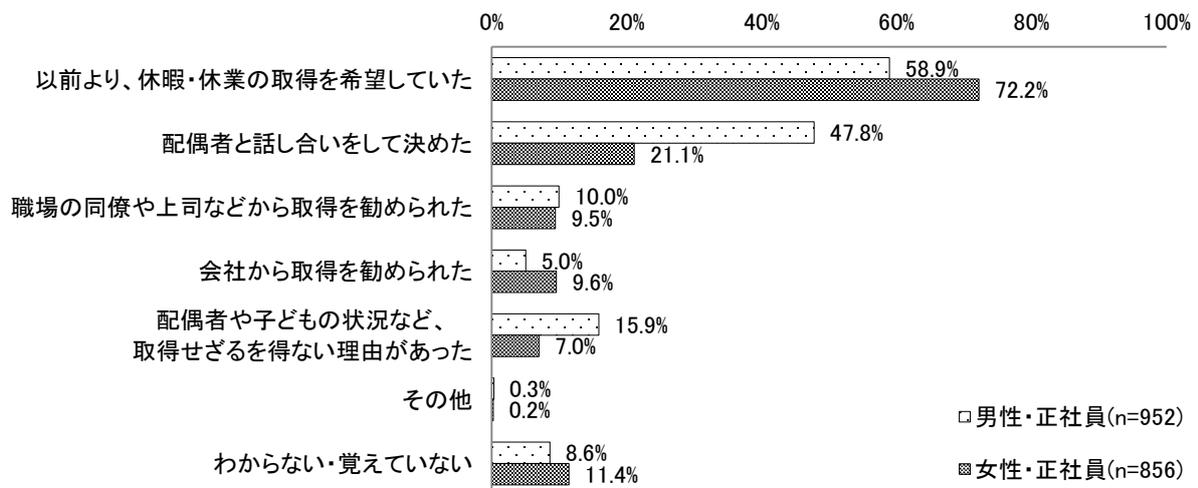
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q44_8にて、妻の復職時に休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

(20) 取得時期別、休暇・休業の取得のきっかけ（男性）

① 休暇・休業を取得したきっかけ（末子出生後8週間以内の取得）

末子出生後8週間以内に休暇・休業を取得した人について、休暇・休業の取得のきっかけをみると、「男性・正社員」は、「以前より、休暇・休業の取得を希望していた」が58.9%と最も高く、次いで「配偶者と話し合いをして決めた」が47.8%となっている。「女性・正社員」は、「以前より、休暇・休業の取得を希望していた」が72.2%と最も高くなっており、次いで「配偶者と話し合いをして決めた」が21.1%となっている。

図表Ⅲ-163 休暇・休業を取得したきっかけ（末子出生後8週間以内の取得）：複数回答(Q47_1)



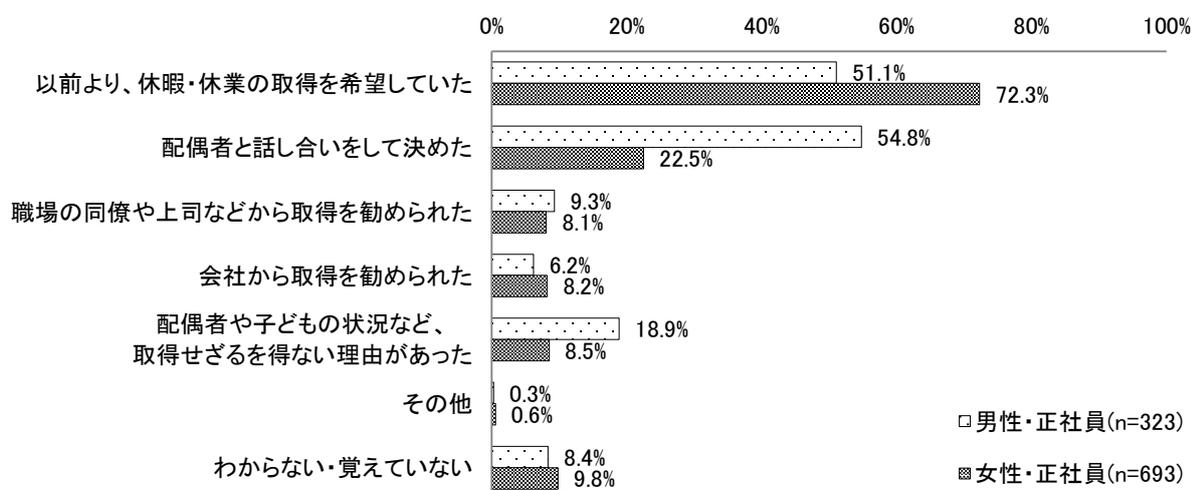
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) Q35にて、末子出生後8週間以内にいずれかの休暇・休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

② 休暇・休業を取得したきっかけ（末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間の取得）

末子出生後8週間～1年2ヶ月までに休暇・休業を取得した人について、休暇・休業の取得のきっかけをみると、「男性・正社員」は、「配偶者と話し合いをして決めた」が54.8%ともっとも高く、次いで「以前より、休暇・休業の取得を希望していた」が51.1%となっている。「女性・正社員」は、「以前より、休暇・休業の取得を希望していた」が72.3%ともっとも高くなっており、次いで「配偶者と話し合いをして決めた」が22.5%となっている。

図表Ⅲ-164 休暇・休業を取得したきっかけ（末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間の取得）：
複数回答(Q45_2)



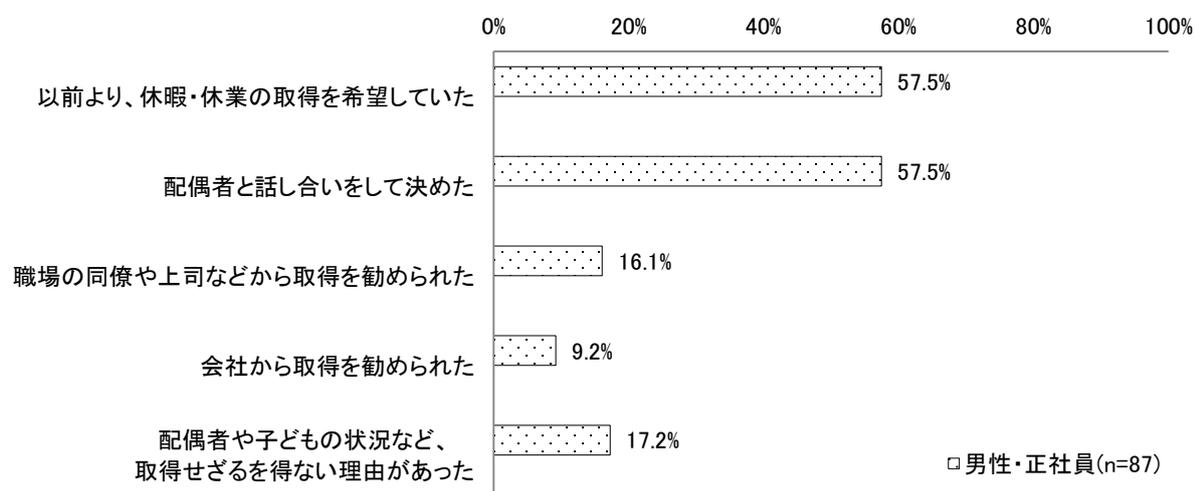
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) Q35にて、末子出生後8週間～末子出生後1年2ヶ月以内にいずれかの休暇・休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

③ 休暇・休業を取得したきっかけ（妻が復職した際の取得）

妻が復職した際に休暇・休業を取得した人について、休暇・休業の取得のきっかけをみると、「男性・正社員」で、「以前より、休暇・休業の取得を希望していた」「配偶者と話し合いをして決めた」が57.5%ともっとも高くなっている。

図表Ⅲ-165 休暇・休業を取得したきっかけ（妻が復職した際の取得）：複数回答(Q45_3)



注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

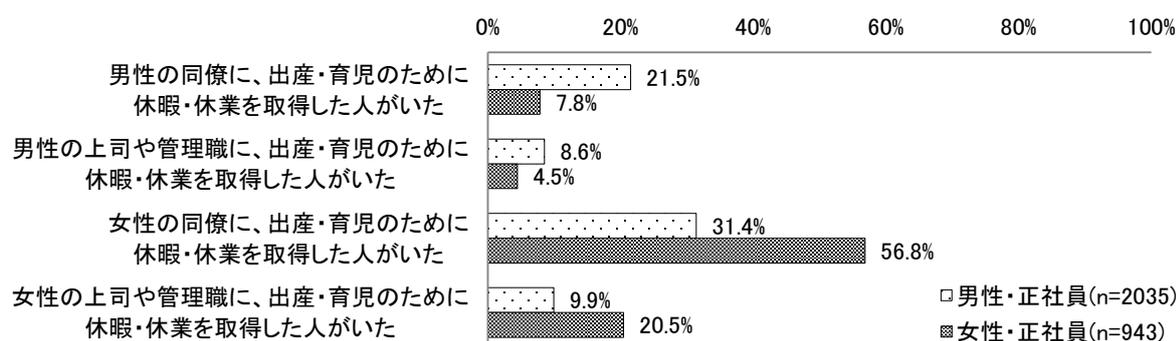
注) Q44_8にて、妻の復職時に休暇・休業を取得したとした回答者を集計対象とする。

(21) 職場の出産・育児のための休暇・休業の取得状況

末子妊娠判明当時の職場の同僚や上司および管理職に、出産・育児を目的に休暇・休業を取得した人がいたかどうかをみると、「男性・正社員」は「女性の同僚」に休暇・休業を取得した人がいたという割合がもっとも高く（31.4%）、次いで「男性の同僚」に休暇・休業を取得した人がいたという割合が高い（21.5%）。

「女性・正社員」は、「女性の同僚」に休暇・休業を取得した人がいたという割合がもっとも高く（56.8%）、次いで「女性の上司や管理職」に休暇・休業を取得した人がいたという割合が高い（20.5%）。

図表Ⅲ-166 職場の出産・育児のための休暇・休業の取得状況：複数回答(Q31)

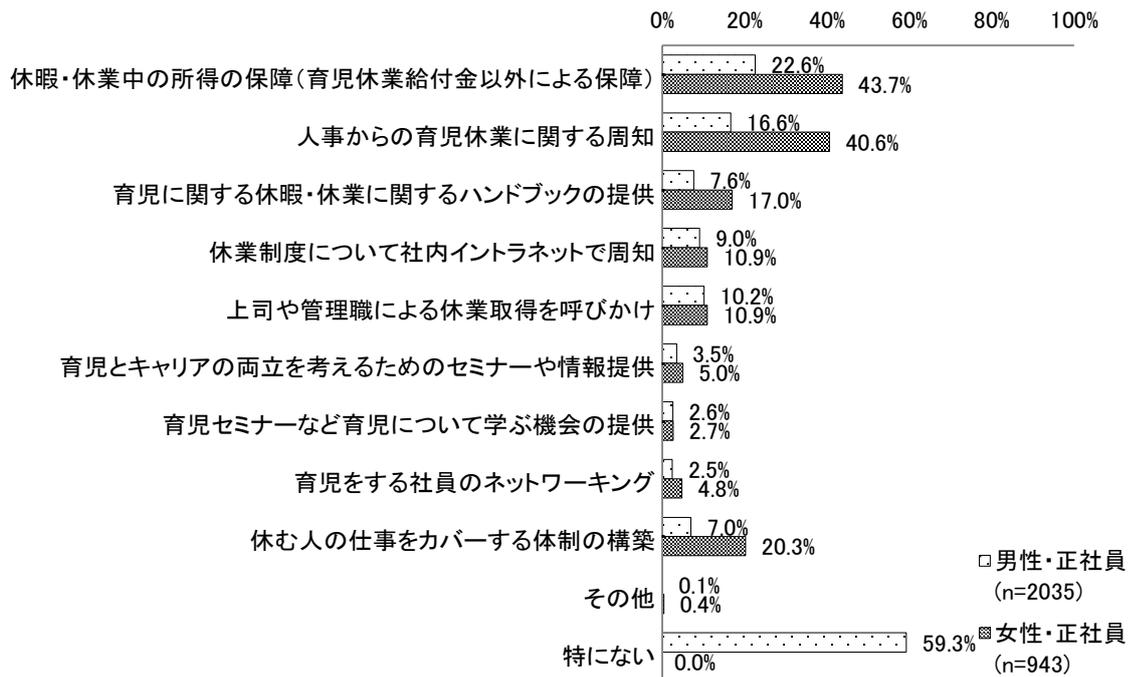


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(22) 出産・育児を目的とした休暇・休業の取得を促す職場の取組み

出産・育児を目的とした休暇・休業の取得を促す職場の取組みをみると、「男性・正社員」では、「休暇・休業中の所得の保障（育児休業給付金以外による保障）」が22.6%ともっとも高く、次いで「人事からの育児休業に関する周知」が16.6%となっている。「女性・正社員」では、「休暇・休業中の所得の保障（育児休業給付金以外による保障）」が43.7%ともっとも高く、次いで「人事からの育児休業に関する周知」が40.6%となっている。

図表Ⅲ-167 出産・育児を目的とした休暇・休業の取得を促す職場の取組み：複数回答(Q48)



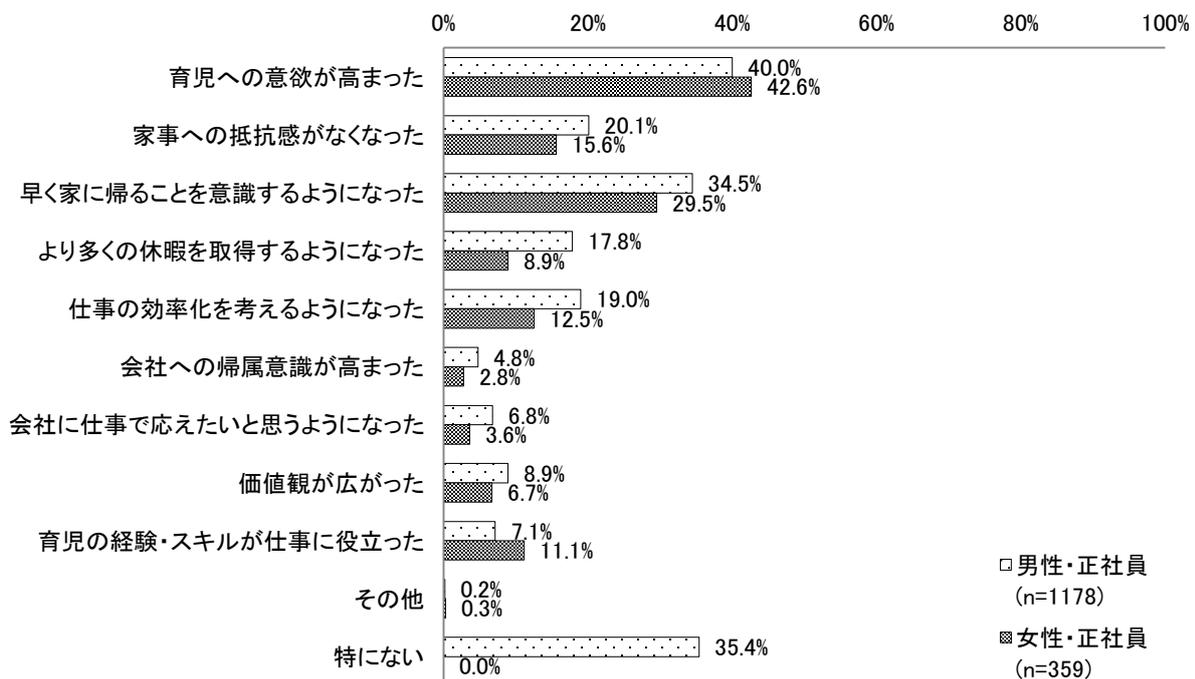
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

(23) 休暇・休業の取得による夫の変化

休暇・休業の取得によって夫（男性回答者本人、および、女性回答者の配偶者）にどのような変化があったかをみると、「男性・正社員」では、「育児への意欲が高まった」が 40.0%ともっとも高く、次いで「早く家に帰ることを意識するようになった」が 34.5%、「家事への抵抗感がなくなった」が 20.1%、「仕事の効率化を考えるようになった」が 19.0%となっている。

「女性・正社員」が思う配偶者の変化をみると、「育児への意欲が高まった」が 42.6%ともっとも高く、次いで「早く家に帰ることを意識するようになった」が 29.5%、「家事への抵抗感がなくなった」が 15.6%、「仕事の効率化を考えるようになった」が 12.5%となっている。

図表Ⅲ-168 休暇・休業の取得による夫の変化：複数回答(Q49)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 「男性・正社員」は、Q33にて、いずれかの休暇・休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

注) 「女性・正社員」は、Q34にて、配偶がいずれかの休暇・休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

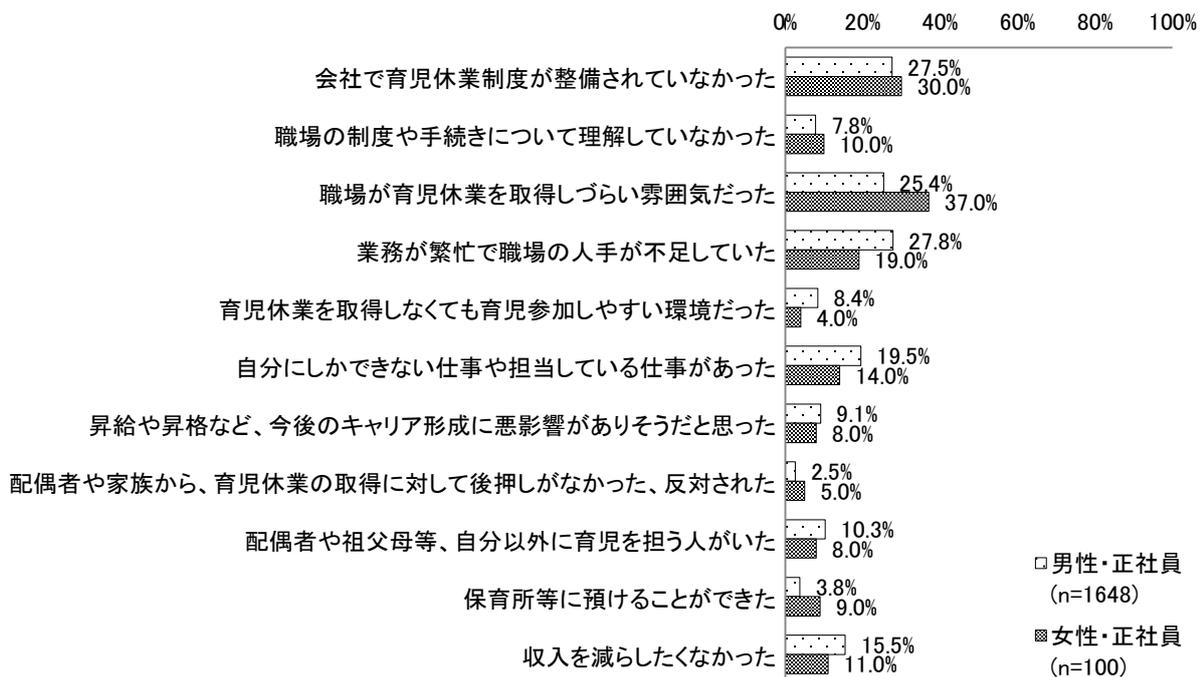
注) 「男性・正社員」は回答者本人の変化、「女性・正社員」は配偶者の変化について回答してもらった。

(24) 育児休業制度を利用しなかった理由

育児休業制度を利用しなかった人について、育児休業制度を利用しなかった理由をみると、「男性・正社員」では、「業務が繁忙で職場の人手が不足していた」が27.8%ともっとも高く、次いで「会社で育児休業制度が整備されていなかった」が27.5%、「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」が25.4%となっている。

「女性・正社員」では、「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」が37.0%ともっとも高く、次いで「会社で育児休業制度が整備されていなかった」が30.0%、「業務が繁忙で職場の人手が不足していた」が19.0%となっている。

図表Ⅲ-169 育児休業制度を利用しなかった理由：複数回答(Q50)



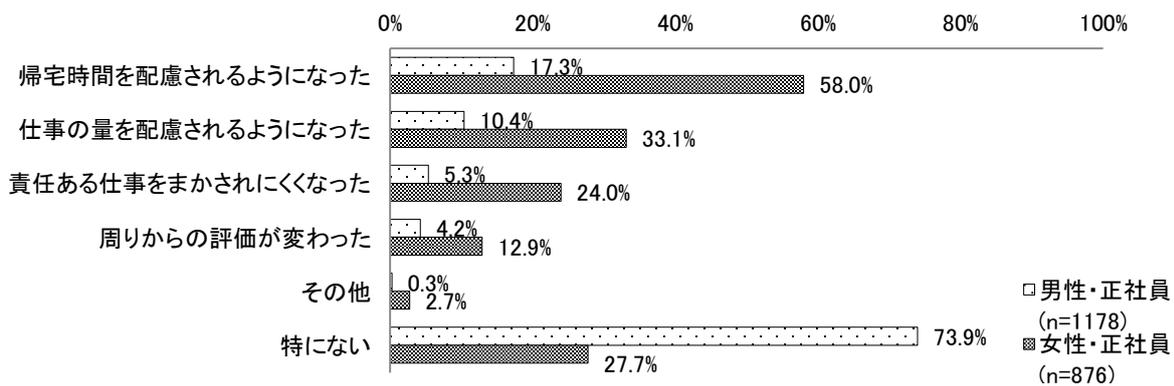
注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。
 注) Q33_2において、育児休業制度を利用しなかった回答者を集計対象とする。

(25) 休暇・休業後に職場で感じる変化

① 休暇・休業後に職場で感じる変化

休暇・休業を取得した人について、休暇・休業後に職場で感じる変化をみると、「男性・正社員」では、73.9%が「特にない」としている。職場で感じる変化としては、「帰宅時間を配慮されるようになった」が17.3%ともっとも高く、次いで「仕事の量を配慮されるようになった」が10.4%となっている。「女性・正社員」では「帰宅時間を配慮されるようになった」が58.0%ともっとも高く、「仕事の量を配慮されるようになった」が33.1%となっている。

図表Ⅲ-170 休暇・休業後に職場で感じる変化:複数回答(Q52_1)

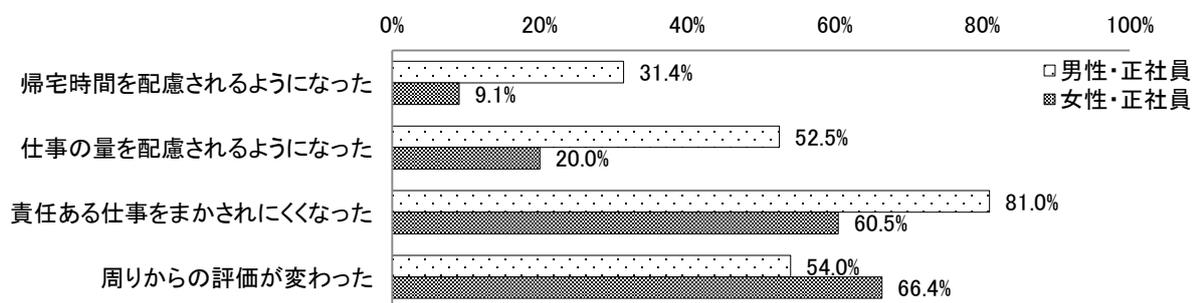


注) 就業形態(「男性・正社員」「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q33にて、いずれかの休暇・休業制度を利用したとした回答者を集計対象とする。

② 休暇・休業後に職場で不満に感じる変化

休暇・休業に職場で感じるそれぞれの変化について、不満に感じる割合をみると、「男性・正社員」では「責任ある仕事をまかされにくくなった」が81.0%ともっとも高く、次いで「仕事の量を配慮されるようになった」が52.5%となっている。「女性・正社員」では、「周りの評価が変わった」が66.4%ともっとも高く、次いで「責任ある仕事をまかされにくくなった」が60.5%となっている。

図表Ⅲ-171 休暇・休業後に職場で不満に感じる変化:単数回答(Q52_2)



<集計対象サンプル数>

	帰宅時間を配慮されるようになった	仕事の量を配慮されるようになった	責任ある仕事をまかされにくくなった	周りからの評価が変わった
男性・正社員	204	122	63	50
女性・正社員	508	290	210	113

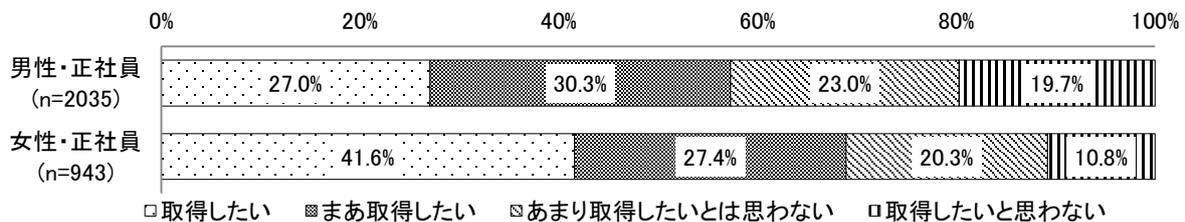
注) 就業形態(「男性・正社員」「女性・正社員」)は、末子妊娠判明時のもの。
注) Q52_1にて、休暇・休業後に感じる変化の各項目について該当した回答者を集計対象とし、各項目について不満に感じるかどうかを答える単数回答となっている。

(26) 法定以上の制度の取得希望

① 法定制度より長い期間、子育てのために継続した育児休業を取得する（例：出生後2年間を超える連続した育児休業を取得する）

法定以上の休暇・休業制度として、法定制度より長い期間、子育てのために継続した育児休業を取得するという制度があったとしたら、取得をしたいかどうかをみると、「男性・正社員」では、「取得したい」が27.0%、「まあ取得したい」が30.3%となっている。「女性・正社員」では、「取得したい」が41.6%、「まあ取得したい」が27.4%となっている。

図表Ⅲ-172 法定以上の制度の取得希望（法定制度より長い期間、子育てのために継続した育児休業を取得する）：単数回答(Q51_1)

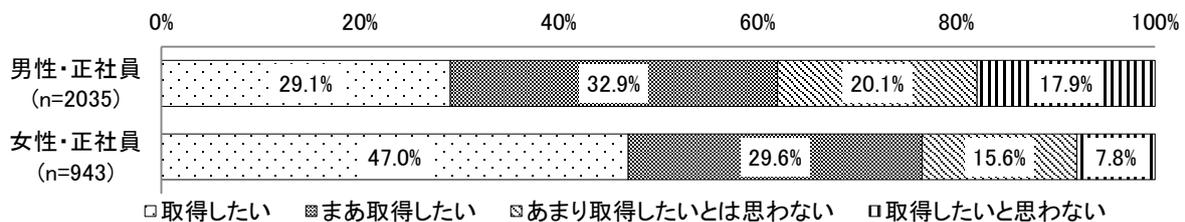


注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

② 出生1年後以降に、子どもの成長に合わせて子どもが大きくなったときに育児休業を取得する（例：子どもが小学校入学時に取得する）

法定以上の休暇・休業制度として、出生1年後以降に、子どもの成長に合わせて子どもが大きくなったときに育児休業を取得するという制度があったとしたら、取得をしたいかどうかをみると、「男性・正社員」では、「取得したい」が29.1%、「まあ取得したい」が32.9%となっている。「女性・正社員」では、「取得したい」が47.0%、「まあ取得したい」が29.6%となっている。

図表Ⅲ-173 法定以上の制度の取得希望（出生1年後以降に、子どもの成長に合わせて子どもが大きくなったときに育児休業を取得する）：単数回答(Q51_1)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

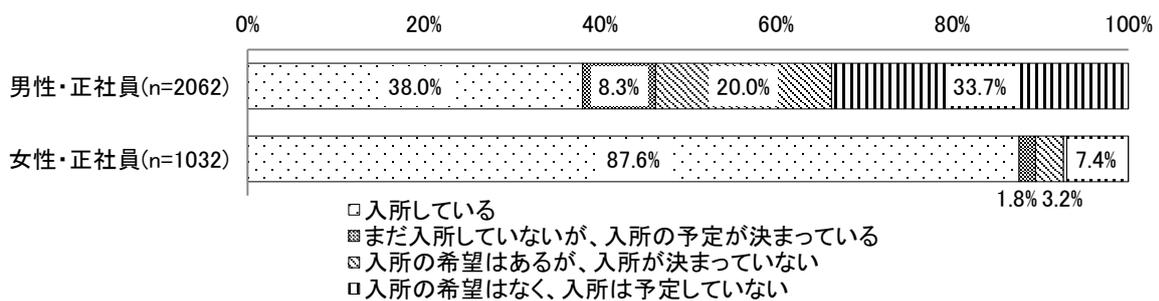
6. 家事や育児の実態

(1) 保育所等への入所状況

① 保育所等への入所状況

末子の保育所等への入所状況をみると、「男性・正社員」では、「入所している」が38.0%、「入所の希望はなく、入所は予定していない」が33.7%となっている。「女性・正社員」では、「入所している」が87.6%となっている。

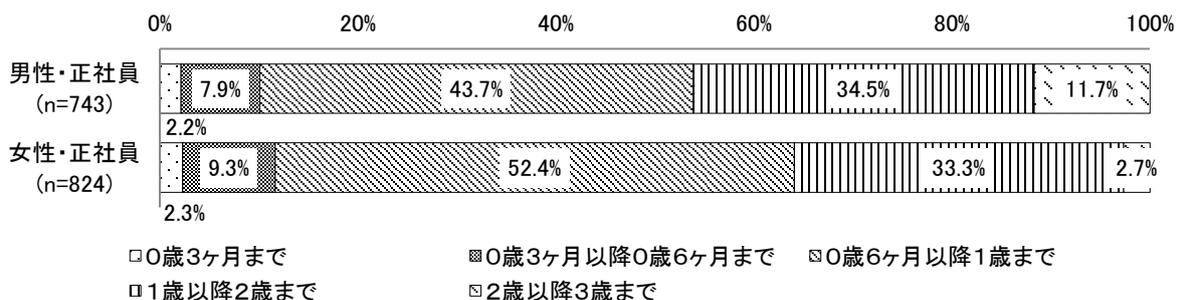
図表Ⅲ-174 保育所等への入所状況：単数回答(Q56)



② 保育所等へ入所した時期

末子が保育所等へ入所している人について、入所した時期をみると、「男性・正社員」では、「0歳6ヶ月以降1歳まで」が43.7%、「1歳以降2歳まで」が34.5%となっている。「女性・正社員」では、「0歳6ヶ月以降1歳まで」が52.4%、「1歳以降2歳まで」が33.3%となっている。

図表Ⅲ-175 保育所等へ入所した時期：回答(Q57)

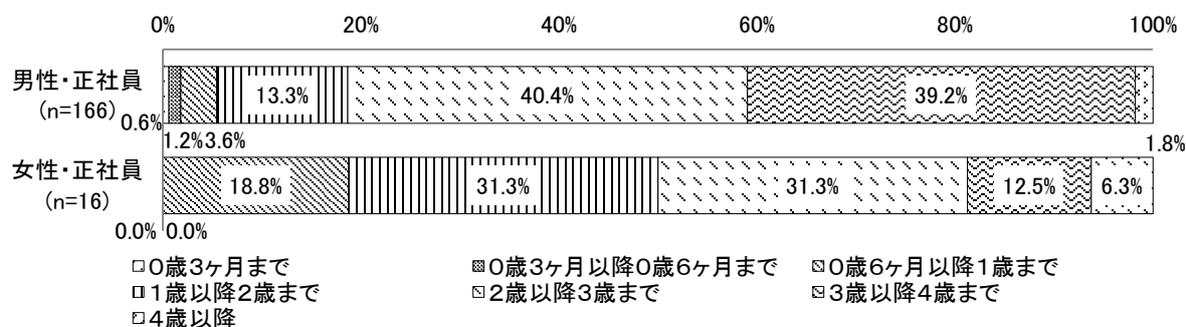


注) Q56にて、保育所に入所しているとした回答者を集計対象とする。

③ 保育所等への入所予定時期

子どもの保育所等へ入所予定が決まっている人について、入所予定時期をみると、「男性・正社員」では、「2歳以降3歳まで」が40.4%、「3歳以降4歳まで」が39.2%となっている。「女性・正社員」では、「1歳以降2歳まで」「2歳以降3歳まで」がいずれも31.3%となっている。

図表Ⅲ-176 保育所等への入所予定時期:回答(Q57)



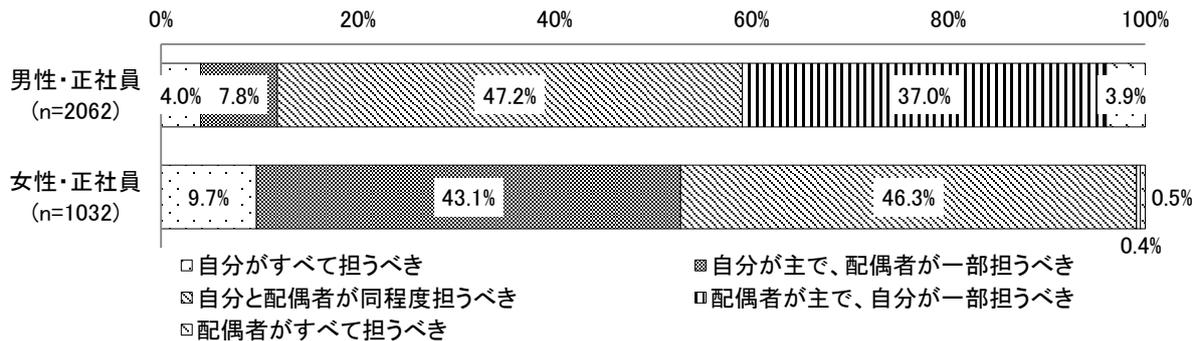
注) Q56にて、保育所にまだ入所していないが、入所の予定が決まっているとした回答者を集計対象とする。

(2) 家事の役割分担の考え方

① 家事の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）

末子妊娠判明前の家事の役割分担の考え方をみると、「男性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が47.2%、「配偶者が主で、自分が一部担うべき」が37.0%となっている。「女性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が46.3%、「自分が主で、配偶者が一部担うべき」が43.1%となっている。

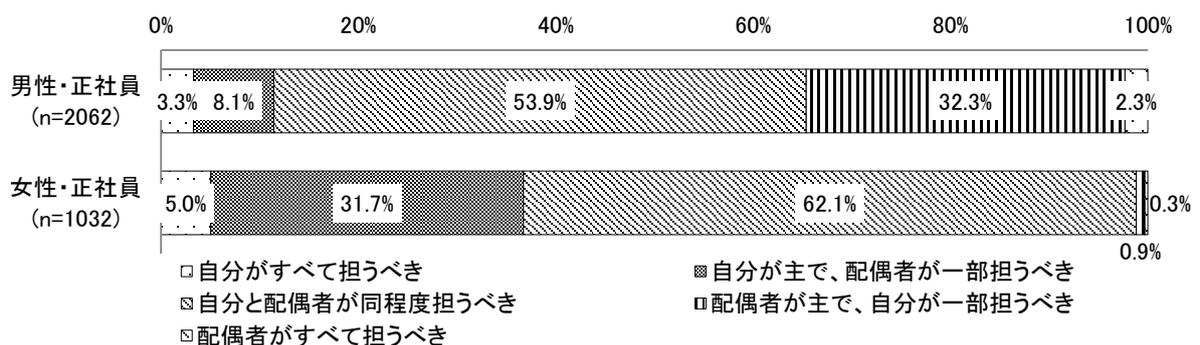
図表Ⅲ-177 家事の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）：単数回答(Q58_1_1)



② 家事の役割分担の考え方（現在）

現在の家事の役割分担の考え方をみると、「男性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が53.9%、「配偶者が主で、自分が一部担うべき」が32.3%となっている。「女性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が62.1%、「自分が主で、配偶者が一部担うべき」が31.7%となっている。

図表Ⅲ-178 家事の役割分担の考え方（現在）：単数回答(Q58_1_2)



③ 家事の役割分担の考え方の変化（本人）

家事の役割分担の考え方の変化をみると、「男性・正社員」では、末子妊娠判明前に「配偶者が主で、自分が一部担うべき」と考えていた人のうち20.8%が、現在は「自分と配偶者が同程度担うべき」と考えるようになっている。「女性・正社員」では、末子妊娠判明時に「自分が主で、配偶者が一部担うべき」と考えていた人のうち38.4%が、現在は「自分と配偶者が同程度担うべき」と考えるようになっている。

図表Ⅲ-179 家事の役割分担の考え方の変化（男性）：Q58_1_1×Q58_1_2

男性・正社員		合計	家事の役割分担の考え方（現在）				
			自分がすべて担うべき	自分が主で、配偶者が一部担うべき	自分と配偶者が同程度担うべき	配偶者が主で、自分が一部担うべき	配偶者がすべて担うべき
全体		2062 100.0	68 3.3	168 8.1	1112 53.9	666 32.3	48 2.3
家事の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）	自分がすべて担うべき	83 100.0	50 60.2	26 31.3	7 8.4	0 0.0	0 0.0
	自分が主で、配偶者が一部担うべき	161 100.0	11 6.8	101 62.7	43 26.7	6 3.7	0 0.0
	自分と配偶者が同程度担うべき	974 100.0	3 0.3	30 3.1	899 92.3	42 4.3	0 0.0
	配偶者が主で、自分が一部担うべき	763 100.0	3 0.4	10 1.3	159 20.8	585 76.7	6 0.8
	配偶者がすべて担うべき	81 100.0	1 1.2	1 1.2	4 4.9	33 40.7	42 51.9

図表Ⅲ-180 家事の役割分担の考え方の変化（女性）：Q58_1_1×Q58_1_2

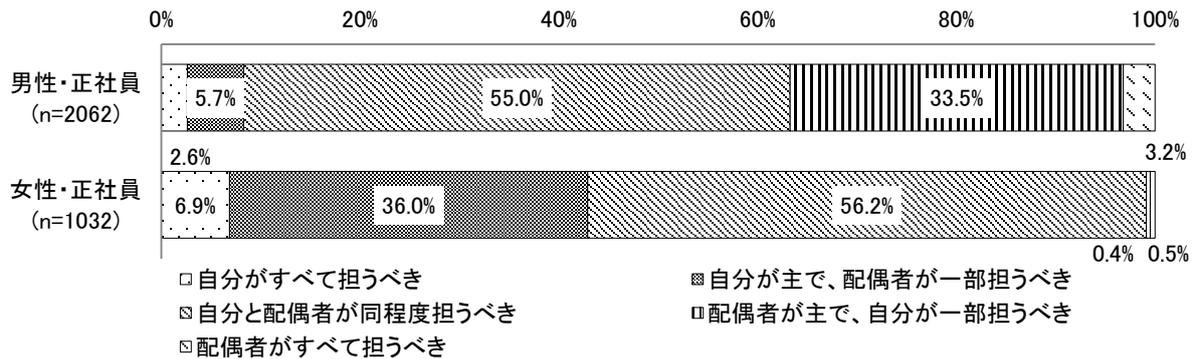
女性・正社員		合計	家事の役割分担の考え方（現在）				
			自分がすべて担うべき	自分が主で、配偶者が一部担うべき	自分と配偶者が同程度担うべき	配偶者が主で、自分が一部担うべき	配偶者がすべて担うべき
全体		1032 100.0	52 5.0	327 31.7	641 62.1	9 0.9	3 0.3
家事の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）	自分がすべて担うべき	100 100.0	40 40.0	36 36.0	23 23.0	1 1.0	0 0.0
	自分が主で、配偶者が一部担うべき	445 100.0	8 1.8	265 59.6	171 38.4	1 0.2	0 0.0
	自分と配偶者が同程度担うべき	478 100.0	3 0.6	26 5.4	445 93.1	4 0.8	0 0.0
	配偶者が主で、自分が一部担うべき	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
	配偶者がすべて担うべき	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0

(3) 育児の役割分担の考え方

① 育児の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）

末子妊娠判明前の育児の役割分担の考え方をみると、「男性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が55.0%、「配偶者が主で、自分が一部担うべき」が33.5%となっている。「女性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が56.2%、「自分が主で、配偶者が一部担うべき」が36.0%となっている。

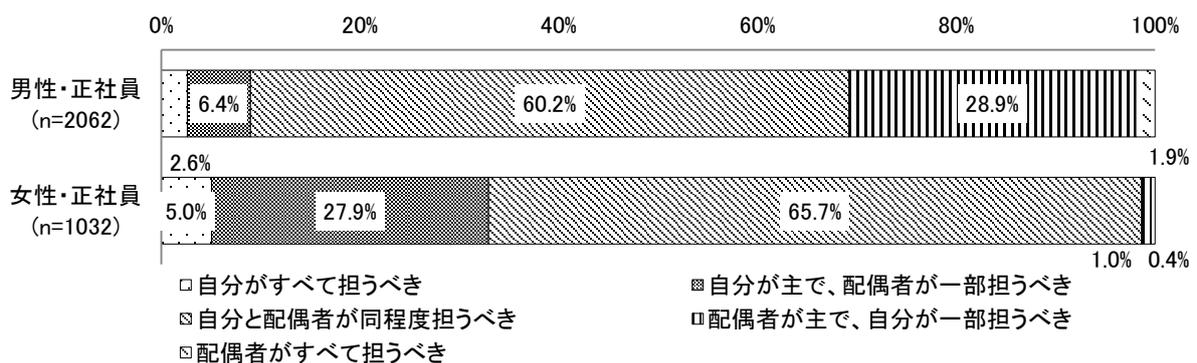
図表Ⅲ-181 育児の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）：単数回答(Q58_2_1)



② 育児の役割分担の考え方（現在）

現在の育児の役割分担の考え方をみると、「男性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が60.2%、「配偶者が主で、自分が一部担うべき」が28.9%となっている。「女性・正社員」では、「自分と配偶者が同程度担うべき」が65.7%、「自分が主で、配偶者が一部担うべき」が27.9%となっている。

図表Ⅲ-182 育児の役割分担の考え方（現在）：単数回答(Q58_2_2)



③ 育児の役割分担の考え方の変化

育児の役割分担の考え方の変化をみると、「男性・正社員」では、末子妊娠判明前に「配偶者が主で、自分が一部担うべき」と考えていた人のうち21.4%が、現在は「自分と配偶者が同程度担うべき」と考えるようになっている。「女性・正社員」では、末子妊娠判明時に「自分が主で、配偶者が一部担うべき」と考えていた人のうち34.4%が、現在は「自分と配偶者が同程度担うべき」と考えるようになっている。

図表Ⅲ-183 育児の役割分担の考え方の変化（男性）：Q58_1_1×Q58_1_2

男性・正社員		合計	育児の役割分担の考え方（現在）				
			自分がすべて担うべき	自分が主で、配偶者が一部担うべき	自分と配偶者が同程度担うべき	配偶者が主で、自分が一部担うべき	配偶者がすべて担うべき
全体		2062 100.0	54 2.6	131 6.4	1242 60.2	595 28.9	40 1.9
育児の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）	自分がすべて担うべき	54 100.0	44 81.5	4 7.4	6 11.1	0 0.0	0 0.0
	自分が主で、配偶者が一部担うべき	117 100.0	8 6.8	88 75.2	19 16.2	2 1.7	0 0.0
	自分と配偶者が同程度担うべき	1134 100.0	1 0.1	30 2.6	1063 93.7	40 3.5	0 0.0
	配偶者が主で、自分が一部担うべき	691 100.0	1 0.1	6 0.9	148 21.4	531 76.8	5 0.7
	配偶者がすべて担うべき	66 100.0	0 0.0	3 4.5	6 9.1	22 33.3	35 53.0

図表Ⅲ-184 育児の役割分担の考え方の変化（女性）：Q58_1_1×Q58_1_2

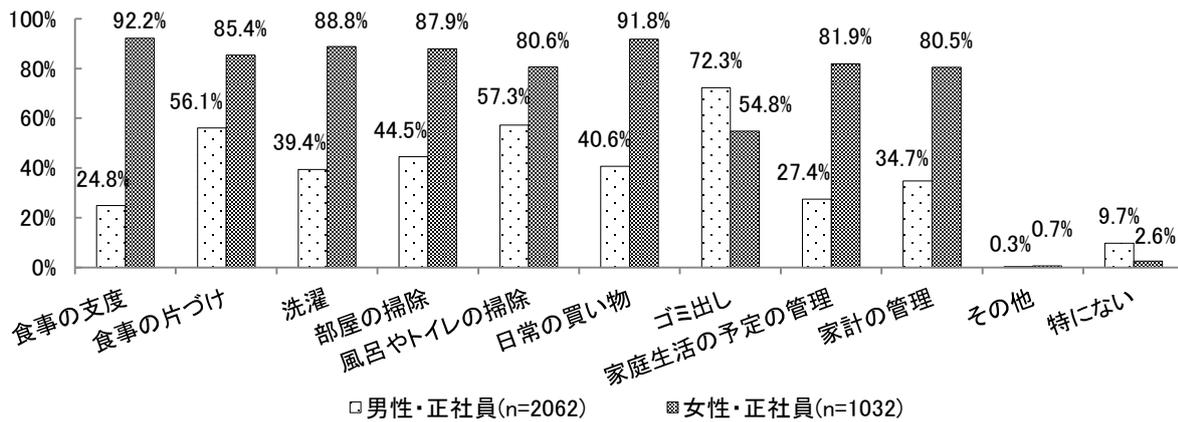
女性・正社員		合計	育児の役割分担の考え方（現在）				
			自分がすべて担うべき	自分が主で、配偶者が一部担うべき	自分と配偶者が同程度担うべき	配偶者が主で、自分が一部担うべき	配偶者がすべて担うべき
全体		1032 100.0	52 5.0	288 27.9	678 65.7	10 1.0	4 0.4
育児の役割分担の考え方（末子妊娠判明前）	自分がすべて担うべき	71 100.0	42 59.2	15 21.1	12 16.9	2 2.8	0 0.0
	自分が主で、配偶者が一部担うべき	372 100.0	4 1.1	237 63.7	128 34.4	3 0.8	0 0.0
	自分と配偶者が同程度担うべき	580 100.0	6 1.0	36 6.2	536 92.4	2 0.3	0 0.0
	配偶者が主で、自分が一部担うべき	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	配偶者がすべて担うべき	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0

(4) 担当家事

① 担当家事（本人；末子妊娠判明前）

末子妊娠前に本人が担当していた家事をみると、「男性・正社員」では、「ゴミ出し」が72.3%、「風呂やトイレの掃除」が57.3%となっている。「女性・正社員」では、「食事の支度」が92.2%、「日常の買い物」が91.8%となっている。

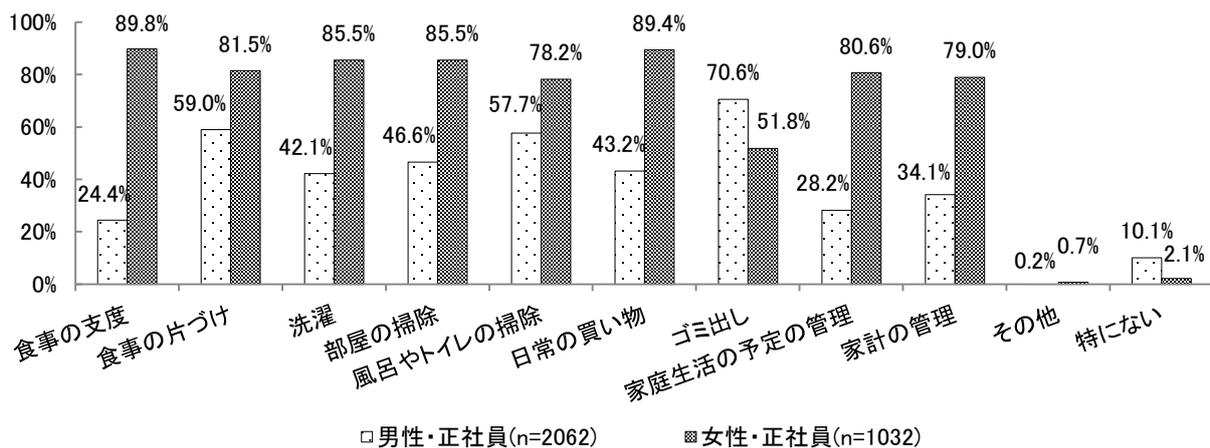
図表Ⅲ-185 担当家事（本人；末子妊娠判明前）：複数回答(Q60_1_1)



② 担当家事（本人；現在）

現在本人が担当している家事をみると、「男性・正社員」では、「ゴミ出し」が70.6%、「食事の片づけ」が59.0%となっている。「女性・正社員」では、「食事の支度」が89.8%、「日常の買い物」が89.4%となっている。

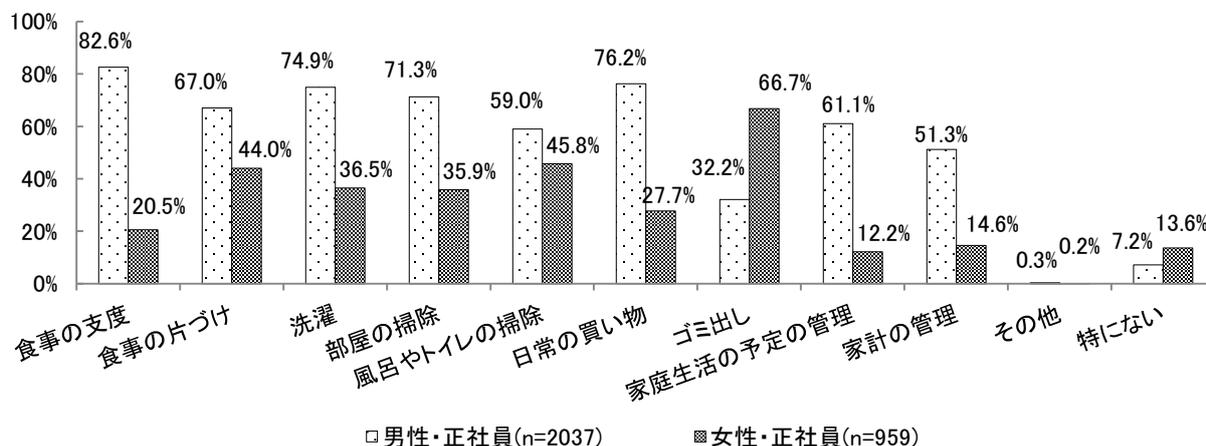
図表Ⅲ-186 担当家事（本人；現在）：複数回答(Q60_1_2)



③ 担当家事（配偶者；末子妊娠判明前）

末子妊娠判明前に配偶者が担当していた家事をみると、「男性・正社員」では、「食事の支度」が82.6%、「日常の買い物」が76.2%となっている。「女性・正社員」では、「ゴミ出し」が66.7%、「風呂やトイレの掃除」が45.8%となっている。

図表Ⅲ-187 担当家事（配偶者；末子妊娠判明前）：複数回答(Q60_2_1)

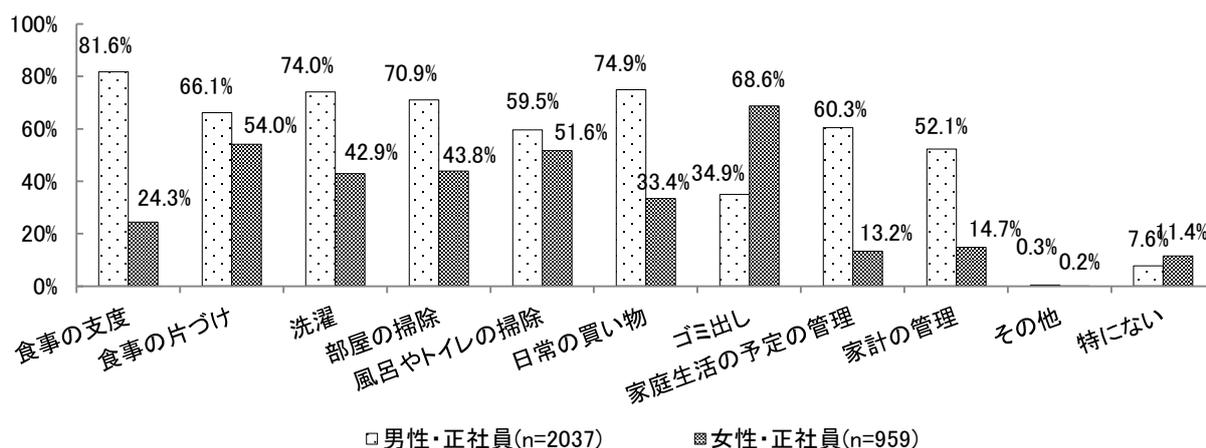


注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

④ 担当家事（配偶者；現在）

現在配偶者が担当している家事をみると、「男性・正社員」では、「食事の支度」が81.6%、「日常の買い物」が74.9%となっている。「女性・正社員」では、「ゴミ出し」が68.6%、「食事の片づけ」が54.0%となっている。

図表Ⅲ-188 担当家事（配偶者；現在）：複数回答(Q60_2_2)

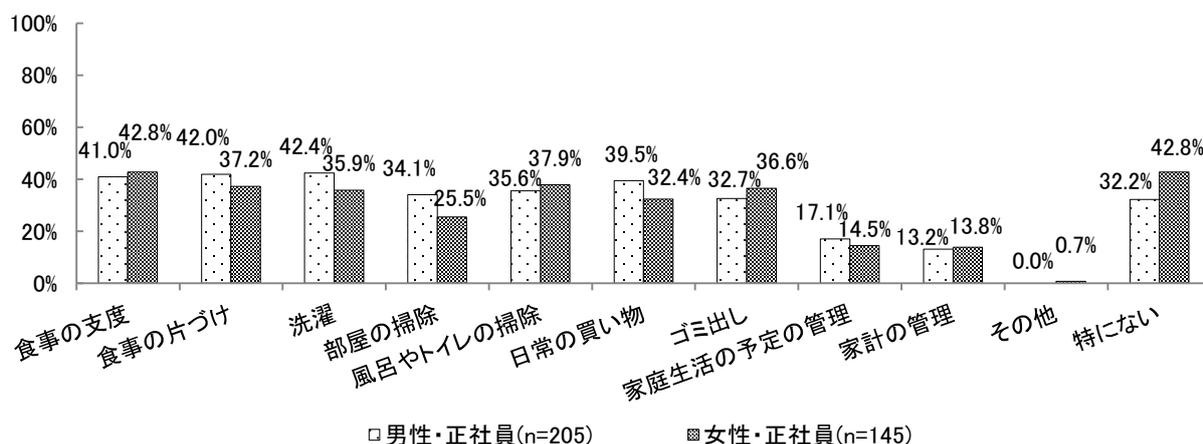


注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

⑤ 担当家事（親；末子妊娠判明前）

親と同居している人について、末子妊娠判明前に親が担当していた家事をみると、「男性・正社員」では、「洗濯」が42.4%、「食事の支度」が41.0%となっている。「女性・正社員」では、「食事の支度」「特にない」が42.8%、「風呂やトイレの掃除」が37.9%となっている。

図表Ⅲ-189 担当家事（親；末子妊娠判明前）：複数回答(Q60_3_1)

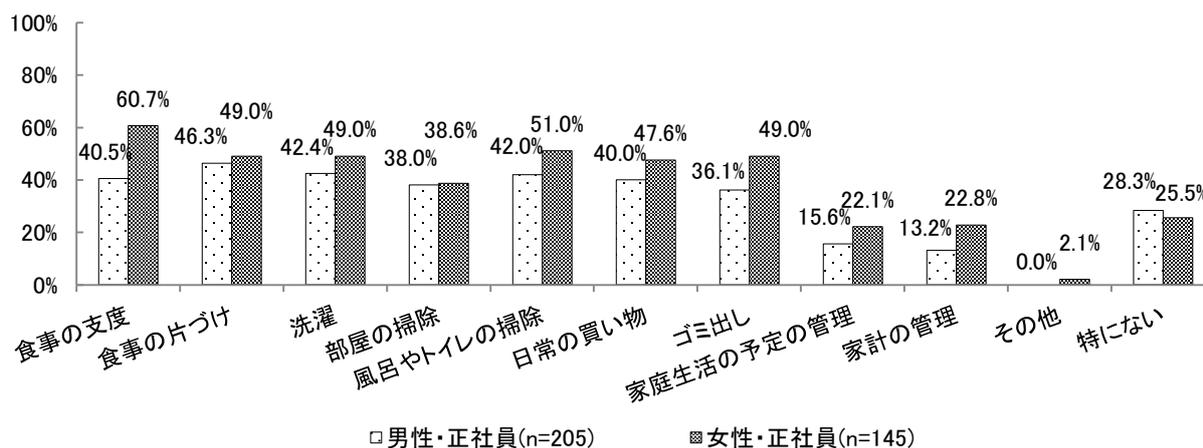


注) Q9にて、「自分の父親」「自分の母親」「配偶者の父親」「配偶者の母親」のいずれかと同居しているとした回答者を集計対象とする。

⑥ 担当家事（親；現在）

親と同居している人について、現在親が担当している家事をみると、「男性・正社員」では、「食事の片づけ」が46.3%、「洗濯」が42.4%となっている。「女性・正社員」では、「食事の支度」が60.7%、「風呂やトイレの掃除」が51.0%となっている。

図表Ⅲ-190 担当家事（親；現在）：複数回答(Q60_3_2)



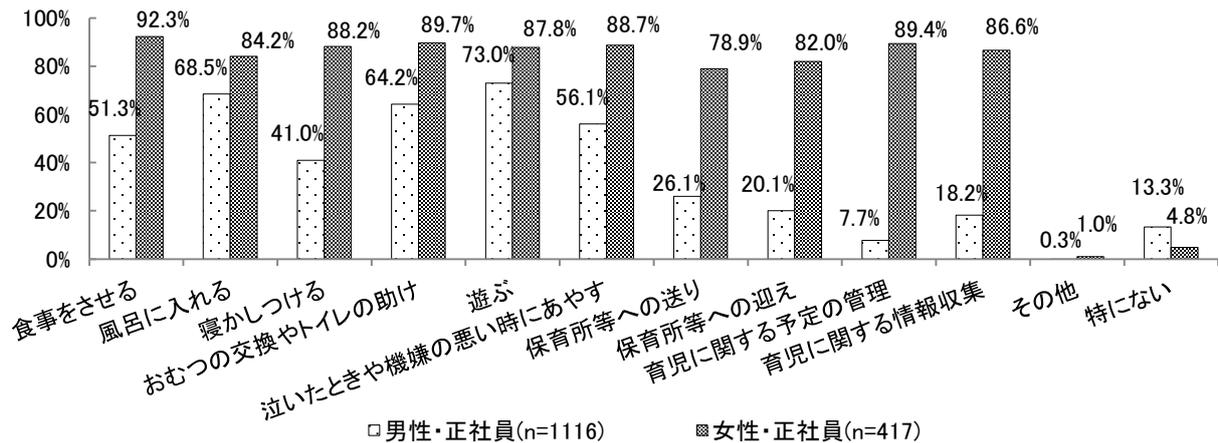
注) Q9にて、「自分の父親」「自分の母親」「配偶者の父親」「配偶者の母親」のいずれかと同居しているとした回答者を集計対象とする。

(5) 担当育児

① 担当育児（本人；末子妊娠判明前）

子どもが2人以上いる人について、末子妊娠判明前に本人が担当していた育児をみると、「男性・正社員」では、「遊ぶ」が73.0%、「風呂に入れる」が68.5%となっている。「女性・正社員」では、「食事をさせる」が92.3%、「おむつの交換やトイレの助け」が89.7%となっている。

図表Ⅲ-191 担当育児（本人；末子妊娠判明前）：複数回答（Q61_1_1）

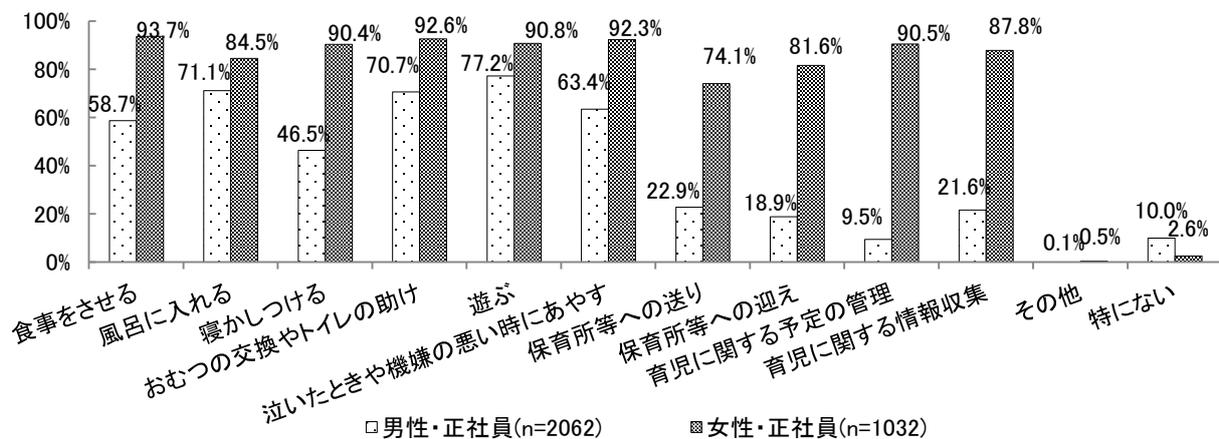


注) Q3にて、子の人数が2人以上とした回答者を集計対象とする。

② 担当育児（本人；現在）

現在本人が担当している育児をみると、「男性・正社員」では、「遊ぶ」が77.2%、「風呂に入れる」が71.1%となっている。「女性・正社員」では、「食事をさせる」が93.7%、「おむつの交換やトイレの助け」が92.6%となっている。

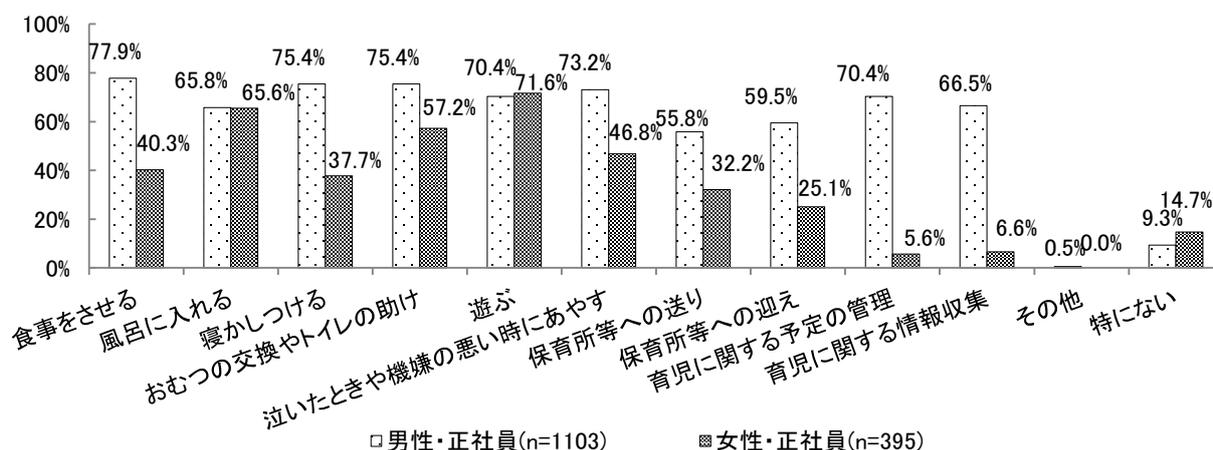
図表Ⅲ-192 担当育児（本人；現在）：複数回答（Q61_1_2）



③ 担当育児（配偶者；末子妊娠判明前）

子どもが2人以上いる人について、末子妊娠判明前に配偶者が担当していた育児をみると、「男性・正社員」では、「食事をさせる」が77.9%、「寝かしつける」と「おむつの交換やトイレの助け」がいずれも75.4%となっている。「女性・正社員」では、「遊ぶ」が71.6%、「風呂に入れる」が65.6%となっている。

図表Ⅲ-193 担当育児（配偶者；末子妊娠判明前）：複数回答(Q61_2_1)

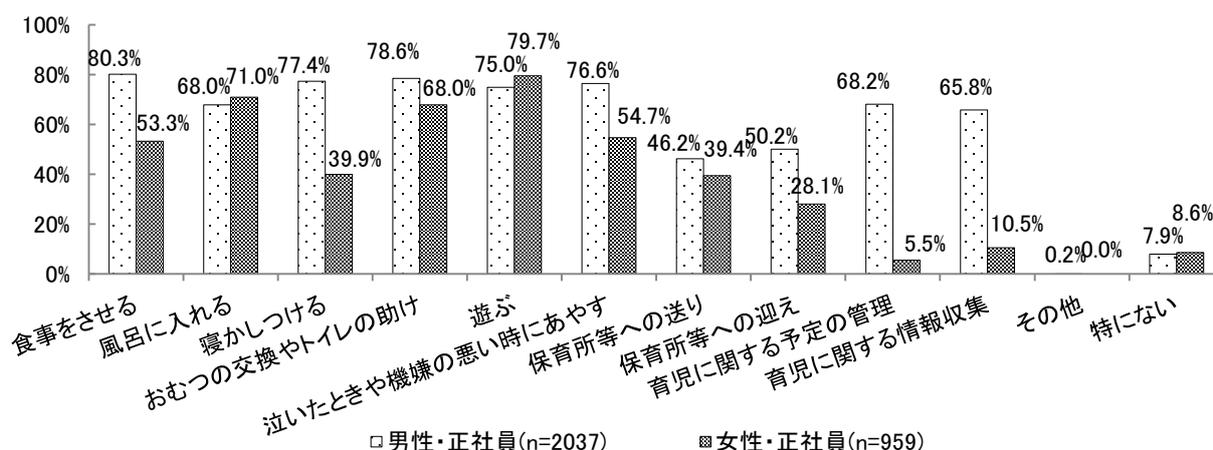


注) Q3にて、子の人数が2人以上とした回答者を集計対象とする。
注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

④ 担当育児（配偶者；現在）

現在配偶者が担当している育児をみると、「男性・正社員」では、「食事をさせる」が80.3%、「おむつの交換やトイレの助け」が78.6%となっている。「女性・正社員」では、「遊ぶ」が79.7%、「風呂に入れる」が71.0%となっている。

図表Ⅲ-194 担当育児（配偶者；現在）：回答(Q61_2_2)

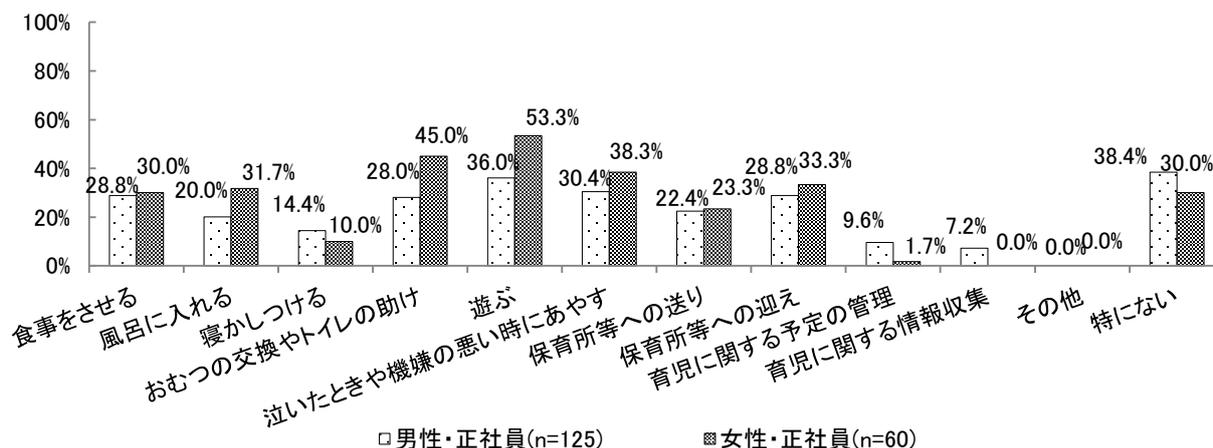


注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

⑤ 担当育児（親；末子妊娠判明前）

子どもが2人以上いる人について、末子妊娠判明前に親が担当していた育児をみると、「男性・正社員」では、「遊ぶ」が36.0%、「泣いたときや機嫌の悪いときにあやす」が30.4%となっている。「女性・正社員」では、「遊ぶ」が53.3%、「おむつの交換やトイレの助け」が45.0%となっている。

図表Ⅲ-195 担当育児（親；末子妊娠判明前）：複数回答(Q61_3_1)

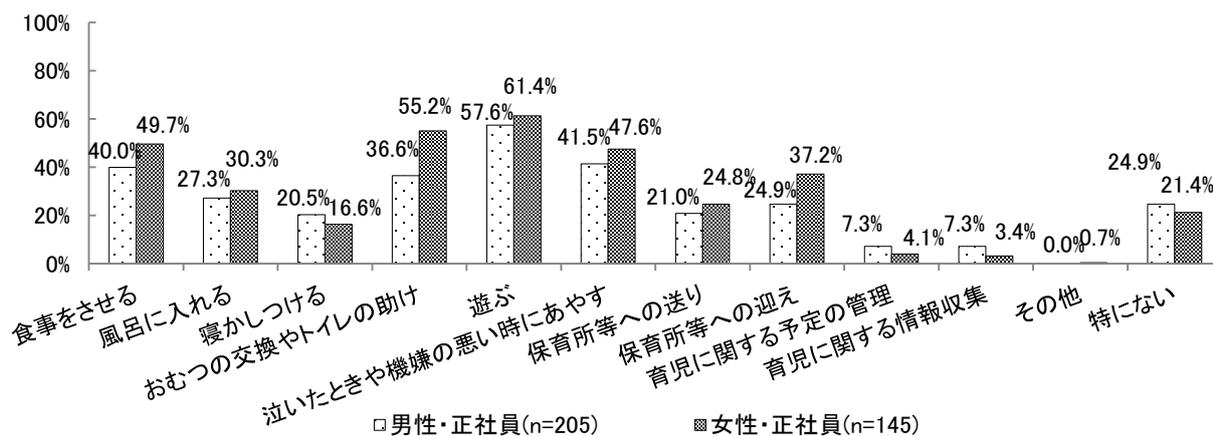


注) Q3にて、子の人数が2人以上とした回答者を集計対象とする。
 注) Q9にて、「自分の父親」「自分の母親」「配偶者の父親」「配偶者の母親」のいずれかと同居しているとした回答者を集計対象とする。

⑥ 担当育児（親；現在）

現在親が担当している育児をみると、「男性・正社員」では、「遊ぶ」が57.6%、「泣いたときや機嫌の悪いときにあやす」が41.5%となっている。「女性・正社員」では、「遊ぶ」が61.4%、「おむつの交換やトイレの助け」が55.2%となっている。

図表Ⅲ-196 担当育児（親；現在）：複数回答(Q61_3_2)



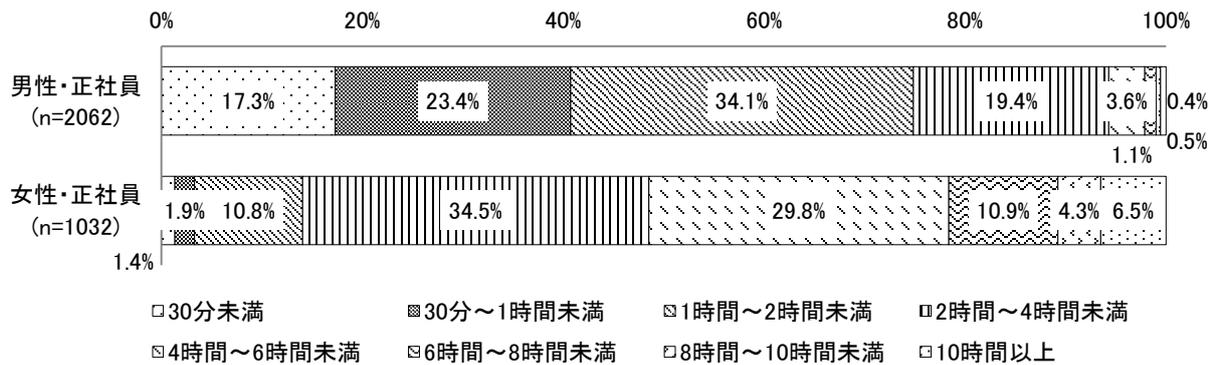
注) Q9にて、「自分の父親」「自分の母親」「配偶者の父親」「配偶者の母親」のいずれかと同居しているとした回答者を集計対象とする。

(6) 家事・育児時間

① 家事・育児時間（本人;平日）

本人の平日の家事・育児時間をみると、「男性・正社員」では、「1時間～2時間未満」が34.1%、「30分～1時間未満」が23.4%となっている。「女性・正社員」では、「2時間～4時間未満」が34.5%、「4時間～6時間未満」が29.8%となっている。

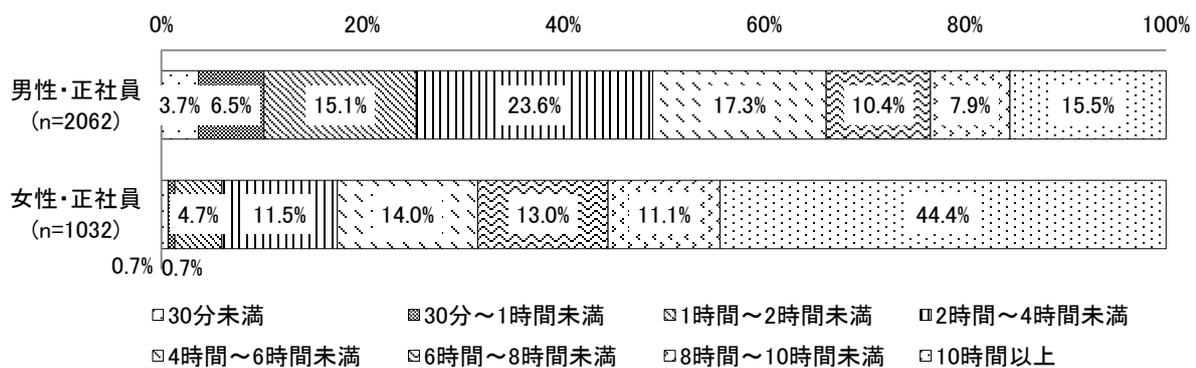
図表Ⅲ-197 家事・育児時間（本人;平日）：単数回答(Q64_1_1)



② 家事・育児時間（本人;休日）

本人の休日の家事・育児時間をみると、「男性・正社員」では、「2時間～4時間未満」が23.6%、「4時間～6時間未満」が17.3%となっている。「女性・正社員」では、「10時間以上」が44.4%、「4時間～6時間未満」が14.0%となっている。

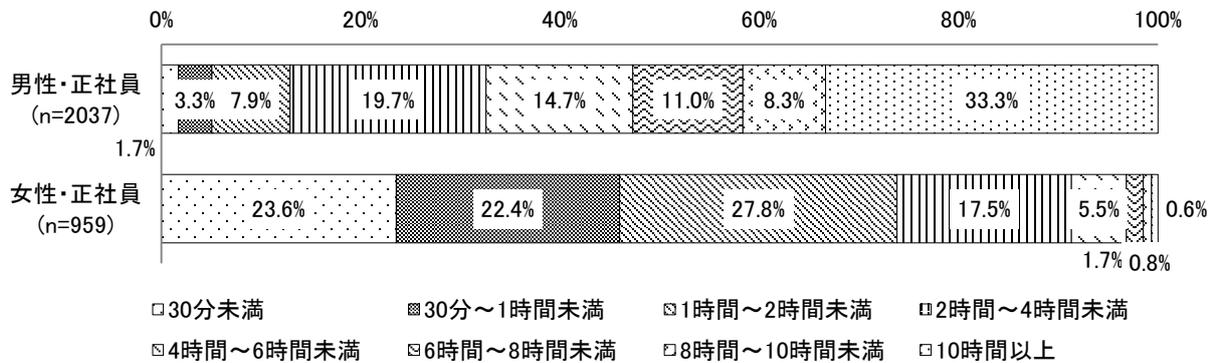
図表Ⅲ-198 家事・育児時間（本人;休日）：単数回答(Q64_1_2)



③ 家事・育児時間（配偶者；平日）

配偶者の平日の家事・育児時間をみると、「男性・正社員」では、「10 時間以上」が 33.3%、「2 時間～4 時間未満」が 19.7%となっている。「女性・正社員」では、「1 時間～2 時間未満」が 27.8%、「30 分未満」が 23.6%となっている。

図表Ⅲ-199 家事・育児時間（配偶者；平日）：単数回答(Q64_2_1)

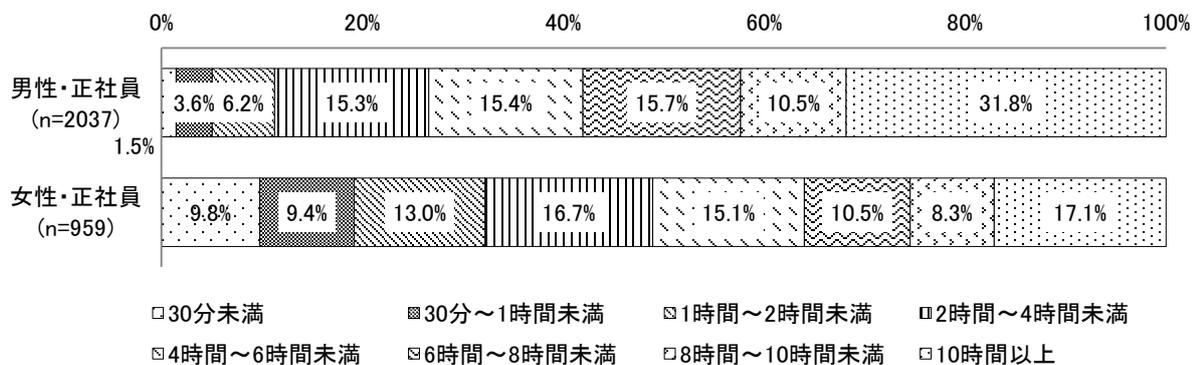


注) Q8 にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

④ 家事・育児時間（配偶者；休日）

配偶者の休日の家事・育児時間をみると、「男性・正社員」では、「10 時間以上」が 31.8%、「6 時間～8 時間未満」が 15.7%となっている。「女性・正社員」では、「10 時間以上」が 17.1%、「2 時間～4 時間未満」が 16.7%となっている。

図表Ⅲ-200 家事・育児時間（配偶者；休日）：単数回答(Q64_2_2)



注) Q8 にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

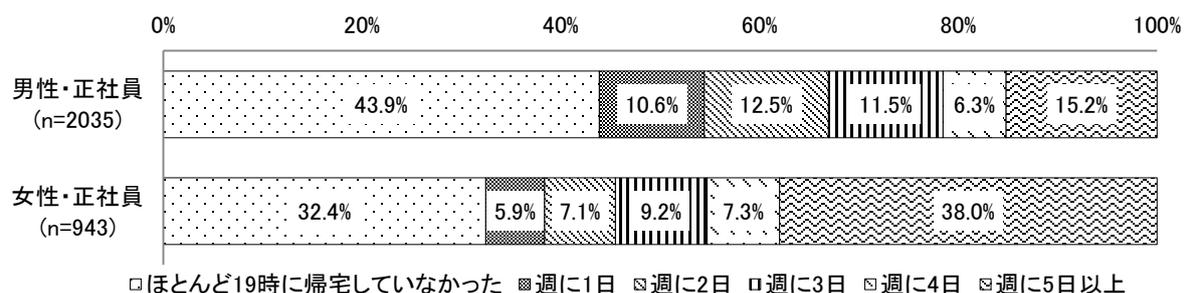
7. 仕事と育児や家庭の両立の状況

(1) 19時までに帰宅する頻度

① 19時までに帰宅する頻度（末子妊娠判明前）

末子妊娠判明前の19時までに帰宅する頻度をみると、「男性・正社員」では、「ほとんど19時に帰宅していなかった」が43.9%、「週に5日以上」が15.2%となっている。「女性・正社員」では、「週に5日以上」が38.0%、「ほとんど19時に帰宅していなかった」が32.4%となっている。

図表Ⅲ-201 19時までに帰宅する頻度（末子妊娠判明時）：単数回答(Q62_1)

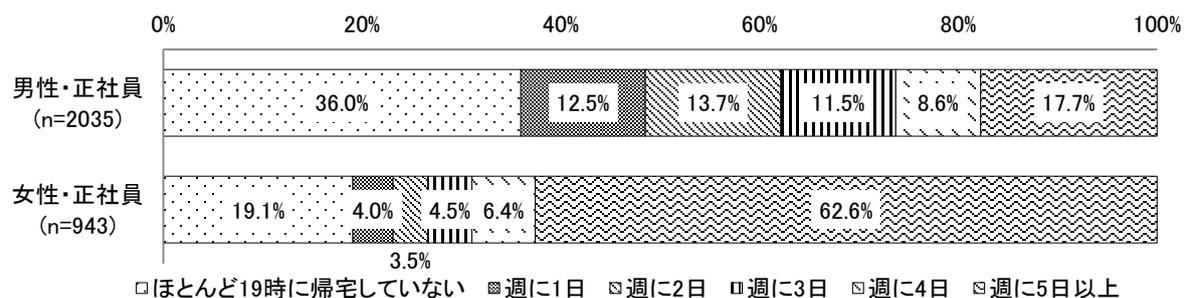


注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

② 19時までに帰宅する頻度（現在）

現在の19時までに帰宅する頻度をみると、「男性・正社員」では、「ほとんど19時に帰宅していない」が36.0%、「週に5日以上」が17.7%となっている。「女性・正社員」では、「週に5日以上」が62.6%、「ほとんど19時に帰宅していない」が19.1%となっている。

図表Ⅲ-202 19時までに帰宅する頻度（現在）：単数回答(Q62_2)



注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

③ 19時までに帰宅する頻度の変化

19時までに帰宅する頻度の変化をみると、「男性・正社員」では、末子妊娠判明前に「ほとんど19時に帰宅していなかった」人のうち24.9%が、現在は週に1日以上は19時までに帰宅するようになっている。「女性・正社員」では、末子妊娠判明前に「ほとんど19時に帰宅していなかった」人のうち54.8%が、現在は週に1日以上は19時までに帰宅するようになっている。

図表Ⅲ-203 19時までに帰宅する頻度の変化（男性）：Q62_1×Q62_2

男性・正社員		合計	19時までに帰宅する頻度（現在）					週に5日以上
			ほとんど19時に帰宅していない	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	
全体		2035 100.0	732 36.0	255 12.5	278 13.7	235 11.5	174 8.6	361 17.7
19時までに帰宅する頻度（末子妊娠判明前）	ほとんど19時に帰宅していなかった	893 100.0	671 75.1	84 9.4	62 6.9	31 3.5	14 1.6	31 3.5
	週に1日	215 100.0	17 7.9	137 63.7	36 16.7	15 7.0	5 2.3	5 2.3
	週に2日	254 100.0	17 6.7	19 7.5	154 60.6	39 15.4	17 6.7	8 3.1
	週に3日	235 100.0	14 6.0	9 3.8	16 6.8	138 58.7	35 14.9	23 9.8
	週に4日	129 100.0	6 4.7	3 2.3	8 6.2	7 5.4	98 76.0	7 5.4
	週に5日以上	309 100.0	7 2.3	3 1.0	2 0.6	5 1.6	5 1.6	287 92.9

注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

図表Ⅲ-204 19時までに帰宅する頻度の変化（女性）：Q62_1×Q62_2

女性・正社員		合計	19時までに帰宅する頻度（現在）					週に5日以上
			ほとんど19時に帰宅していない	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	
全体		943 100.0	180 19.1	38 4.0	33 3.5	42 4.5	60 6.4	590 62.6
19時までに帰宅する頻度（末子妊娠判明前）	ほとんど19時に帰宅していなかった	306 100.0	134 43.8	7 2.3	7 2.3	7 2.3	10 3.3	141 46.1
	週に1日	56 100.0	9 16.1	24 42.9	3 5.4	3 5.4	4 7.1	13 23.2
	週に2日	67 100.0	7 10.4	1 1.5	19 28.4	4 6.0	9 13.4	27 40.3
	週に3日	87 100.0	13 14.9	0 0.0	4 4.6	20 23.0	4 4.6	46 52.9
	週に4日	69 100.0	2 2.9	2 2.9	0 0.0	5 7.2	24 34.8	36 52.2
	週に5日以上	358 100.0	15 4.2	4 1.1	0 0.0	3 0.8	9 2.5	327 91.3

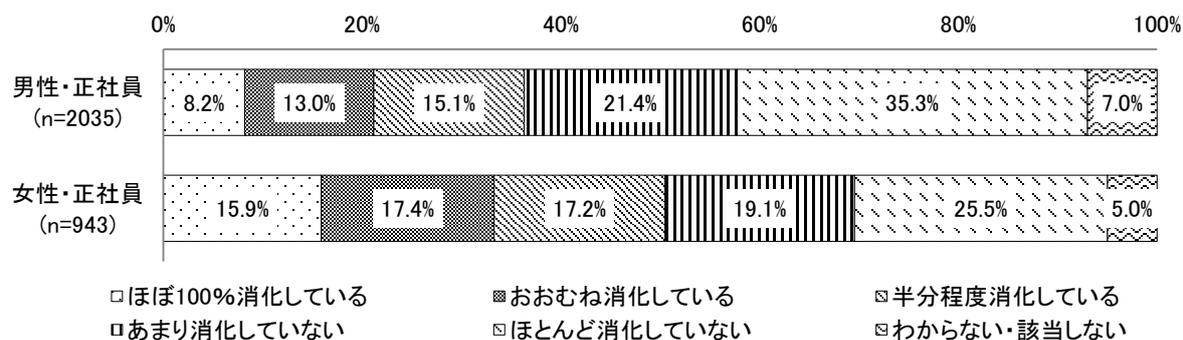
注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

(2) 年次有給休暇の取得状況

① 年次有給休暇の取得状況（末子妊娠判明前）

末子妊娠判明前の年次有給休暇の取得状況をみると、「男性・正社員」では、「ほとんど消化していない」が35.3%、「あまり消化していない」が21.4%となっている。「女性・正社員」では、「ほとんど消化していない」が25.5%、「あまり消化していない」が19.1%となっている。

図表Ⅲ-205 年次有給休暇の取得状況（末子妊娠判明時）：単数回答(Q63_1)

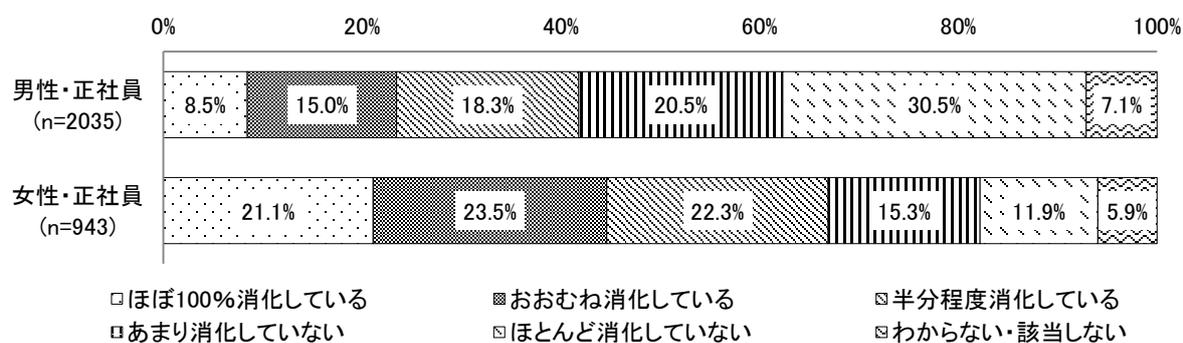


注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

② 年次有給休暇の取得状況（現在）

現在の年次有給休暇の取得状況をみると、「男性・正社員」では、「ほとんど消化していない」が30.5%、「あまり消化していない」が20.5%となっている。「女性・正社員」では、「おおむね消化している」が23.5%、「半分程度消化している」が22.3%となっている。

図表Ⅲ-206 年次有給休暇の取得状況（現在）：単数回答(Q63_2)



注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

③ 年次有給休暇の取得状況の変化

年次有給休暇の取得状況の変化をみると、「男性・正社員」では末子妊娠判明時前に「ほとんど消化していない」という人のうち82.1%が、現在も「ほとんど消化していない」のままである。「女性・正社員」では末子妊娠判明時前に「ほとんど消化していない」という人のうち、8.0%が「ほぼ100%消化している」、12.0%が「おおむね消化している」となっている。

図表Ⅲ-207 年次有給休暇の取得状況の変化（男性）：Q63_1×Q63_2

男性・正社員		合計	年次有給休暇の取得状況（現在）					わからない・該当しない
			ほぼ100%消化している	おおむね消化している	半分程度消化している	あまり消化していない	ほとんど消化していない	
全体		2035	172	306	373	418	621	145
		100.0	8.5	15.0	18.3	20.5	30.5	7.1
年次有給休暇の取得状況（末子妊娠判明前）	ほぼ100%消化している	167	148	13	4	0	1	1
		100.0	88.6	7.8	2.4	0.0	0.6	0.6
	おおむね消化している	264	12	214	23	10	4	1
		100.0	4.5	81.1	8.7	3.8	1.5	0.4
	半分程度消化している	308	4	38	243	17	6	0
		100.0	1.3	12.3	78.9	5.5	1.9	0.0
	あまり消化していない	436	5	26	67	320	17	1
	100.0	1.1	6.0	15.4	73.4	3.9	0.2	
ほとんど消化していない	718	2	15	35	70	590	6	
	100.0	0.3	2.1	4.9	9.7	82.2	0.8	
わからない・該当しない	142	1	0	1	1	3	136	
	100.0	0.7	0.0	0.7	0.7	2.1	95.8	

注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

図表Ⅲ-208 年次有給休暇の取得状況の変化（女性）：Q63_1×Q63_2

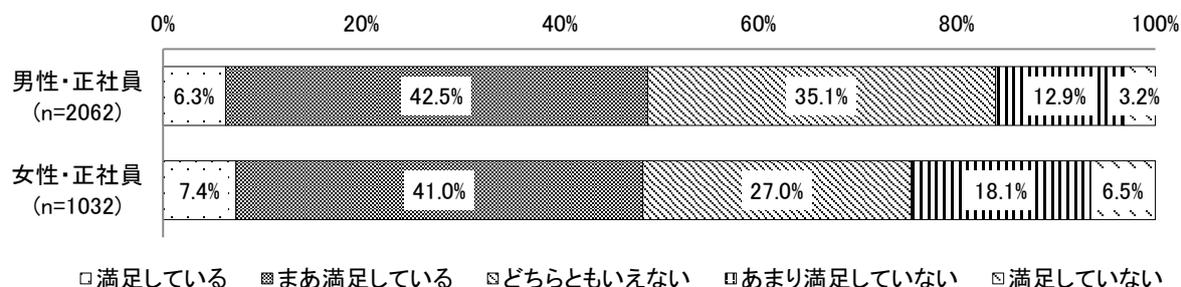
女性・正社員		合計	年次有給休暇の取得状況（現在）					わからない・該当しない
			ほぼ100%消化している	おおむね消化している	半分程度消化している	あまり消化していない	ほとんど消化していない	
全体		943	199	222	210	144	112	56
		100.0	21.1	23.5	22.3	15.3	11.9	5.9
年次有給休暇の取得状況（末子妊娠判明時）	ほぼ100%消化している	150	127	12	6	0	1	4
		100.0	84.7	8.0	4.0	0.0	0.7	2.7
	おおむね消化している	164	25	110	16	7	2	4
		100.0	15.2	67.1	9.8	4.3	1.2	2.4
	半分程度消化している	162	13	45	94	4	6	0
		100.0	8.0	27.8	58.0	2.5	3.7	0.0
	あまり消化していない	180	15	26	45	85	8	1
	100.0	8.3	14.4	25.0	47.2	4.4	0.6	
ほとんど消化していない	240	19	29	47	46	94	5	
	100.0	7.9	12.1	19.6	19.2	39.2	2.1	
わからない・該当しない	47	0	0	2	2	1	42	
	100.0	0.0	0.0	4.3	4.3	2.1	89.4	

注) Q28にて、末子妊娠判明時に正社員だったものを集計対象とする。

(3) ワーク・ライフ・バランスの満足度

ワーク・ライフ・バランスの満足度をみると、「男性・正社員」では、「まあ満足している」が42.5%、「どちらともいえない」が35.1%となっている。「女性・正社員」では、「まあ満足している」が41.0%、「どちらともいえない」が27.0%となっている。

図表Ⅲ-209 ワーク・ライフ・バランスの満足度:単数回答(Q65)

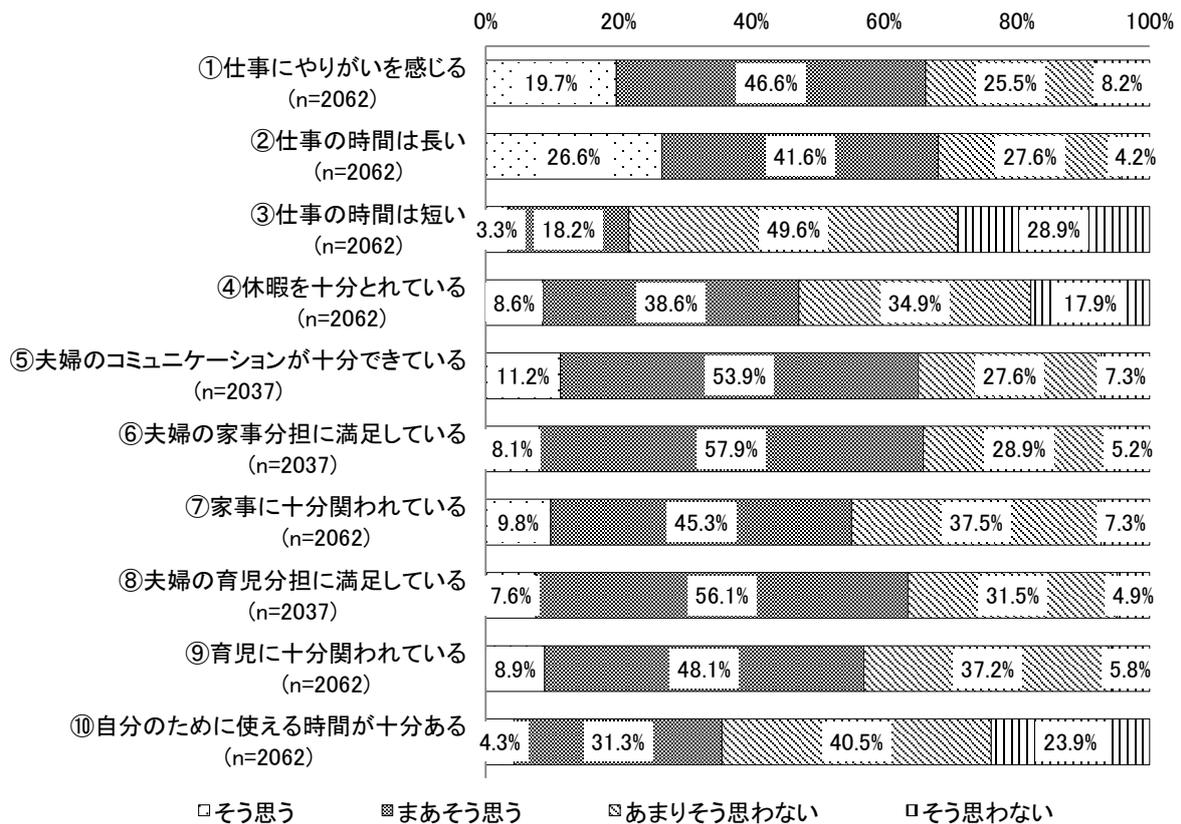


(4) 仕事や夫婦のコミュニケーション、育児、家事等の満足度

① 仕事や夫婦のコミュニケーション、育児、家事等の満足度（男性・正社員）

仕事や夫婦のコミュニケーション、育児、家事等の満足度をみると、「男性・正社員」で「そう思う+まあそう思う」の割合が高い項目は、「仕事の時間は長い（68.2%）」、「仕事にやりがいを感じる（66.3%）」となっている。

図表Ⅲ-210 仕事や夫婦のコミュニケーション、育児、家事等についての満足度（男性・正社員）：
単数回答(Q66)

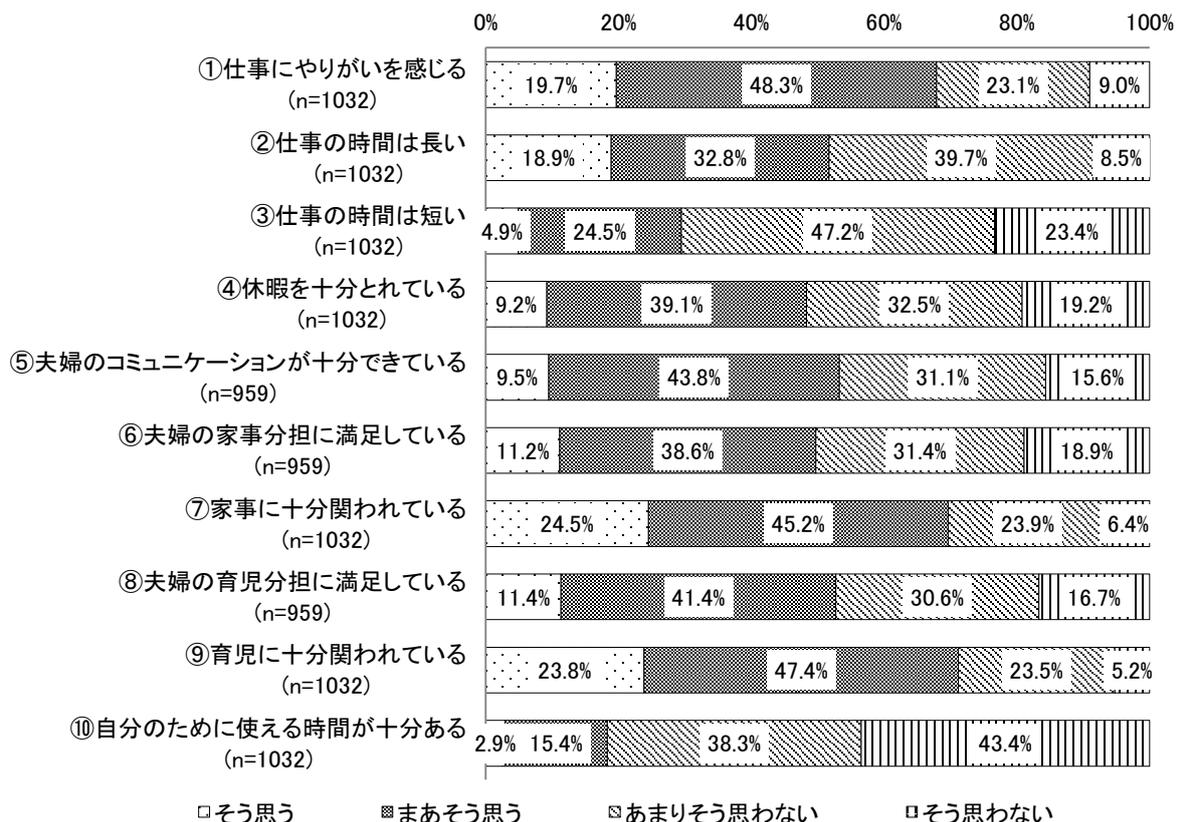


注) 「⑤夫婦のコミュニケーションが十分できている」「⑥夫婦の家事分担に満足している」「⑧夫婦の育児分担に満足している」は、Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

② 仕事や夫婦のコミュニケーション、育児、家事等の満足度（女性・正社員）

仕事や夫婦のコミュニケーション、育児、家事等の満足度をみると、「女性」で「そう思う+まあそう思う」の割合が高い項目は、「育児に十分関われている（71.2%）」、「家事に十分関われている（69.7%）」となっている。

図表Ⅲ-211 仕事や夫婦のコミュニケーション、育児、家事等についての満足度（女性・正社員）：
単数回答(Q66)



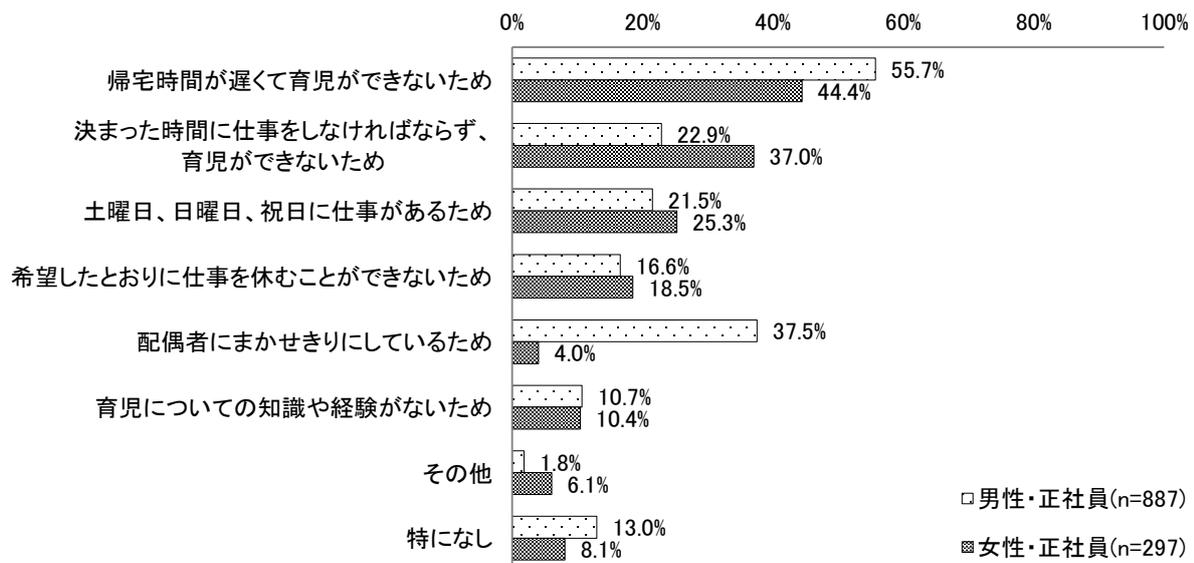
注) 「⑤夫婦のコミュニケーションが十分できている」「⑥夫婦の家事分担に満足している」「⑧夫婦の育児分担に満足している」は、Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

(5) 育児への関わりが十分ではない理由

① 育児への関わりが十分ではない理由

Q66⑨「育児に十分関わっている」について、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人について、育児への関わりが十分ではない理由をみると、「男性・正社員」では、「帰宅時間が遅くて育児ができないため」が55.7%、「配偶者にまかせきりにしているため」が37.5%となっている。「女性・正社員」では、「帰宅時間が遅くて育児ができないため」が44.4%、「決まった時間に仕事をしなければならず、育児ができないため」が37.0%となっている。

図表Ⅲ-212 育児への関わりが十分ではない理由：複数回答(Q67)

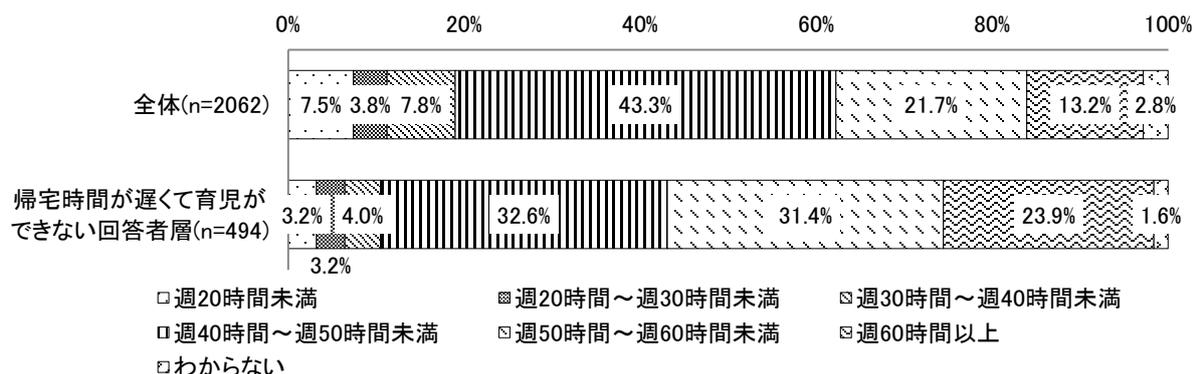


注) Q66⑨にて、「あまりそう思わない」「そう思わない」とした回答者を集計対象とする。

② 帰宅時間が遅くて育児ができない回答者層の労働時間（男性）

Q67において、育児への関わりが十分ではない理由として、「帰宅時間が遅くて育児ができないため」と回答した男性について、現在の週あたり労働時間をみると、「週 40 時間～週 50 時間未満」が 32.6%ともっとも高く、次いで「週 50 時間～週 60 時間未満」が 31.4%となっている。全体と比較すると、「週 50 時間～週 60 時間未満」、「週 60 時間以上」の割合が高くなっている。

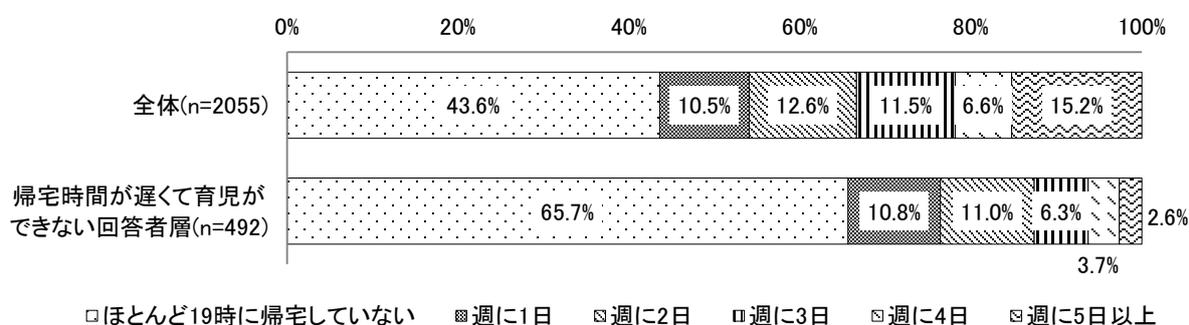
図表Ⅲ-213 帰宅時間が遅くて育児ができない回答者層の週あたり労働時間（男性、現在）：Q67 × Q16



③ 帰宅時間が遅くて育児ができない回答者層の 19 時までに帰宅する頻度（男性）

Q67において、育児への関わりが十分ではない理由として、「帰宅時間が遅くて育児ができないため」と回答した男性について、現在の 19 時までに帰宅する頻度をみると、「ほとんど 19 時に帰宅していない」が 65.7%ともっとも高くなっている。全体と比較すると、「ほとんど 19 時に帰宅していない」の割合が高く、「週に 5 日以上」の割合が低くなっている。

図表Ⅲ-214 帰宅時間が遅くて育児ができない回答者層の 19 時までに帰宅する頻度（男性、現在）：Q67 × Q62



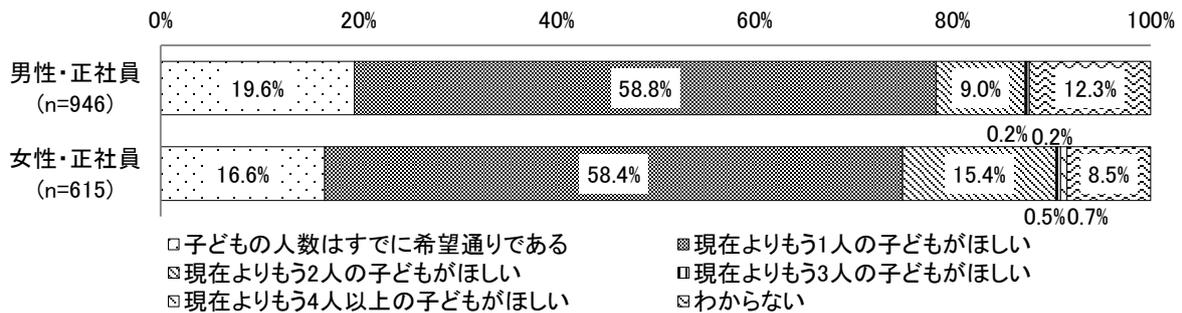
(6) 今後希望する子どもの人数

今後希望する子どもの人数をみると、現在子どもが1人の回答者では、「現在よりもう1人の子どもがほしい」が「男性・正社員」で58.8%、「女性・正社員」で58.4%となっている。

現在子どもが2人の回答者では、「子どもの人数はすでに希望通りである」が「男性・正社員」で66.6%、「女性・正社員」で59.5%となっている。

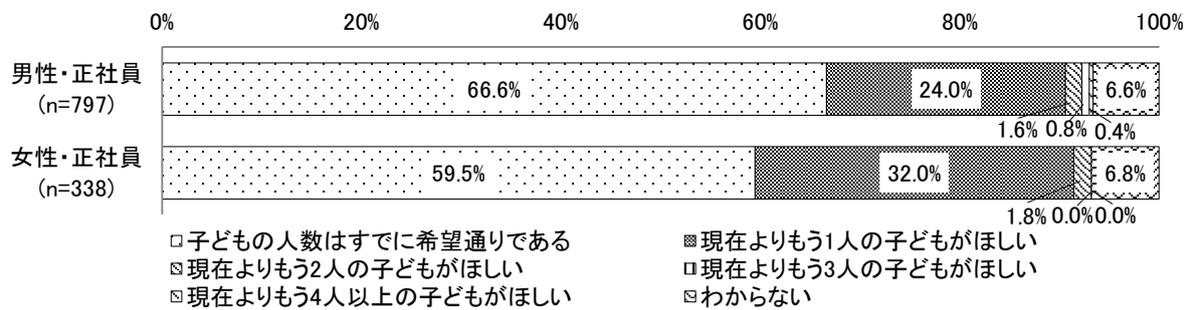
現在子どもが3人の回答者では、「子どもの人数はすでに希望通りである」が「男性・正社員」で75.8%、「女性・正社員」で78.3%となっている。

図表Ⅲ-215 今後希望する子どもの人数（現在子どもが1人の回答者）：単数回答(Q68)



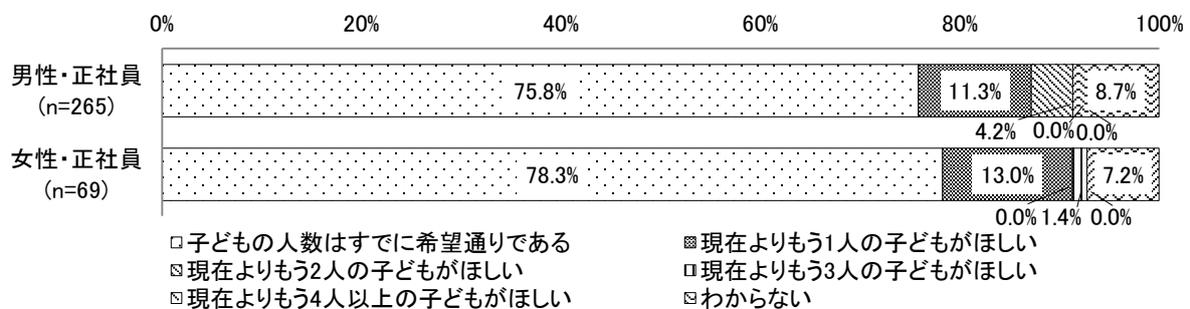
注) Q3にて、子どもの数が1人とした回答者を集計対象とする。

図表Ⅲ-216 今後希望する子どもの人数（現在子どもが2人の回答者）：単数回答(Q68)



注) Q3にて、子どもの数が2人とした回答者を集計対象とする。

図表Ⅲ-217 今後希望する子どもの人数（現在子どもが3人の回答者）：単数回答(Q68)

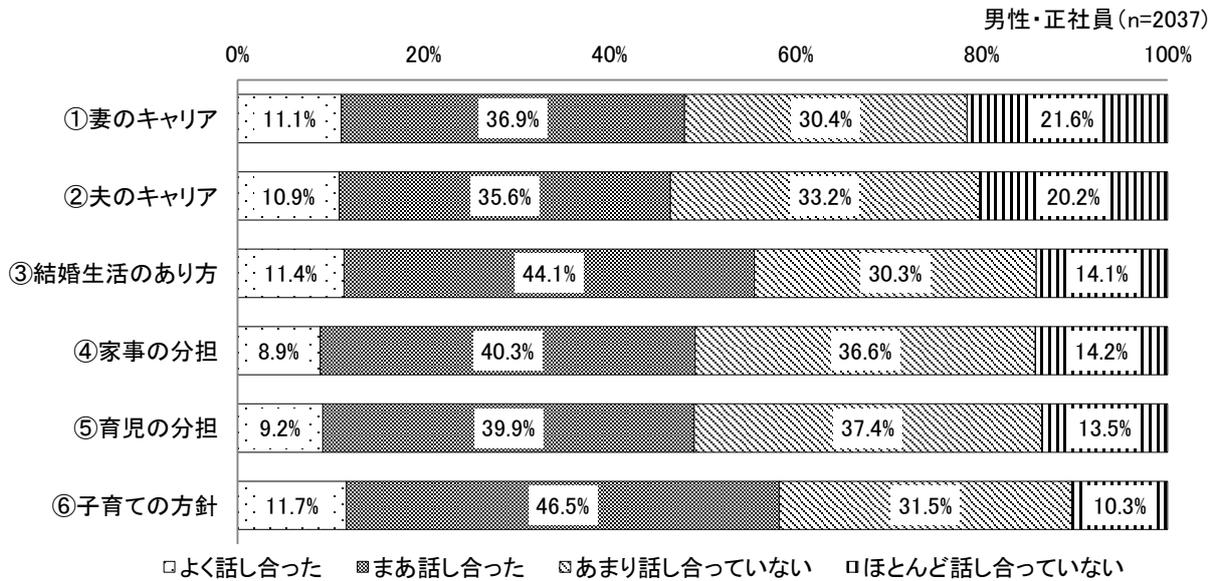


注) Q3にて、子どもの数が3人とした回答者を集計対象とする。

(7) 夫婦間のコミュニケーション

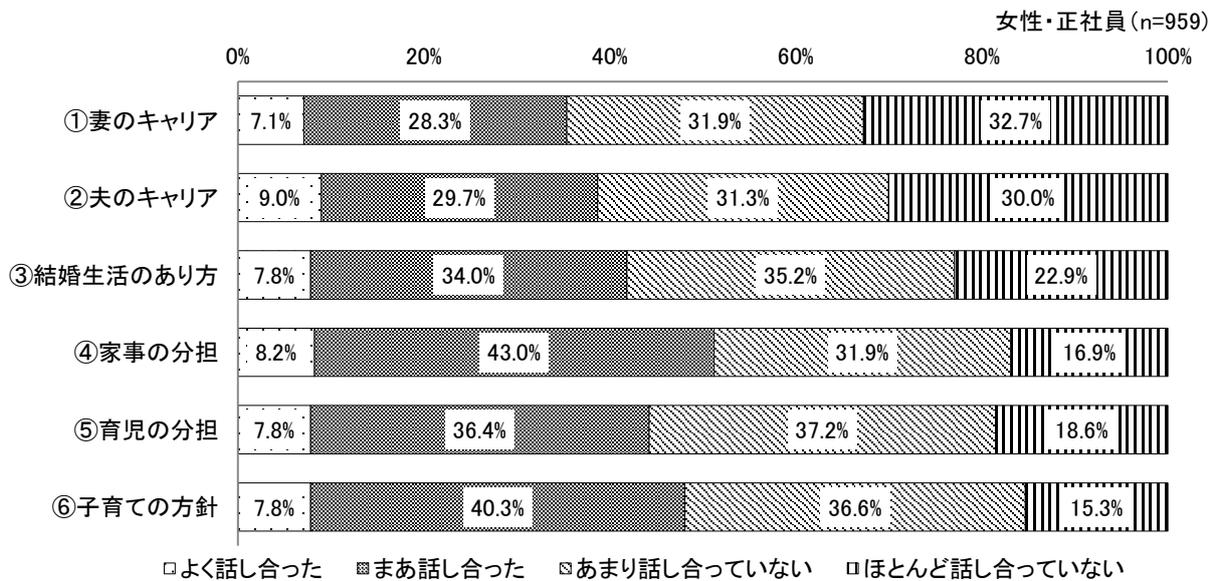
第一子の妊娠が判明するまでの夫婦間のコミュニケーションについて、「よく話し合った+まあ話し合った」の割合をみると、「男性・正社員」では、「子育ての方針」が58.2%、「結婚生活のあり方」が55.5%となっている。「女性・正社員」では、「家事の分担」が51.2%、「子育ての方針」が48.1%となっている。

図表Ⅲ-218 夫婦間のコミュニケーション（男性）：単数回答(Q69)



注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

図表Ⅲ-219 夫婦間のコミュニケーション（女性）：単数回答(Q69)

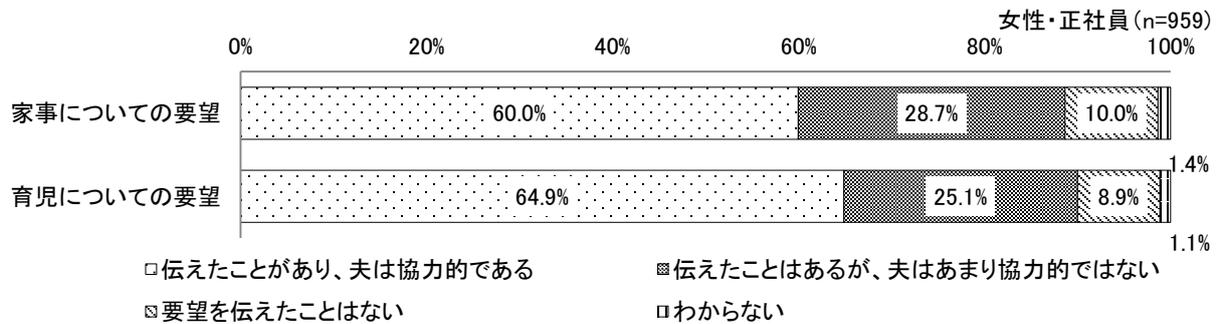


注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

(8) 妻から夫への家事・育児への参加要望

妻から夫への家事・育児への参加要望をみると、「家事についての要望」では、「伝えたことがあり、夫は協力的である」が60.0%、「伝えたことはあるが、夫はあまり協力的ではない」が28.7%となっている。「育児についての要望」では、「伝えたことがあり、夫は協力的である」が64.9%、「伝えたことはあるが、夫はあまり協力的ではない」が25.1%となっている。

図表Ⅲ-220 妻から夫への家事・育児への参加要望（女性）：単数回答(Q59)



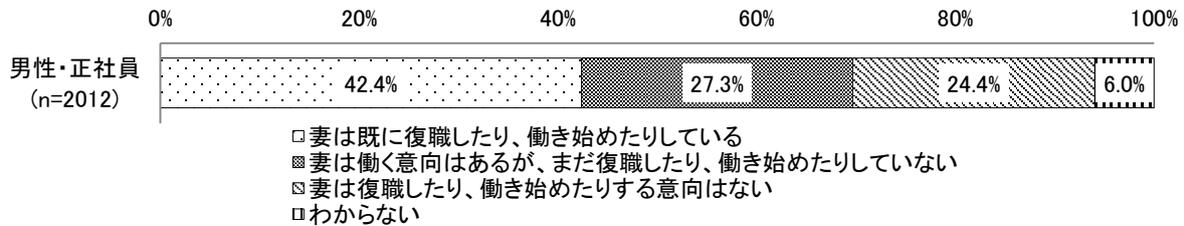
注) Q8にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

8. キャリアの形成

(1) 妻の産後の復職状況

男性回答者の配偶者（妻）の産後の復職状況をみると、「妻は既に復職したり、働き始めたりしている」が42.4%、「妻は働く意向はあるが、まだ復職したり、働き始めたりしていない」が27.3%、「妻は復職したり、働き始めたりする意向はない」が24.4%となっている。

図表Ⅲ-221 妻の産後の復職状況（男性回答者の配偶者の復職状況）：単数回答(Q42)



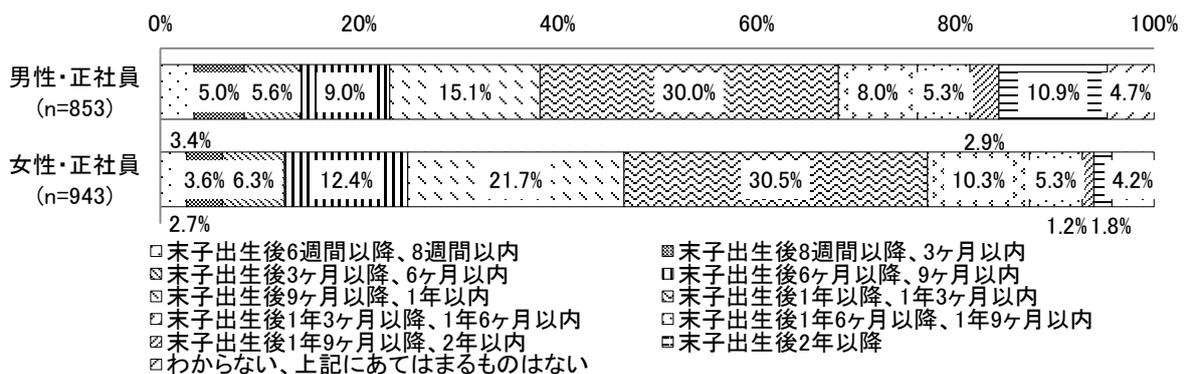
注) 就業形態（「男性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

注) 調査対象者のうち、女性回答者は妊娠・出産を経て現在働いている回答者であるため、「男性・正社員」の配偶者についてのみ聴取した。

(2) 妻の産後の復職時期

既に妻が復職している男性回答者および女性回答者について、女性（妻）が復職した時期をみると、男女ともに「末子出生後1年以降、1年3ヶ月以内」の割合がもっとも高く（30.0%、30.5%）、次いで「末子出生後9ヶ月以降、1年以内」（15.1%、21.7%）が高くなっている。

図表Ⅲ-222 既に復職している妻が復職した時期：単数回答(Q43)



注) 就業形態（「男性・正社員」「女性・正社員」）は、末子妊娠判明時のもの。

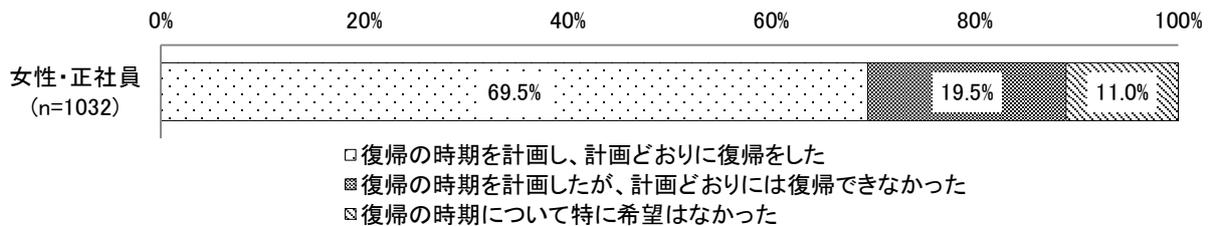
注) 男性回答者については、Q43にて、妻が現在働いているとした回答者に対して、妻の復職時期を聴取した。女性回答者については、回答者本人の復職時期について聴取した。

(3) 復職等の計画とその実現状況（女性）

① 産後の職場復帰の時期の計画とその実現状況

「女性・正社員」について、産後の職場復帰の時期の計画とその実現状況をみると、「復帰の時期を計画し、計画どおりに復帰をした」が69.5%、「復帰の時期を計画したが、計画どおりには復帰できなかった」が19.5%となっている。

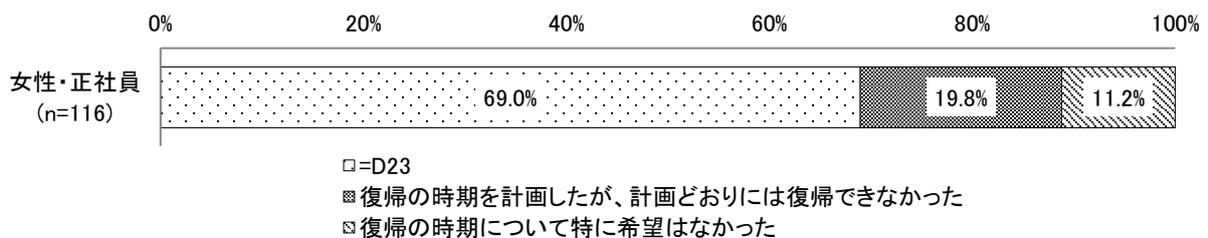
図表Ⅲ-223 産後の職場復帰の時期の計画とその実現状況：単数回答(Q70_1)



② 短時間勤務からフルタイム勤務に復帰する時期の計画とその実現状況（短時間勤務を利用し、現在はフルタイム勤務の回答者）

「女性・正社員」のうち、短時間勤務を利用し、現在はフルタイム勤務をしている人について、短時間勤務からフルタイム勤務に復帰する時期の計画とその実現状況をみると、「復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした（復帰ができそう）」が69.0%、「復帰の時期を計画したが、計画どおりには復帰できなかった（復帰できなさそう）」が19.8%となっている。

図表Ⅲ-224 短時間勤務からフルタイム勤務に復帰する時期の計画とその実現状況（以前に短時間勤務制度を利用していた回答者）：単数回答(Q70_2)

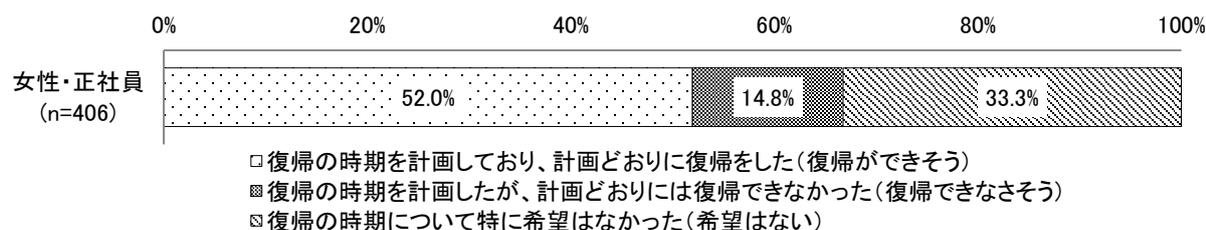


注) Q53_1にて、以前は短時間勤務を利用していたとした回答者を集計対象とする。

③ 短時間勤務からフルタイム勤務に復帰する時期の計画とその実現状況（現在、短時間勤務制度を利用している回答者）

「女性・正社員」のうち、現在短時間勤務を利用している人について、短時間勤務からフルタイム勤務に復帰する時期の計画とその実現状況をみると、「復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした（復帰ができそう）」が 52.0%、「復帰の時期について特に希望はなかった（希望はない）」が 33.3%となっている。

図表Ⅲ-225 短時間勤務からフルタイム勤務に復帰する時期の計画とその実現状況（現在、短時間勤務制度を利用している回答者）：単数回答(Q70_2)



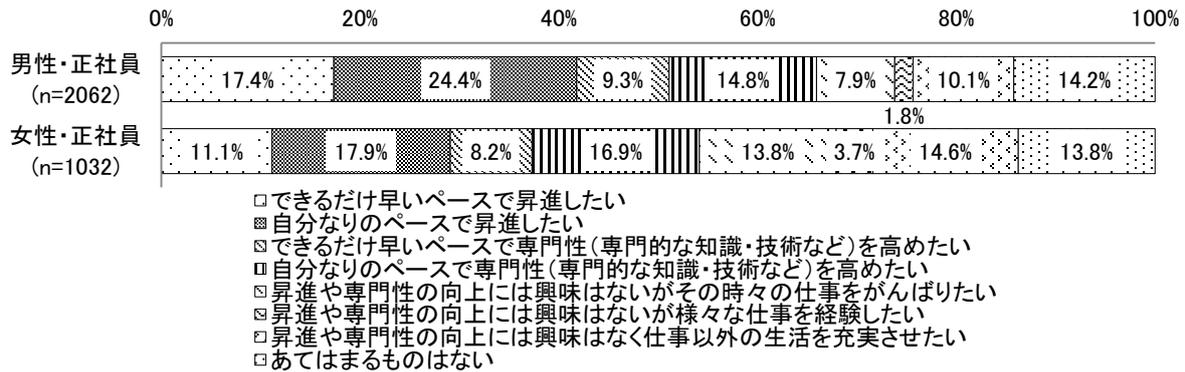
注) Q53_1にて、現在短時間勤務を利用しているとした回答者を集計対象とする。

(4) キャリア形成の希望

① キャリア形成の希望（長子を持つ前）

長子を持つ前のキャリア形成の希望をみると、「男性・正社員」では、「自分なりのペースで昇進したい」が24.4%、「できるだけ早いペースで昇進したい」が17.4%となっている。「女性・正社員」では、「自分なりのペースで昇進したい」が17.9%、「自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」が16.9%となっている。

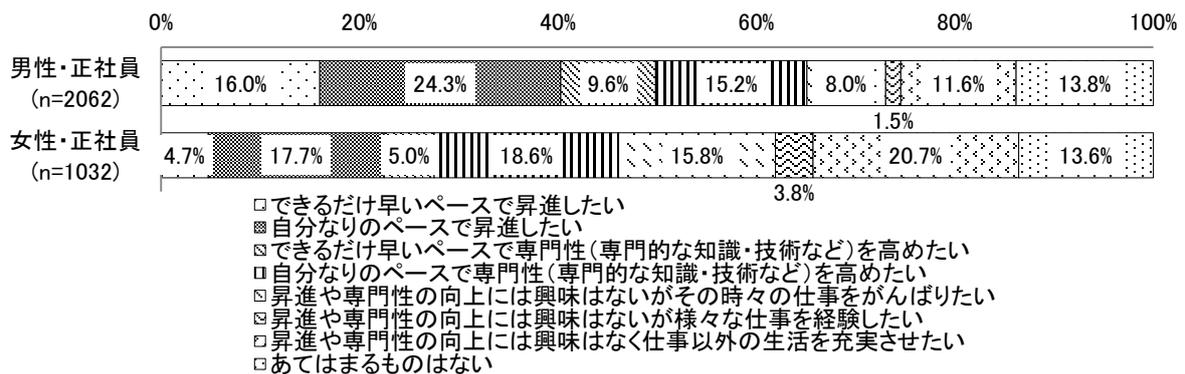
図表Ⅲ-226 キャリア形成の希望（長子を持つ前）：回答(Q71_1)



② キャリア形成の希望（現在）

現在のキャリア形成の希望をみると、「男性・正社員」では、「自分なりのペースで昇進したい」が24.3%、「できるだけ早いペースで昇進したい」が16.0%となっている。「女性・正社員」では、「昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい」が20.7%、「自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」が18.6%となっている。

図表Ⅲ-227 キャリア形成の希望（現在）：回答(Q71_2)



③ キャリア形成の希望の変化

「男性・正社員」について、キャリア形成の希望の変化をみると、長子を持つ前に「できるだけ早いペースで昇進したい」と考えていた人のうち 20.9%が、現在は「自分なりのペースで昇進したい」と考えるようになっている。

「女性・正社員」については、長子を持つ前に「できるだけ早いペースで昇進したい」と考えていた人のうち 28.7%が、現在は「自分なりのペースで昇進したい」と考えるようになっている。

図表Ⅲ-228 キャリア形成の希望の変化（男性）：回答(Q71_2)

男性・正社員	合計	Q71_2. キャリア形成の希望_現在								
		できるだけ早いペースで昇進したい	自分なりのペースで昇進したい	できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術などを高めたい	自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術などを高めたい	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々仕事をがんばりたい	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を体験したい	昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい	あてはまるものはない	
全体	2062 100.0	330 16.0	501 24.3	197 9.6	314 15.2	164 8.0	31 1.5	240 11.6	285 13.8	
Q71_1. キャリア形成の希望 ↑長子を持つ前	できるだけ早いペースで昇進したい	358 100.0	242 67.6	75 20.9	15 4.2	9 2.5	5 1.4	0 0.0	12 3.4	0 0.0
	自分なりのペースで昇進したい	504 100.0	45 8.9	372 73.8	30 6.0	17 3.4	15 3.0	3 0.6	16 3.2	6 1.2
	できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	192 100.0	20 10.4	19 9.9	98 51.0	37 19.3	9 4.7	3 1.6	5 2.6	1 0.5
	自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	306 100.0	5 1.6	13 4.2	34 11.1	224 73.2	18 5.9	2 0.7	10 3.3	0 0.0
	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々仕事をがんばりたい	162 100.0	6 3.7	6 3.7	11 6.8	16 9.9	107 66.0	3 1.9	12 7.4	1 0.6
	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を体験したい	38 100.0	1 2.6	3 7.9	4 10.5	6 15.8	2 5.3	17 44.7	5 13.2	0 0.0
	昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい	209 100.0	9 4.3	6 2.9	4 1.9	4 1.9	6 2.9	3 1.4	177 84.7	0 0.0
	あてはまるものはない	293 100.0	2 0.7	7 2.4	1 0.3	1 0.3	2 0.7	0 0.0	3 1.0	277 94.5

図表Ⅲ-229 キャリア形成の希望の変化（女性）：回答(Q71_2)

女性・正社員	合計	Q71_2. キャリア形成の希望_現在								
		できるだけ早いペースで昇進したい	自分なりのペースで昇進したい	できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術などを高めたい	自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術などを高めたい	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々をがんばりたい	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を経験したい	昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい	あてはまるものはない	
全体	1032 100.0	49 4.7	183 17.7	52 5.0	192 18.6	163 15.8	39 3.8	214 20.7	140 13.6	
Q71_1 キャリア形成の希望 長子を持つ前	できるだけ早いペースで昇進したい	115 100.0	36 31.3	33 28.7	6 5.2	14 12.2	10 8.7	1 0.9	13 11.3	2 1.7
	自分なりのペースで昇進したい	185 100.0	6 3.2	123 66.5	5 2.7	22 11.9	12 6.5	0 0.0	17 9.2	0 0.0
	できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	85 100.0	1 1.2	13 15.3	22 25.9	32 37.6	5 5.9	5 5.9	5 5.9	2 2.4
	自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	174 100.0	2 1.1	4 2.3	14 8.0	98 56.3	29 16.7	8 4.6	18 10.3	1 0.6
	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々をがんばりたい	142 100.0	0 0.0	4 2.8	4 2.8	9 6.3	98 69.0	7 4.9	19 13.4	1 0.7
	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を経験したい	38 100.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	5 13.2	6 15.8	14 36.8	11 28.9	0 0.0
	昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい	151 100.0	3 2.0	5 3.3	0 0.0	9 6.0	2 1.3	4 2.6	126 83.4	2 1.3
	あてはまるものはない	142 100.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	3 2.1	1 0.7	0 0.0	5 3.5	132 93.0

(5) 夫に対するキャリア形成の希望の伝達

① 夫に対するキャリア形成の希望の伝達

「女性・正社員」のうち、配偶者がいる人について、夫に対するキャリア形成の希望の伝達をみると、「要望を伝えたことはない」が 47.5%、「伝えたことがあり、夫は協力的である」が 30.9%となっている。

図表Ⅲ-230 夫に対するキャリア形成の希望の伝達：単数回答(Q72)



注) Q8 にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

② キャリア形成の希望内容別、夫に対するキャリア形成の希望の伝達

キャリア形成の希望内訳内容別に、夫に対するキャリア形成の希望の伝達をみると「できるだけ早いペースで昇進したい」「できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めた」と考えている人ほど、「伝えたことがあり、夫は協力的である」の割合が高い傾向がみられる。

図表Ⅲ-231 キャリア形成の希望内容別、夫への伝達：Q71_2×Q72

女性・正社員	合計	Q72. 夫に対してキャリア形成の希望を話したことがあるか				
		伝えたことがあり、夫は協力的である	伝えたことはあるが、夫はあまり協力的ではない	要望を伝えたことはない	わからない	
全体	959 100.0	296 30.9	127 13.2	456 47.5	80 8.3	
Q71_2. キャリア形成の希望 現在	できるだけ早いペースで昇進したい	44 100.0	23 52.3	7 15.9	11 25.0	3 6.8
	自分なりのペースで昇進したい	167 100.0	59 35.3	28 16.8	69 41.3	11 6.6
	できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	44 100.0	21 47.7	6 13.6	15 34.1	2 4.5
	自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	185 100.0	68 36.8	32 17.3	76 41.1	9 4.9
	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々仕事をがんばりたい	158 100.0	42 26.6	14 8.9	91 57.6	11 7.0
	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を体験したい	36 100.0	9 25.0	3 8.3	23 63.9	1 2.8
	昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい	203 100.0	55 27.1	25 12.3	109 53.7	14 6.9
	あてはまるものはない	122 100.0	19 15.6	12 9.8	62 50.8	29 23.8

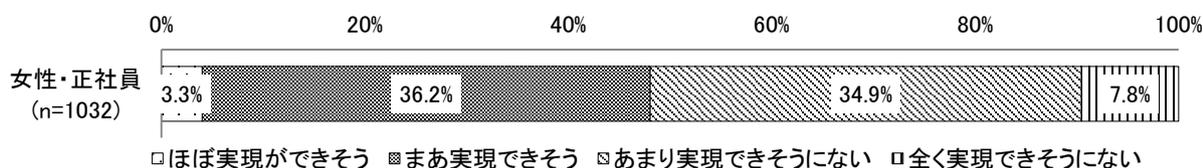
注) Q8 にて、配偶者がいるとした回答者を集計対象とする。

(6) キャリア形成の希望の実現可能性（女性）

① キャリア形成の希望と実現可能性

「女性・正社員」について、キャリア形成の希望と実現可能性をみると、「まあ実現できそう」が36.2%、「あまり実現できそうにない」が34.9%となっている。

図表Ⅲ-232 キャリア形成の希望の実現可能性：単数回答(Q73)



② キャリア形成の希望内容別、キャリア形成の希望の実現可能性

キャリア形成の希望内容別に、キャリア形成の希望の実現可能性をみると、「できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」「昇進や専門性の向上に興味はないがその時々仕事をがんばりたい」において、「ほぼ実現できそう+まあ実現できそう」の割合が高い傾向がみられる。

図表Ⅲ-233 キャリア形成の希望の実現可能性：Q71_2×Q73

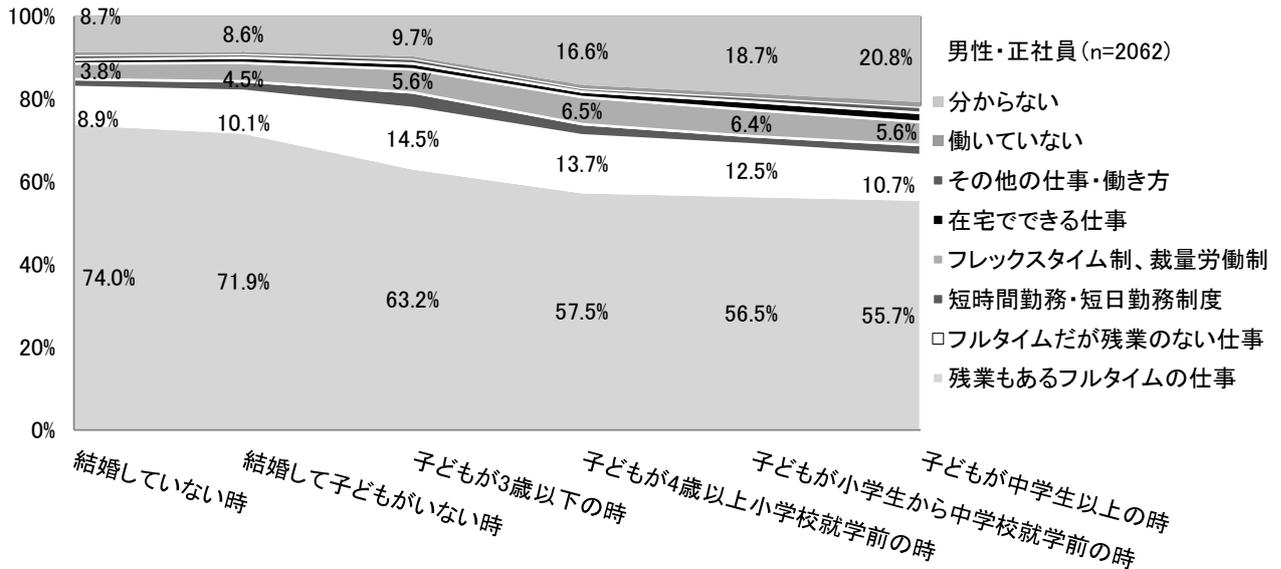
女性・正社員	合計	Q73. 現在のキャリアの希望の実現可能性					
		ほぼ実現 ができそ う	まあ実現 できそ う	あまり実 現できそ うにない	全く実現 できそ うにない	わからな い	
全体	1032 100.0	34 3.3	374 36.2	360 34.9	81 7.8	183 17.7	
Q71_2. キャリア形成の希望「現在」	できるだけ早いペースで昇進したい	49 100.0	4 8.2	19 38.8	18 36.7	2 4.1	6 12.2
	自分なりのペースで昇進したい	183 100.0	7 3.8	58 31.7	79 43.2	20 10.9	19 10.4
	できるだけ早いペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	52 100.0	4 7.7	25 48.1	19 36.5	4 7.7	0 0.0
	自分なりのペースで専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	192 100.0	4 2.1	78 40.6	83 43.2	10 5.2	17 8.9
	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々仕事をがんばりたい	163 100.0	2 1.2	85 52.1	42 25.8	10 6.1	24 14.7
	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を体験したい	39 100.0	1 2.6	12 30.8	15 38.5	3 7.7	8 20.5
	昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい	214 100.0	7 3.3	81 37.9	58 27.1	17 7.9	51 23.8
	あてはまるものはない	140 100.0	5 3.6	16 11.4	46 32.9	15 10.7	58 41.4

(7) ライフステージごとの働き方の実際と希望

① ライフステージごとの実際の働き方（男性回答者全体）

男性の実際の働き方をみると、「結婚していない時」と「結婚して子どもがいない時」では「残業もあるフルタイムの仕事」が7割を超えるが、子どもの出産後は「フルタイムだが残業のない仕事」の割合が高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-234 ライフステージごとの実際の働き方（男性回答者全体）：単数回答(Q74)



注) 該当する年齢の子どもがいない場合は、実際にそうなりそうな働き方を想定した回答となっている。

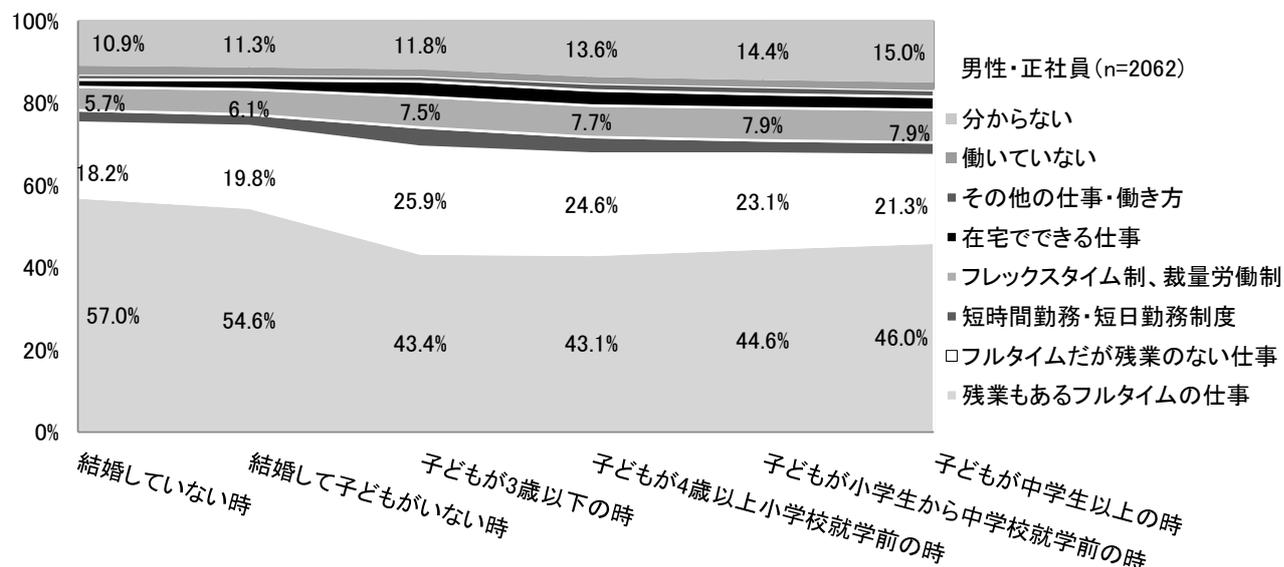
<数値表>

	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない	分からない
男性・正社員 (n=2062)								
結婚していない時	74.0	8.9	1.9	3.8	1.0	1.1	0.7	8.7
結婚して子どもがいない時	71.9	10.1	2.3	4.5	1.3	0.9	0.5	8.6
子どもが3歳以下の時	63.2	14.5	3.8	5.6	1.4	1.2	0.6	9.7
子どもが4歳以上小学校就学前の時	57.5	13.7	2.7	6.5	1.3	0.8	0.8	16.6
子どもが小学生から中学校就学前の時	56.5	12.5	2.0	6.4	1.9	1.1	0.9	18.7
子どもが中学生以上の時	55.7	10.7	2.5	5.6	2.2	1.5	1.2	20.8

② ライフステージごとの希望する働き方（男性回答者全体）

男性のライフステージごとの希望する働き方をみると、「結婚していない時」と「結婚して子どもがいない時」では「残業もあるフルタイムの仕事」が5割を超えるが、子どもの出産後は「フルタイムだが残業のない仕事」の割合が高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-235 ライフステージごとの希望する働き方（男性回答者全体）：単数回答(Q74)



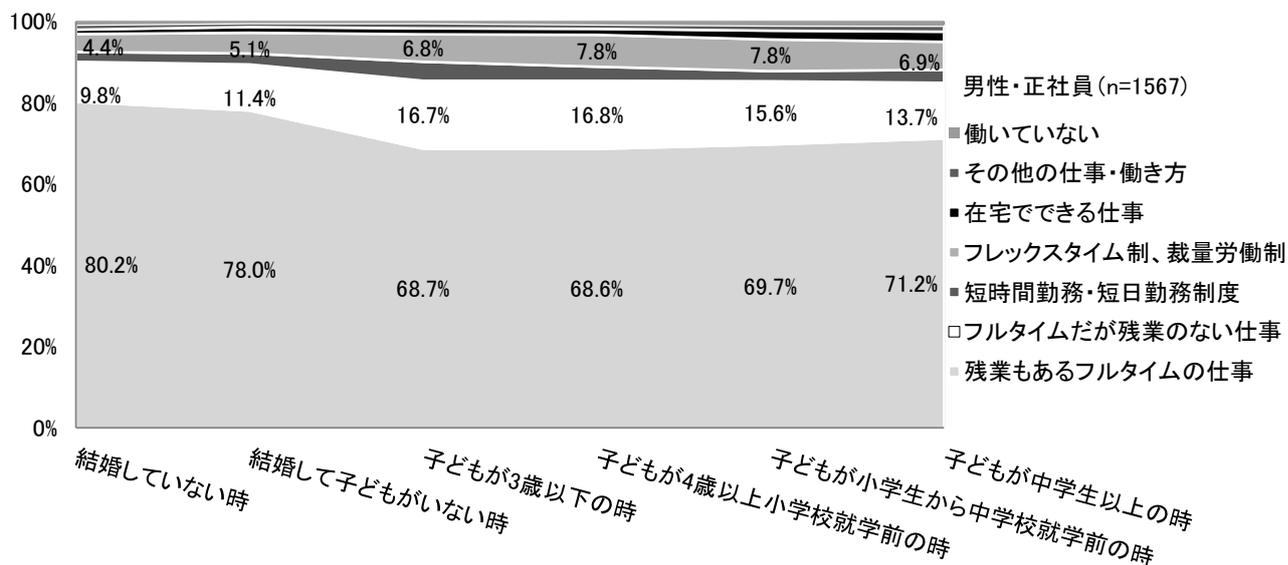
<数値表>

	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない	分からない
男性・正社員 (n=2062)								
結婚していない時	57.0	18.2	3.0	5.7	1.8	1.2	2.2	10.9
結婚して子どもがいない時	54.6	19.8	2.8	6.1	2.3	1.2	1.9	11.3
子どもが3歳以下の時	43.4	25.9	4.7	7.5	3.7	1.3	1.6	11.8
子どもが4歳以上小学校就学前の時	43.1	24.6	4.0	7.7	3.7	1.6	1.6	13.6
子どもが小学生から中学校就学前の時	44.6	23.1	3.2	7.9	3.3	1.7	1.7	14.4
子どもが中学生以上の時	46.0	21.3	3.1	7.9	3.2	1.6	1.9	15.0

③ ライフステージごとの実際の働き方（男性；「分からない」を除く）

「分からない」と回答した人を除外して、男性のライフステージごとの実際の働き方をみると、いずれの時期も「残業もあるフルタイムの仕事」が約7～8割程度となっているが、子どもの出産後は「フルタイムだが残業のない仕事」の割合が高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-236 ライフステージごとの実際の働き方（男性；「分からない」を除く）：単数回答(Q74)



注) 該当する年齢の子どもがいない場合は、実際にそうなりそうな働き方を想定した回答となっている。
注) Q74にて、希望と実際のいずれかの時期について「分からない」を選択した人を除いて集計。

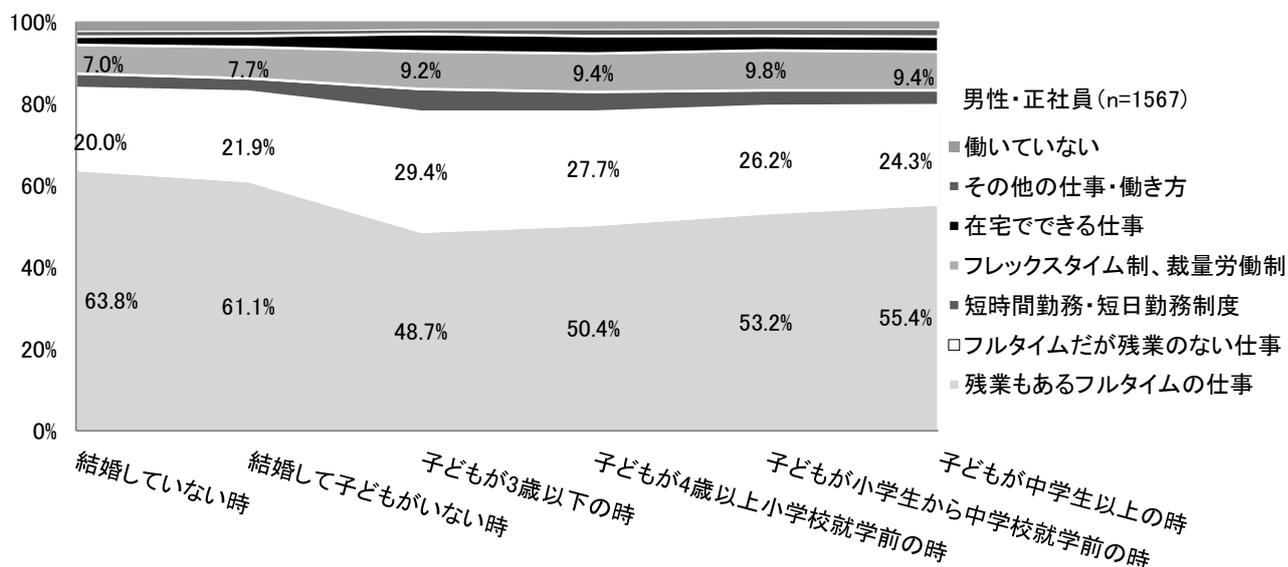
<数値表>

	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない
男性・正社員(n=1567)							
結婚していない時	80.2	9.8	2.4	4.4	1.1	1.2	0.8
結婚して子どもがいない時	78.0	11.4	2.7	5.1	1.4	1.0	0.4
子どもが3歳以下の時	68.7	16.7	4.7	6.8	1.5	1.3	0.4
子どもが4歳以上小学校就学前の時	68.6	16.8	3.4	7.8	1.5	1.1	0.8
子どもが小学生から中学校就学前の時	69.7	15.6	2.5	7.8	2.2	1.3	1.0
子どもが中学生以上の時	71.2	13.7	3.2	6.9	2.5	1.5	1.1

④ ライフステージごとの希望する働き方（男性；「分からない」を除く）

「分からない」と回答した人を除外して、男性のライフステージごとの希望する働き方をみると、いずれの時期も「残業もあるフルタイムの仕事」が約5～6割程度となっているが、子どもの出産後は「フルタイムだが残業のない仕事」の割合が高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-237 ライフステージごとの希望する働き方（男性；「分からない」を除く）：単数回答(Q74)



注) Q74にて、希望と実際のいずれかの時期について「分からない」を選択した人を除いて集計。

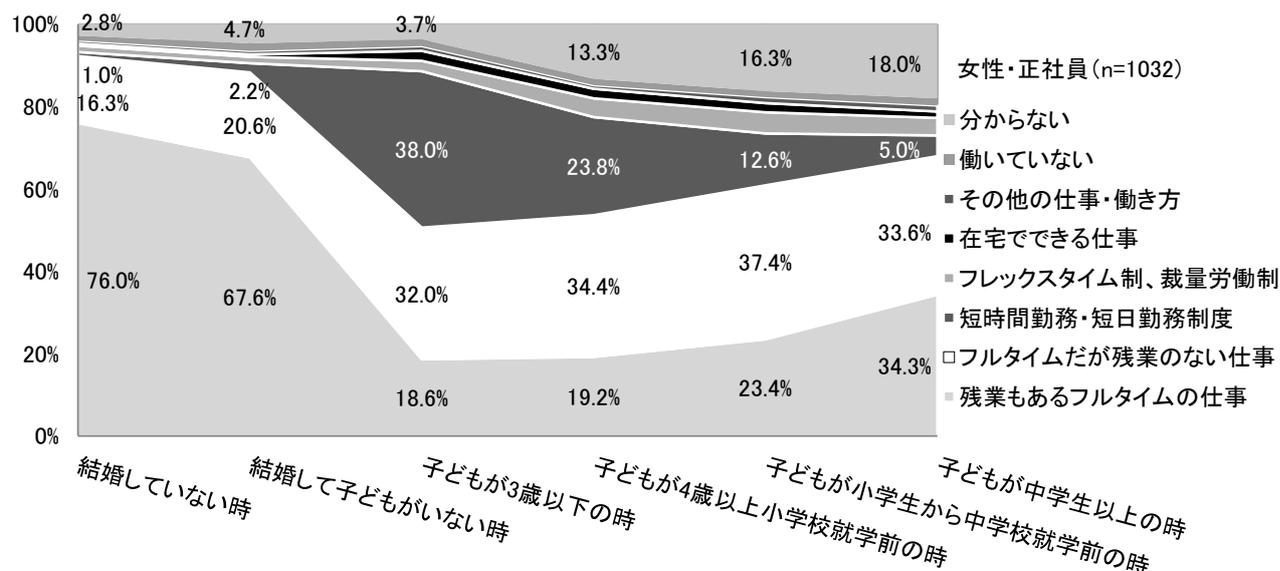
<数値表>

	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない
男性・正社員 (n=1567)							
結婚していない時	63.8	20.0	3.5	7.0	2.0	1.4	2.2
結婚して子どもがいない時	61.1	21.9	3.3	7.7	2.7	1.3	2.1
子どもが3歳以下の時	48.7	29.4	5.6	9.2	4.3	1.2	1.7
子どもが4歳以上小学校就学前の時	50.4	27.7	4.9	9.4	4.3	1.7	1.7
子どもが小学生から中学校就学前の時	53.2	26.2	3.8	9.8	3.6	1.8	1.6
子どもが中学生以上の時	55.4	24.3	3.6	9.4	3.7	1.9	1.7

⑤ ライフステージごとの実際の働き方（女性回答者全体）

女性のライフステージごとの実際の働き方をみると、「結婚していない時」や「結婚して子どもがいない時」は「残業もあるフルタイムの仕事」と「フルタイムだが残業のない仕事」を合わせて9割を超えているが、子どもの出産後は「短時間勤務・短日勤務制度」の割合が最も高くなり、子どもが大きくなるにつれて「残業もあるフルタイムの仕事」の割合が再び高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-238 ライフステージごとの実際の働き方（女性回答者全体）：単数回答(Q74)



注) 該当する年齢の子どもがいない場合は、実際にそうなりそうな働き方を想定した回答となっている。

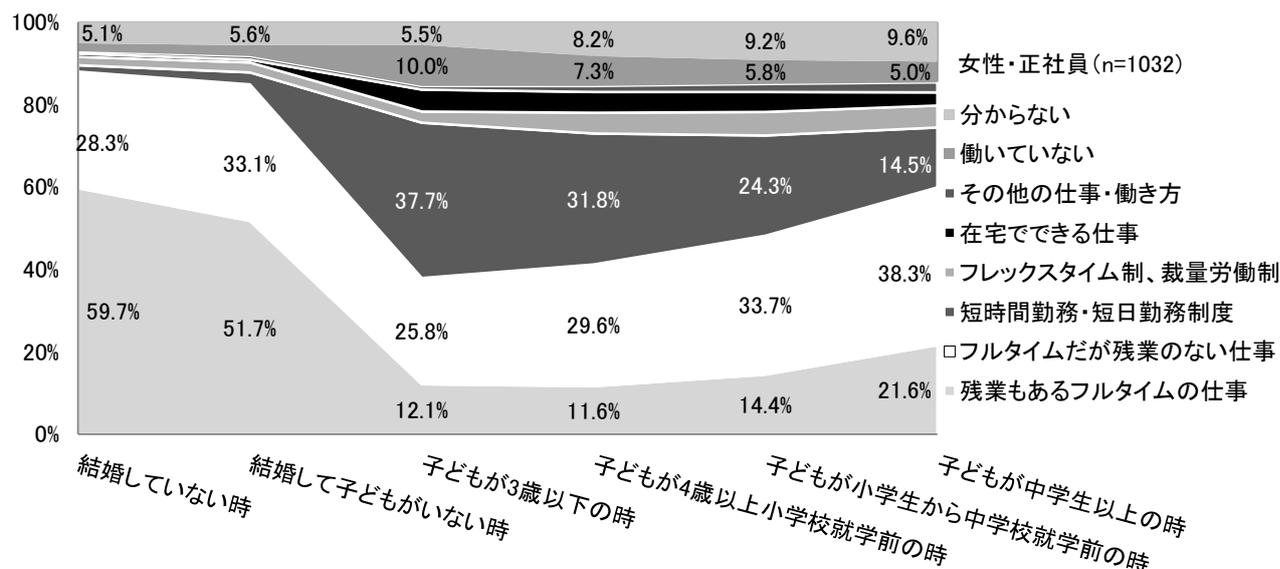
<数値表>

	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない	分からない
女性・正社員 (n=1032)								
結婚していない時	76.0	16.3	1.0	1.6	0.5	0.8	1.2	2.8
結婚して子どもがいない時	67.6	20.6	2.2	1.6	0.6	0.9	1.8	4.7
子どもが3歳以下の時	18.6	32.0	38.0	2.5	2.4	1.2	1.6	3.7
子どもが4歳以上小学校就学前の時	19.2	34.4	23.8	4.6	2.3	0.9	1.6	13.3
子どもが小学生から中学校就学前の時	23.4	37.4	12.6	5.1	2.2	1.5	1.5	16.3
子どもが中学生以上の時	34.3	33.6	5.0	4.3	1.6	1.5	1.7	18.0

⑥ ライフステージごとの希望する働き方（女性回答者全体）

女性のライフステージごとの希望する働き方をみると、「結婚していない時」や「結婚して子どもがいない時」は「残業もあるフルタイムの仕事」と「フルタイムだが残業のない仕事」を合わせて8割を超えているが、子どもの出産後は「短時間勤務・短日勤務制度」の割合が最も高くなり、子どもが大きくなるにつれて「フルタイムだが残業のない仕事」の割合が再び高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-239 ライフステージごとの希望する働き方（女性回答者全体）：単数回答(Q74)



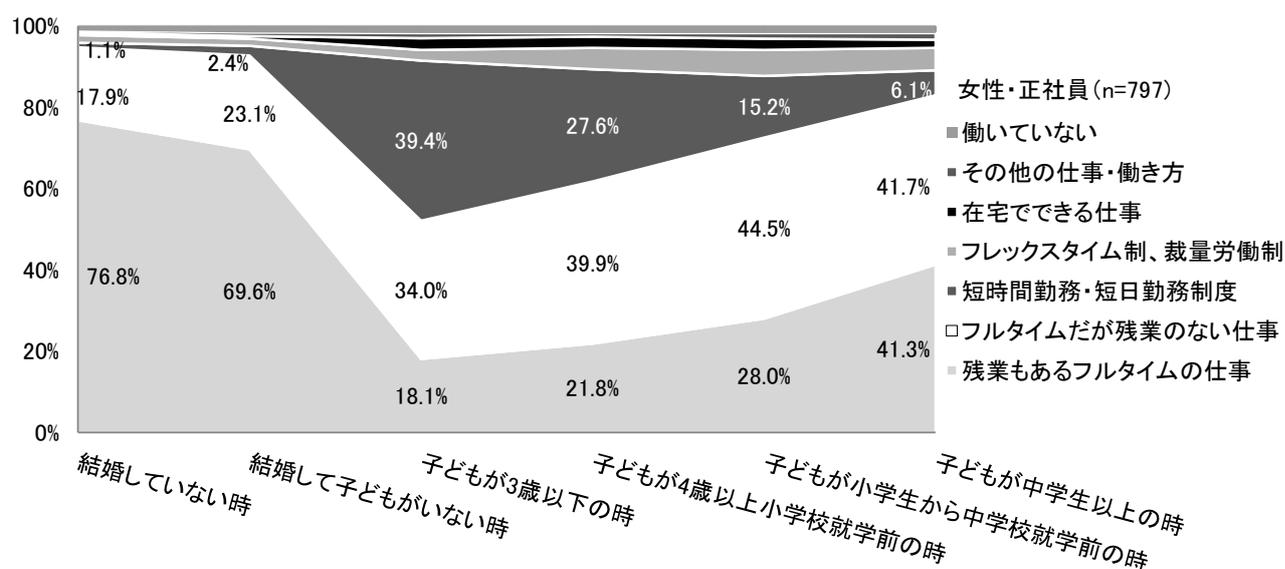
<数値表>

	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない	分からない
女性・正社員 (n=1032)								
結婚していない時	59.7	28.3	1.6	2.0	0.8	0.6	1.9	5.1
結婚して子どもがいない時	51.7	33.1	2.9	2.4	0.7	0.9	2.6	5.6
子どもが3歳以下の時	12.1	25.8	37.7	2.7	5.3	0.9	10.0	5.5
子どもが4歳以上小学校就学前の時	11.6	29.6	31.8	5.0	5.0	1.5	7.3	8.2
子どもが小学生から中学校就学前の時	14.4	33.7	24.3	5.7	4.8	1.9	5.8	9.2
子どもが中学生以上の時	21.6	38.3	14.5	5.3	3.2	2.4	5.0	9.6

⑦ ライフステージごとの実際の働き方（女性；「分からない」を除く）

「分からない」と回答した人を除外して、女性のライフステージごとの実際の働き方をみると、「結婚していない時」や「結婚して子どもがいない時」は「残業もあるフルタイムの仕事」と「フルタイムだが残業のない仕事」を合わせて9割を超えているが、子どもの出産後は「短時間勤務・短日勤務制度」の割合が最も高くなり、子どもが大きくなるにつれて「フルタイムだが残業のない仕事」と「残業もあるフルタイムの仕事」の割合が再び高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-240 ライフステージごとの実際の働き方（女性；「分からない」を除く）：単数回答(Q74)



注) 該当する年齢の子どもがいない場合は、実際にそうなりそうな働き方を想定した回答となっている。
注) Q74にて、希望と実際のいずれかの時期について「分からない」を選択した人を除いて集計。

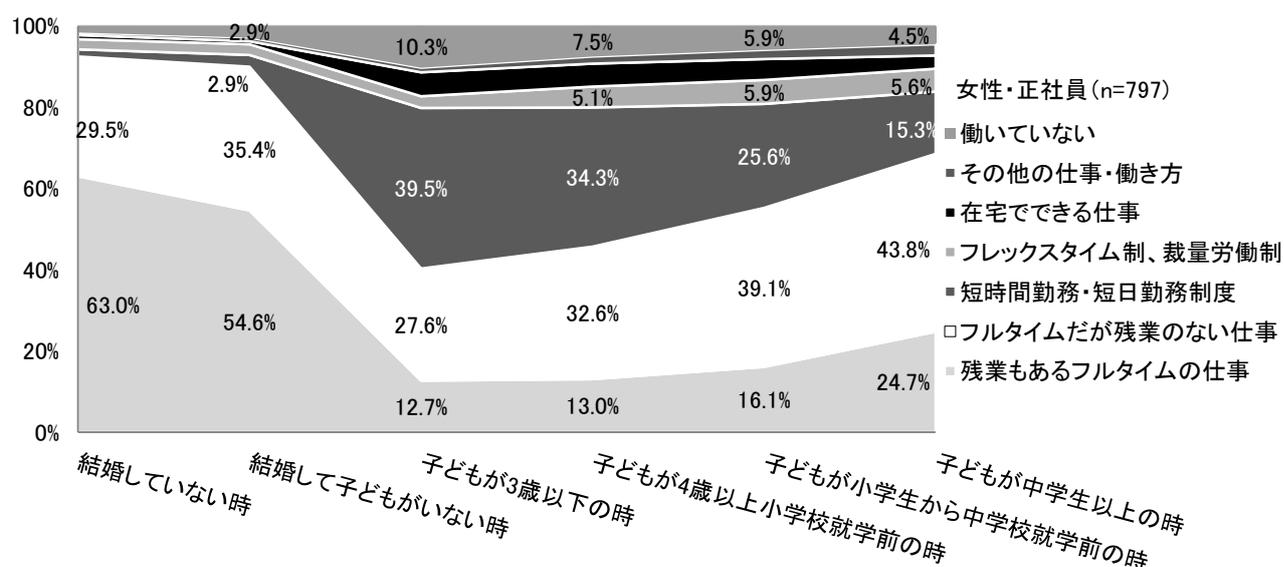
<数値表>

	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない
女性・正社員 (n=797)							
結婚していない時	76.8	17.9	1.1	1.9	0.6	0.5	1.1
結婚して子どもがいない時	69.6	23.1	2.4	1.8	0.6	0.9	1.6
子どもが3歳以下の時	18.1	34.0	39.4	2.6	2.9	1.3	1.8
子どもが4歳以上小学校就学前の時	21.8	39.9	27.6	5.3	2.8	0.9	1.8
子どもが小学生から中学校就学前の時	28.0	44.5	15.2	6.4	2.8	1.4	1.8
子どもが中学生以上の時	41.3	41.7	6.1	5.5	2.0	1.6	1.8

⑧ ライフステージごとの希望する働き方（女性；「分からない」を除く）

「分からない」と回答した人を除外して、女性のライフステージごとの働き方の希望をみると、「結婚していない時」や「結婚して子どもがいない時」は「残業もあるフルタイムの仕事」と「フルタイムだが残業のない仕事」を合わせて9割を超えているが、子どもの出産後は「短時間勤務・短日勤務制度」の割合が最も高くなり、子どもが大きくなるにつれて「フルタイムだが残業のない仕事」の割合が再び高くなる傾向にある。

図表Ⅲ-241 ライフステージごとの希望する働き方（女性；「分からない」を除く）：単数回答(Q74)



注) Q74にて、希望と実際のいずれかの時期について「分からない」を選択した人を除いて集計。

<数値表>

女性・正社員 (n=797)	残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	在宅でできる仕事	その他の仕事・働き方	働いていない
結婚していない時	63.0	29.5	1.8	2.5	1.0	0.6	1.6
結婚して子どもがいない時	54.6	35.4	2.9	2.6	0.8	0.9	2.9
子どもが3歳以下の時	12.7	27.6	39.5	2.9	5.9	1.1	10.3
子どもが4歳以上小学校就学前の時	13.0	32.6	34.3	5.1	5.6	1.8	7.5
子どもが小学生から中学校就学前の時	16.1	39.1	25.6	5.9	5.1	2.3	5.9
子どもが中学生以上の時	24.7	43.8	15.3	5.6	3.3	2.8	4.5

IV. 労働者調査 テーマ別集計結果

1. 男性の育児を目的とした休暇・休業取得の実態

- 男性の育児を目的とした休暇・休業の取得の実態を分析するため、取得した休暇・休業制度の組み合わせを集計したところ、取得した休暇・休業制度の組み合わせとして割合が高いのは、「年次有給休暇制度のみ」が 28.8%でもっとも高く、次いで「年次有給休暇制度と配偶者出産休暇制度」が 10.7%となっている。分析のため、男性が利用した主な制度に着目して、男性が取得した休暇・休業制度の取得パターンを作成した（図表IV-1）。
- 取得パターン別に、取得したタイミングのうちもっとも遅いタイミングをみると、「妻が退院するとき」に取得した割合は、「年次有給休暇制度のみ」や「配偶者出産休暇制度のみ」の層で高くなっている。「妻の育児休業期間中」や「妻が復職する時」に取得した割合は、「育児休業制度と年次有給休暇のみ」や「育児休業制度と配偶者出産休暇制度と他」において高い傾向がみられる。
- 取得パターン別に、取得した休暇・休業期間をみると、末子出生後8週間以内の取得では、育児休業を取得している層の平均取得期間は12日～17日程度、「年次有給休暇のみ」では4.0日、「配偶者出産休暇制度のみ」では3.4日となっている。取得時期に関わらず、取得した休暇・休業期間の合計をみると、育児休業を取得している層の平均取得期間は1ヶ月から2ヶ月程度であるが、「年次有給休暇のみ」「配偶者出産休暇制度のみ」では7日未満となっている。
- 取得したタイミングのうち、もっとも遅いタイミング別に、休暇・休業中に行ったことをみると、末子出生後8週間以内の取得では、「妻の退院後、数日間」に取得している層で「日々の家事」や「末子の世話」の割合が他と比べて高くなっている。「妻の育児休業期間中」「妻が復職するとき」に取得した層では末子8週間以内までに取得を終えた層に比べて、「末子の世話」の割合が高くなっている。

(1) 男性が育児のために利用した休暇・休業制度の組み合わせ

図表IV-1 男性が育児のために利用した休暇・休業制度の組み合わせ：Q33

	利用した制度の組み合わせ	件数	%
1	育休のみ	10	1.7
2	育休+有休	34	1.7
3	育休+有休+失効年次	1	0.0
4	育休+配偶者出産	5	0.2
5	育休+その他	1	0.0
6	育休+育休の再取得	8	0.4
7	育休+有休+失効年次	1	0.0
8	育休+有休+配偶者出産	23	1.1
9	育休+有休+その他	0	0.0
10	育休+有休+育休の再取得	18	0.9
11	育休+失効年次+配偶者出産	1	0.0
12	育休+失効年次+その他	0	0.0
13	育休+失効年次+育休の再取得	0	0.0
14	育休+配偶者出産+その他	0	0.0
15	育休+配偶者出産+育休の再取得	3	0.1
16	育休+その他+育休の再取得	0	0.0
17	育休+有休+失効年次+配偶者出産	9	0.4
18	育休+有休+失効年次+その他	0	0.0
19	育休+有休+失効年次+育休の再取得	1	0.0
20	育休+有休+配偶者出産+その他	1	0.0
21	育休+有休+配偶者出産+育休の再取得	9	0.4
22	育休+有休+その他+育休の再取得	1	0.0
23	育休+失効年次+配偶者出産+その他	0	0.0
24	育休+失効年次+配偶者出産+育休の再取得	0	0.0
25	育休+失効年次+その他+育休の再取得	1	0.0
26	育休+配偶者出産+育休の再取得+その他+育休の再取得	0	0.0
27	育休+有休+失効年次+配偶者出産+その他	0	0.0
28	育休+有休+失効年次+配偶者出産+育休の再取得	11	0.5
29	育休+有休+失効年次+その他+育休の再取得	1	0.0
30	育休+有休+配偶者出産+その他+育休の再取得	0	0.0
31	育休+失効年次+配偶者出産+その他+育休の再取得	1	0.0
32	育休+有休+失効年次+配偶者出産+その他+育休の再取得	2	0.1
33	有休のみ	585	28.8
34	有休+失効年次	64	3.1
35	有休+配偶者出産	218	10.7
36	有休+その他	6	0.3
37	有休+失効年次+配偶者出産	45	2.2
38	有休+失効年次+その他	1	0.0
39	有休+配偶者出産+その他	2	0.1
40	有休+失効年次+配偶者出産+その他	1	0.0
41	失効年次のみ	2	0.1
42	失効年次+配偶者出産	2	0.1
43	失効年次+その他	0	0.0
44	失効年次+配偶者出産+その他	0	0.0
45	配偶者出産のみ	77	3.8
46	配偶者出産+その他	0	0.0
47	その他のみ	4	0.2
48	休暇・休業を取得しているが、利用制度不明*	402	19.8
49	いずれの休暇・休業も非取得	484	23.8
	計	2035	100.0

注) 末子妊娠妊娠判明時に正社員だった男性回答者を集計対象とする。

注) Q33においていずれの制度も利用もないが、Q44でいずれのタイミングで休暇・休業を取得したという回答者が一定数みられた。何らかの休暇・休業を取得したものとみなしたうえで、利用制度不明とした。

(2) 分析に用いる男性が取得した休暇・休業制度の取得パターン

図表IV-2 分析に用いる男性が取得した休暇・休業制度のパターン：Q33

	取得パターン	件数	%
①	育休のみ	43	2.1
②	育休+有休のみ	52	2.6
③	育休+配偶者出産+他	65	3.2
④	有休のみ	586	28.8
⑤	有休+配偶者出産+他	266	13.1
⑥	配偶者出産のみ	77	3.8
⑦	上記以外の制度の組合せ	462	22.7
⑧	いずれも非取得	484	23.8
	計	2035	100.0

注) 末子妊娠妊娠判明時に正社員だった男性回答者を集計対象とする。

(3) 取得パターン別にみた、取得したタイミングのうちもっとも遅いタイミング（男性）

図表IV-3 取得パターン別にみた、取得したタイミングのうちもっとも遅いタイミング（男性）：
Q33×Q35

	合計	休暇・休業を取得したタイミングのうち、もっとも遅いタイミング (SA)									
		妻が里帰りすると き	妻が産院に いる間	妻が退院 するとき	妻の退院 後、数日 間	妻が妻の 実家に いる間	妻が里帰 りから 戻るとき	妻の育児 休業期 間中	妻が復職 するとき	いずれの タイミン グでも非 取得	
全体	2035 100.0	16 0.8	137 6.7	497 24.4	278 13.7	58 2.9	140 6.9	144 7.1	87 4.3	678 33.3	
取得 パ タ ー ン	育休のみ	43 100.0	2 4.7	5 11.6	4 9.3	7 16.3	2 4.7	0 0.0	5 11.6	4 9.3	14 32.6
	育休+有休のみ	52 100.0	1 1.9	2 3.8	7 13.5	11 21.2	1 1.9	4 7.7	11 21.2	5 9.6	10 19.2
	育休+配偶者出 産+他	65 100.0	0 0.0	4 6.2	5 7.7	17 26.2	4 6.2	3 4.6	12 18.5	13 20.0	7 10.8
	有休のみ	586 100.0	3 0.5	44 7.5	173 29.5	113 19.3	23 3.9	47 8.0	56 9.6	23 3.9	104 17.7
	有休+配偶者出 産+他	266 100.0	1 0.4	13 4.9	68 25.6	66 24.8	12 4.5	31 11.7	31 11.7	21 7.9	23 8.6
	配偶者出産のみ	77 100.0	0 0.0	11 14.3	29 37.7	7 9.1	1 1.3	3 3.9	4 5.2	0 0.0	22 28.6
	上記以外の制度 の組合せ	462 100.0	9 1.9	58 12.6	211 45.7	57 12.3	15 3.2	52 11.3	25 5.4	21 4.5	14 3.0

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 末子妊娠妊娠判明時に正社員だった男性回答者を集計対象とする。

注) 里帰り出産や自宅出産に該当するか否か、妻が育児休業を取得したか否か、妻が復職しているか否かに関わらず、各取得パターンに該当する回答者全体に対する割合を集計した。

(4) 取得パターン別にみた、休暇・休業期間（男性）

図表IV-4 取得パターン別にみた、休暇・休業期間（男性；末子出生後8週間以内の取得）

		育児休業制度		育児休業制度 (再取得)		年次有給 休暇制度		配偶者出産 休暇制度		各種制度の合計	
		件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数
全体		69	11.1	16	7.2	752	3.9	298	3.4	868	5.9
取得 パ タ ー ン	育休のみ	16	15.2	2	17.2	-	-	-	-	16	17.4
	育休+有休のみ	25	10.0	7	5.9	25	3.9	-	-	28	12.7
	育休+配偶者出産+他	24	10.3	6	5.3	22	5.1	31	5.1	36	16.5
	有休のみ	-	-	-	-	447	4.0	-	-	447	4.0
	有休+配偶者出産+他	-	-	-	-	205	3.7	213	3.1	228	6.5
	配偶者出産のみ	-	-	-	-	-	-	54	3.4	54	3.4
	上記以外の制度の組合せ	4	6.8	1	7.0	53	3.4	0	-	59	7.1

図表IV-5 取得パターン別にみた、休暇・休業期間（男性；末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得）

		育児休業制度		育児休業制度 (再取得)		年次有給 休暇制度		配偶者出産 休暇制度		各種制度の合計	
		件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数
全体		26	54.0	7	31.9	226	7.0	14	17.1	249	14.4
取得 パ タ ー ン	育休のみ	6	114.3	0	-	-	-	-	-	6	114.3
	育休+有休のみ	10	36.8	3	14.1	16	7.6	-	-	17	20.5
	育休+配偶者出産+他	10	35.0	4	45.3	14	6.7	6	10.0	21	36.3
	有休のみ	-	-	-	-	108	8.2	-	-	108	8.2
	有休+配偶者出産+他	-	-	-	-	74	5.7	6	4.0	76	6.3
	配偶者出産のみ	-	-	-	-	0	-	2	77.5	2	77.5
	上記以外の制度の組合せ	0	-	0	-	14	3.7	0	-	19	14.3

図表IV-6 取得パターン別にみた、休暇・休業期間（男性；末子出生後1年2ヶ月以降の取得）

		育児休業制度		育児休業制度 (再取得)		年次有給 休暇制度		配偶者出産 休暇制度		各種制度の合計	
		件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数
全体		11	47.8	4	112.6	159	6.8	4	23.7	171	12.9
取得 パ タ ー ン	育休のみ	3	153.5	1	364.4	-	-	-	-	3	275.0
	育休+有休のみ	5	9.7	1	30.4	9	6.9	-	-	10	14.1
	育休+配偶者出産+他	3	5.7	2	27.7	8	16.8	3	28.3	11	27.5
	有休のみ	-	-	-	-	80	6.0	-	-	80	6.0
	有休+配偶者出産+他	-	-	-	-	54	7.0	1	10.0	56	7.3
	配偶者出産のみ	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-
	上記以外の制度の組合せ	0	-	0	-	8	3.4	0	-	11	3.9

図表IV-7 取得パターン別にみた、休暇・休業期間（男性；全時期の合計）

	育児休業制度		育児休業制度 (再取得)		年次有給 休暇制度		配偶者出産 休暇制度		各種制度の合計		
	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	件数	平均 日数	
全体	111	26.2	30	31.8	945	7.6	350	5.4	1046	13.1	
取得 パター ン	育休のみ	28	54.4	4	100.2	-	-	-	-	28	68.7
	育休+有休のみ	39	18.9	13	21.2	39	8.8	-	-	38	30.0
	育休+配偶者出産+他	40	15.7	12	22.5	35	10.1	40	8.5	38	47.5
	有休のみ	-	-	-	-	564	6.4	-	-	562	6.4
	有休+配偶者出産+他	-	-	-	-	241	10.6	239	4.9	241	16.2
	配偶者出産のみ	-	-	-	-	-	-	68	5.3	67	5.3
	上記以外の制度の組合せ	4	6.8	1	7.0	66	5.0	1	2.0	72	13.7

図表IV-8 取得パターン別にみた、合計取得期間の分布（男性）

	合計	休暇・休業の合計取得期間				
		3日以内	4日～7日 以内	8日～1ヶ月 以内	1ヶ月より長 い	
全体	1046	451	270	251	74	
	100.0	43.1	25.8	24.0	7.1	
取得 パター ン	育休のみ	28	7	7	4	10
		100.0	25.0	25.0	14.3	35.7
	育休+有休のみ	38	1	12	16	9
		100.0	2.6	31.6	42.1	23.7
	育休+配偶者出産+他	38	0	4	22	12
		100.0	0.0	10.5	57.9	31.6
	有休のみ	562	343	113	88	18
	100.0	61.0	20.1	15.7	3.2	
有休+配偶者出産+他	241	33	97	94	17	
	100.0	13.7	40.2	39.0	7.1	
配偶者出産のみ	67	53	12	1	1	
	100.0	79.1	17.9	1.5	1.5	
上記以外の制度の組合せ	72	14	25	26	7	
	100.0	19.4	34.7	36.1	9.7	

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

(5) 休暇・休業の取得のタイミング別にみた、休暇・休業中に行ったこと（男性）

図表IV-9 休暇・休業の取得のタイミング別にみた、休暇・休業中に行ったこと（男性）：Q35×Q44×Q46

取得時期	取得したタイミングのうち、もっとも遅いタイミング	合計	病院への付き添いや面会	日々の家事	末子の世話	上の子の世話	育児セミナーへの参加など育児に関する勉強	資格の勉強など職場復帰の準備	その他	わからない・覚えていない
全体		791 100.0	657 83.1	381 48.2	282 35.7	240 30.3	29 3.7	7 0.9	14 1.8	34 4.3
末子出生後8週間以内の取得	妻が里帰りするとき	6 100.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	妻が産院にいる間	65 100.0	56 86.2	23 35.4	15 23.1	6 9.2	2 3.1	1 1.5	1 1.5	3 4.6
	妻が退院するとき	237 100.0	216 91.1	103 43.5	63 26.6	73 30.8	5 2.1	1 0.4	6 2.5	8 3.4
	妻の退院後、数日間	206 100.0	183 88.8	117 56.8	82 39.8	85 41.3	9 4.4	1 0.5	4 1.9	8 3.9
	妻が妻の実家にいる間	43 100.0	40 93.0	21 48.8	13 30.2	7 16.3	1 2.3	0 0.0	2 4.7	2 4.7
	妻が里帰りから戻るとき	88 100.0	78 88.6	31 35.2	27 30.7	26 29.5	4 4.5	0 0.0	0 0.0	3 3.4
末子出生後8週間～1年2ヶ月以内の取得	妻の育児休業期間中	62 100.0	38 61.3	35 56.5	33 53.2	18 29.0	4 6.5	1 1.6	1 1.6	5 8.1
妻が復職するとき		84 100.0	41 48.8	51 60.7	48 57.1	25 29.8	4 4.8	3 3.6	0 0.0	4 4.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

2. 男性の育児を目的とした休暇・休業取得の要因

(1) 回答者本人の属性や仕事、考え方の別にみた、休暇・休業の取得

- 末子を含めた子どもの人数別に、休暇・休業の取得状況をみると、子どもの人数による差異はみられなかった。
- 末子妊娠判明前の育児の役割分担の考え方別に、休暇・休業の取得状況をみると、「自分がすべて担うべき」「自分が主で、配偶者が一部担うべき」という層において「育児休業を取得」の割合が高くなっている
- 本人の年収別に、休暇・休業の取得状況をみると、「1000万円以上」の層において、「育児休業を取得」の割合が20.3%と、他と比べて高くなっている。また、「300万円未満」の層において、「いずれの休暇・休業も非取得」の割合が40.0%となっており、他と比べて高くなっている。
- 本人の業種別に、休暇・休業の取得状況をみると、「育児休業を取得」「育児休業以外のいずれかの制度を取得」を合わせた割合が「情報通信業」において87.6%ともっとも高くなっている。「いずれの休暇・休業も非取得」の割合は、「宿泊業、飲食サービス業」においてもっとも高く、48.8%となっている。
- 末子妊娠判明時の本人の週あたり労働時間別に、休暇・休業の取得状況をみると、育児休業の取得有無は、労働時間による大きな差異がみられない。「いずれの休暇・休業も非取得」の割合は「週60時間以上」において高い傾向がみられる。

① 末子を含めた子どもの人数別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-10 末子を含めた子どもの人数別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q3×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	いずれの休暇・休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q3. 子どもの人数	1人	934 100.0	67 7.2	658 70.4	209 22.4
	2人	1047 100.0	98 9.4	688 65.7	261 24.9
	3人以上	314 100.0	26 8.3	214 68.2	74 23.6

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書42ページを参照のこと。

② 育児分担の考え方にみた、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-11 育児分担の考え方にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q58_2_1×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を 取得	育児休業以 外のいずれ かの休暇・休 業を取得	いずれの休 暇・休業も非 取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q58_2_1. 役割分担の 考え方_育児(末子の 妊娠が分かる前)	自分がすべて担うべき	54 100.0	12 22.2	24 44.4	18 33.3
	自分が主で、配偶者が一部 担うべき	114 100.0	17 14.9	67 58.8	30 26.3
	自分と配偶者が同程度担う べき	1119 100.0	86 7.7	778 69.5	255 22.8
	配偶者が主で、自分が一部 担うべき	684 100.0	48 7.0	478 69.9	158 23.1
	配偶者がすべて担うべき	64 100.0	4 6.3	37 57.8	23 35.9

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

③ 年収別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-12 年収別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q12_1×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外の いずれかの休 暇・休業を取得	いずれの休暇・休 業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q12_1. 年 収(本人)	300万円未満	125 100.0	10 8.0	65 52.0	50 40.0
	300万円以上 500万円未満	812 100.0	45 5.5	538 66.3	229 28.2
	500万円以上 700万円未満	629 100.0	53 8.4	465 73.9	111 17.6
	700万円以上 1000万円未満	305 100.0	36 11.8	224 73.4	45 14.8
	1000万円以上	74 100.0	15 20.3	41 55.4	18 24.3
	わからない	90 100.0	8 8.9	51 56.7	31 34.4

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

④ 勤務先の業種別にみた、休暇・休業の取得状況

図表IV-13 勤務先の業種別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q7_1×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外の いずれかの休 暇・休業を取得	いずれの休暇・ 休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q7_1. 業種(本人)	鉱業、採石業、砂利採取業	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0
	建設業	170 100.0	13 7.6	103 60.6	54 31.8
	製造業	595 100.0	51 8.6	436 73.3	108 18.2
	電気・ガス・熱供給・水道業	32 100.0	4 12.5	21 65.6	7 21.9
	情報通信業	153 100.0	14 9.2	120 78.4	19 12.4
	運輸業、郵便業	153 100.0	8 5.2	102 66.7	43 28.1
	小売業、卸売業	199 100.0	12 6.0	129 64.8	58 29.1
	金融業、保険業	90 100.0	13 14.4	59 65.6	18 20.0
	不動産業、物品賃貸業	43 100.0	2 4.7	32 74.4	9 20.9
	宿泊業、飲食サービス業	41 100.0	3 7.3	18 43.9	20 48.8
	教育、学習支援業	47 100.0	1 2.1	29 61.7	17 36.2
	医療、福祉	192 100.0	20 10.4	121 63.0	51 26.6
	その他サービス業	281 100.0	23 8.2	181 64.4	77 27.4
	その他	34 100.0	2 5.9	29 85.3	3 8.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「鉱業、採石業、砂利採取業」はサンプル数が少ないため参考値

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

⑤ 末子妊娠判明時の週あたり労働時間別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-14 末子妊娠判明時の週あたり労働時間別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q30_1
× Q33・Q44

		合計	Q33. 休暇・休業取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外の いずれかの休 暇・休業を取得	いずれの休暇・ 休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q30_1. 末子の 妊娠判明時の 1週間あたり の実労働時間 (本人)	週 20 時間未満	144 100.0	15 10.4	89 61.8	40 27.8
	週 20 時間以上～週 30 時間未満	85 100.0	9 10.6	54 63.5	22 25.9
	週 30 時間以上～週 40 時間未満	158 100.0	15 9.5	111 70.3	32 20.3
	週 40 時間以上～週 50 時間未満	846 100.0	72 8.5	612 72.3	162 19.1
	週 50 時間以上～週 60 時間未満	417 100.0	34 8.2	297 71.2	86 20.6
	週 60 時間以上	314 100.0	21 6.7	182 58.0	111 35.4
	わからない	71 100.0	1 1.4	39 54.9	31 43.7

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

(2) 配偶者との関係でみた、男性の休暇・休業の取得状況

- 配偶者の年収別に、男性回答者の休暇・休業の取得状況をみると、配偶者の年収が「500万円以上」の層において「育児休業を取得」の割合が18.8%と、他と比べて高くなっている。
- 配偶者の就労継続状況別に、男性回答者の休暇・休業の取得状況をみると、配偶者が「同じ会社で就労を継続した」層において、「育児休業を取得」の割合が13.4%と、他と比べて高くなっている。
- 配偶者の就業形態別に、男性回答者の休暇・休業の取得状況をみると、配偶者が「正社員・職員」の層において、「育児休業を取得」の割合が12.0%ともっとも高くなっているが、配偶者が「パート・アルバイト、有期契約社員・職員」の層と比べるとあまり大きな差異はみられない。
- 長子が生まれる前の配偶者との話し合いの程度別に、男性回答者の休暇・休業の取得状況をみると、「妻のキャリア」について「よく話し合った」「まあ話し合った」を合わせた層では、「育児休業を取得」の割合が11.6%となっており、「あまり話し合っていない」「ほとんど話し合っていない」を合わせた層と比べると6ポイントほど高くなっている。「育児分担」についての話し合いでも同様の傾向がみられる。

① 配偶者の年収別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-15 配偶者の年収別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q12_2×Q33・Q44

		合計	Q33. 休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	いずれの休暇・休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q12_2. 年収（配偶者）	収入なし	972 100.0	58 6.0	686 70.6	228 23.5
	100万円未満	287 100.0	18 6.3	191 66.6	78 27.2
	100万円以上 150万円未満	139 100.0	14 10.1	86 61.9	39 28.1
	150万円以上 300万円未満	201 100.0	19 9.5	139 69.2	43 21.4
	300万円以上 500万円未満	248 100.0	35 14.1	168 67.7	45 18.1
	500万円以上	64 100.0	12 18.8	38 59.4	14 21.9
	わからない	101 100.0	9 8.9	65 64.4	27 26.7

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書42ページを参照のこと。

② 末子妊娠判明時から現在までの配偶者の就労継続状況別に見た、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-16 末子妊娠判明時から現在までの配偶者の就労継続状況別に見た、休暇・休業の取得状況（男性）：Q27_2×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	いずれの休暇・休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q27_2. 末子の妊娠判明時から現在までの就業状況（配偶者）	同じ会社で就労を継続した	655 100.0	88 13.4	432 66.0	135 20.6
	転職したり、自営等に働き方を変えたりした	222 100.0	15 6.8	151 68.0	56 25.2
	末子の妊娠・出産を機に退職して以来、現在まで専業主婦・主夫である	316 100.0	17 5.4	224 70.9	75 23.7
	末子の妊娠が判明する以前から働いていない	709 100.0	43 6.1	513 72.4	153 21.6
	その他	22 100.0	1 4.5	15 68.2	6 27.3
	わからない・覚えていない	86 100.0	3 3.5	36 41.9	47 54.7

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

③ 末子妊娠判明時の配偶者の就業形態別に見た、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-17 末子妊娠判明時の配偶者の就業形態別に見た、休暇・休業の取得状況（男性）：Q28_2×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	いずれの休暇・休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q28_2. 末子の妊娠判明時の就業形態（配偶者）	正社員・職員	599 100.0	72 12.0	401 66.9	126 21.0
	無期契約社員・職員	52 100.0	5 9.6	39 75.0	8 15.4
	パート・アルバイト、有期契約社員・職員	415 100.0	39 9.4	280 67.5	96 23.1
	派遣社員・職員	37 100.0	0 0.0	32 86.5	5 13.5
	自営業主・家族従業員・フリーランスなど	53 100.0	3 5.7	27 50.9	23 43.4
	その他	37 100.0	1 2.7	28 75.7	8 21.6

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

④ 長子が生まれる前の配偶者との話し合いの程度別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-18 長子が生まれる前の妻のキャリアについての話し合いの程度別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q69_1×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	いずれの休暇・休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q69_1. 配偶者との話し合い（妻のキャリアについて）	よく話し合った+まあ話し合った	969 100.0	112 11.6	666 68.7	191 19.7
	あまり話し合っていない+ほとんど話し合っていない	1043 100.0	53 5.1	707 67.8	283 27.1

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

図表IV-19 長子が生まれる前の育児分担について話し合いの程度別にみた、休暇・休業の取得状況（男性）：Q69_5×Q33・Q44

		合計	休暇・休業の取得状況		
			育児休業を取得	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	いずれの休暇・休業も非取得
全体		2035 100.0	167 8.2	1384 68.0	484 23.8
Q69_5. 配偶者との話し合い（育児分担について）	よく話し合った+まあ話し合った	993 100.0	109 11.0	679 68.4	205 20.6
	あまり話し合っていない+ほとんど話し合っていない	1019 100.0	56 5.5	694 68.1	269 26.4

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

(3) 職場の要因

- 休暇・休業取得のきっかけ（末子出生後8週間以内の取得）をみると、「育児休業を取得」した層では、「以前より、休暇・休業の取得を希望していた」が70.5%でもっとも高く、次いで「配偶者と話し合いをして決めた」が51.4%となっている。一方、職場に起因するきっかけは、4「育児休業を取得」した層では、「職場の同僚や上司などから取得を勧められた」が22.9%、「会社から取得を勧められた」が17.1%となっている。
- 職場で行われていた、育児を目的とした休暇・休業取得を促す取組をみると、「育児休業を取得」した層では、「休暇・休業中の所得の保障」が45.5%、「人事からの育児休業に関する周知」が35.9%、「上司や管理職による休業取得の呼びかけ」が25.7%となっている。
- 所属部署の出産・育児のための休暇・休業の取得状況をみると、「育児休業を取得した」層では、「男性の同僚に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた」が52.7%、「男性の上司や管理職に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた」が25.7%となっている。
- 育児休業を取得しなかった理由をみると、休暇・休業取得状況別にみると、「育児休業以外のいずれの休暇・休業を取得」した層では、「業務が繁忙で職場の人手が不足していた」が28.4%でもっとも高く、次いで「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」が25.8%、「会社で育児休業制度が整備されていなかった」が24.2%となっている。「いずれの休暇・休業も非取得」では、「会社で育児休業制度が整備されていなかった」の割合がもっとも高く、38.3%となっている。
- 育児休業を取得しなかった理由を、取得希望別にみると、「制度があり、利用しなかったが利用したかった」層では、「業務が繁忙で職場の人手が不足していた」が38.5%でもっとも高く、次いで、「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」が33.7%となっている。「制度がなく、取得したかった」層では、「会社で育児休業制度が整備されていなかった」が55.0%、「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」が34.2%となっている。

① 休暇・休業の取得状況別にみた、休暇・休業の取得のきっかけ（男性；末子出生後8週間以内の取得）

図表IV-20 休暇・休業の取得状況別にみた、休暇・休業の取得のきっかけ（男性；末子出生後8週間以内の取得）：Q33・Q44×Q47_1

		合計	Q47_1. 取得のきっかけ_8週間以内						
			たの取得を希望している	以前より、休暇・休業を希望している	配偶者と話し合いをして決めた	職場の同僚や上司などから取得を勧められた	職場の同僚や上司などから取得を勧められた	会社から取得を勧められた	配偶者や子どもの状況など、取得せざるを得ない理由があった
全体		952	561	455	95	48	151	3	82
		100.0	58.9	47.8	10.0	5.0	15.9	0.3	8.6
休暇・休業の取得状況	育児休業を取得	105	74	54	24	18	14	1	5
		100.0	70.5	51.4	22.9	17.1	13.3	1.0	4.8
休暇・休業の取得状況	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	916	539	441	87	44	150	3	78
		100.0	58.8	48.1	9.5	4.8	16.4	0.3	8.5

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書42ページを参照のこと。

② 休暇・休業の取得状況別にみた、育児のための休暇・休業取得促進のために職場で行われていた取り組み（男性）

図表IV-21 休暇・休業の取得状況別にみた、育児のための休暇・休業取得促進のために職場で行われていた取り組み（男性）：Q33・Q44×Q48

		合計	Q48. 職場の取り組み										
			休暇・休業中の所得の保障	育児に関する休暇・休業に関するハンドブックの提供	その他								
全体		2035	459	338	155	184	207	71	52	50	142	2	1206
		100.0	22.6	16.6	7.6	9.0	10.2	3.5	2.6	2.5	7.0	0.1	59.3
得状況 休暇・休業の取	育児休業を取得	167	76	60	38	35	46	17	12	15	23	0	43
		100.0	45.5	35.9	22.8	21.0	27.5	10.2	7.2	9.0	13.8	0.0	25.7
	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	1384	320	241	93	125	136	43	30	26	97	2	796
		100.0	23.1	17.4	6.7	9.0	9.8	3.1	2.2	1.9	7.0	0.1	57.5
得状況 休暇・休業の取	いずれの休暇・休業も非取得	484	63	37	24	24	25	11	10	9	22	0	367
		100.0	13.0	7.6	5.0	5.0	5.2	2.3	2.1	1.9	4.5	0.0	75.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書42ページを参照のこと。

③ 休暇・休業の取得状況別にみた、職場の同僚や上司の育児のための休暇・休業の取得状況（男性）

図表IV-22 男性の休暇・休業の取得状況別にみた、職場の同僚や上司の育児のための休暇・休業の取得状況：Q33・Q44×Q31

		合計	Q31. 所属部署の出産・育児のための休暇・休業の取得状況				
			男性の同僚に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた	男性の上司や管理職に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた	女性の同僚に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた	女性の上司や管理職に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた	いずれも該当しない
全体		2035 100.0	438 21.5	174 8.6	639 31.4	202 9.9	1052 51.7
休暇・休業の取得状況	育児休業を取得	167 100.0	88 52.7	43 25.7	79 47.3	46 27.5	34 20.4
	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	1384 100.0	316 22.8	121 8.7	471 34.0	130 9.4	663 47.9
	いずれの休暇・休業も非取得	484 100.0	34 7.0	10 2.1	89 18.4	26 5.4	355 73.3

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

④ 休暇・休業の取得状況別にみた、育児休業を取得しなかった理由（男性）

図表IV-23 休暇・休業の取得状況別にみた、育児休業を取得しなかった理由（男性）：Q33・Q44×Q50

		合計	Q50. 育児休業を取得しなかった理由													
			会社で育児休業制度が整備されていない	職場の制度や手続きについて理解していなかった	職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった	業務が繁忙で職場の人手が不足している	育児休業を取得しなくても育児参加しやすい環境だった	自分の仕事があつた	悪影響がありそうだと思った	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に後押しがなかった、反対された	配偶者や家族から、育児休業の取得に反対された	配偶者や祖父母等、自分以外に育児を担う人がいた	保育所等に預けることができた	収入を減らしたくなかった	育児休業は男性ではなく女性が取得するものだと思っていた	その他
全体		1648 100.0	454 27.5	129 7.8	418 25.4	458 27.8	138 8.4	321 19.5	150 9.1	42 2.5	169 10.3	62 3.8	255 15.5	81 4.9	30 1.8	281 17.1
休暇・休業の取得状況	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	1259 100.0	305 24.2	99 7.9	325 25.8	358 28.4	116 9.2	255 20.3	118 9.4	33 2.6	142 11.3	55 4.4	202 16.0	58 4.6	22 1.7	201 16.0
	いずれの休暇・休業も非取得	389 100.0	149 38.3	30 7.7	93 23.9	100 25.7	22 5.7	66 17.0	32 8.2	9 2.3	27 6.9	7 1.8	53 13.6	23 5.9	8 2.1	80 20.6

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況」のカテゴリの作成については、本報告書 42 ページを参照のこと。

⑤ 休暇・休業の取得希望別にみた、育児休業を取得しなかった理由（男性）

図表IV-24 休暇・休業の取得希望別にみた、育児休業を取得しなかった理由（男性）：Q33×Q50

		合計	Q50. 育児休業を取得しなかった理由															
			会社で育児休業制度が整備されていなかった	職場の制度や手続きについて理解していなかった	職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった	業務が繁忙で職場の人手が不足していた	育児休業を取得しなくても育児参加しやすい環境だった	育児休業を取得しなくても育児参加しやすい環境だった	自分にはできない仕事や担当している仕事があった	響がありそうだと思った	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に悪影響がありそうだと思った	後押しがなかった、反対された	配偶者や家族から、育児休業の取得に対して	がいた	配偶者や祖父母等、自分以外に育児を担う人がいた	保育所等に預けることができた	収入を減らしたくなかった	育児休業は男性ではなく女性が取得するものだと思っていた
全体		1648 100.0	454 27.5	129 7.8	418 25.4	458 27.8	138 8.4	321 19.5	150 9.1	42 2.5	169 10.3	62 3.8	255 15.5	81 4.9	30 1.8	281 17.1		
Q33 育児休業の取得希望	制度があった	利用しなかったが、利用したかった	312 100.0	47 15.1	32 10.3	105 33.7	120 38.5	27 8.7	69 22.1	47 15.1	13 4.2	25 8.0	10 3.2	50 16.0	10 3.2	9 2.9	39 12.5	
		利用をしておらず、利用したいと思わなかった	544 100.0	54 9.9	40 7.4	113 20.8	152 27.9	59 10.8	121 22.2	54 9.9	17 3.1	76 14.0	30 5.5	111 20.4	32 5.9	13 2.4	92 16.9	
	制度がなかった	制度を利用したかった	407 100.0	224 55.0	36 8.8	139 34.2	110 27.0	18 4.4	71 17.4	27 6.6	6 1.5	26 6.4	12 2.9	51 12.5	15 3.7	2 0.5	57 14.0	
		制度を利用したいと思わなかった	385 100.0	129 33.5	21 5.5	61 15.8	76 19.7	34 8.8	60 15.6	22 5.7	6 1.6	42 10.9	10 2.6	43 11.2	24 6.2	6 1.6	93 24.2	

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

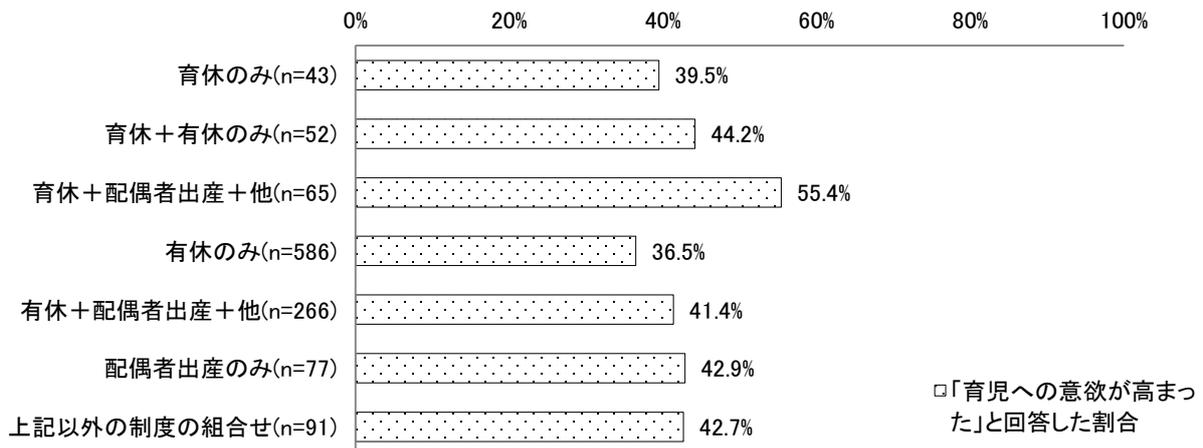
3. 男性の育児を目的とした休暇・休業取得の影響

(1) 男性の休暇・休業の取得後の育児参加への影響

- 取得パターン別に育児への意欲の高まりをみると、「育児休業制度+配偶者出産休暇制度+他」を取得している層で、育児への意欲が高まった割合がもっとも高くなっている（55.4%）。
- 取得したタイミングのうち、もっとも遅いタイミング別に、休暇・休業取得後に育児への意欲が高まったとする割合をみると、取得した最後のタイミングが「妻が産院にいる間」の場合、育児への意欲が高まったという割合は27.1%ともっとも低く、取得した最後のタイミングが「妻が復職するとき」の場合、育児への意欲が高まったという割合は51.4%ともっとも高くなっている。里帰り出産に関連した取得を除くと、取得したタイミングが遅いほど、育児への意欲が高まったとする割合が高くなる傾向がみられる。
- 取得した休暇・休業期間別にみると、休暇・休業期間が長いほど育児への意欲が高まったとする割合が高くなる傾向がみられる。
- 取得した休暇・休業期間別に、現在の育児への関わりをみると、休暇・休業期間が長いほど、「育児に十分関わっている」について「そう思う」「まあそう思う」とする割合が高くなる傾向がみられる。

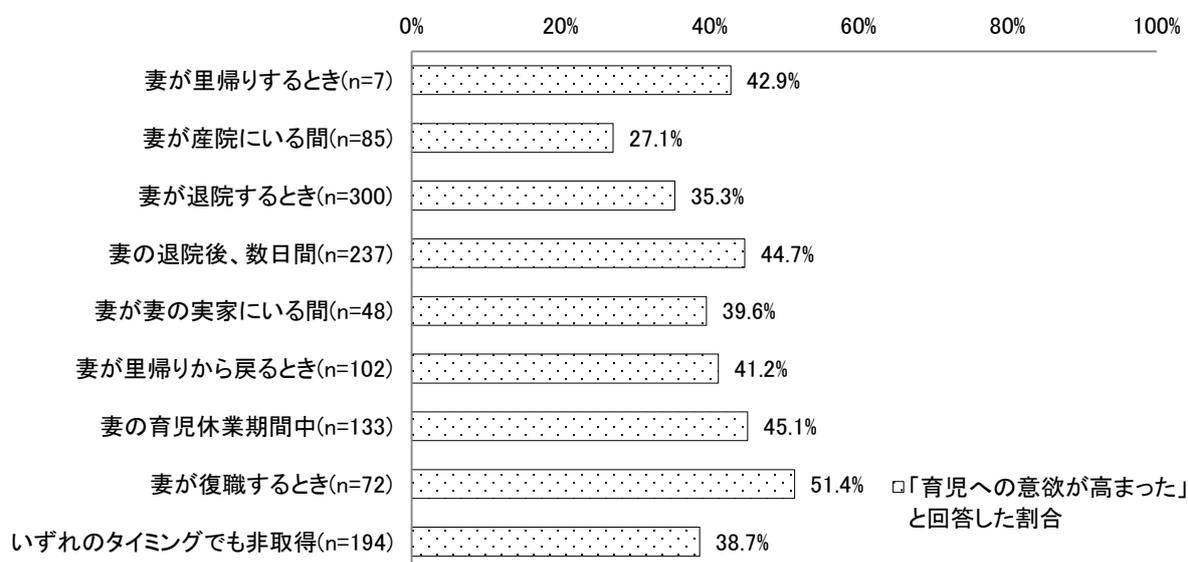
① 取得パターン別にみた、育児への意欲の高まり（男性）

図表IV-25 取得パターン別にみた、育児への意欲の高まり（男性）：Q33×Q49



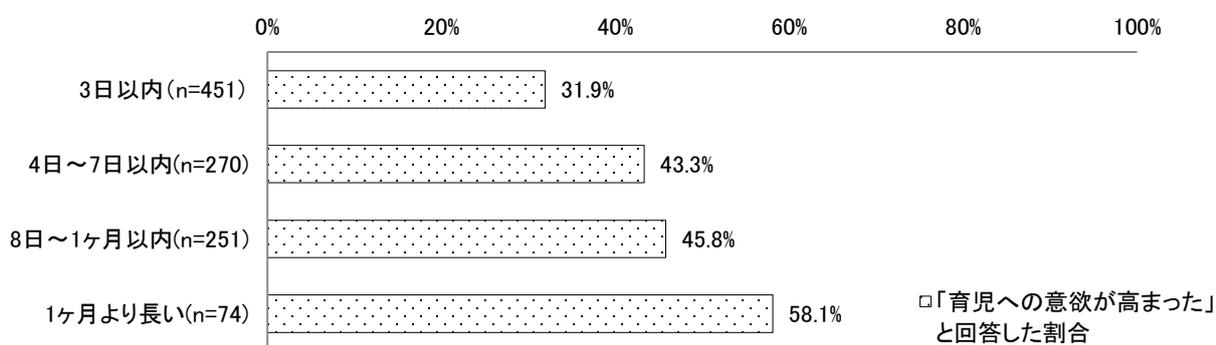
② タイミング別にみた、育児への意欲の高まり（男性）

図表IV-26 取得したタイミングのうち、もっとも遅いタイミング別にみた、育児への意欲の高まり（男性）：Q35×Q49



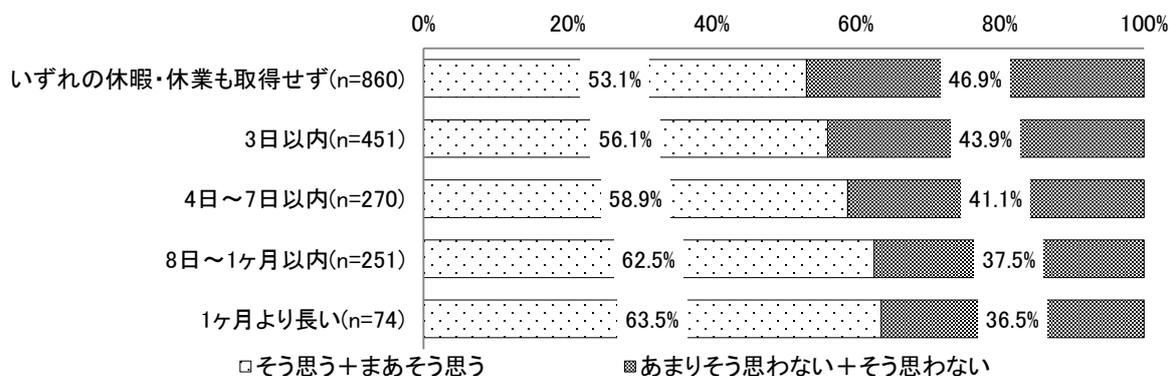
③ 取得した休暇・休業期間別にみた、育児への意欲の高まり（男性）

図表IV-27 取得した休暇・休業期間別にみた、育児への意欲の高まり（男性）：Q36×Q49



④ 取得した休暇・休業期間別にみた、育児への関わりの度合い（男性）

図表IV-28 取得した休暇・休業期間別にみた、育児への関わりの度合い（男性）：Q36×Q66_9



注) 図表内数値は、「育児に十分関わっているかどうか」について「そう思う」～「そう思わない」と回答した割合である。

(2) 男性の休暇・休業取得後の仕事への影響

○取得パターン別に、休暇・休業取得後の仕事への影響をみると、育児休業制度と他の休暇制度を組み合わせた「育児休業制度＋年次有給休暇のみ」「育児休業制度＋配偶者出産休暇制度＋他」において、「より多くの休暇を取得するようになった」「仕事の効率化を考えるようになった」「会社への帰属意識が高まった」「会社に仕事で応えたいと思うようになった」の割合が高くなっている。

○取得期間別に、休暇・休業取得後の仕事についての変化をみると、休暇・休業期間が長いほど、「より多くの休暇を取得するようになった」「会社への帰属意識が高まった」「会社に仕事で応えたいと思うようになった」とする割合が高くなる傾向にある。

○取得のタイミング別に、休暇・休業取得後の仕事についての変化をみると、「妻の育児休業期間中」に取得した層で、「仕事の効率化を考えるようになった」「会社に仕事で応えたいと思うようになった」の割合が他と比べて高くなっている。「妻が復職するとき」に取得した層で「より多くの休暇を取得するようになった」「価値観が広がった」「育児の経験・スキルが仕事に役立った」の割合が他と比べて高くなっている。

① 取得パターン別にみた、休暇・休業後の男性自身の変化（仕事について）

図表Ⅳ-29 取得パターン別にみた、休暇・休業後の男性自身の変化（仕事について）：Q36×Q49

		合計	Q49. 休暇・休業取得による夫自身の変化						
			早く家に帰ることを意識するようになった	より多くの休暇を取得するようになった	仕事の効率化を考えるようになった	会社への帰属意識が高まった	会社に仕事で応えたいと思うようになった	価値観が広がった	育児の経験・スキルが仕事に役立った
全体		1178 100.0	406 34.5	210 17.8	224 19.0	56 4.8	80 6.8	105 8.9	84 7.1
取得パターン	育休のみ	43 100	11 25.6	7 16.3	6 14	3 7	5 11.6	5 11.6	2 4.7
	育休＋有休のみ	52 100	16 30.8	13 25	14 26.9	8 15.4	7 13.5	9 17.3	8 15.4
	育休＋配偶者出産＋他	65 100	27 41.5	24 36.9	22 33.8	12 18.5	13 20	9 13.8	10 15.4
	有休のみ	586 100	213 36.3	91 15.5	106 18.1	20 3.4	31 5.3	57 9.7	40 6.8
	有休＋配偶者出産＋他	266 100	95 35.7	50 18.8	52 19.5	7 2.6	14 5.3	17 6.4	15 5.6
	配偶者出産のみ	77 100	16 20.8	8 10.4	9 11.7	4 5.2	4 5.2	2 2.6	4 5.2
	上記以外の制度の組合せ	89 100	28 31.5	17 19.1	15 16.9	2 2.2	6 6.7	6 6.7	5 5.6

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

② 取得した休暇・休業期間別にみた、休暇・休業後の男性自身の変化（仕事について）

図表IV-30 取得した休暇・休業期間別にみた、休暇・休業後の男性自身の変化（仕事について）：

Q36×Q49

		合計	Q49. 休暇・休業取得による夫自身の変化						
			早く家に帰ることを意識するようになった	より多くの休暇を取得するようになった	仕事の効率化を考えるようになった	会社への帰属意識が高まった	会社に仕事で応えたいと思うようになった	価値観が広がった	育児の経験・スキルが仕事に役立った
全体		1178 100.0	406 34.5	210 17.8	224 19.0	56 4.8	80 6.8	105 8.9	84 7.1
全 休 暇 ・ 休 業 期 間 の 取 得 期 間	3日以内	451 100.0	130 28.8	57 12.6	59 13.1	8 1.8	18 4.0	27 6.0	16 3.5
	4日～7日以内	270 100.0	103 38.1	48 17.8	51 18.9	6 2.2	15 5.6	19 7.0	24 8.9
	8日～1ヶ月以内	251 100.0	105 41.8	63 25.1	71 28.3	11 4.4	22 8.8	30 12.0	22 8.8
	1ヶ月より長い	74 100.0	27 36.5	19 25.7	19 25.7	9 12.2	9 12.2	11 14.9	9 12.2

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

③ 取得のタイミング別にみた、休暇・休業後の男性自身の変化（仕事について）

図表Ⅳ-31 取得のタイミング別にみた、休暇・休業後の男性自身の変化（仕事について）：Q35
× Q49

		合計	Q49. 休暇・休業取得による夫自身の変化						
			早く家に帰ることを意識するようになった	より多くの休暇を取得するようになった	仕事の効率化を考えるようになった	会社への帰属意識が高まった	会社に仕事で応えたいと思うようになった	価値観が広がった	育児の経験・スキルが仕事に役立った
全体		1178 100.0	406 34.5	210 17.8	224 19.0	56 4.8	80 6.8	105 8.9	84 7.1
取得したタイミングのうち、もつとも遅いタイミング	妻が里帰りするとき	7 100.0	2 28.6	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3
	妻が産院にいる間	85 100.0	25 29.4	11 12.9	5 5.9	1 1.2	1 1.2	2 2.4	3 3.5
	妻が退院するとき	300 100.0	102 34.0	49 16.3	50 16.7	13 4.3	16 5.3	24 8.0	17 5.7
	妻の退院後、数日間	237 100.0	82 34.6	46 19.4	45 19.0	11 4.6	15 6.3	15 6.3	15 6.3
	妻が妻の実家にいる間	48 100.0	14 29.2	9 18.8	11 22.9	4 8.3	3 6.3	4 8.3	2 4.2
	妻が里帰りから戻るとき	102 100.0	40 39.2	26 25.5	27 26.5	2 2.0	7 6.9	7 6.9	12 11.8
	妻の育児休業期間中	133 100.0	56 42.1	26 19.5	46 34.6	11 8.3	20 15.0	23 17.3	14 10.5
	妻が復職するとき	72 100.0	31 43.1	22 30.6	20 27.8	6 8.3	7 9.7	13 18.1	12 16.7
	上記のいずれのタイミングでも非取得*	194 100.0	54 27.8	21 10.8	18 9.3	8 4.1	11 5.7	16 8.2	8 4.1

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

(3) 男性の休暇・休業取得の配偶者（女性）への影響

○配偶者の休暇・休業取得状況別に、女性回答者の復職時期をみると、配偶者が「育児休業を取得」した層で、「末子出生後3ヶ月以降、6ヶ月以内」に復職した割合が高くなっているが、全体的な復職時期の傾向に大きな差異はみられない。

○配偶者の休暇・休業取得状況別に、女性回答者が計画通りに復職できたかどうかをみると、「復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした」の割合が、配偶者が「育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得」した層においても高くなっている。

○配偶者の休暇・休業期間別に、女性回答者が計画通りに復職できたかどうかをみると、配偶者の取得期間が「3日以内」の層において、「復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした」の割合が高くなっている。配偶者の取得期間が長いほど、「復帰の時期を計画したが、計画どおりに復帰できなかった」の割合が高くなる傾向がみられるが、これは男性がより長い休暇・休業期間を必要とする何かしらの理由（保育所に入所できないなど）があるために、女性も計画的な復帰ができないものだと考えられる。

① 配偶者の休暇・休業取得状況別にみた、女性の復職時期（女性）

図表IV-32 配偶者の休暇・休業取得状況別にみた、女性の復職時期（女性）：Q34・Q44×Q43

		合計	Q43. 末子出生後、妻の職場復帰時期										
			末子出生後6週間以降、8週間以内	末子出生後8週間以降、3ヶ月以内	末子出生後3ヶ月以降、6ヶ月以内	末子出生後6ヶ月以降、9ヶ月以内	末子出生後9ヶ月以降、1年以内	末子出生後1年以降、1年3ヶ月以内	末子出生後1年3ヶ月以降、1年6ヶ月以内	末子出生後1年6ヶ月以降、1年9ヶ月以内	末子出生後1年9ヶ月以降、2年以内	末子出生後2年以降	わからない、左記にあてはまるものはない
全体		943 100.0	25 2.7	34 3.6	59 6.3	117 12.4	205 21.7	288 30.5	97 10.3	50 5.3	11 1.2	17 1.8	40 4.2
休暇・休業取得状況 (配偶者)	育児休業を取得	41 100.0	1 2.4	2 4.9	6 14.6	5 12.2	7 17.1	10 24.4	6 14.6	1 2.4	0 0.0	1 2.4	2 4.9
	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	558 100.0	10 1.8	17 3.0	29 5.2	67 12.0	123 22.0	188 33.7	65 11.6	34 6.1	8 1.4	10 1.8	7 1.3
	いずれの休暇・休業も非取得	292 100.0	12 4.1	10 3.4	19 6.5	37 12.7	65 22.3	84 28.8	24 8.2	12 4.1	3 1.0	5 1.7	21 7.2

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況(配偶者)」のカテゴリの作成については、本報告書46ページを参照のこと。

② 配偶者の休暇・休業取得状況別にみた、女性の復職の計画と実現可能性（女性）

図表IV-33 配偶者の休暇・休業取得状況別にみた、女性の復職の計画と実現可能性（女性）：Q34・Q44×Q70_1

		合計	Q70_1. 復職等の計画_産後の職場復帰の時期		
			復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした	復帰の時期を計画したが、計画どおりに復帰できなかった	復帰の時期について特に希望はなかった
全体		943 100.0	681 72.2	179 19.0	83 8.8
休暇・休業取得状況 (配偶者)	育児休業を取得	41 100.0	28 68.3	11 26.8	2 4.9
	育児休業以外のいずれかの休暇・休業を取得	558 100.0	434 77.8	94 16.8	30 5.4
	いずれの休暇・休業も非取得	292 100.0	196 67.1	61 20.9	35 12.0

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) 「休暇・休業の取得状況(配偶者)」のカテゴリの作成については、本報告書 46 ページを参照のこと。

③ 配偶者が取得した休暇・休業期間別にみた、女性の復職の計画と実現可能性（女性）

図表IV-34 配偶者が取得した休暇・休業期間別にみた、女性の復職の計画と実現可能性（女性）：Q36_2×Q70_1

		合計	Q70_1. 復職等の計画_産後の職場復帰の時期		
			復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした	復帰の時期を計画したが、計画どおりに復帰できなかった	復帰の時期について特に希望はなかった
全体		943 100.0	681 72.2	179 19.0	83 8.8
Q36_2. 全休暇・休業期間の合計(配偶者)	いずれの休暇・休業も非取得	531 100.0	377 71.0	104 19.6	50 9.4
	3日以内	137 100.0	111 81.0	23 16.8	3 2.2
	4日～7日以内	76 100.0	58 76.3	14 18.4	4 5.3
	8日～1ヶ月以内	70 100.0	54 77.1	14 20.0	2 2.9
	1ヶ月以上	19 100.0	15 78.9	4 21.1	0 0.0

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

4. 男性の育児参加の要因

(1) 仕事や職場にかかわる要因

- 仕事のやりがいと育児への関わりとの関係をみると、「仕事のやりがいを感じる」について「そう思う」とした層で、「育児に十分関わっている」についても「そう思う」とする割合が高い。一方、「仕事のやりがいを感じる」について「そう思わない」とした層では、「育児に十分関わっている」について「そう思わない」とする割合が高い。
- 週あたり労働時間別に、育児への関わりをみると、「週 20 時間未満」と「週 30 時間～週 40 時間未満」において、「育児に十分関わっている」について「そう思う」「まあそう思う」の割合が高くなっている。
- 19 時までに帰宅する頻度別に、育児への関わりをみると、「週に 5 日以上」の層において、「育児に十分関わっている」について「そう思う」とした割合が 15.8%ともっとも高くなっている。「ほとんど 19 時に帰宅していない」層では、「育児に十分関わっている」について「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が高くなっている。
- 深夜の時間帯の勤務の有無別に、育児への関わりをみると、「深夜の時間帯が所定の勤務時間である」層では、「育児に十分関わっている」について「そう思う」とした割合が 12.5%と高いのに対し、「残業のため、深夜勤務をすることがある」層では「育児に十分関わっている」について「そう思う」とした割合が 6.0%と低くなっている。
- 月あたりの休日日数別に、育児への関わりをみると、日数による大きな差異はみられない。
- 日曜日の勤務状況別に、育児への関わりをみると、「日曜日は所定の勤務日である」層において、「育児に十分関わっている」について「そう思う」とした割合が若干高いものの、傾向に大きな差異はみられない。
- 職場の同僚の残業の程度別に、育児への関わりをみると、職場で「ほとんどの人が残業がある」層において、「育児に十分関わっている」について「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が高くなっている。
- 育児への関わり別に、働き方の実際と希望をみると、働き方の希望については差が見られないが、働き方の実際では、「育児に十分関わっている」について「そう思う」「まあそう思う」層では、「フルタイムだが残業のない仕事」の割合が高くなっている。

① 仕事のやりがい別にみた、育児への関わり（男性）

図表IV-35 仕事のやりがい別にみた、育児への関わり（男性）：Q66_1×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q66_1. 仕事にやりがいを感じる	そう思う	406 100.0	92 22.7	187 46.1	101 24.9	26 6.4
	まあそう思う	961 100.0	53 5.5	517 53.8	355 36.9	36 3.7
	あまりそう思わない	525 100.0	20 3.8	229 43.6	256 48.8	20 3.8
	そう思わない	170 100.0	18 10.6	59 34.7	56 32.9	37 21.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

② 週あたり労働時間別にみた、育児への関わり（男性）

図表IV-36 週あたり労働時間別にみた、育児への関わり（男性）：Q16_1×Q66_9

		合計	Q66_9. WLB_育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q16_1.1 週間あたりの実労働時間（本人）	週 20 時間未満	154 100.0	15 9.7	90 58.4	46 29.9	3 1.9
	週 20 時間～週 30 時間未満	78 100.0	10 12.8	35 44.9	30 38.5	3 3.8
	週 30 時間～週 40 時間未満	160 100.0	20 12.5	85 53.1	52 32.5	3 1.9
	週 40 時間～週 50 時間未満	892 100.0	78 8.7	452 50.7	321 36.0	41 4.6
	週 50 時間～週 60 時間未満	447 100.0	36 8.1	208 46.5	181 40.5	22 4.9
	週 60 時間以上	273 100.0	21 7.7	97 35.5	114 41.8	41 15.0
	わからない	58 100.0	3 5.2	25 43.1	24 41.4	6 10.3

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

③ 19時までに帰宅する頻度別にみた、育児への関わり（男性）

図表IV-37 19時までに帰宅する頻度別にみた、育児への関わり（男性）：Q62_2×Q66_9

		合計	Q66_9. WLB_育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062	183	992	768	119
		100.0	8.9	48.1	37.2	5.8
Q62_2. 19時までに帰宅する頻度（現在）	ほとんど19時に帰宅していない	736	46	306	315	69
		100.0	6.3	41.6	42.8	9.4
	週に1日	255	20	118	103	14
		100.0	7.8	46.3	40.4	5.5
	週に2日	282	28	145	97	12
		100.0	9.9	51.4	34.4	4.3
	週に3日	237	16	128	88	5
	100.0	6.8	54.0	37.1	2.1	
週に4日	178	14	101	57	6	
	100.0	7.9	56.7	32.0	3.4	
週に5日以上	367	58	190	106	13	
	100.0	15.8	51.8	28.9	3.5	

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

④ 深夜の時間帯の勤務の有無別にみた、育児への関わり（男性）

図表IV-38 深夜の時間帯の勤務の有無別にみた、育児への関わり（男性）：Q18_1×Q66_9

		合計	Q66_9. WLB_育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062	183	992	768	119
		100.0	8.9	48.1	37.2	5.8
Q18_1. 深夜の時間帯の勤務状況（本人）	深夜勤務はない	1189	117	589	432	51
		100.0	9.8	49.5	36.3	4.3
	残業のため、深夜勤務をすることがある	588	35	272	231	50
		100.0	6.0	46.3	39.3	8.5
深夜の時間帯が所定の勤務時間である	232	29	109	80	14	
	100.0	12.5	47.0	34.5	6.0	
わからない	53	2	22	25	4	
	100.0	3.8	41.5	47.2	7.5	

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

⑤ 月あたりの休日日数別にみた、育児への関わり（男性）

図表IV-39 月あたりの休日日数別にみた、育児への関わり（男性）：Q20_1×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q20_1. 月あたり 休日日数（本人）	3日以下	151 100.0	7 4.6	78 51.7	50 33.1	16 10.6
	4日～7日	692 100.0	58 8.4	320 46.2	267 38.6	47 6.8
	8日以上	1184 100.0	115 9.7	578 48.8	438 37.0	53 4.5
	わからない	35 100.0	3 8.6	16 45.7	13 37.1	3 8.6

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

⑥ 日曜日の勤務状況別にみた、育児への関わり（男性）

図表IV-40 日曜日の勤務状況別にみた、育児への関わり（男性）：Q21_1×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q21_1. 日曜日の 勤務（本人）	日曜日は所定の休日である	1614 100.0	135 8.4	776 48.1	617 38.2	86 5.3
	日曜日は所定の勤務日である	362 100.0	42 11.6	170 47.0	121 33.4	29 8.0
	わからない	86 100.0	6 7.0	46 53.5	30 34.9	4 4.7

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

⑦ 同僚の残業の程度別にみた、育児への関わり（男性）

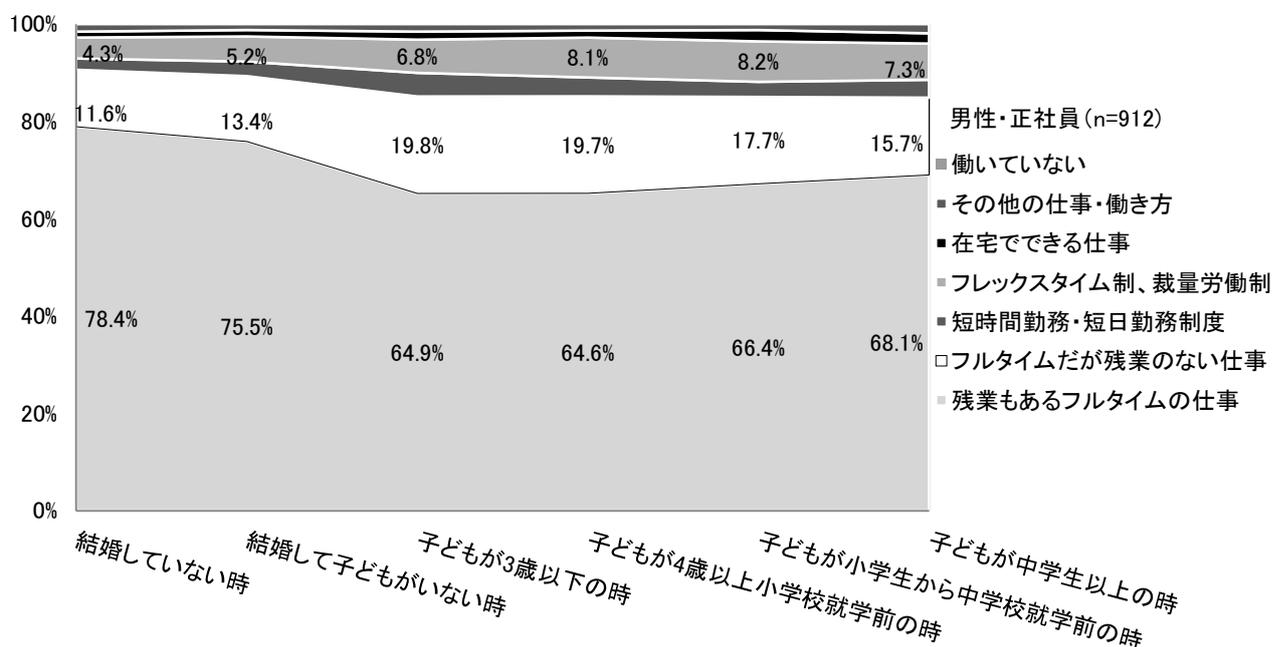
図表IV-41 同僚の残業の程度別にみた、育児への関わり（男性）：Q22×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q22. 同僚の残業 の程度	ほとんどの人が定時に 帰っている	384 100.0	53 13.8	187 48.7	123 32.0	21 5.5
	残業のある人より、定 時に帰る人の方が多い	552 100.0	49 8.9	286 51.8	199 36.1	18 3.3
	定時に帰る人もいる が、残業のある人の方 が多い	749 100.0	56 7.5	368 49.1	278 37.1	47 6.3
	ほとんどの人が残業が ある	377 100.0	25 6.6	151 40.1	168 44.6	33 8.8

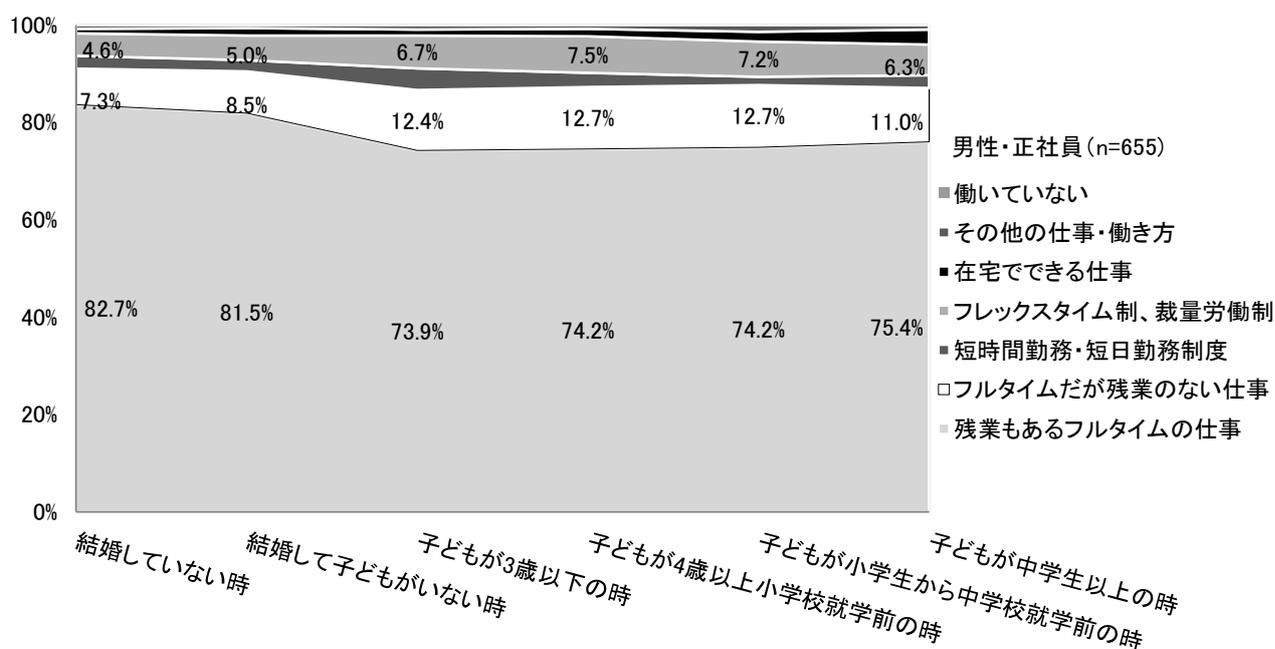
注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

⑧ 育児への関わり別にみた、働き方の希望と実際

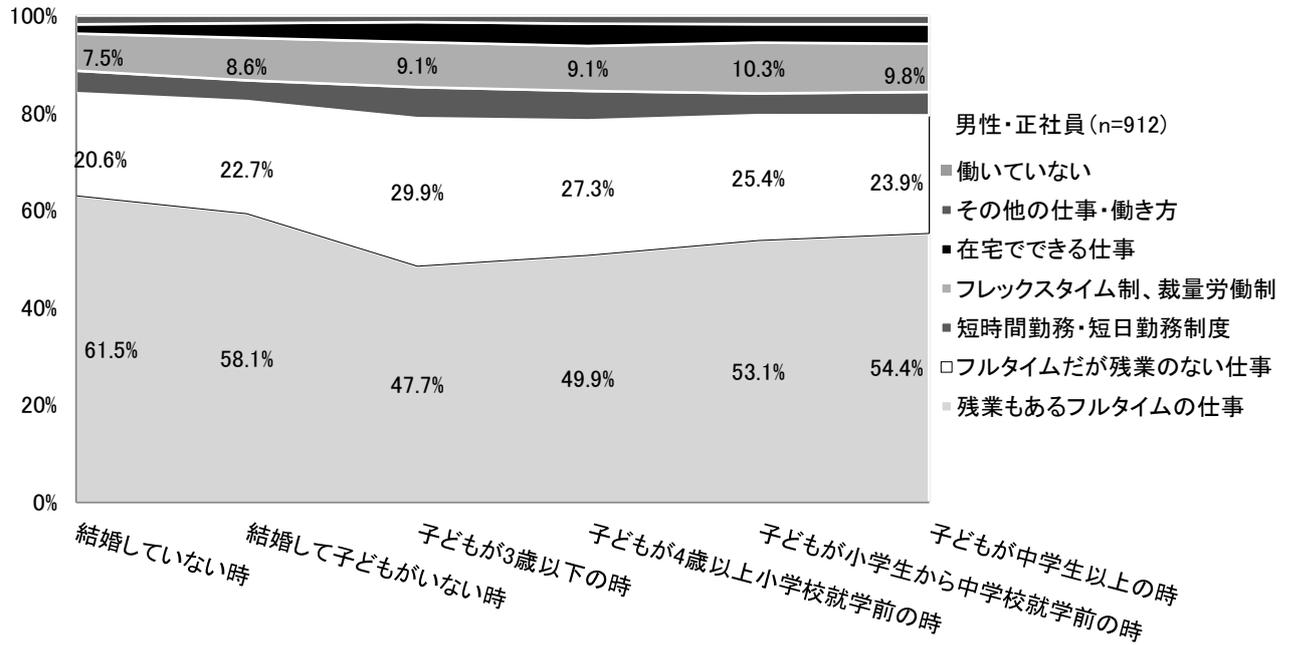
図表IV-42 働き方の実際（「育児に十分関わっている」について「そう思う」「まあそう思う」と回答した層）：Q66_9×Q74



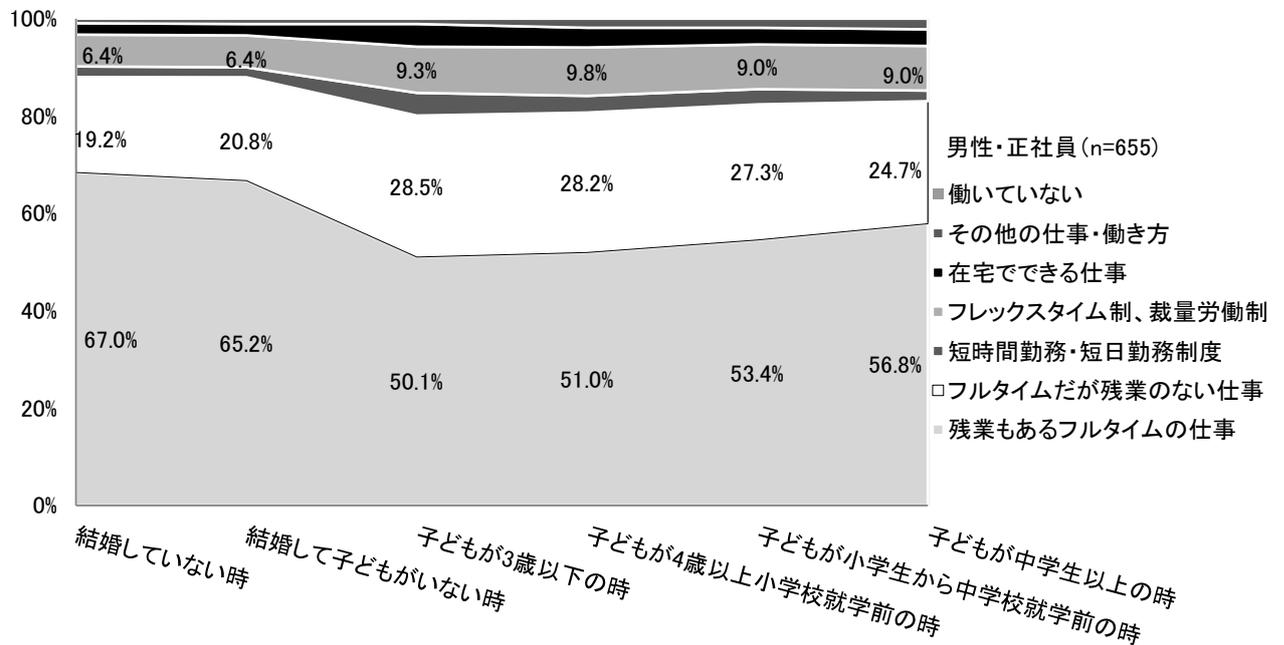
図表IV-43 働き方の実際（「育児に十分関わっている」について「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した層）：Q66_9×Q74



図表IV-44 働き方の希望（「育児に十分関わっている」について「そう思う」「まあそう思う」と回答した層）：Q66_9×Q74



図表IV-45 働き方の希望（「育児に十分関わっている」について「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した層）：Q66_9×Q74



(2) 配偶者・子ども・家族との関係でみた、男性の育児参加

- 配偶者の就業継続状況別に、男性の育児への関わりをみると、配偶者が「同じ会社で就労を継続した」層において、「育児に十分関わっている」について「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が高くなっている。
- 配偶者の就業継続状況別に、男性の平日の家事・育児時間をみると、配偶者が「同じ会社で就労を継続した」層において、「1時間以上」の割合が69.5%ともっとも高くなっている。
- 同居家族別に、男性の育児への関わりをみると、同居家族が「配偶者と子ども」の層と同居家族が「配偶者、子ども、本人または配偶者の親」の層とでは、大きな差異はみられない。
- 子どもの人数別に、男性の育児への関わりをみると、子どもが「4人以上」の層において「育児に十分関わっている」について「そう思う」という割合がやや高い一方、子どもが4人未満の場合、子どもの人数による男性の育児へ関わりの差異はあまりみられない。
- 末子の保育所等への入所状況別に、男性の育児への関わりをみると、保育所への入所有無による男性の育児への関わりの差異はあまりみられない。

① 配偶者の末子妊娠判明時から現在までの就業継続状況別にみた、育児の関わり（男性）

図表IV-46 配偶者の末子妊娠判明時から現在までの就業継続状況別にみた、育児の関わり（男性）：Q27_2×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q27_2. 末子の妊娠判明時から現在までの就業状況（配偶者）	同じ会社で就労を継続した	663 100.0	85 12.8	334 50.4	217 32.7	27 4.1
	転職したり、自営等に働き方を変えたりした	227 100.0	17 7.5	115 50.7	82 36.1	13 5.7
	末子の妊娠・出産を機に退職して以来、現在まで専業主婦である	322 100.0	19 5.9	153 47.5	137 42.5	13 4.0
	末子の妊娠が判明する以前から働いていない	713 100.0	57 8.0	321 45.0	287 40.3	48 6.7
	その他	24 100.0	1 4.2	13 54.2	8 33.3	2 8.3
	わからない・覚えていない	87 100.0	2 2.3	43 49.4	29 33.3	13 14.9

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

② 配偶者の末子妊娠判明時から現在までの就業継続状況別にみた、平日の家事育児時間（男性）

図表IV-47 ② 配偶者の末子妊娠判明時から現在までの就業継続状況別にみた、平日の家事育児時間（男性）：Q27_2×Q64_1_1

		合計	Q64_1_1. 家事育児時間（平日）	
			1時間未満	1時間以上
全体		2062 100.0	840 40.7	1222 59.3
Q27_2. 末子の妊娠判明時から現在までの就業状況（配偶者）	同じ会社で就労を継続した	663 100.0	202 30.5	461 69.5
	転職したり、自営等に働き方を変えたりした	227 100.0	95 41.9	132 58.1
	末子の妊娠・出産を機に退職して以来、現在まで専業主婦・主夫である	322 100.0	138 42.9	184 57.1
	末子の妊娠が判明する以前から働いていない	713 100.0	349 48.9	364 51.1
	その他	24 100.0	11 45.8	13 54.2
	わからない・覚えていない	87 100.0	34 39.1	53 60.9

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

③ 同居家族別にみた、育児の関わり（男性）

図表IV-48 同居家族別にみた、育児の関わり（男性）：Q9×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q 同居家族	子どものみ	7 100.0	0 0.0	3 42.9	2 28.6	2 28.6
	配偶者と子ども	1823 100.0	166 9.1	882 48.4	683 37.5	92 5.0
	配偶者、子ども、本人または配偶者の親	164 100.0	9 5.5	83 50.6	58 35.4	14 8.5
	上記以外	51 100.0	7 13.7	19 37.3	19 37.3	6 11.8
	同居者はいない	17 100.0	1 5.9	5 29.4	6 35.3	5 29.4

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

④ 子どもの人数別にみた、育児の関わり（男性）

図表IV-49 子どもの人数別にみた、育児の関わり（男性）：Q3×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
全体		2062	183	992	768	119
		100.0	8.9	48.1	37.2	5.8
Q3. 子どもの人数 (カテゴリ)	1人	946	79	474	338	55
		100.0	8.4	50.1	35.7	5.8
	2人	797	74	368	308	47
		100.0	9.3	46.2	38.6	5.9
	3人	265	22	122	108	13
		100.0	8.3	46.0	40.8	4.9
	4人以上	54	8	28	14	4
		100.0	14.8	51.8	25.9	7.4

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

⑤ 末子の保育所等への入所状況別にみた、育児の関わり（男性）

図表IV-50 末子の保育所等への入所状況別にみた、育児の関わり（男性）：Q56×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
全体		2062	183	992	768	119
		100.0	8.9	48.1	37.2	5.8
Q56. 保育所 等への入所 状況	入所している	784	83	392	269	40
		100.0	10.6	50.0	34.3	5.1
	まだ入所していないが、入所の 予定が決まっている	171	18	74	72	7
		100.0	10.5	43.3	42.1	4.1
	入所の希望はあるが、入所が 決まっていない	412	26	192	164	30
		100.0	6.3	46.6	39.8	7.3
	入所の希望はなく、入所は予 定していない	695	56	334	263	42
		100.0	8.1	48.1	37.8	6.0

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

(3) 夫婦のコミュニケーションと男性の育児参加

○妻のキャリアについての話し合いの程度別に、男性の育児への関わりをみると、「よく話し合った」層で、「育児に十分関わっている」について「そう思う」の割合が22.5%ともっとも高くなっており、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合も高くなっている。育児分担について話し合いと男性の育児への関わりについても類似の傾向がみられる。

① 妻のキャリアについての話し合い別にみた、育児の関わり（男性）

図表IV-51 妻のキャリアについての話し合い別にみた、育児の関わり（男性）：Q69_1×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q69_1. 配偶者との話し合い_妻のキャリア	よく話し合った	227 100.0	51 22.5	106 46.7	62 27.3	8 3.5
	まあ話し合った	752 100.0	64 8.5	414 55.1	251 33.4	23 3.1
	あまり話し合っていない	619 100.0	35 5.7	282 45.6	277 44.7	25 4.0
	ほとんど話し合っていない	439 100.0	33 7.5	180 41.0	170 38.7	56 12.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

② 育児分担についての話し合い別にみた、育児の関わり（男性）

図表IV-52 ② 育児分担についての話し合い別にみた、育児の関わり（男性）：Q69_5×Q66_9

		合計	Q66_9. 育児に十分関わっている			
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
全体		2062 100.0	183 8.9	992 48.1	768 37.2	119 5.8
Q69_5. 配偶者との話し合い_育児の分担	よく話し合った	187 100.0	55 29.4	97 51.9	29 15.5	6 3.2
	まあ話し合った	813 100.0	63 7.7	471 57.9	263 32.3	16 2.0
	あまり話し合っていない	761 100.0	38 5.0	317 41.7	371 48.8	35 4.6
	ほとんど話し合っていない	276 100.0	27 9.8	97 35.1	97 35.1	55 19.9

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

5. 男性の育児参加の影響

(1) 育児分担満足度別にみた、出産意欲（女性）

○女性回答者について、夫婦の育児分担満足別に出産意欲をみると、「夫婦の育児分担に満足している」について「そう思う」層では、「現在よりもう1人の子どもがほしい」「現在よりもう2人の子どもがほしい」の割合が高い傾向がみられる。

図表IV-53 育児分担満足度別にみた、出産意欲（女性；現在子どもが1人）：Q66_8×Q68

		合計	Q68. 今後希望する子どもの人数				わからない
			子どもの人数はすでに希望通りである	現在よりもう1人の子どもがほしい	現在よりもう2人の子どもがほしい	現在よりもう3人以上の子どもがほしい	
全体		615 100.0	102 16.6	359 58.4	95 15.4	7 1.2	52 8.5
Q66_8. 夫婦の育児分担に満足している	そう思う	60 100.0	6 10.0	39 65.0	12 20.0		1 1.7
	まあそう思う	251 100.0	41 16.3	154 61.4	41 16.3	1 0.4	14 5.6
	あまりそう思わない	174 100.0	23 13.2	108 62.1	27 15.5	0 0.0	16 9.2
	そう思わない	79 100.0	18 22.8	43 54.4	10 12.7	3 3.8	5 6.3

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

図表IV-54 育児分担満足度別にみた、出産意欲（女性；現在子どもが2人）：Q66_8×Q68

		合計	Q68. 今後希望する子どもの人数				わからない
			子どもの人数はすでに希望通りである	現在よりもう1人の子どもがほしい	現在よりもう2人の子どもがほしい	現在よりもう3人以上の子どもがほしい	
全体		338 100.0	201 59.5	108 32.0	6 1.8	0 0.0	23 6.8
Q66_8. 夫婦の育児分担に満足している	そう思う	37 100.0	18 48.6	14 37.8	2 5.4	0 0.0	3 8.1
	まあそう思う	118 100.0	72 61.0	39 33.1	2 1.7	0 0.0	5 4.2
	あまりそう思わない	102 100.0	58 56.9	37 36.3	0 0.0	0 0.0	7 6.9
	そう思わない	65 100.0	40 61.5	17 26.2	1 1.5	0 0.0	7 10.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

(2) 夫婦のコミュニケーションと女性のキャリア

○配偶者へのキャリア形成の希望の伝達状況別に、女性のキャリア希望をみると、「伝えたことはあるが、夫はあまり協力的ではない」層において、「自分なりのペースで昇進したい」「自分なりのペースで専門性を高めたい」の割合が高めであるが、全体的な傾向に大きな差異はみられない。

○配偶者へのキャリア形成の希望の伝達状況別に、女性の希望するキャリアの実現可能性をみると、「伝えたことがあり、夫は協力的である」層では、「ほぼ実現できそう」「まあ実現できそう」の割合が高くなっている。「伝えたことはあるが、夫はあまり協力的ではない」層では、「あまり実現できそうにない」「全く実現できそうにない」の割合が特に高くなっている。

① 配偶者へのキャリア形成の希望の伝達状況別にみた、キャリア形成の希望（女性）

図表IV-55 配偶者へのキャリア形成の希望の伝達状況別にみた、キャリア形成の希望（女性）：
Q72×Q71_2

		合計	Q71_2. キャリア形成の希望（現在）							
			できるだけ早いペースで昇進したい	自分なりのペースで昇進したい	できるだけ早いペースで専門性を高めたい	自分なりのペースで専門性を高めたい	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々仕事をがんばりたい	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を経験したい	昇進や専門性の向上には興味はなく仕事以外の生活を充実させたい	左記にはあてはまらない
全体		1032 100.0	49 4.7	183 17.7	52 5.0	192 18.6	163 15.8	39 3.8	214 20.7	140 13.6
Q72. 夫に対するキャリア形成の希望の伝達	伝えたことがあり、夫は協力的である	296 100.0	23 7.8	59 19.9	21 7.1	68 23.0	42 14.2	9 3.0	55 18.6	19 6.4
	伝えたことはあるが、夫はあまり協力的ではない	127 100.0	7 5.5	28 22.0	6 4.7	32 25.2	14 11.0	3 2.4	25 19.7	12 9.4
	要望を伝えたことはない	456 100.0	11 2.4	69 15.1	15 3.3	76 16.7	91 20.0	23 5.0	109 23.9	62 13.6
	わからない	80 100.0	3 3.8	11 13.8	2 2.5	9 11.3	11 13.8	1 1.3	14 17.5	29 36.3

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

② 配偶者へのキャリア形成の希望の伝達と、希望するキャリアの実現可能性（女性）

図表IV-56 配偶者へのキャリア形成の希望の伝達状況別にみた、希望するキャリアの実現可能性
（女性）：Q72×Q73

		合計	Q73. 現在の希望するキャリアの実現可能性				
			ほぼ実現が できそう	まあ実現で きそう	あまり実現 できそうに ない	全く実現で きそうにな い	わからない
全体		1032 100.0	34 3.3	374 36.2	360 34.9	81 7.8	183 17.7
Q72. 夫に 対するキ ャリア形 成の希望 の伝達	伝えたことがあ り、夫は協力的で ある	296 100.0	25 8.4	158 53.4	85 28.7	6 2.0	22 7.4
	伝えたことはある が、夫はあまり協 力的ではない	127 100.0	0 0.0	33 26.0	57 44.9	27 21.3	10 7.9
	要望を伝えたこと はない	456 100.0	8 1.8	148 32.5	166 36.4	36 7.9	98 21.5
	わからない	80 100.0	0 0.0	10 12.5	26 32.5	9 11.3	35 43.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

(3) 男性の育児参加と女性のキャリア

- 夫婦の育児分担満足度別に、女性の産後の復職の計画と実現可能性をみると、「夫婦の育児分担に満足している」について「そう思わない」層で、「復職の時期を計画しており、計画通りに復帰をした」の割合が低く、「復帰の時期を計画したが、計画どおりには復帰できなかった」の割合が高くなっている。
- 夫婦の育児分担満足度別に、女性の短時間勤務からフルタイム勤務に戻る時期の計画と実現可能性をみると、「夫婦の育児分担に満足している」について「あまりそう思わない」「そう思わない」層で、「復帰の時期を計画したが、計画どおりには復帰できなかった」の割合が高くなっている。
- 夫婦の育児分担満足度別に、女性のキャリア希望をみると、「夫婦の育児分担に満足している」について「そう思う」層で、「自分なりのペースで昇進したい」の割合が高くなっているが、全体的な傾向に大きな差異はみられない。
- 夫婦の育児分担満足度別に、女性の希望するキャリアの実現可能性をみると、「夫婦の育児分担に満足している」について「そう思う」層で、「ほぼ実現ができそう」の割合が特に高くなっている。「夫婦の育児分担に満足している」について「そう思わない」層で、「全く実現できなさそう」の割合が特に高くなっている。
- 夫婦の育児分担満足度別に、女性の働き方の実際と希望をみると、育児分担満足度による、働き方の実際や希望の大きな差異はみられない。

① 育児分担満足度別にみた、産後の復職の計画と実現状況（女性）

図表IV-57 育児分担満足度別にみた、産後の復職の計画と実現状況（女性）：Q66_8×Q70_1

		合計	Q70_1. 産後の復職の計画と実現状況		
			復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした	復帰の時期を計画したが、計画どおりには復帰できなかった	復帰の時期について特に希望はなかった
全体		1032 100.0	717 69.5	201 19.5	114 11.0
Q66_8. 夫婦の育児分担に満足している	そう思う	109 100.0	81 74.3	21 19.3	7 6.4
	まあそう思う	397 100.0	299 75.3	72 18.1	26 6.5
	あまりそう思わない	293 100.0	209 71.3	51 17.4	33 11.3
	そう思わない	160 100.0	92 57.5	43 26.9	25 15.6

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

② 育児分担満足度別にみた、短時間勤務からフルタイム勤務に戻る時期の計画と実現状況
(女性)

図表IV-58 育児分担満足度別にみた、短時間勤務からフルタイム勤務に戻る時期の計画と実現状況 (女性) : Q66_8×Q70_1

		合計	Q70_1. フルタイム勤務に戻る時期の計画と実現状況		
			復帰の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした	復帰の時期を計画したが、計画どおりに復帰できなかった	復帰の時期について特に希望はなかった
全体		116 100.0	80 69.0	23 19.8	13 11.2
Q66_8. 夫婦の育児分担に満足している	そう思う	17 100.0	12 70.6	1 5.9	4 23.5
	まあそう思う	35 100.0	30 85.7	3 8.6	2 5.7
	あまりそう思わない	42 100.0	25 59.5	14 33.3	3 7.1
	そう思わない	15 100.0	10 66.7	3 20.0	2 13.3

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

注) Q53 において、短時間勤務制度を「以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答したものを集計対象とする。

③ 育児分担満足度別にみた、キャリア形成の希望 (女性)

図表IV-59 育児分担満足度別にみた、キャリア形成の希望 (女性) : Q66_8×Q71_2

		合計	Q71_2. キャリア形成の希望 (現在)							
			できるだけ早いペースで昇進したい	自分なりのペースで昇進したい	高めたい	できるだけ早いペースで専門性を高めたい	自分なりのペースで専門性を高めたい	昇進や専門性の向上には興味はないがその時々仕事をがんばりたい	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を経験したい	昇進や専門性の向上には興味はないが仕事以外の生活を充実させたい
全体		1032 100.0	49 4.7	183 17.7	52 5.0	192 18.6	163 15.8	39 3.8	214 20.7	140 13.6
Q66_8. 夫婦の育児分担に満足している	そう思う	109 100.0	6 5.5	26 23.9	7 6.4	24 22.0	14 12.8	4 3.7	21 19.3	7 6.4
	まあそう思う	397 100.0	16 4.0	67 16.9	17 4.3	74 18.6	65 16.4	15 3.8	87 21.9	56 14.1
	あまりそう思わない	293 100.0	10 3.4	49 16.7	13 4.4	54 18.4	49 16.7	8 2.7	73 24.9	37 12.6
	そう思わない	160 100.0	12 7.5	25 15.6	7 4.4	33 20.6	30 18.8	9 5.6	22 13.8	22 13.8

注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

④ 育児分担満足度別にみた、希望するキャリアの実現可能性（女性）

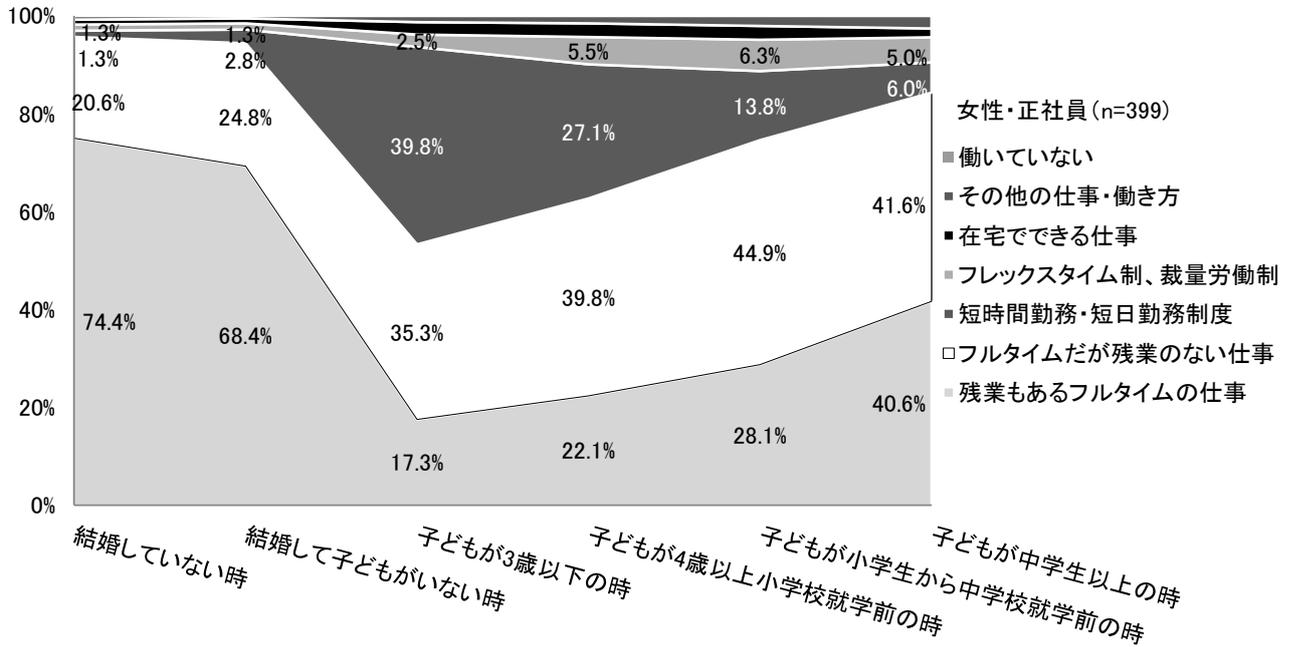
図表IV-60 育児分担満足度別にみた、希望するキャリアの実現可能性（女性）：Q66_8×Q73

		合計	Q73.現在のキャリアの希望の実現可能性				
			ほぼ実現 ができそ う	まあ実現 できそう	あまり実 現できそ うにない	全く実現 できそう にない	わからな い
全体		1032 100.0	34 3.3	374 36.2	360 34.9	81 7.8	183 17.7
Q66_8.夫婦の 育児分担に満 足している	そう思う	109 100.0	12 11.0	48 44.0	35 32.1	4 3.7	10 9.2
	まあそう思う	397 100.0	10 2.5	157 39.5	121 30.5	17 4.3	92 23.2
	あまりそう思わない	293 100.0	7 2.4	102 34.8	125 42.7	26 8.9	33 11.3
	そう思わない	160 100.0	4 2.5	42 26.3	53 33.1	31 19.4	30 18.8

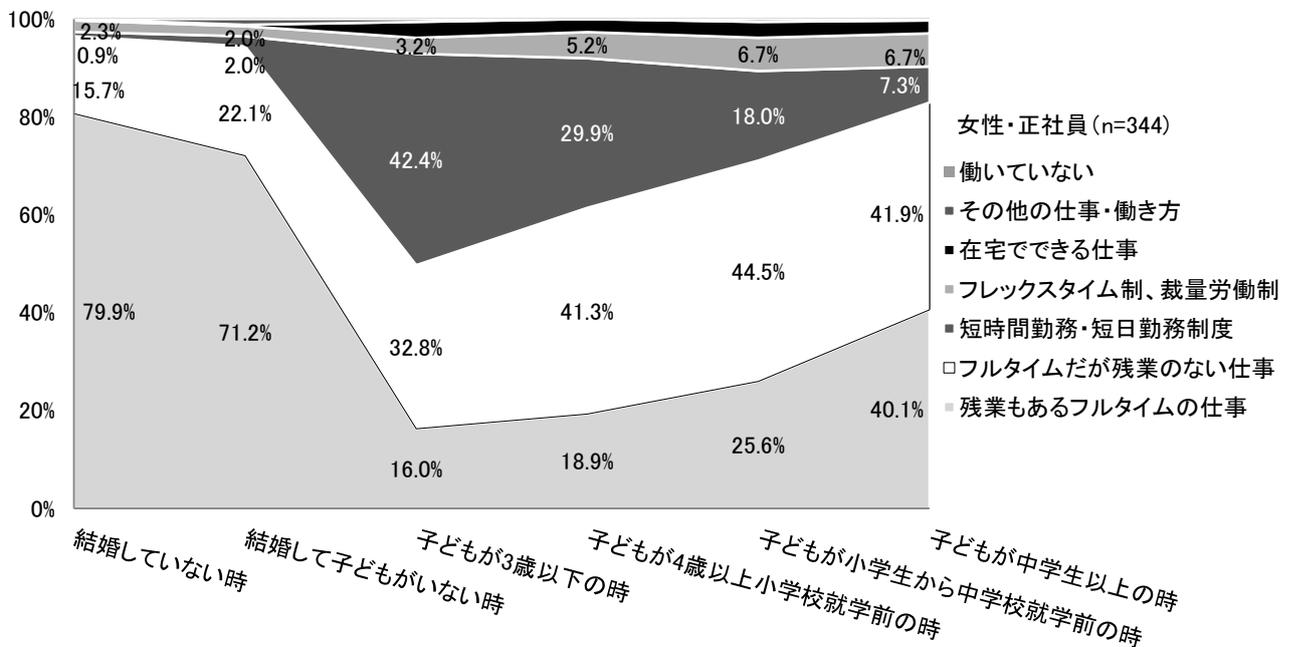
注) 表内の数字は上段が件数、下段が%である。

⑤ 育児負担満足度別にみた、女性の働き方の実際と希望

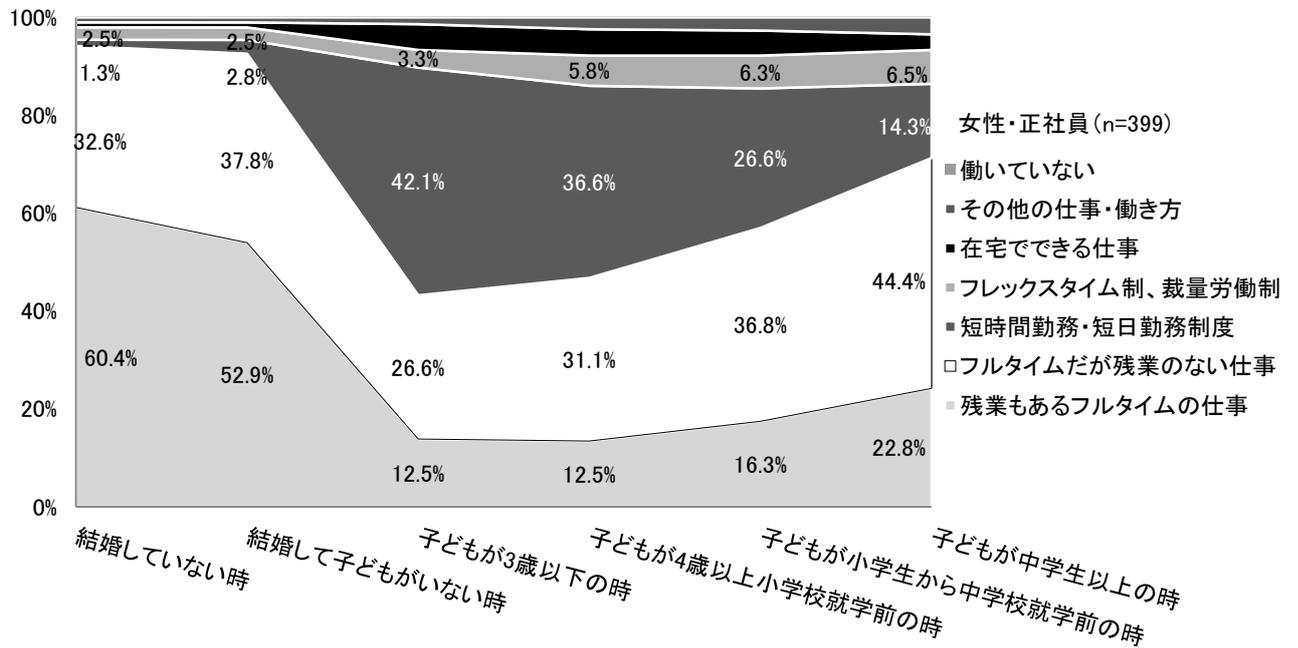
図表IV-61 働き方の実際（「夫婦の育児負担に満足している」について「そう思う」「まあそう思う」と回答した層）：Q66_8×Q74



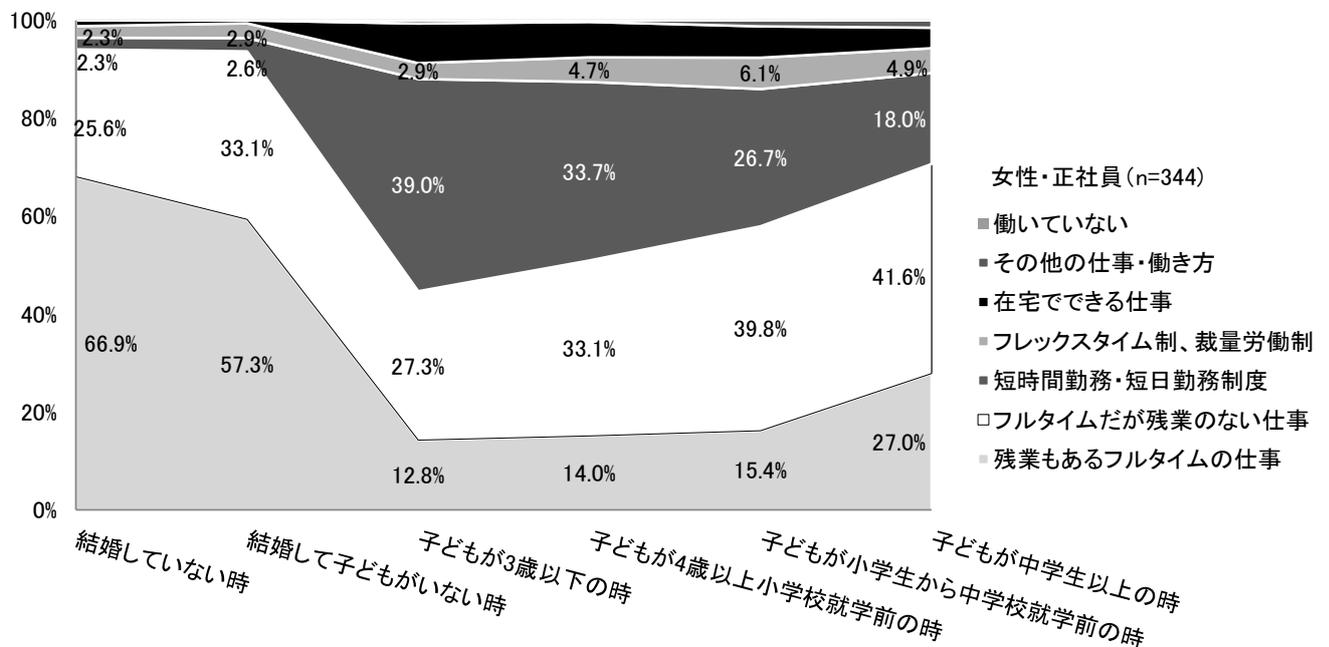
図表IV-62 働き方の実際（「夫婦の育児負担に満足している」について「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した層）：Q66_8×Q74



図表IV-63 働き方の希望（「夫婦の育児分担に満足している」について「そう思う」「まあそう思う」と回答した層）：Q66_8×Q74



図表IV-64 働き方の希望（「夫婦の育児分担に満足している」について「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した層）：Q66_8×Q74



＜参考資料＞労働者アンケート調査票

調査票のご確認にあたって
(各質問上の水色の箇所、その質問に関する設定が表示されます)

●画面分割

→画面が分割される箇所に「ここで改ページ」という線が表示されます。

あなたご自身に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力お願いします。

Q1 あなたの性別をお答えください。

1
男性

2
女性



ここで改ページ

Q2 あなたの年齢をお答えください。

歳 (半角数字)



ここで改ページ

Q3 あなたのお子さんの人数として、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 1人
- 2. 2人
- 3. 3人
- 4. 4人
- 5. 5人
- 6. 6人以上 ⇒ お子さんの人数をご記入ください 人 (半角数字)
- 7. 子どもはいない



ここで改ページ

Q4 次のお子さんの生年月を教えてください。

※末子から順に、最大6人までお答えください。

※縦方向に回答してください。各項目で矢印(↓)方向にそれぞれ選択してください。

	1 1 番年齢の低い お子さん(末子)	2 2 番目に年齢の 低いお子さん	3 3 番目に年齢の 低いお子さん	4 4 番目に年齢の 低いお子さん	5 5 番目に年齢の 低いお子さん	6 6 番目に年齢の 低いお子さん
	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1. 2016年9月以降生まれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 2016年8月生まれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 2016年7月生まれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 2016年6月生まれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 2016年5月生まれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 2016年4月生まれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

7. 2016年3月出生	<input type="radio"/>					
8. 2016年2月出生	<input type="radio"/>					
9. 2016年1月出生	<input type="radio"/>					
10. 2015年12月出生	<input type="radio"/>					
11. 2015年11月出生	<input type="radio"/>					
12. 2015年10月出生	<input type="radio"/>					
13. 2015年9月出生	<input type="radio"/>					
14. 2015年8月出生	<input type="radio"/>					
15. 2015年7月出生	<input type="radio"/>					
16. 2015年6月出生	<input type="radio"/>					
17. 2015年5月出生	<input type="radio"/>					
18. 2015年4月出生	<input type="radio"/>					
19. 2015年3月出生	<input type="radio"/>					
20. 2015年2月出生	<input type="radio"/>					
21. 2015年1月出生	<input type="radio"/>					
22. 2014年12月出生	<input type="radio"/>					
23. 2014年11月出生	<input type="radio"/>					
24. 2014年10月出生	<input type="radio"/>					
25. 2014年9月出生	<input type="radio"/>					
26. それ以前	<input type="radio"/>					
	1 一番年齢の低いお子さん(末子)	2 二番目に年齢の低いお子さん	3 三番目に年齢の低いお子さん	4 四番目に年齢の低いお子さん	5 五番目に年齢の低いお子さん	6 六番目に年齢の低いお子さん



Q5 次の方の雇用形態として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

※育児や介護等で休職中の場合でも、雇用されている場合は現在の雇用形態をお答えください。

	1 正社員・職員	2 無期契約社員・職員	3 パート・アルバイト、 有期契約社員・職員	4 派遣社員・職員	5 自営業主・家族従業員・ フリーランスなど	6 その他	7 働いていない(専業主婦・ 主夫 学生など)	8 配偶者はいない
1. あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q6 次の方は現在、育児休業や介護、病気等で長期の休職期間中ですか。
あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

	1 育児休業中である	2 介護や病気等で休職期間中である	3 休業や休職期間中ではない
1. あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q7 次の方の勤務先の業種として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

	1 官公庁・公務員	2 農林水産業	3 鉱業、採石業、砂利採取業	4 建設業	5 製造業	6 電気・ガス・熱供給・水道業	7 情報通信業	8 運輸業、郵便業	9 小売業、卸売業	10 金融業、保険業	11 不動産業、物品賃貸業	12 宿泊業、飲食サービス業	13 教育、学習支援業	14 医療、福祉	15 その他サービス業	16 その他
1. あなた	<input type="radio"/>															
2. 配偶者	<input type="radio"/>															

アンケートは以上で終わります。ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送信

調査票のご確認にあたって
(各質問上の水色の箇所、その質問に関する設定が表示されます)

●画面分割

→画面が分割される箇所に「ここで改ページ」という線が表示されます。

仕事と育児に関するアンケート

下記アンケートにご協力をお願いいたします。

Q8 あなたの婚姻状況をお答えください。

【必須入力】

- 1. 未婚
- 2. 既婚
- 3. 離死別

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  ここで改ページ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

Q9 同居しているご家族として、あてはまるものをすべて選んでください。

【必須入力】

- 1. 配偶者
- 2. 子ども
- 3. 自分の父親
- 4. 自分の母親
- 5. 配偶者の父親
- 6. 配偶者の母親
- 7. その他
- 8. 同居者はいない

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  ここで改ページ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

Q10 次のお子さんの年齢を教えてください。
※事前のアンケートで、1番年齢の低いお子さん(末子)は【SC4S1の選択内容】とお答えです。

【必須入力】

1	2	3	4	5	6	7	8
1	2	3	4	5	6	7	中

	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳以上 了 中学校 就学前	学生 以上
1. 1番年齢の低いお子さん(末子)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
2. 2番目に年齢の低いお子さん	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
3. 3番目に年齢の低いお子さん	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
4. 4番目に年齢の低いお子さん	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
5. 5番目に年齢の低いお子さん	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
6. 6番目に年齢の低いお子さん	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

✂ ここまで改ページ

Q11 末子の性別を教えてください。
【必須入力】

- 1. 男子
- 2. 女子

✂ ここまで改ページ

Q12 次の方や世帯の年収として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
【必須入力】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	収入なし	100万円未満	100万円以上 150万円未満	150万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 700万円未満	700万円以上 1000万円未満	1000万円以上 1300万円未満	1300万円以上	わからない
1. あなた	→	<input type="radio"/>								
2. 配偶者	→	<input type="radio"/>								
3. 世帯	→	<input type="radio"/>								

✂ ここまで改ページ

Q13 あなたの勤務先の従業員規模として、あてはまるものを選んでください。
【必須入力】

- 1. 30人以下
- 2. 31~100人以下
- 3. 101~200人以下
- 4. 201~300人以下

- 5. 301～500人以下
- 6. 501～1000人以下
- 7. 1001～3000人以下
- 8. 3001人以上

 [ここで改ページ](#)

Q14 あなたの現在の仕事の内容について、最もあてはまるものを1つ選んでください。

【必須入力】

- 1. 専門職・技術職A(医療、保健、福祉(保育・介護)、教育分野の専門職・技術職)
- 2. 専門職・技術職B(弁護士、会計士、税理士、エンジニア、情報処理など、その他の分野の専門職・技術職)
- 3. 管理職(課長職相当以上)
- 4. 事務職(一般事務、企画、広報、経理など)
- 5. 営業・販売職(店員、不動産販売、保険外交、外勤など)
- 6. サービス職(理・美容師、料理人、ホールスタッフ、ホームヘルパーなど)
- 7. 生産現場職(製品製造・組立、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産加工など)
- 8. 運輸・保安職(トラック運転手、船員、郵便等配達、通信士、警備員など)
- 9. その他

 [ここで改ページ](#)

Q15 あなたの現在の役職について、あてはまるものを1つ選んでください。

【必須入力】

- 1. 役職なし
- 2. 主任・係長クラス
- 3. 課長・次長クラス
- 4. 部長クラス以上(役員を含む)
- 5. その他

 [ここで改ページ](#)

Q16 次の方の、現在の1週間あたりの実労働時間(残業時間を含む)として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

※残業代の支払いとは関係なく、裁量労働の方や管理職の方も実際に働いている時間をお答えください。

※複数のお仕事をされている場合には、すべてのお仕事を含めた時間でお答えください。

【必須入力】

	1 週 2 0 時 間 未 満	2 週 2 0 時 間 以 上 ↓ 週 3 0 時 間 未 満	3 週 3 0 時 間 以 上 ↓ 週 4 0 時 間 未 満	4 週 4 0 時 間 以 上 ↓ 週 5 0 時 間 未 満	5 週 5 0 時 間 以 上 ↓ 週 6 0 時 間 未 満	6 週 6 0 時 間 以 上	7 わ か ら な い
1. あなた →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q17 以下の制度の利用状況として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
【必須入力】

	制度がある			制度がない		
	1 制度を利用している	2 制度を利用していないが、利用したい	3 制度を利用しておらず、利用したいとも思わない	4 制度を利用したい	5 制度を利用したいと思わない	6 わからない
1. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. フレックスタイム制・裁量労働制 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 在宅勤務制度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q18 次の方の、深夜の時間帯の勤務状況としてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
※午後10時から翌午前5時までの間に働くことを指します。
【必須入力】

	1 深夜勤務はない	2 残業のため、深夜勤務をすることがある	3 深夜の時間帯が所定の勤務時間である	4 わからない
1. あなた →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q19

深夜の時間帯の勤務の過当たりの頻度として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
 ※午後10時から翌午前5時までの間に働くことを指します。

【必須入力】

	1 週あたり1日以下 (月あたり数回程度を含む)	2 週あたり2日	3 週あたり3日	4 週あたり4日	5 週あたり5日以上	6 わからない
1. あなた →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂️ ここで改ページ

Q20 次の方は、月にお休みを実質何日くらいとれていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
 ※所定の休日や年次有給休暇等を含めてお答えください。
 ※祝日のない月でお考えください。
 【必須入力】

	1 3日以下	2 4日~7日	3 8日以上	4 わからない
1. あなた →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂️ ここで改ページ

Q21 次の方の、日曜日の勤務についておうかがいします。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
 ※シフト勤務などで、日曜日に出勤することがある場合は2を選択してください。
 【必須入力】

	1 日曜日は所定の休日である	2 日曜日は所定の勤務日である	3 わからない
1. あなた →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂️ ここで改ページ

Q22 あなたの所属する部署では、日々のくらの同僚が残業していますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

【必須入力】

- 1. ほとんどの人が定時に帰っている
- 2. 残業のある人より、定時に帰る人が多い
- 3. 定時に帰る人もいるが、残業のある人が多い
- 4. ほとんどの人が残業がある

✂ ここまで改ページ

以下の設問では、「妻」や「夫」という言葉を用います。それぞれ以下の方を指します。

- ・「妻」は、あなたが女性ならあなた自身のことを指し、あなたが男性ならあなたの配偶者のことを指します。
- ・「夫」は、あなたが男性ならあなた自身のことを指し、あなたが女性ならあなたの配偶者のことを指します。

✂ ここまで改ページ

Q23 妻が末子を妊娠しているとき、夫は休暇を取得しましたか。
あてはまるものをひとつ選んでください。

- ※妻が末子を妊娠しているときに夫が休暇を取得していない場合、
- ・あなたが男性なら、取得の希望があったかどうかお答えください。
 - ・あなたが女性なら、夫に取得してほしいかどうかお答えください。

【必須入力】

- 1. 休暇の取得をした
- 2. 休暇の取得を希望したことがあるが、取得しなかった(夫に休暇を取得してほしいだったが、取得しなかった)
- 3. 休暇の取得希望はなく、取得もしていない(夫に取得してほしいと思っておらず、夫も取得していない)
- 4. わからない・該当しない

✂ ここまで改ページ

Q24 妻が末子妊娠中に、夫が取得した、あるいは取得を希望した(夫に取得してほしいだった)休暇について、その休暇の理由や目的としてあてはまるものをすべて選んでください。

【必須入力】

- 1. 産院へ同行したり、面会したりするため
- 2. 妻の体調がよくないときに、看護するため
- 3. 家事を手伝うため
- 4. 上の子どもの育児をするため(子どもが2人以上いる場合のみ)
- 5. その他
- 6. わからない・覚えていない

✂ ここまで改ページ

Q25 末子の出産の状況として、以下のそれぞれの状況に該当するかどうかお答えください。
あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

※里帰り出産は、妻が妻の実家や出身地域等に帰省して出産することをいいます。

【必須入力】

	1 該当する	2 該当しない
1. 妻が里帰り出産をした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 妻の里帰り出産に夫が同行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 自宅出産をした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 夫が出産に立ち会った	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂️ ここで改ページ

Q26 妻が里帰り出産から、ふだん住んでいた自宅等に戻るまでの期間として、あてはまるものをひとつ選んでください。
【必須入力】

- 1. 末子出生後1週間以内
- 2. 末子出生後1週間以降、2週間以内
- 3. 末子出生後2週間以降、3週間以内
- 4. 末子出生後3週間以降、1ヶ月以内
- 5. 末子出生後1ヶ月以降、3ヶ月以内
- 6. 末子出生後3ヶ月以降、6ヶ月以内
- 7. 末子出生後6ヶ月以降、1年以内
- 8. 末子出生後1年以降
- 9. わからない

✂️ ここで改ページ

Q27 次の方の、末子の妊娠が判明した当時から現在までの就業状況として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
【必須入力】

	1 同じ会社の同じ部署で継続して働いている	2 同じ会社で働いているが、 部署が異動したり、就業形態が変わったりした	3 転職したり、自営等に働き方を変えたりした	4 末子の妊娠・出産を機に退職して以来 現在まで専業主婦・主夫である	5 末子の妊娠が判明する以前から働いていない	6 その他	7 わからない・覚えていない	8 末子妊娠判明時に配偶者はいなかった
1. あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
2. 配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂️ ここで改ページ

Q28 末子の妊娠がわかった当時、次の方はどのような就業形態で働いていらっしゃいましたか。
それぞれ、あてはまるものを1つずつ選んでください。

【必須入力】

	1 正社員・職員	2 無期契約社員・職員	3 パート・アルバイト、 有期契約社員・職員	4 派遣社員・職員	5 自営業主・家族従業員・フリーランスなど	6 その他
1. あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここで改ページ

Q29 末子の妊娠がわかったとき、どのような働き方をされていましたか。あてはまるものをすべて選んでください。
【必須入力】

	1 残業もあるフルタイム勤務	2 残業のないフルタイム勤務	3 短時間勤務	4 裁量労働制	5 フレックスタイム	6 テレワークや在宅勤務 ※企業にお勤めで、 自宅やサテライトオフィスなどで仕事をして いた場合	7 自営業主・家族従業員・フリーランスなど	8 シフト勤務	9 その他
1. あなた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
2. 配偶者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						

ここで改ページ

Q30 末子の妊娠がわかった当時の、1週間あたりの実労働時間(残業時間を含む)として、
あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

※残業代の支払いとは関係なく、裁量労働の方や管理職の方も実際に働いた時間をお答えください。

※複数のお仕事をされていた場合には、すべてのお仕事を含めた時間でお答えください。

【必須入力】

	1 週 2 0 時間 未 満	2 週 2 0 時間 以上 ↓ 週 3 0 時間 未 満	3 週 3 0 時間 以上 ↓ 週 4 0 時間 未 満	4 週 4 0 時間 以上 ↓ 週 5 0 時間 未 満	5 週 5 0 時間 以上 ↓ 週 6 0 時間 未 満	6 週 6 0 時間 以上	7 わ か ら な い
1. あなた →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配偶者 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂ ここまで改ページ

Q31 末子の妊娠判明当時の、あなたの所属部署における出産・育児を目的とした休暇・休業の取得の状況として、あてはまるものをすべて選んでください。

【必須入力】

- 1. 男性の同僚に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた
- 2. 男性の上司や管理職に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた
- 3. 女性の同僚に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた
- 4. 女性の上司や管理職に、出産・育児のために休暇・休業を取得した人がいた
- 5. いずれも該当しない

✂ ここまで改ページ

Q32 末子の妊娠が判明した当時のお仕事を辞めた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【必須入力】

- 1. 家事・育児により時間を割くために、自発的に辞めた
- 2. 自発的に辞めたが、理由は出産や育児等に直接関係ない(あるいはもともと仕事を辞めるつもりだった)
- 3. 勤務地や転勤の問題で仕事を続けるのが難しかった
- 4. 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた(就業を継続するための制度がなかった場合を含む)
- 5. 末子妊娠・出産前や末子が生まれる前と比べて、仕事の内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- 6. 妊娠・出産に伴う体調の問題で仕事を辞めた
- 7. その他
- 8. 特にない

✂ ここまで改ページ

Q33 末子出生時、あなたは次の休暇・休業制度を利用しましたか。取得状況としてあてはまるものを1つずつ選んでください。

※現在取得中のものや、今後取得を予定しているものも含めて答えてください。

※末子のために育児休業を2回以上取得した場合、

「2.育児休業制度」と「3.育児休業制度(再取得)」の両方について「1.制度を利用した」をお選びください。

【必須入力】

	制度があった			制度はなかった		6 わからない
	1 制度を利用した	2 制度を利用しなかったが、 利用したかった	3 制度を利用しておらず、 利用したいとも思わなかった	4 制度を利用したかった	5 制度を利用したいと思わなかった	
1. 産前・産後休業制度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 育児休業制度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 育児休業制度(再取得) ※末子のために2度目の育児休業を取得した場合 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 年次有給休暇制度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 失効年次有給休暇制度の積立等 ※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給 休暇として付与する制度をいいます →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 配偶者出産休暇制度 ※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の 出産の際に、病院の入院・退院・出産等の付き添 いなどのために、男性労働者に与えられる休暇 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. その他の休暇・休業制度 <input type="text"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q34 末子出生時、あなたの配偶者は次の休暇・休業制度を利用しましたか。
 配偶者が制度を利用していない場合、あなたが配偶者に利用してほしいかどうかお答えください。
 ※配偶者の勤め先における休暇・休業制度の有無に関わらずお答えください。
 ※現在取得中のものや、今後取得を予定しているものも含めてお答えください。
 ※末子のために育児休業を2回以上取得した場合、
 「2.育児休業制度」と「3.育児休業制度(再取得)」の両方について「1.配偶者は制度を利用した」をお選びください。
 【必須入力】

1 配偶者は制度を利用した	2 配偶者に制度を利用してほしかったが 配偶者は制度を利用しなかった	3 配偶者に制度を利用してほしいと思っ 配偶者も制度を利用しなかった	4 わからない
------------------	--	--	------------

			て お ら ず	
1. 産前・産後休業制度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 育児休業制度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 育児休業制度(再取得) ※末子のために2度目の育児休業を取得した場合 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 年次有給休暇制度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 失効年次有給休暇制度の積立て等の制度 ※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給 休暇として付与する制度をいいます →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 配偶者出産休暇制度 ※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出 産の際に、病院の入院・退院・出産等の付き添い などのために、男性労働者に与えられる休暇 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. その他の休暇・休業制度 → <input type="text"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q35 末子出生時に取得した休暇・休業を、どの時期に取得されましたか。
 取得したそれぞれの休暇・休業について、取得した時期としてあてはまるものをすべて選んでください。
 ※今後取得を予定しているものも含めて教えてください。
 ※育児休業制度については、取得を開始した時期を選択してください。
 ※どの時期に取得したかわからない場合は、「4.わからない・覚えていない」を選択してください。
【必須入力】

	1 末子 出生後 8 週間 以内	2 末子 出生後 8 週間 J1 年2 ヶ月 まで の間	3 末子 出生後 1 年2 ヶ月 以降	4 わ か ら な い ・ 覚 え て い な い
あなたが取得した時期				
1. 産前・産後休業制度 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 育児休業制度 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 育児休業制度(再取得) ※末子のために2度目の育児休業を取得した場合 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 年次有給休暇制度 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 失効年次有給休暇制度の積立て等の制度 ※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給 休暇として付与する制度をいいます →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 配偶者出産休暇制度 ※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出 産の際に、病院の入院・退院・出産等の付き添い などのために、男性労働者に与えられる休暇 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. その他の休暇・休業制度 【Q26S7FAの選択内 容】 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
配偶者が取得した時期				
8. 産前・産後休業制度 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9. 育児休業制度 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 育児休業制度(再取得) ※末子のために2度目の育児休業を取得した場合 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 年次有給休暇制度 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 失効年次有給休暇制度の積立等 ※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 配偶者出産休暇制度 ※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. その他の休暇・休業制度【Q27S7FAの選択内容】 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	末子出生後8週間以内	末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間	末子出生後1年2ヶ月以降	わからない・覚えていない
	1	2	3	4



Q36 末子出生時に取得した休暇・休業について、制度の種類別・取得時期別にそれぞれおおよそ何日間取得しましたか。数字を記入してください。

※どの時期に取得したかわからない場合やどの時期の取得の希望かわからない場合は、

「時期はわからない」に休暇・休業の期間を入力してください。

※現在取得中のものや、今後取得を予定しているものも含めて教えてください。

【全て必須】

【あなたが取得した期間】

産後休業制度

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度

時期はわからない

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

時期はわからない

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

年次有給休暇制度

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

年次有給休暇制度

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

年次有給休暇制度

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

年次有給休暇制度

時期はわからない

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立等制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立等制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立て等の制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立て等の制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

時期はわからない

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

末子出生後8週間以内に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

時期はわからない

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q26S7FAの選択内容】】

末子出生後8週間以内に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q26S7FAの選択内容】】

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q26S7FAの選択内容】】

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【あなたが取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q26S7FAの選択内容】】

時期はわからない

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

産後休業制度

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度

時期はわからない

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

育児休業制度(再取得)

※末子のために2度目の育児休業を取得した場合

時期はわからない

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

年次有給休暇制度

末子出生後8週間以内に取得した期間

ヶ月 日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

年次有給休暇制度

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

年次有給休暇制度

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

年次有給休暇制度

時期はわからない

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立て等の制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

末子出生後8週間以内に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立て等の制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立て等の制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

失効年次有給休暇制度の積立て等の制度

※失効年次有給休暇を積立・保存し、特別有給休暇として付与する制度をいいます

時期はわからない

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

末子出生後8週間以内に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

□□月 □□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

配偶者出産休暇制度

※年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、

病院の入院・退院・出産等の付き添いなどのために、男性労働者に与えられる休暇

時期はわからない

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q27S7FAの選択内容】】

末子出生後8週間以内に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q27S7FAの選択内容】】

末子出生後8週間～1年2ヶ月までの間に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q27S7FAの選択内容】】

末子出生後1年2ヶ月以降に取得した期間

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)

【配偶者が取得した期間】

その他の休暇・休業制度【【Q27S7FAの選択内容】】

時期はわからない

□□□□ヶ月 □□□□日 (半角数字)



ここで改ページ

Q37

あなたが取得した休暇・休業期間は、あなたにとって希望通りでしたか。
また、配偶者が取得した休暇・休業期間は、あなたにとって希望通りでしたか。
それぞれの時期について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

【必須入力】

	1 自分の希望通りだった	2 自分の希望通りではなかった
あなたが取得した休暇・休業期間		
1. 末子出生後8週間以内に取得した休暇・休業期間 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 末子出生後8週間以降、1年2ヶ月以内に取得した休暇・休業期間 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 末子出生後1年2ヶ月以降に取得した休暇・休業期間 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたにとって配偶者が取得した休暇・休業		
4. 末子出生後8週間以内に取得した休暇・休業期間 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 末子出生後8週間以降、1年2ヶ月以内に取得した休暇・休業期間 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 末子出生後1年2ヶ月以降に取得した休暇・休業期間 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



ここで改ページ

Q38

末子出生時に取得を希望していた休暇・休業について、希望していた休暇・休業期間を教えてください。
また、配偶者に取得してほしい休暇・休業の期間を教えてください。
※全く取得を希望しない時期の場合、0を入力してください。

【全て必須】

【あなたが希望していたあなたの休暇・休業期間】

末子出生後8週間以内に取得を希望していた休暇・休業期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが希望していたあなたの休暇・休業期間】

末子出生後8週間以降、1年2ヶ月以内に取得を希望していた休暇・休業期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが希望していたあなたの休暇・休業期間】

末子出生後1年2ヶ月以降に取得を希望していた休暇・休業期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが配偶者に取得してほしい休暇・休業期間】

末子出生後8週間以内に取得を希望していた休暇・休業期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが配偶者に取得してほしい休暇・休業期間】

末子出生後8週間以降、1年2ヶ月以内に取得を希望していた休暇・休業期間

ヶ月 日 (半角数字)

【あなたが配偶者に取得してほしい休暇・休業期間】

末子出生後1年2ヶ月以降に取得を希望していた休暇・休業期間

ヶ月 日 (半角数字)



Q39

末子の出生後に取得した休暇・休業のうち、もっとも長く連続でお休みをした休暇・休業の開始時期を教えてください。

【必須入力】

- 1. 末子出生後1週間以内
- 2. 末子出生後1週間以降、2週間以内
- 3. 末子出生後2週間以降、3週間以内
- 4. 末子出生後3週間以降、4週間以内
- 5. 末子出生後4週間以降、6週間以内
- 6. 末子出生後6週間以降、8週間以内
- 7. 末子出生後8週間以降、3ヶ月以内
- 8. 末子出生後3ヶ月以降、6ヶ月以内
- 9. 末子出生後6ヶ月以降、1年以内
- 10. 末子出生後1年以降
- 11. わからない



Q40

末子が1歳2ヶ月になるまでに取得した休暇・休業のうち、もっとも長く連続でお休みをした期間を教えてください。

【全て必須】

ヶ月 日 (半角数字)

Q41 末子が1歳2ヶ月になるまでに休暇・休業を何回取得しましたか。そのうち末子出生後8週間以内に何回取得しましたか。
 ※数日間の連続した休暇・休業も、1日の休暇もそれぞれ1回としてください。
 例えば、有給休暇を3日連続取得した場合は1回、1日の有給休暇を連続せずに日を空けて取得した場合は3回と数えます。

【 全て必須 】

1歳2ヶ月までに取得した回数 およそ 回 (半角数字)

上記のうち、8週間以内に取得した回数 およそ 回 (半角数字)

Q42 妻の産後の復職状況としてあてはまるものをひとつ選んでください。

【 必須入力 】

- 1. 妻は既に復職したり、働き始めたりしている
- 2. 妻は働く意向はあるが、まだ復職したり、働き始めたりしていない
- 3. 妻は復職したり、働き始めたりする意向はない
- 4. わからない

Q43 末子の出生後、妻が職場に復帰したり、働き始めたりした時期を教えてください。
 まだ復職していないが、復職の意向がある場合は、希望している復職時期を選んでください。
 あてはまるものをひとつ選んでください。

【 必須入力 】

- 1. 末子出生後6週間以降、8週間以内
- 2. 末子出生後8週間以降、3ヶ月以内
- 3. 末子出生後3ヶ月以降、6ヶ月以内
- 4. 末子出生後6ヶ月以降、9ヶ月以内
- 5. 末子出生後9ヶ月以降、1年以内
- 6. 末子出生後1年以降、1年3ヶ月以内
- 7. 末子出生後1年3ヶ月以降、1年6ヶ月以内
- 8. 末子出生後1年6ヶ月以降、1年9ヶ月以内
- 9. 末子出生後1年9ヶ月以降、2年以内
- 10. 末子出生後2年以降
- 11. わからない、上記にあてはまるものはない

Q44 次のときに、夫は休暇・休業を取得していましたか。
 あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
 ※取得していなかった場合、
 ・あなたが男性の場合、取得を希望していたかどうかお答えください。
 ・あなたが女性の場合、配偶者に取得をしてほしかったかどうかお答えください。

【 必須入力 】

1	2	3
取得	(夫に取得)	(夫に取得)

	した	しなかったが、取得しなかった 取得してほしいが、取得しなかった	の希望はなく、取得しなかった 取得してほしいとは思っていなかった
1. 妻が里帰りするとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 産後、妻が産院にいる間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 妻が退院するとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 妻の退院後、数日間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 妻が妻の実家にいる間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 妻が里帰りから戻るとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 妻の育児休業期間中	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 妻が復職するとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂️ ここで改ページ

Q45 妻が産後に復職したり、働き始めたりしたときに、夫が取得した休暇・休業の実際の期間と希望していた期間を教えてください。また、休暇・休業を取得しなかったが、夫が取得を希望していた場合、希望していた休暇・休業の期間をお答えください。

【 全て必須 】

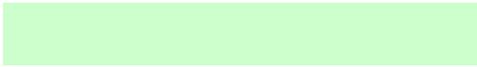
実際の取得期間 ヶ月 日 (半角数字)

希望していた取得期間 ヶ月 日 (半角数字)

✂️ ここで改ページ

Q46 次の時期に取得した休暇・休業中に行ったこととしてあてはまるものをすべて選んでください。
【 必須入力 】

	1 病院への付き添いや面会	2 日々の家事	3 末子の世話	4 上の子の世話(子どもが2人以上いる場合のみ)	5 育児セミナーへの参加など育児に関する勉強	6 資格の勉強など職場復帰の準備	7 その他	8 わからない・覚えていない
1. 末子出生後8週間以内に取得した休暇・休業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 末子出生後8週間以降に取得した休暇・休業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 妻が復職した時期に取得した休暇・休業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



Q47 次の時期に取得した休暇・休業について、取得したきっかけとしてあてはまるものをすべて選んでください。
【必須入力】

	1 以前より、 休暇・休業の 取得を希望 していた	2 配偶者と話し 合いをして決 めた	3 職場の同僚や 上司などから 取得を勧めら れた	4 会社から取得 を勧められた	5 配偶者や子ど もの状況など、 取得せざるを 得ない理由があ った	6 その他	7 わからない・覚 えていない
1. 末子出生後8週間以内に取得した休暇・休業 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
2. 末子出生後8週間以降に取得した休暇・休業 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
3. 妻が復職した時期に取得した休暇・休業 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>



Q48 休暇・休業取得のために職場で行われていた取り組みや会社からの働きかけとして、あてはまるものをすべて選んでください。
【必須入力】

- 1. 休暇・休業中の所得の保障(育児休業給付金以外による保障)
- 2. 人事からの育児休業に関する周知
- 3. 育児に関する休暇・休業に関するハンドブックの提供
- 4. 休業制度について社内イントラネットで周知
- 5. 上司や管理職による休業取得を呼びかけ
- 6. 育児とキャリアの両立を考えるためのセミナーや情報提供
- 7. 育児セミナーなど育児について学ぶ機会の提供
- 8. 育児をする社員のネットワーキング
- 9. 休む人の仕事をカバーする体制の構築
- 10. その他
- 11. 特にない

Q49 夫が休暇・休業を取得したことによる夫自身の変化として、あてはまるものをすべて選んでください。

※男性はあなたが休暇・休業を取得したことで感じる変化についてお答えください。
 ※女性は配偶者が休暇・休業を取得したことで感じる配偶者の変化についてお答えください。

【必須入力】

- 1. 育児への意欲が高まった
- 2. 家事への抵抗感がなくなった
- 3. 早く家に帰ることを意識するようになった
- 4. より多くの休暇を取得するようになった
- 5. 仕事の効率化を考えるようになった
- 6. 会社への帰属意識が高まった
- 7. 会社に仕事で応えたいと思うようになった
- 8. 価値観が広がった
- 9. 育児の経験・スキルが仕事に役立った
- 10. その他
- 11. 特にない

Q50 あなたが育児休業を取得しなかった理由として、あてはまるものをすべて選んでください。

【必須入力】

- 1. 会社で育児休業制度が整備されていなかった
- 2. 職場の制度や手続きについて理解していなかった
- 3. 職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった
- 4. 業務が繁忙で職場の人手が不足していた
- 5. 育児休業を取得しなくても育児参加しやすい環境だった
- 6. 自分にしかできない仕事や担当している仕事があった
- 7. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に悪影響がありそうだった
- 8. 配偶者や家族から、育児休業の取得に対して後押しがなかった、反対された
- 9. 配偶者や祖父母等、自分以外に育児を担う人がいた
- 10. 保育所等に預けることができた
- 11. 収入を減らしたくなかった
- 12. 育児休業は男性ではなく女性が取得するものだと思っていた(男性のみ)
- 13. その他
- 14. わからない、覚えていない

Q51 次のような形で育児休業を取得したいとお考えになりますか。それぞれ1つずつお答えください。

【必須入力】

1 取得したい	2 まあ取得したい	3 あまり取得したいとは思わない	4 取得したいと思わない
------------	--------------	---------------------	-----------------

			思わない		
1. もっと長い期間子育てのために継続した育児休業を取得する 例) 出生後2年間を超える連続した育児休業を取得する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 出生1年後以降に、子どもの成長に合わせて、子どもが大きくなったときに育児休業を取得する 例) 小学校入学時に取得する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここで改ページ

Q52 育児のために休暇や休業を取得して職場に戻った際、職場で感じる変化はありましたか。
あてはまるものをすべて選んでください。

また、感じる変化のうち、不満に感じるものをすべて選んでください。

【必須入力】

	1 帰宅時間を配慮されるようになった	2 仕事の量を配慮されるようになった	3 責任ある仕事をまかされにくくなった	4 周りからの評価が変わった	5 その他	6 特にない
1. 職場で感じる変化	<input type="checkbox"/>					
2. 上記のうち、不満に感じるもの	<input type="checkbox"/>					

ここで改ページ

Q53 末子が生まれた後、以下の両立支援制度を利用しましたか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。
※「短時間勤務制度」を現在利用している方は、「所定外労働の免除」を現在利用していることになりませんので、「所定外労働の免除」については2～5をお選びください。

【必須入力】

	1 現在利用している	2 以前は利用していたが、現在は利用していない	3 利用したことはないが、利用したかった	4 利用したことはなく、利用希望もない	5 わからない
1. 短時間勤務制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	<input type="radio"/>				
2. 所定外労働の免除	<input type="radio"/>				

ここで改ページ

Q54 あなたの会社や職場で行われている働き方改革の取り組みとして、あてはまるものをすべて選んでください。
 また職場に望む取り組みとしてあてはまるものをすべて選んでください。
 * 職場に望む取り組みは、行われているかどうかに関わらずお答えください。
 【必須入力】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	ノ―残業デーの設定	朝型勤務の導入や推奨	深夜残業の禁止	始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げ	フレックスタイム制度の導入や活用促進	テレワークや在宅勤務の導入や活用促進	有給休暇の取得の促進	業務プロセスの見直し	会議の設定回数や会議時間の見直し	管理職の評価に残業時間削減の成果を反映	ITツールの活用・刷新	ペーパーレス化	その他	特にない
1. 行われている取り組み	<input type="checkbox"/>													
2. 望む取り組み	<input type="checkbox"/>													

ここで改ページ

Q55 効率的な仕事をするためにご自身が個人で、
 あるいは職場の同僚と行っている仕事の工夫としてあてはまるものをすべてお答えください。
 【必須入力】

- 1. 業務の棚卸し
- 2. 納期や工程の確認
- 3. 業務に優先順位をつける
- 4. 業務のマニュアル化
- 5. スケジュールの共有
- 6. 会議の効率化
- 7. 退社時間の目標を設定する
- 8. 業務の分担の調整
- 9. 互いの業務をカバーする体制をつくる
- 10. 職場の働き方を変えるために周囲に働きかけている
- 11. その他
- 12. 特にない

ここで改ページ

Q56

末子の保育所等への入所状況としてあてはまるものを1つ選んでください。

【必須入力】

- 1. 入所している
- 2. まだ入所していないが、入所の予定が決まっている
- 3. 入所の希望はあるが、入所が決まっていない
- 4. 入所の希望はなく、入所は予定していない

✂️ [ここで改ページ](#)

Q57 末子が保育所等に入所した時期、あるいは、入所する予定時期は、末子がいくつの時ですか。

【全て必須】

歳 ヶ月 (半角数字)

✂️ [ここで改ページ](#)

Q58 家事や育児の役割分担の考え方についてお伺いします。

家事や育児について、末子の妊娠がわかる前、及び、現在の役割分担の考え方として、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

【必須入力】

	1 自分がすべて担うべき	2 自分が主で、配偶者が一部担うべき	3 自分と配偶者が同程度担うべき	4 配偶者が主で、自分が一部担うべき	5 配偶者がすべて担うべき
家事の役割分担の考え方					
1. 末子の妊娠が分かる前の考え方	<input type="radio"/>				
2. 現在の考え方	<input type="radio"/>				
育児の役割分担の考え方					
3. 末子の妊娠が分かる前の考え方	<input type="radio"/>				
4. 現在の考え方	<input type="radio"/>				

✂️ [ここで改ページ](#)

Q59 夫に対して、家事や育児に参加するように要望を伝えたことがありますか。それぞれ1つずつお答えください。

【必須入力】

1 伝えたことがあります、夫	2 伝えたことはあるが、	3 要望を伝えたことはな	4 わからない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	は協力的である	夫はあまり協力的ではない	い	
1. 家事	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 育児	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここで改ページ

Q60 次の方が以下の時期に担っていた(担っている)家事の内容として、あてはまるものをすべて選んでください。
 * 担当している家事が日によって異なる場合などは、両者が担当しているものとしてお答えください。
 【必須入力】

	1 食事の支度	2 食事の片づけ	3 洗濯	4 部屋の掃除	5 風呂やトイレの掃除	6 日常の買い物	7 ゴミ出し	8 家庭生活の予定の管理	9 家計の管理	10 その他	11 特にない
末子の妊娠がわかる前											
1. あなた	<input type="checkbox"/>										
2. 配偶者	<input type="checkbox"/>										
3. あなたや配偶者の親	<input type="checkbox"/>										
現在											
4. あなた	<input type="checkbox"/>										
5. 配偶者	<input type="checkbox"/>										
6. あなたや配偶者の親	<input type="checkbox"/>										

ここで改ページ

Q61 次の方が以下の時期に担っていた(担っている)育児の内容として、あてはまるものをすべて選んでください。
 * 担当している育児が日によって異なる場合などは、両者が担当しているものとしてお答えください。
 【必須入力】

1 食事をさせる	2 風呂に入れる	3 寝かしつける	4 おむつの交換やトイレの助	5 遊ぶ	6 泣いたときや機嫌の悪い時	7 保育所等への送り	8 保育所等への迎え	9 育児に関する予定の管理へ	10 育児に関する情報収集	11 その他	12 特にない
<input type="checkbox"/>											

				け		にあやす			予防接種など		
末子の妊娠がわかる前											
1. あなた	→	<input type="checkbox"/>									
2. 配偶者	→	<input type="checkbox"/>									
3. あなたや配偶者の親	→	<input type="checkbox"/>									
現在											
4. あなた	→	<input type="checkbox"/>									
5. 配偶者	→	<input type="checkbox"/>									
6. あなたや配偶者の親	→	<input type="checkbox"/>									

✂️ ここで改ページ

Q62 夫だんの帰宅時間についてお伺いします。
 末子の妊娠がわかる以前は、19時までに帰宅する日が週に何日くらいありましたか。
 また、現在は何日くらいありますか。それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。
【必須入力】

	1 ほとんど19時に帰宅していない (していません)	2 週に1日	3 週に2日	4 週に3日	5 週に4日	6 週に5日以上
1. 末子の妊娠がわかる前	→	<input type="radio"/>				
2. 現在	→	<input type="radio"/>				

✂️ ここで改ページ

Q63 年次有給休暇の取得状況についてお伺いします。
 末子の妊娠がわかる以前は、年次有給休暇をどのくらい消化していましたか。
 また、現在どのくらい消化していますか。それぞれ、あてはまるものを1つずつ選んでください。
※年あたりの消化状況でお答えください。
※現在の消化状況については、今後も取得が想定される休暇も含めてお答えください。
【必須入力】

1 ほぼ100%消	2 おおむね消化し	3 半分程度消化し	4 あまり消化して	5 ほとんど消化し	6 わからない・該
<input type="radio"/>					

	化している	ている	ている	いない	ていない	当しない
1. 末子の妊娠がわかる前 →	<input type="radio"/>					
2. 現在 →	<input type="radio"/>					

✂ ここまで改ページ

Q64 次の方が家事や育児に関わるおよその平均時間を教えてください。
それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。
【必須入力】

	1 30分未満	2 30分J1時間未満	3 1時間J2時間未満	4 2時間J4時間未満	5 4時間J6時間未満	6 6時間J8時間未満	7 8時間J10時間未満	8 10時間以上
平日								
1. あなた →	<input type="radio"/>							
2. 配偶者 →	<input type="radio"/>							
休日								
3. あなた →	<input type="radio"/>							
4. 配偶者 →	<input type="radio"/>							

✂ ここまで改ページ

Q65 仕事と家庭や育児の両立の満足度として、あてはまるものをひとつ選んでください。
【必須入力】

1 満足している	2 まあ満足している	3 どちらともいえない	4 あまり満足していない	5 満足していない
<input type="radio"/>				

✂ ここまで改ページ

Q66 仕事と家庭や育児の両立に関する以下の事柄に対して、そう思うかどうか、あてはまるものを1つずつ選んでください。
【必須入力】

	1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
1. 仕事にやりがいを感じる →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2. 仕事の時間は長い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 仕事の時間は短い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 休暇を十分とれている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 夫婦のコミュニケーションが十分できている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 夫婦の家事分担に満足している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 家事に十分関わっている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 夫婦の育児分担に満足している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 育児に十分関わっている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 自分のために使える時間が十分ある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



ここで改ページ

Q67 ご自身の育児の関わりが十分ではないとした理由として、あてはまるものをすべて選んでください。
【必須入力】

- 1. 帰宅時間が遅くて育児ができないため
- 2. 決まった時間に仕事をしなければならず、育児ができないため
- 3. 土曜日、日曜日、祝日に仕事があるため
- 4. 希望したとおりに仕事を休むことができないため
- 5. 配偶者にまかせきりにしているため
- 6. 育児についての知識や経験がないため
- 7. その他
- 8. 特になし



ここで改ページ

Q68 今後希望する子どもの人数として、あてはまるものを選んでください。
【必須入力】

- 1. 子どもの人数はすでに希望通りである
- 2. 現在よりもう1人の子どもがほしい
- 3. 現在よりもう2人の子どもがほしい
- 4. 現在よりもう3人の子どもがほしい
- 5. 現在よりもう4人以上の子どもがほしい
- 6. わからない



ここで改ページ

Q69 最初のお子さんの妊娠が判明するまでに、以下の事柄について、配偶者と話しあったことがありますか。
それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。
【必須入力】

1 よく話し合った	2 まあ話し合った	3 あまり話し合っていない	4 ほとんど話し合っていない
--------------	--------------	------------------	-------------------

1. 妻のキャリア	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 夫のキャリア	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 結婚生活のあり方	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 家事の分担	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 育児の分担	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 子育ての方針	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂ ここまで改ページ

Q70 出産後の職場への復職時期や短時間勤務からフルタイム勤務への復帰する時期について、予め計画しましたか。それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

※出産前に働いていなかった方も、出産後に就職した際のことをお答えください。

【必須入力】

	1 復職の時期を計画しており、計画どおりに復帰をした (復帰ができそう)	2 復職の時期を計画したが、計画どおりに復帰できなかった (復帰できなさそう)	3 復職の時期について特に希望はなかった (希望はない)
1. 産後の職場復帰の時期	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 短時間勤務からフルタイム勤務へ復帰する時期	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂ ここまで改ページ

Q71 最初のお子さんを持つ前と現在のキャリア形成の希望についておうかがいします。最初のお子さんを持つ前と現在について、キャリア形成に対する考え方として、最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

【必須入力】

1 できるだけ早いペースで昇進したい	2 自分なりのペースで昇進したい	3 できるだけ早いペースで 専門性(専門的な知識・技術など)を高	4 自分なりのペースで 専門性(専門的な知識・技術など)を高	5 昇進や専門性の向上には興味はないが その時々仕事をがんばりたい	6 昇進や専門性の向上には興味はないが 様々な仕事を体験したい	7 昇進や専門性の向上には興味はなく 仕事以外の生活を充実させたい	8 左記にはあてはまらない
-----------------------	---------------------	--	--------------------------------------	---	---------------------------------------	---	------------------

			め た い	め た い				
1. 最初のお子さんを持つ前	→	<input type="radio"/>						
2. 現在	→	<input type="radio"/>						

✂ ここまで改ページ

Q72 夫に対して、前問でお答えになったキャリア形成の希望を話したことがありますか。
【必須入力】

- 1. 伝えたことがあり、夫は協力的である
- 2. 伝えたことはあるが、夫はあまり協力的ではない
- 3. 要望を伝えたことはない
- 4. わからない

✂ ここまで改ページ

Q73 お答えいただいた現在のキャリアの希望は、どの程度実現できそうですか。
【必須入力】

1 ほぼ実現ができそう	2 まあ実現できそう	3 あまり実現できそうにない	4 全く実現できそうにない	5 わからない
<input type="radio"/>				

✂ ここまで改ページ

Q74 あなたはそれぞれのライフステージにおいて、どのように働いていましたか。また、どのような働き方を希望しますか。
ライフステージごとに、それぞれ1つずつ選んでください。

※すでに経験したライフステージ(「結婚していない時」、「結婚して子どもがいない時」)や
該当する年齢のお子さんがいらっしゃる場合は、当時の実際の働き方と当時希望していた働き方をお答えください。
※該当するお子さんがいない場合は、
将来、お子さんがその年齢に達したときに実際にそうなりそうな働き方と、そのときに希望する働き方をお答えください。
【必須入力】

	1 残業もあるフルタイムの仕事	2 フルタイムだが残業のない仕事	3 短時間勤務・短日勤務制度	4 フレックスタイム制、裁量労働制	5 在宅でできる仕事	6 その他の仕事・働き方	7 働いていない／働きたくない	8 分からない
--	--------------------	---------------------	-------------------	----------------------	---------------	-----------------	--------------------	------------

実際の働き方(将来、実際にそうなりそうな働き方)

1. 結婚していない時	→	<input type="radio"/>						
2. 結婚して子どもがいない時	→	<input type="radio"/>						
3. 子どもが3歳以下の時	→	<input type="radio"/>						
4. 子どもが4歳以上小学校就学前の時	→	<input type="radio"/>						
5. 子どもが小学生から中学校就学前の時	→	<input type="radio"/>						

6. 子どもが中学生以上の時	→	<input type="radio"/>							
希望していた働き方(将来、希望する働き方)									
7. 結婚していない時	→	<input type="radio"/>							
8. 結婚して子どもがいない時	→	<input type="radio"/>							
9. 子どもが3歳以下の時	→	<input type="radio"/>							
10. 子どもが4歳以上小学校就学前の時	→	<input type="radio"/>							
11. 子どもが小学生から中学校就学前の時	→	<input type="radio"/>							
12. 子どもが中学生以上の時	→	<input type="radio"/>							

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
 回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送 信

平成 29 年度 厚生労働省委託調査
仕事と育児の両立に関する実態把握のための調査研究事業
労働者アンケート調査結果 報告書

平成 30 (2018) 年 1 月
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2
電話 : 03-6733-1024